

令和5年度 予算の概況

藤 沢 市

目 次

1	藤沢市の概要	2
2	予算の概要	2
	(1) 会計別総括	2
	(2) 予算規模推移（一般会計）	4
3	歳入の状況（一般会計）	6
	(1) 歳入の内訳	6
	(2) 市税の状況	8
	(3) 他市との人口一人当たり比較	10
4	歳出の状況（一般会計）	12
	(1) 性質別歳出の状況	12
	ア 性質別歳出	12
	イ 性質別歳出の目的別内訳	14
	(2) 充当財源の内訳とその割合	16
	ア 目的別歳出からみた割合	16
	イ 性質別歳出からみた割合	17
	(3) 他市との人口一人当たり比較	18
	(4) 消費税率引上げによる増収分（地方消費税交付金）が充てられる社会保障 施策に要する経費	18
5	款別、節別集計（一般会計）	20
6	年度別予算規模の状況（一般会計・特別会計）	22
7	年度別市債借入・償還及び残高の状況（一般会計・特別会計）	23
8	特別会計の状況	26
9	市政運営の総合指針2024体系別「予算の概況」掲載事業一覧	36
10	主要な施策の概要	40
	(1) 総務費	40
	(2) 環境保全費	90
	(3) 民生費	104
	(4) 衛生費	164
	(5) 労働費	187
	(6) 農林水産業費	191
	(7) 商工費	203
	(8) 土木費	218
	(9) 消防費	249
	(10) 教育費	256
	(11) 特別会計	292

※1 主要な施策の概要における事業費及び財源内訳欄の単位は千円

※2 主要な施策の概要における将来にわたる費用において記載した金額は、
見込額であり、当該年度の実際の予算額とは異なる場合がある。

1 藤沢市の概要

人 口			面 積	内 訳				人口密度
				年	田 畑	宅 地	そ の 他	
国 調	R2. 10. 1	436,905 人	69.56 km ²	R 4	10.61 km ²	33.44 km ²	25.51 km ²	人/km ² 6,281
	H27. 10. 1	423,894		R 3	10.66 km ²	33.29 km ²	25.61 km ²	
推 計	R5. 1. 1	443,832		差引面積	km ²	km ²	km ²	
	R4. 1. 1	441,708			△ 0.05	0.15	△ 0.10	

※令和5年1月1日現在

2 予算の概要

(1) 会計別総括

会 計 区 分		令 和 5 年 度			
		予 算 額	歳 入		歳 出
			経常的収入	臨時的収入	経常的支出
一 般 会 計		160,504,000	136,048,326	24,455,674	136,345,702
特 別 会 計	北部第二(三地区)土地区画整理事業費	2,863,081		2,863,081	
	墓 園 事 業 費	528,477	407,449	121,028	374,038
	国 民 健 康 保 険 事 業 費	39,351,346	35,991,429	3,359,917	39,321,046
	介 護 保 険 事 業 費	33,417,283	32,223,219	1,194,064	33,281,586
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 費	7,079,683	7,042,813	36,870	7,077,683
	小 計	83,239,870	75,664,910	7,574,960	80,054,353
公 営 企 業 会 計	下 水 道 事 業 費	22,958,424	17,698,151	5,260,273	16,806,852
	市 民 病 院 事 業	24,593,609	23,786,681	806,928	23,461,691
	小 計	47,552,033	41,484,832	6,067,201	40,268,543
	計	130,791,903	117,149,742	13,642,161	120,322,896
合 計		a 291,295,903	253,198,068	38,097,835	256,668,598

純計予算額 = a - b = 273,625,829

産 業 構 造						財 政 力 指 数		職 員 数	
区 分			第 1 次	第 2 次	第 3 次	年 度	指 数	年 度	職 員 定 数
就 業 人 口	人 口	R	人	人	人	R 4	1.071	R 4	3,683 人
		2.10.1	1,999	41,742	147,873	R 3	1.012	R 3	3,672
	割 合		%	%	%	R 2	1.087	R 2	3,652
			1.0	21.8	77.2	R 元	1.092	R 元	3,543

※条例定数 3,729 人

(単位 千円)

出	純 計		令 和 4 年 度		前 年 度 対 比	
	他会計受入	他会計支出	当初予算額	最終予算 見込額	%	
					当初	最終
臨時的支出						
24,158,298	132,497	17,537,577	161,366,000	180,329,652	99.5	89.0
2,863,081	1,687,824		2,732,390	2,554,910	104.8	112.1
154,439			600,117	486,559	88.1	108.6
30,300	3,364,580		38,663,961	38,629,864	101.8	101.9
135,697	5,206,389	132,497	31,816,763	33,071,346	105.0	101.0
2,000	886,706		7,014,271	7,073,035	100.9	100.1
3,185,517	11,145,499	132,497	80,827,502	81,815,714	103.0	101.7
6,151,572	4,615,072		19,857,442	19,829,286	115.6	115.8
1,131,918	1,777,006		24,084,899	24,294,475	102.1	101.2
7,283,490	6,392,078		43,942,341	44,123,761	108.2	107.8
10,469,007	17,537,577	132,497	124,769,843	125,939,475	104.8	103.9
	b					
34,627,305	17,670,074	17,670,074	286,135,843	306,269,127	101.8	95.1

(2) 予算規模推移 (一般会計)

区 分		令和元年度	令和2年度	
当 初 予 算	予算規模	予 算 総 額	149,022,000	148,056,000
		前年度当初予算対比	107.6	99.4
		前年度最終予算対比	102.4	94.2
	うち市税	市 税 総 額	81,822,000	81,873,000
		前年度当初予算対比	103.3	100.1
		前年度最終予算対比	101.4	99.4
最 終 予 算	予算規模	予 算 総 額	157,112,237	209,999,402
		同年度当初予算対比	105.4	141.8
		前年度最終予算対比	107.9	133.7
	うち市税	市 税 総 額	82,399,200	81,893,000
		同年度当初予算対比	100.7	100.0
		前年度最終予算対比	102.1	99.4

(注) 令和4年度の最終予算は見込み

(単位 千円：%)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
156,268,000	161,366,000	160,504,000
105.5	103.3	99.5
74.4	88.2	89.0
77,879,000	81,106,000	83,897,000
95.1	104.1	103.4
95.1	100.5	100.1
182,920,498	180,329,652	—
117.1	111.8	
87.1	98.6	
80,669,000	83,853,000	
103.6	103.4	
98.5	103.9	

3 歳入の状況（一般会計）

（1）歳入の内訳

区 分		令 和 5 年		
		予 算 額	内 訳（1）	
			経常的収入	臨時的収入
自 主 財 源	市 税	83,897,000	77,765,200	6,131,800
	分 担 金 及 び 負 担 金	1,357,522	1,086,195	271,327
	使 用 料 及 び 手 数 料	3,333,737	3,251,356	82,381
	財 産 収 入	1,587,531	138,959	1,448,572
	寄 附 金	550,820		550,820
	繰 入 金	5,062,870		5,062,870
	繰 越 金	2,000,000		2,000,000
	諸 収 入	4,175,185	3,745,935	429,250
	計	101,964,665	85,987,645	15,977,020
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	837,926	837,926	
	利 子 割 交 付 金	33,000	33,000	
	配 当 割 交 付 金	700,000	700,000	
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	502,000	502,000	
	法 人 事 業 税 交 付 金	920,000	920,000	
	地 方 消 費 税 交 付 金	10,200,000	10,200,000	
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	17,000	17,000	
	環 境 性 能 割 交 付 金	163,000	163,000	
	地 方 特 例 交 付 金	561,000	561,000	
	地 方 交 付 税	10,000		10,000
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	54,000	54,000	
	国 庫 支 出 金	28,357,183	25,746,567	2,610,616
	県 支 出 金	11,352,826	10,326,188	1,026,638
	市 債	4,831,400		4,831,400
計	58,539,335	50,060,681	8,478,654	
合 計		160,504,000	136,048,326	24,455,674
（ ）内は構成比 %		(100.0)	(84.8)	(15.2)

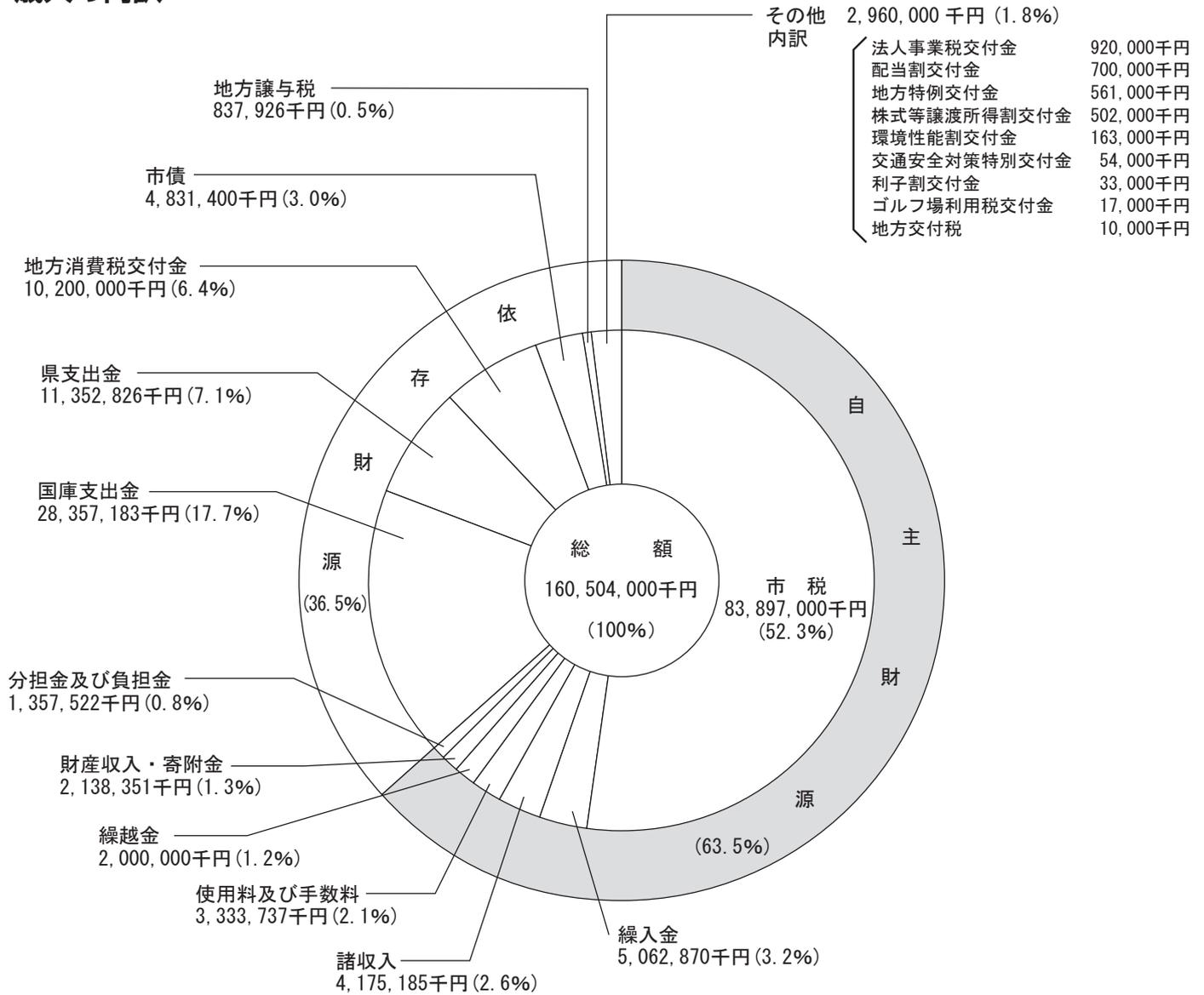
(単位 千円)

度		令和4年度		前年度	
内 訳 (2)		構 成 比	当初予算額	構 成 比	対 比
一般財源	特定財源	%		%	%
83,897,000		52.3	81,106,000	50.3	103.4
	1,357,522	0.8	1,099,390	0.7	123.5
364,647	2,969,090	2.1	3,574,085	2.2	93.3
1,551,130	36,401	1.0	1,193,954	0.7	133.0
417,739	133,081	0.3	484,574	0.3	113.7
3,400,000	1,662,870	3.2	5,551,610	3.4	91.2
2,000,000		1.2	2,000,000	1.2	100.0
294,887	3,880,298	2.6	3,619,966	2.3	115.3
91,925,403	10,039,262	63.5	98,629,579	61.1	103.4
837,926		0.5	828,961	0.5	101.1
33,000		0.0	39,000	0.0	84.6
700,000		0.4	429,000	0.3	163.2
502,000		0.3	653,000	0.4	76.9
920,000		0.6	550,000	0.3	167.3
10,200,000		6.4	10,250,000	6.4	99.5
17,000		0.0	14,000	0.0	121.4
163,000		0.1	216,000	0.1	75.5
561,000		0.4	575,000	0.4	97.6
10,000		0.0	10,000	0.0	100.0
54,000		0.0	54,000	0.0	100.0
	28,357,183	17.7	29,192,395	18.1	97.1
	11,352,826	7.1	10,920,365	6.8	104.0
	4,831,400	3.0	9,004,700	5.6	53.7
13,997,926	44,541,409	36.5	62,736,421	38.9	93.3
105,923,329	54,580,671	100.0	161,366,000	100.0	99.5
(66.0)	(34.0)		(100.0)		

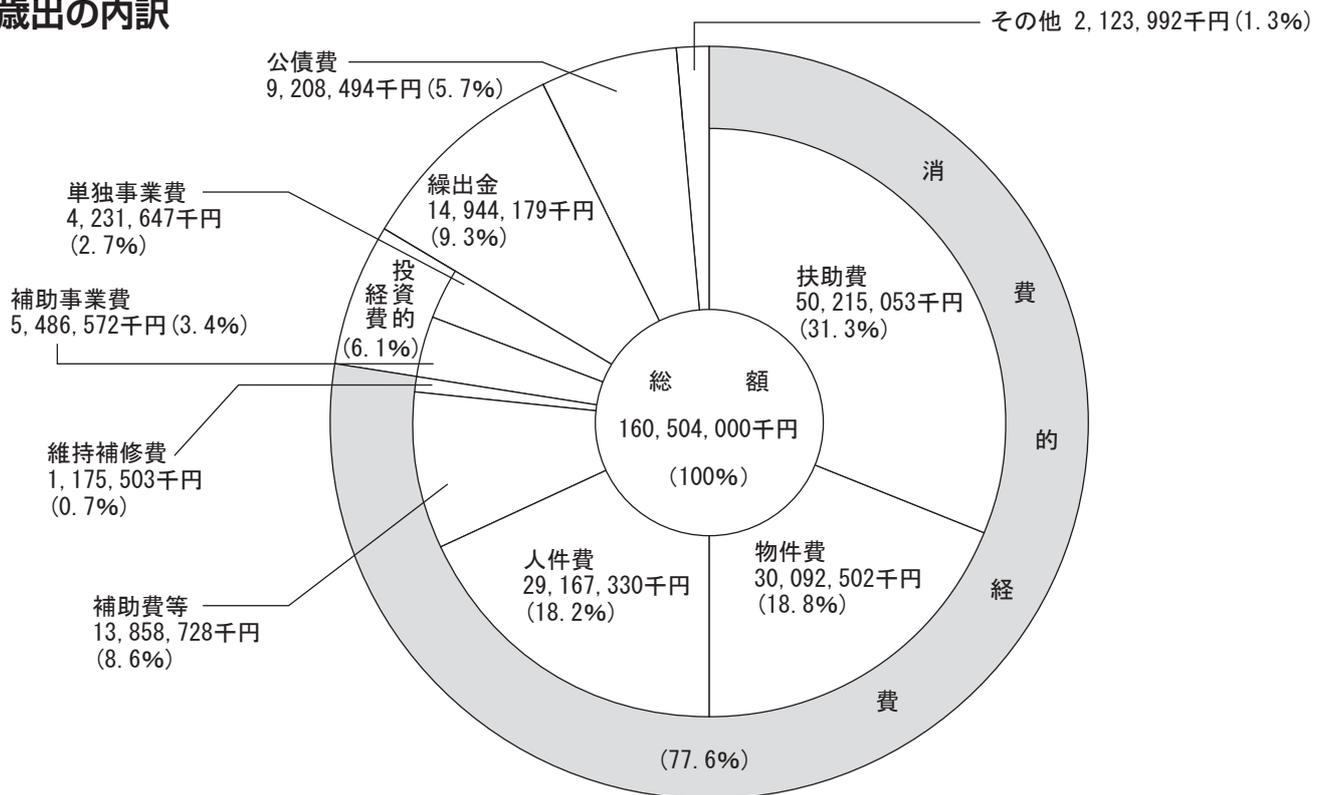
(2) 市税の状況

区 分		予 算 額 (千円)	構 成 比 (%)		前年度比 (%)	人口一人当 たり額 (円)	
			税目内	税目間			
市民税	総 額	39,038,100	100.0		105.5	87,957	
	内 訳	個 人	34,593,200	88.6	46.5		103.1
		法 人	4,444,900	11.4			129.1
固定資産税	総 額	33,012,300	100.0		101.3	74,380	
	内 訳	土地・家屋	28,370,000	85.9	39.4		101.1
		償却資産	4,521,500	13.7			102.2
		交付金	120,800	0.4			100.0
その他の税	総 額	11,846,600	100.0		103.0	26,692	
	内 訳	軽自動車税	592,800	5.0	14.1		104.9
		市たばこ税	2,646,000	22.3			109.7
		特別土地保有税	800	0.0			80.0
		入湯税	10,200	0.1			129.1
		事業所税	2,465,000	20.8			100.9
		都市計画税	6,131,800	51.8			100.9
市 税		83,897,000		100.0	103.4	189,029	

歳入の内訳



歳出の内訳



(3) 他市との人口一人当たり比較

区 分		藤 沢 市			平
		人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額
人 口 (令 5.1.1)		443,832	-	100.5	257,649
自 主 財 源	市 税	189,029	52.3	102.9	169,663
	分 担 金 及 び 負 担 金	3,059	0.8	122.9	2,152
	使 用 料 及 び 手 数 料	7,511	2.1	92.8	6,344
	財 産 収 入	3,577	1.0	132.3	557
	寄 附 金	1,241	0.3	113.1	373
	繰 入 金	11,407	3.2	90.8	4,841
	繰 越 金	4,506	1.2	99.5	5,046
	諸 収 入	9,407	2.6	114.8	13,689
	計	229,737	63.5	102.9	202,665
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	1,888	0.5	100.6	2,019
	利 子 割 交 付 金	74	0.0	84.1	78
	配 当 割 交 付 金	1,577	0.4	162.4	970
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,131	0.3	76.5	1,358
	法 人 事 業 税 交 付 金	2,073	0.6	166.5	2,329
	地 方 消 費 税 交 付 金	22,982	6.4	99.0	23,288
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	38	0.0	118.8	116
	環 境 性 能 割 交 付 金	367	0.1	75.1	388
	地 方 特 例 交 付 金	1,264	0.4	97.1	1,009
	地 方 交 付 税	22	0.0	95.7	6,447
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	122	0.0	100.0	116
	国 庫 支 出 金	63,892	17.7	96.7	61,137
	県 支 出 金	25,579	7.1	103.5	27,066
	市 債	10,886	3.0	53.4	11,050
計	131,895	36.5	92.9	137,371	
合 計		361,632	100.0	99.0	340,036
比 較		100.0			94.0

※人口については、令和2年国勢調査を基準とした推計人口としています。

(単位 円)

塚 市		茅ヶ崎市			鎌倉市		
構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%
-	100.0	244,359	-	100.2	176,460	-	102.2
49.9	102.3	154,149	47.2	102.9	202,536	53.6	99.7
0.6	104.8	2,804	0.9	103.3	1,996	0.5	99.8
1.9	98.8	6,113	1.9	106.7	6,791	1.8	98.3
0.2	103.3	1,348	0.4	202.7	3,499	0.9	97.2
0.1	134.2	813	0.2	131.3	14,096	3.7	133.8
1.4	54.1	3,251	1.0	129.2	18,647	4.9	78.7
1.5	100.0	4,092	1.2	133.0	3,400	0.9	97.9
4.0	85.1	15,278	4.7	102.8	5,353	1.4	74.4
59.6	98.8	187,848	57.5	104.4	256,318	67.7	98.3
0.6	100.0	1,578	0.5	93.6	1,811	0.5	98.8
0.0	100.0	61	0.0	82.4	79	0.0	68.1
0.3	131.4	1,441	0.4	154.1	1,949	0.5	155.8
0.4	159.0	999	0.3	99.8	2,137	0.6	160.4
0.7	150.0	1,211	0.4	109.0	2,358	0.7	202.4
6.8	105.8	21,820	6.7	105.7	22,991	6.1	103.3
0.0	100.0	213	0.1	103.9	130	0.0	97.7
0.1	71.5	307	0.1	66.9	391	0.1	123.0
0.3	100.0	1,449	0.4	120.1	850	0.2	97.8
1.9	100.0	12,600	3.9	89.4	187	0.0	97.9
0.0	100.0	98	0.0	95.1	119	0.0	97.5
18.0	94.1	55,631	17.0	100.0	53,750	14.2	100.5
8.0	107.9	26,246	8.0	104.9	24,865	6.6	101.6
3.3	99.1	15,271	4.7	129.5	10,410	2.8	50.2
40.4	100.5	138,925	42.5	103.7	122,027	32.3	95.1
100.0	99.4	326,773	100.0	104.1	378,345	100.0	97.3
		90.4			104.6		

4 歳出の状況（一般会計）

（1）性質別歳出の状況

ア 性質別歳出

区 分		令和 5 年 度			
		予 算 額	内 訳		構 成 比 %
			経 常 的 経 費	臨 時 的 経 費	
消 費 的 経 費	人 件 費	29,167,330	28,871,754	295,576	18.2
	物 件 費	30,092,502	23,324,677	6,767,825	18.8
	維持補修費	1,175,503	1,175,503		0.7
	扶 助 費	50,215,053	50,080,115	134,938	31.3
	補 助 費 等	13,858,728	9,247,910	4,610,818	8.6
	計	124,509,116	112,699,959	11,809,157	77.6
投 資 的 経 費	補 助 事 業 費	5,486,572		5,486,572	3.4
	単 独 事 業 費	4,231,647		4,231,647	2.7
	計	9,718,219		9,718,219	6.1
公 債 費		9,208,494	9,208,494		5.7
繰 出 金		14,944,179	13,256,355	1,687,824	9.3
そ の 他		2,123,992	1,180,894	943,098	1.3
合 計		160,504,000	136,345,702	24,158,298	100.0

(単位 千円)

令和4年度		前年度
当初予算額	構成比	対比
	%	%
29,058,414	18.0	100.4
28,147,864	17.4	106.9
1,151,780	0.7	102.1
49,203,114	30.5	102.1
12,555,602	7.8	110.4
120,116,774	74.4	103.7
9,610,176	6.0	57.1
6,049,198	3.7	70.0
15,659,374	9.7	62.1
9,304,178	5.8	99.0
14,188,220	8.8	105.3
2,097,454	1.3	101.3
161,366,000	100.0	99.5

イ 性質別歳出の目的別内訳

目的別	消費的経費					
	人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	計
議会費	563,070	58,048			49,476	670,594
総務費	7,351,042	6,205,276	81,662	232,395	984,020	14,854,395
環境保全費	501,133	570,550	13,268		237,365	1,322,316
民生費	5,301,478	3,375,141	43,887	49,512,241	2,670,708	60,903,455
衛生費	3,539,047	9,721,375	143,920	220,322	3,566,157	17,190,821
労働費	66,167	34,127			27,012	127,306
農林水産業費	214,122	28,170	23,972		112,839	379,103
商工費	190,073	277,547	16,020		461,768	945,408
土木費	2,388,777	2,710,397	595,250		5,101,103	10,795,527
消防費	4,537,120	406,918	18,804		93,197	5,056,039
教育費	4,515,301	6,704,362	238,720	250,095	555,083	12,263,561
公債費		591				591
予備費						
合計	29,167,330	30,092,502	1,175,503	50,215,053	13,858,728	124,509,116
構成比%	18.2	18.8	0.7	31.3	8.6	77.6

(単位 千円)

投資的経費			公債費	繰出金	その他	合計
補助事業費	単独事業費	計				
						670,594
29,743	181,750	211,493			7,463	15,073,351
3,812	215,422	219,234			148,871	1,690,421
350,122	421,276	771,398		13,256,355	55,929	74,987,137
78,285	262,998	341,283			696,862	18,228,966
					280,000	407,306
41,401	58,565	99,966				479,069
	10,722	10,722			646,000	1,602,130
2,810,986	2,294,454	5,105,440		1,687,824	124,894	17,713,685
420,917	43,833	464,750				5,520,789
1,751,306	742,627	2,493,933			63,973	14,821,467
			9,208,494			9,209,085
					100,000	100,000
5,486,572	4,231,647	9,718,219	9,208,494	14,944,179	2,123,992	160,504,000
3.4	2.7	6.1	5.7	9.3	1.3	100.0

(2) 充当財源の内訳とその割合

ア 目的別歳出からみた割合

(単位 千円)

区 分	国庫支出金	県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	一般財源 構成比 %
議 会 費					670,594 (100.0)	0.6
総 務 費	314,655 (2.1)	1,008,786 (6.7)	63,900 (0.4)	398,775 (2.6)	13,287,235 (88.2)	12.5
環 境 保 全 費	1,270 (0.1)	28,899 (1.7)	15,900 (0.9)	310,571 (18.4)	1,333,781 (78.9)	1.3
民 生 費	26,095,842 (34.8)	10,047,085 (13.4)	206,000 (0.3)	1,959,772 (2.6)	36,678,438 (48.9)	34.6
衛 生 費	668,074 (3.7)	92,711 (0.5)	78,700 (0.4)	3,595,094 (19.7)	13,794,387 (75.7)	13.0
労 働 費	2,427 (0.6)			280,000 (68.7)	124,879 (30.7)	0.1
農林水産業費		57,518 (12.0)	28,600 (6.0)	28,098 (5.9)	364,853 (76.1)	0.4
商 工 費		3,788 (0.2)		830,166 (51.8)	768,176 (48.0)	0.7
土 木 費	972,542 (5.5)	63,887 (0.4)	2,645,400 (14.9)	850,560 (4.8)	13,181,296 (74.4)	12.4
消 防 費	32,186 (0.6)	30,526 (0.5)	370,600 (6.7)	58,990 (1.1)	5,028,487 (91.1)	4.8
教 育 費	270,187 (1.8)	19,626 (0.1)	1,422,300 (9.6)	1,727,236 (11.7)	11,382,118 (76.8)	10.8
公 債 費					9,209,085 (100.0)	8.7
予 備 費					100,000 (100.0)	0.1
合 計	28,357,183 (17.7)	11,352,826 (7.1)	4,831,400 (3.0)	10,039,262 (6.2)	105,923,329 (66.0)	100.0

※ () 内は、各目的別の予算額に占める割合です。

イ 性質別歳出からみた割合

(単位 千円)

区 分	国庫支出金	県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	一般財源 構成比 %	
消 費 的 経 費	人 件 費	216,160 (0.8)	754,712 (2.6)		99,125 (0.3)	28,097,333 (96.3)	26.5
	物 件 費	1,128,704 (3.8)	607,705 (2.0)		6,054,858 (20.1)	22,301,235 (74.1)	21.1
	維持補修費				123,507 (10.5)	1,051,996 (89.5)	1.0
	扶 助 費	24,528,733 (48.8)	7,783,776 (15.5)		1,457,901 (2.9)	16,444,643 (32.8)	15.5
	補 助 費 等	580,627 (4.2)	493,454 (3.6)		567,870 (4.1)	12,216,777 (88.1)	11.5
	計	26,454,224 (21.3)	9,639,647 (7.7)		8,303,261 (6.7)	80,111,984 (64.3)	75.6
投 資 的 経 費	補助事業費	1,394,708 (25.4)	50,920 (0.9)	2,984,817 (54.4)	182,605 (3.4)	873,522 (15.9)	0.8
	単独事業費		5,120 (0.1)	1,846,583 (43.6)	465,382 (11.1)	1,914,562 (45.2)	1.8
	計	1,394,708 (14.3)	56,040 (0.6)	4,831,400 (49.7)	647,987 (6.7)	2,788,084 (28.7)	2.6
公 債 費					9,208,494 (100.0)	8.7	
繰 出 金	508,251 (3.4)	1,657,139 (11.1)			12,778,789 (85.5)	12.1	
そ の 他				1,088,014 (51.2)	1,035,978 (48.8)	1.0	
合 計	28,357,183 (17.7)	11,352,826 (7.1)	4,831,400 (3.0)	10,039,262 (6.2)	105,923,329 (66.0)	100.0	

※ () 内は、各性質別の予算額に占める割合です。

(3) 他市との人口一人当たり比較

区 分		藤 沢 市			平
		人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額
人 口 (令 5.1.1)		443,832	-	100.5	257,649
消 費 的 経 費	人 件 費	65,717	18.2	99.9	66,695
	物 件 費	67,802	18.8	106.4	52,484
	維 持 補 修 費	2,648	0.7	101.5	4,599
	扶 助 費	113,140	31.3	101.6	103,795
	補 助 費 等	31,225	8.6	109.9	40,017
	計	280,532	77.6	103.2	267,590
投 資 的 経 費	補 助 事 業 費	12,362	3.4	56.8	4,656
	単 独 事 業 費	9,534	2.7	69.6	11,275
	計	21,896	6.1	61.8	15,931
公 債 費		20,748	5.7	98.5	24,483
繰 出 金		33,671	9.3	104.8	24,090
そ の 他		4,785	1.3	100.8	7,942
合 計		361,632	100.0	99.0	340,036

※人口については、令和2年国勢調査を基準とした推計人口としています。

(4) 消費税率引き上げによる増収分（地方消費税交付金）が充てられる社会保障施策に要する経費

区 分	(単位：千円)	
(歳入)	令和5年度予算額	
地方消費税交付金（社会保障財源化分）	5,564,000	
(歳出)	事業費	一般財源
社会福祉費（障がい者福祉、国民健康保険等）	17,800,148	7,498,661
老人福祉費	10,754,250	9,570,234
児童福祉費	26,715,968	9,590,748
生活保護費	10,178,103	2,530,932
保健衛生費（各種予防接種、感染症対策等）	3,398,278	3,029,942
合計	68,846,747	32,220,517
※歳出の事業費・一般財源は、人件費、物件費等を除く金額		

(単位 円)

塚 市		茅ヶ崎市			鎌倉市		
構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%
-	100.0	244,359	-	100.2	176,460	-	102.2
19.6	98.6	63,488	19.4	98.5	72,373	19.1	93.6
15.4	95.4	52,062	15.9	106.6	97,613	25.8	113.4
1.4	108.9	2,143	0.7	110.1	3,086	0.8	87.8
30.5	103.9	91,473	28.0	113.1	85,717	22.7	102.9
11.8	104.8	30,719	9.4	79.7	14,170	3.8	79.9
78.7	101.0	239,885	73.4	102.2	272,959	72.2	101.9
1.4	79.3	5,667	1.7	130.5	10,620	2.8	50.5
3.3	88.4	14,173	4.4	144.6	11,125	2.9	97.6
4.7	85.6	19,840	6.1	140.3	21,745	5.7	67.1
7.2	99.4	23,868	7.3	99.0	22,933	6.1	97.3
7.1	97.6	30,489	9.3	103.0	55,787	14.7	96.4
2.3	88.0	12,691	3.9	111.5	4,921	1.3	69.6
100.0	99.4	326,773	100.0	104.1	378,345	100.0	97.3

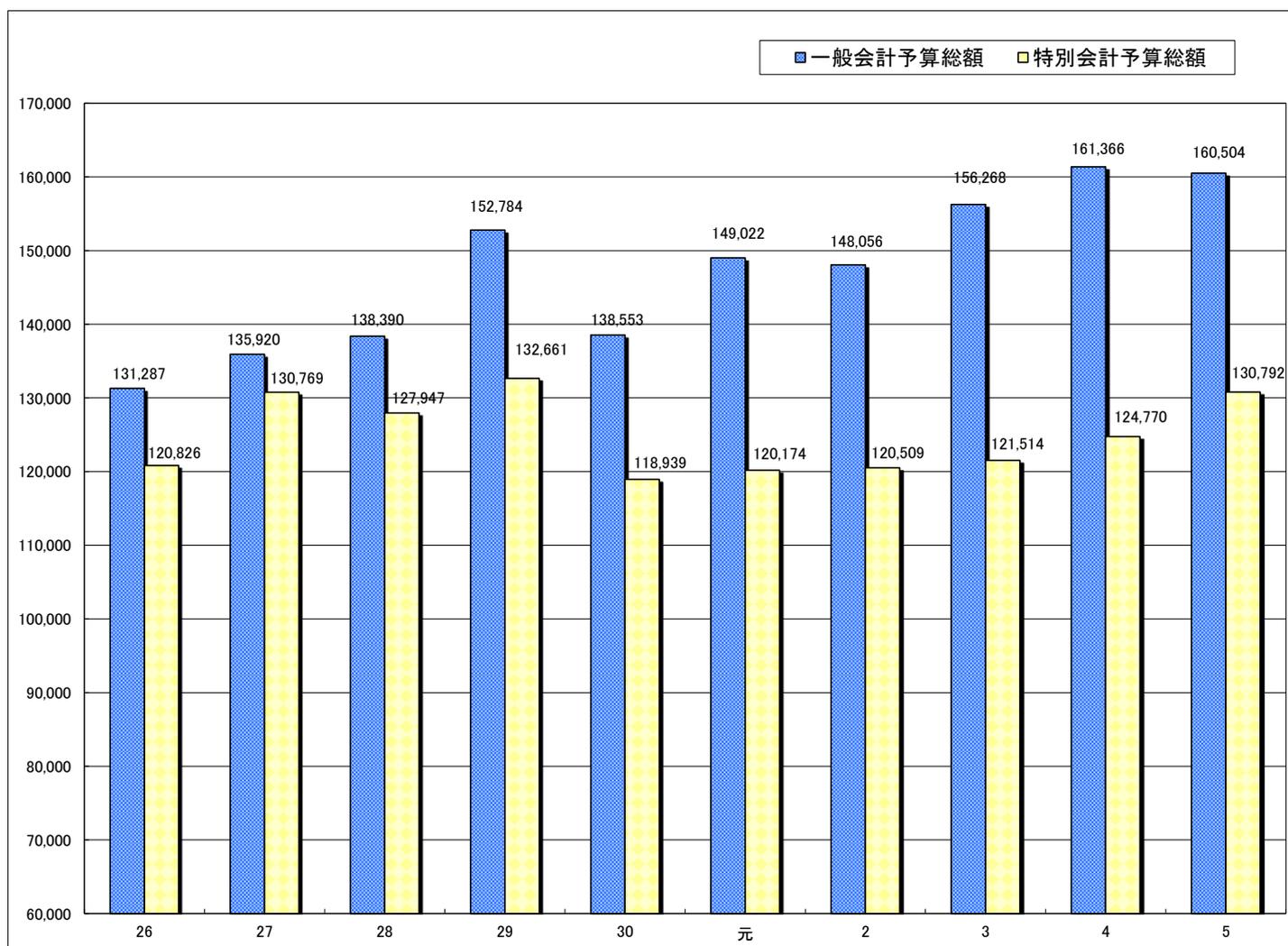
5 款別、節別集計（一般会計）

節	款	議会費	総務費	環境保全費	民生費	衛生費	労働費
1	報酬	248,053	700,060	34,665	832,807	161,093	17,724
2	給料	59,465	2,527,520	209,995	1,997,640	1,509,039	19,173
3	職員手当等	154,111	3,242,112	175,058	1,645,429	1,283,307	19,311
4	共済費	101,441	1,139,600	81,415	825,602	585,608	9,959
5	災害補償費		356				
6	恩給及び退職年金						
7	報償費	349	44,329	38,650	47,410	25,903	2,925
8	旅費	6,487	45,877	2,596	69,436	8,514	1,044
9	交際費	1,450	2,405			10	
10	需用費	8,009	779,993	56,471	310,543	1,330,969	1,506
	うち食糧費	178	884				
11	役務費	5,329	480,053	49,791	166,310	614,508	32
12	委託料	28,471	3,276,722	444,529	13,413,303	7,714,957	31,505
13	使用料及び賃借料	8,302	1,705,403	78,156	367,661	243,929	40
14	工事請負費		68,442		100,342	294,357	
15	原材料費		233	421	1,629	1,119	
16	公有財産購入費			150,840	128,935		
17	備品購入費		84,618	13,032	5,353	1,315	
18	負担金補助及び交付金	49,127	442,948	205,917	11,331,548	3,535,999	24,087
19	扶助費				34,229,585	220,322	
20	貸付金				30,000		280,000
21	補償補填及び賠償金		121			35	
22	償還金利子及び割引料		522,316			44	
23	投資及び出資金						
24	積立金		7,463	148,871	25,929	696,862	
25	寄附金						
26	公課費		2,780	14		1,076	
27	繰出金				9,457,675		
	予備費						
	計	670,594	15,073,351	1,690,421	74,987,137	18,228,966	407,306

(単位 千円)

農林水 産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	諸支出金 予備費	計
13,354	3,459	18,290	74,116	1,297,552			3,401,173
91,386	81,247	1,183,861	1,788,730	1,324,107			10,792,163
75,517	74,140	1,009,733	1,928,734	1,284,342			10,891,794
33,865	31,227	447,819	727,278	609,300			4,593,114
			2,088				2,444
							0
565	177	2,296	42,441	182,927			387,972
244	568	4,036	4,604	66,681	29		210,116
33				390			4,288
27,006	23,007	785,173	194,681	2,850,723	300		6,368,381
				337			1,399
13,973	7,079	125,982	32,242	155,724			1,651,023
54,537	262,570	2,633,508	174,773	3,151,212			31,186,087
603	549	544,256	44,993	1,400,943	162		4,394,997
25,036		3,048,876	46,794	1,761,360			5,345,207
		21,602		4,837			29,841
1,210		75,520					356,505
		1,144	395,939	90,723			592,124
128,162	472,107	5,788,966	60,687	326,265	100		22,365,913
				250,095			34,700,002
	646,000						956,000
13,578		140,850		19			154,603
		69,055		294	9,208,494		9,800,203
		124,894					124,894
				63,973			943,098
							0
			2,689				6,559
		1,687,824					11,145,499
						100,000	100,000
479,069	1,602,130	17,713,685	5,520,789	14,821,467	9,209,085	100,000	160,504,000

6 年度別予算規模の状況（一般会計・特別会計）

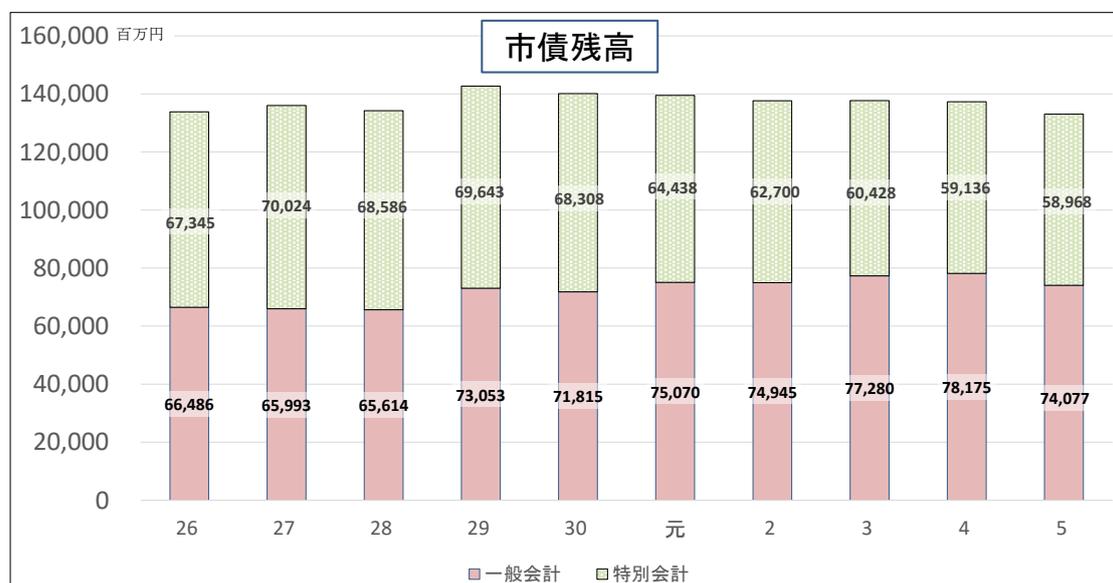
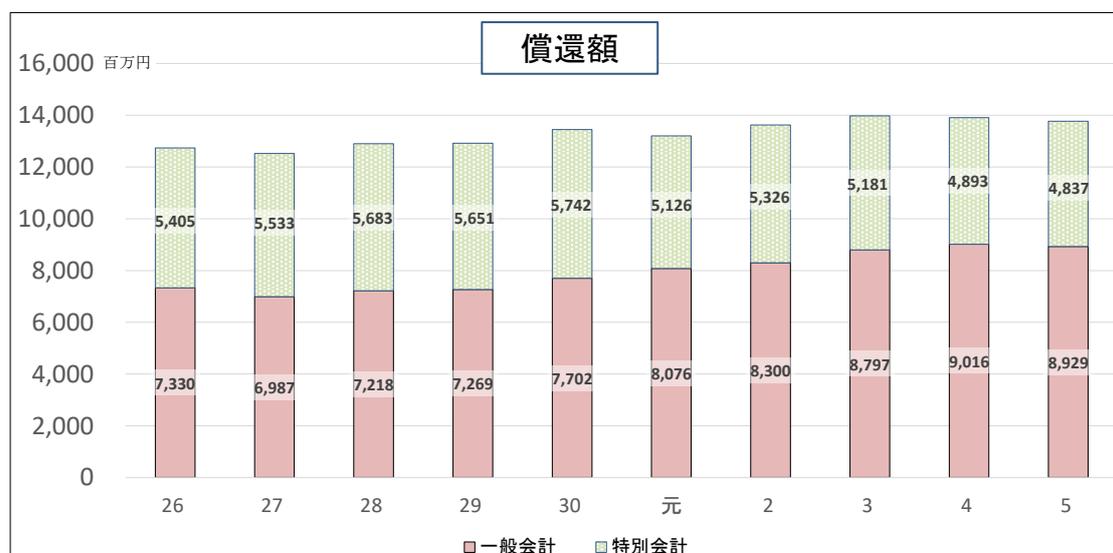
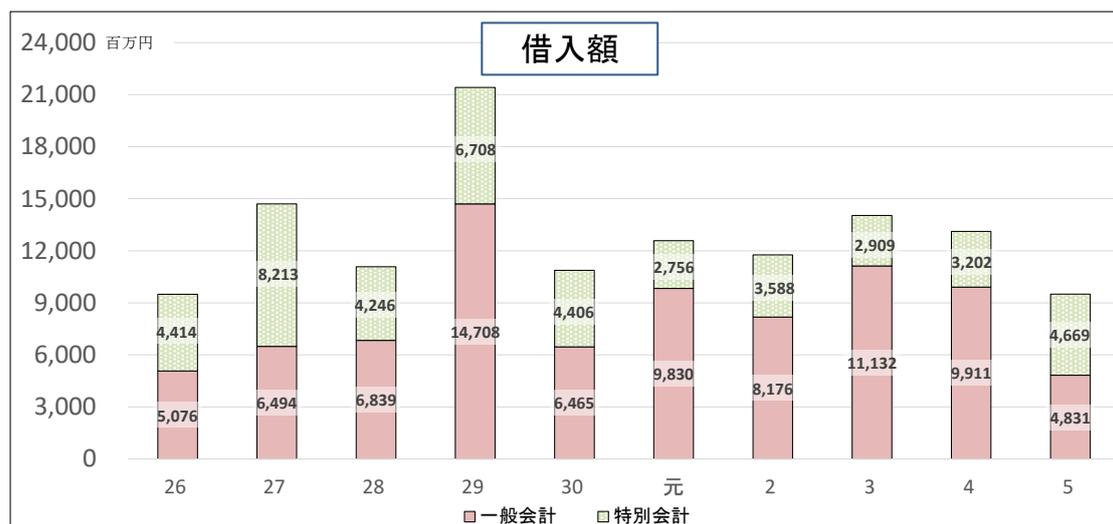


(単位 百万円)

年度	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
一般会計予算総額	131,287	135,920	138,390	152,784	138,553	149,022	148,056	156,268	161,366	160,504
特別会計予算総額	120,826	130,769	127,947	132,661	118,939	120,174	120,509	121,514	124,770	130,792

※特別会計については、下水道事業費、市民病院事業の公営企業会計を含む予算総額です。

7 年度別市債借入・償還及び残高の状況（一般会計・特別会計）



※ 令和3年度までは決算額、令和4年度は2月補正後予算額、令和5年度は当初予算額です。
 ※ 特別会計については、下水道事業費、市民病院事業の公営企業会計を含みます。

会計別市債借入・償還及び残高の状況

会 計 区 分		令和3年度末 現在高	令和4年度末 現在高見込額
一 般 会 計		77,280,492	78,174,665
特 別 会 計	北 部 第 二 (三 地 区) 土 地 区 画 整 理 事 業 費	4,534,163	4,635,857
	公 営 企 業 会 計 下 水 道 事 業 費	44,412,972	43,445,744
	市 民 病 院 事 業	11,480,563	11,053,969
	小 計	55,893,535	54,499,713
	計	60,427,698	59,135,570
合 計		137,708,190	137,310,235

※ 令和3年度までは決算額、令和4年度は2月補正後予算額、令和5年度は当初予算額です。

(単位：千円)

令和5年度		令和5年度末 現在高見込額
借入見込額	償還見込額	
4,831,400	8,929,039	74,077,026
608,500	425,886	4,818,471
3,451,400	3,681,235	43,215,909
609,200	729,428	10,933,741
4,060,600	4,410,663	54,149,650
4,669,100	4,836,549	58,968,121
9,500,500	13,765,588	133,045,147

8 特別会計の状況

(1) 北部第二（三地区）土地区画整理事業費

歳 入			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
国 庫 支 出 金	202,356	7.1	99.4
県 支 出 金	59,201	2.1	87.7
繰 入 金	1,687,824	58.9	111.3
諸 収 入	5,200	0.2	103.0
市 債	608,500	21.2	110.8
繰 越 金	100,000	3.5	66.7
保留地処分金収入	200,000	7.0	83.3
合 計	2,863,081	100.0	104.8

(2) 墓園事業費

歳 入			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
使用料及び手数料	395,011	74.7	96.8
財 産 収 入	276	0.0	107.0
繰 越 金	20,000	3.8	80.0
諸 収 入	12,438	2.4	112.6
繰 入 金	100,752	19.1	64.7
合 計	528,477	100.0	88.1

歳 出			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
区画整理事業費	2,420,952	84.6	105.1
公 債 費	442,029	15.4	103.0
予 備 費	100	0.0	100.0
合 計	2,863,081	100.0	104.8

歳 出			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
墓 園 管 理 費	363,587	68.8	106.6
墓 園 事 業 費	123,506	23.4	188.9
基 金 積 立 金	38,034	7.2	20.0
諸 支 出 金	2,850	0.5	100.0
予 備 費	500	0.1	100.0
合 計	528,477	100.0	88.1

(3) 国民健康保険事業費

歳 入			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
保 険 料	9,027,633	22.9	106.0
国 庫 支 出 金	1,000	0.0	100.0
県 支 出 金	26,352,768	67.0	99.6
財 産 収 入	300	0.0	100.0
繰 入 金	3,640,795	9.2	108.4
諸 収 入	28,850	0.1	100.0
繰 越 金	300,000	0.8	100.0
合 計	39,351,346	100.0	101.8

歳 出			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
総 務 費	506,075	1.3	106.6
保 険 給 付 費	26,007,718	66.1	99.7
国民健康保険事業費 納 付 金	12,418,007	31.5	106.2
保 健 事 業 費	325,428	0.8	104.0
基 金 積 立 金	300	0.0	100.0
公 債 費	2,124	0.0	100.0
諸 支 出 金	61,694	0.2	96.3
予 備 費	30,000	0.1	100.0
合 計	39,351,346	100.0	101.8

(4) 介護保険事業費

歳 入			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
保 險 料	7,105,343	21.3	98.8
国 庫 支 出 金	7,004,874	20.9	102.5
支 払 基 金 交 付 金	8,747,566	26.2	106.7
県 支 出 金	4,606,803	13.8	103.7
財 産 収 入	200	0.0	100.0
繰 入 金	5,941,223	17.8	115.8
諸 収 入	11,074	0.0	57.8
繰 越 金	200	0.0	100.0
合 計	33,417,283	100.0	105.0

(5) 後期高齢者医療事業費

歳 入			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
保 險 料	6,172,077	87.2	100.8
繰 入 金	886,706	12.5	102.1
諸 収 入	20,900	0.3	100.0
合 計	7,079,683	100.0	100.9

歳 出			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
総 務 費	807,152	2.4	99.1
保 険 給 付 費	30,928,700	92.6	107.1
地 域 支 援 事 業 費	1,530,744	4.6	72.9
基 金 積 立 金	200	0.0	100.0
公 債 費	100	0.0	100.0
諸 支 出 金	148,387	0.4	1,038.4
予 備 費	2,000	0.0	100.0
合 計	33,417,283	100.0	105.0

歳 出			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
総 務 費	70,633	1.0	103.4
後期高齢者医療広域 連 合 納 付 金	6,986,650	98.7	100.9
諸 支 出 金	20,400	0.3	100.0
予 備 費	2,000	0.0	100.0
合 計	7,079,683	100.0	100.9

(6) 下水道事業費

		収 入			
		区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
収 益 的 収 支		営 業 収 益	11,122,008	82.4 (59.3)	107.3
	内 訳	下 水 道 使 用 料	6,926,831	51.3 (36.9)	109.3
		他 会 計 負 担 金	4,141,571	30.7 (22.1)	103.8
		受 託 事 業 収 益	53,606	0.4 (0.3)	129.9
		営 業 外 収 益	2,377,463	17.6 (12.7)	98.2
	内 訳	他 会 計 負 担 金	304,360	2.3 (1.6)	105.9
		国 県 補 助 金	28,750	0.2 (0.2)	95.8
		そ の 他	2,044,353	15.1 (10.9)	97.2
		特 別 利 益	0	— (—)	0.0
		計	13,499,471	100.0 (72.0)	105.5
資 本 的 収 支		資 本 的 収 入	5,260,273	100.0 (28.0)	155.1
	内 訳	企 業 債	3,451,400	65.6 (18.4)	138.7
		受 益 者 負 (分) 担 金	46,906	0.9 (0.2)	109.0
		他 会 計 出 資 金	124,894	2.4 (0.7)	113.0
		国 県 補 助 金	1,592,460	30.3 (8.5)	234.4
		他 会 計 負 担 金	44,247	0.8 (0.2)	62.2
		そ の 他	366	0.0 (0.0)	71.5
	合 計	18,759,744	(100.0)	115.9	

() 内は合計に対する構成比を示す。

		支 出			収支差引額 千円
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %		
営 業 費 用	12,471,599	95.0 (54.4)	108.2	△ 1,349,591	
営 業 外 費 用	644,018	4.9 (2.8)	88.7	1,733,445	
特 別 損 失	0	— (—)	0.0	0	
予 備 費	10,000	0.1 (0.0)	100.0	△ 10,000	
計	13,125,617	100.0 (57.2)	107.0	373,854	
資 本 的 支 出	9,832,807	100.0 (42.8)	129.5	△ 4,572,534	
内 訳	建設改良費	6,151,472	62.6 (26.8)	162.6	
	企業債償還金	3,681,235	37.4 (16.0)	96.8	
	貸 付 金	0	0.0 (0.0)	0.0	
	予 備 費	100	0.0 (0.0)	100.0	
合 計	22,958,424	(100.0)	115.6	△ 4,198,680	

(7) 市民病院事業

		収 入			
		区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
収 益 的 収 支		医 業 収 益	19,708,488	90.4 (87.1)	100.6
	内 訳	入 院 収 益	13,364,978	61.3 (59.1)	100.7
		外 来 収 益	5,888,523	27.0 (26.0)	100.9
		そ の 他	454,987	2.1 (2.0)	94.8
		医 業 外 収 益	2,098,313	9.6 (9.3)	99.3
	内 訳	他 会 計 負 担 金	1,487,418	6.8 (6.6)	98.9
		そ の 他	610,895	2.8 (2.7)	100.3
		特 別 利 益	4,368	0.0 (0.0)	—
		計	21,811,169	100.0 (96.4)	100.5
	資 本 的 収 支		資 本 的 収 入	806,928	100.0 (3.6)
内 訳		企 業 債	609,200	75.5 (2.7)	243.8
		負 担 金	197,728	24.5 (0.9)	117.6
	合 計	22,618,097	(100.0)	102.2	

() 内は合計に対する構成比を示す。

		支 出			収支差引額 千円
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %		
医 業 費 用	22,071,317	97.1 (89.7)	100.1	△ 2,362,829	
医 業 外 費 用	496,934	2.2 (2.0)	100.6	1,601,379	
特 別 損 失	162,012	0.7 (0.7)	110.7	△ 157,644	
予 備 費	2,000	0.0 (0.0)	100.0	△ 2,000	
計	22,732,263	100.0 (92.4)	100.2	△ 921,094	
資 本 的 支 出	1,861,346	100.0 (7.6)	133.4	△ 1,054,418	
内 訳	建設改良費	1,129,918	60.7 (4.6)	157.7	
	企業債償還金	729,428	39.2 (3.0)	107.8	
	予 備 費	2,000	0.1 (0.0)	100.0	
合 計	24,593,609	(100.0)	102.1	△ 1,975,512	

9 市政運営の総合指針2024体系別「予算の概況」掲載事業一覧

体系コード	事務事業名	課名	頁
まちづくりテーマ1 「安全で安心な暮らしを築く」			
1 災害対策の充実			
11	防災設備等整備事業費	防災政策課	88
21	危機管理対策事業費	危機管理課	89
31	建築物等防災対策事業費	建築指導課	218
41	公園改修費（法面对策）	公園課	244
51	緑地改修事業費	みどり保全課	97
61	一色川改修費	河川水路課	230
71	大規模震災等対策強化事業費	警防課	253
81	本町出張所改築整備事業費	消防総務課	254
2 防犯・交通安全対策の充実			
11	街頭防犯カメラ設置推進事業費	防犯交通安全課	102
21	防犯対策強化事業費	防犯交通安全課	100
31	自転車駐車場整備費	道路河川総務課	228
41	市道新設改良費（自転車走行空間整備事業）	道路整備課	224
51	道路安全対策費	道路維持課	225
3 感染症対策の強化			
11	感染症対策事業費（新型コロナウイルス感染症対策事業）	保健予防課	177
まちづくりテーマ2 「健康で豊かな長寿社会をつくる」			
1 地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
11	包括的支援体制推進事業費	地域共生社会推進室	112
21	生活困窮者自立支援事業費	地域共生社会推進室	111
31	成年後見制度等推進事業費	地域共生社会推進室	110
41	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費	地域共生社会推進室	114
51	障がい者相談支援事業費	障がい者支援課	126
61	【特別会計】介護保険事業費（包括的支援事業）	高齢者支援課・地域医療推進課	295
62	生活支援体制整備事業費	地域共生社会推進室	133
63	地域包括支援センター運営事業費	高齢者支援課	133
2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
11	健康づくり推進事業費	健康づくり課	168

体系コード	事務事業名	課名	頁
21	がん検診事業費	健康づくり課	169
31	【特別会計】介護保険事業費（一般介護予防事業費）	高齢者支援課	295
32	地域介護予防活動支援事業費	高齢者支援課	132
3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
11	ミライカナエル活動サポート事業費	市民自治推進課	79
21	六会地区まちづくり事業費	六会市民センター	61
31	片瀬地区地域まちづくり事業費	片瀬市民センター	62
41	明治地区まちづくり事業費	明治市民センター	63
51	御所見地区地域まちづくり事業費	御所見市民センター	64
61	遠藤まちづくり推進事業費	遠藤市民センター	65
71	長後地域活性化事業費	長後市民センター	66
81	辻堂地区地域まちづくり事業費	辻堂市民センター	67
91	善行地区まちづくり事業費	善行市民センター	68
101	湘南大庭地域まちづくり事業費	湘南大庭市民センター	69
111	湘南台地域まちづくり事業費	湘南台市民センター	70
121	鶴沼地区まちづくり事業費	鶴沼市民センター	71
131	藤沢地区まちづくり事業費	藤沢公民館	72
141	村岡いきいきまちづくり事業費	村岡公民館	73
171	村岡公民館改築事業費	村岡公民館	282

まちづくりテーマ3 「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」

1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

11	教育情報機器関係費	教育総務課	259
21	教育情報化推進事業費	教育総務課	263
31	学校運営協議会推進事業費	教育総務課	276
41	特別支援教育整備事業費	教育指導課	266
51	諸整備事業費（特別支援学校）	学校施設課	274
61	鶴南小学校改築事業費	学校施設課	269
62	鶴沼中学校改築事業費	学校施設課	274
63	辻堂小学校改築事業費	学校施設課	270

2 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

11	法人立保育所等施設整備助成事業費	子育て企画課	146
21	法人立保育所運営費等助成事業費（病児保育）	保育課	144

体系コード	事務事業名	課名	頁
41	妊娠・出産包括支援事業費	健康づくり課	166
51	少年の森整備事業費	青少年課	151
61	放課後児童クラブ整備事業費	青少年課	155
71	放課後児童健全育成事業費	青少年課	154
81	医療的ケア児保育事業費	保育課	146
91	養育費確保支援事業費	子育て給付課	141
101	市立保育所整備費（主食提供）	保育課	142
111	医療的ケア児等支援事業費	子ども家庭課	160
121	小児医療助成費	子育て給付課	136
3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
11	就労支援事業費	産業労働課	187
21	児童生徒学習支援関係費（学習支援事業）	教育指導課	264

まちづくりテーマ4 「都市の機能と活力を高める」

1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

11	【特別会計】墓園事業費（大庭台墓園立体墓地再整備事業）	福祉総務課	293
21	環境事業センター整備費	環境事業センター	183
31	一般廃棄物中間処理施設整備事業費	北部環境事業所	186
41	村岡地区都市拠点総合整備事業費	都市整備課	239
51	長後地区整備事業費	都市整備課長後地区整備事務所	238
71	藤沢駅周辺地区再整備事業費	藤沢駅周辺地区整備担当	237
81	健康と文化の森整備事業費	西北部総合整備事務所	233
91	市道新設改良費（藤沢652号線）	道路整備課	224
101	善行長後線街路新設事業費	道路整備課	240

2 住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築

11	空家対策関係費	住宅政策課	247
21	住宅政策推進費	住宅政策課	246
31	総合交通体系推進業務費	都市計画課	231

3 地域経済循環を高める経済対策の推進

11	誘客宣伝事業費	観光課	210
21	観光施設整備費	観光課	216
31	農業基盤整備事業費（耕作条件の改善支援（城・稲荷地区））	農業水産課	198

まちづくりテーマ5 「未来を見据えてみんなではじめる」

1 豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進

11	環境基本計画関係費	環境総務課	90
21	地球温暖化対策関係事業費	環境総務課	90
31	環境啓発推進事業費	環境総務課	92
41	海岸美化関係費	環境総務課	98
51	ごみ減量推進事業費（プラスチックごみ削減等）	環境総務課・環境事業センター	179
61	緑地保全事業費（樹林地復元）	みどり保全課	93
71	自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略）	みどり保全課	94
81	【特別会計】下水道事業費（辻堂浄化センター雨水滞水池等）	下水道総務課 ほか2課	298

2 デジタル市役所・スマートシティの推進

11	デジタル推進事業費	デジタル推進室	56
21	スマートシティ推進事業費	デジタル推進室	58
31	マイナンバーカード普及促進事業費	市民窓口センター	83

3 人材育成の推進

11	職員採用関係費	職員課	41
21	職員基本研修費	職員課	43
31	職員専門研修費	職員課	43
41	介護人材育成支援事業費	介護保険課	108
51	法人立保育所運営費等助成事業費（保育士確保）	保育課	144
61	幼稚園人材確保支援事業費	保育課	150
71	担い手育成支援事業費	農業水産課	193

4 次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信

11	生活・文化拠点再整備費	企画政策課	52
21	アートスペース運営管理費	文化芸術課	285
31	景観資源推進費	街なみ景観課	232
41	シティプロモーション関係費	広報シティプロモーション課	48

5 市民参加型東京2020大会のレガシー創出

11	チームFUJISAWA2020推進事業費	市民自治推進課	80
21	スポーツ都市宣言推進事業費	スポーツ推進課	288

10 主要な施策の概要

総務費

事業名	都市親善費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 細目 10 説明 01	人権男女共同平和国際課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	17,337				17,337	
令和4年度	13,333				13,333	
対前年度	4,004				4,004	
特定財源の内訳	(その他)	平和基金繰入金				17,337

【事業概要】

姉妹友好都市を中心とした海外等諸都市との友好関係を深めるとともに、市民の国際理解の推進を図るため、都市親善交流を行う。

1. 姉妹友好都市等との親善事業 9,666 千円
 姉妹友好都市をはじめとする諸都市との親善交流を目的とした事業を、藤沢市都市親善委員会に委託して実施する。
 - (1) マイアミビーチ市との交流（姉妹都市提携65周年記念事業）
 - ・公式訪問団受入 9月（予定）
 - ・公式訪問団派遣 11月（予定）
 - (2) 昆明市との交流
 - (3) ウィンザー市との交流
 - (4) 保寧市との交流
 - ・保寧市青少年との交流事業
 - 保寧市青少年の受入：7～8月（予定）
 - 内容：藤沢市青少年との交流、ホームステイ等
 - (5) 湘南藤沢市民マラソンへの姉妹友好都市招待
 姉妹友好都市の方々を湘南藤沢市民マラソンへ招待し、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図る。

2. ふじさわ国際交流フェスティバルの開催 975 千円
 外国につながるのある市民との交流や異文化への理解を深めるための事業を、ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会に委託して実施する。
 - ・開催時期：10月（予定）

3. 聶耳記念碑保存会への助成 250 千円

4. 事務経費 6,446 千円
 - ・旅費 5,591 千円
 - ・報償費、需用費、役務費 855 千円



藤沢市・マイアミビーチ市
姉妹都市提携60周年記念事業の様子



保寧市青少年受入の様子

総務費

事業名	職員採用関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 2 細目 01 説明 01	職員課				
指針体系コード	5-3-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	19,799					19,799
令和4年度	12,802					12,802
対前年度	6,997					6,997

【事業概要】

社会情勢の変化に適応できる柔軟性や、魅力あるまちづくりを形成するための発想力、住民の参画意識を高めるためのコミュニケーション能力など、変革性・チャレンジ精神を持った人材を確保するため、採用情報の効果的な周知を図るとともに、本市の将来を担うことができる人材の採用につながる職員採用試験を実施する。

1. 採用情報の周知 1,283 千円
就職情報サイトや求人広告等に採用情報を掲載し、広く周知を図る。
2. 採用支援ツールの活用 3,525 千円
採用試験の実施にあたり、求める人材像を可視化し、求める人材に直接アプローチを図るため、採用支援ツールを活用する。
3. 採用試験の実施 13,035 千円
インターネット上で受験可能なWeb方式などニーズに沿った効果的な手法を導入した採用試験を実施することで、公務員志望者だけでなく民間企業志望者からの応募も併せて促進する。
4. 採用イベントへの出展 800 千円
対面式の採用イベントに出展することで、直接本市の魅力や採用情報を周知し、多くの学生等に対し、応募・受験を促進する。
5. 事務経費 1,156 千円

総務費

事業名	労務管理費					
予算科目	款 2 項 1 目 2 細目 01 説明 03	職員課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	46,918					46,918
令和4年度	73,432					73,432
対前年度	△ 26,514					△ 26,514

<拡充事業> クラウド型勤怠管理等システム及び端末の導入

【施策等を必要とする背景】

現在、学校職場においては出退勤の管理や各種申請などを紙帳票で管理しているが、業務の効率化、生産性向上をめざし、デジタル市役所の実現に資するシステムを導入する。

【提案に至るまでの経緯】

学校職場におけるシステムの導入については、端末やネットワークの問題が課題となり実施できなかった経緯があるが、多種多様なクラウドサービスの登場などにより、課題解決に向けた方策が定まったため、提案するに至った。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、現在紙帳票にて管理していることによる事務の煩雑さなどの問題点が解消され職員の業務負担の軽減、及び業務の効率化が図られる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

- ・令和5年度 1,962千円
- ・令和6年度以降 7,878千円

【事業概要】

適正な労務管理をするための経費及び一般事務費

1. 特別職職員報酬審議会の開催	314 千円
2. 給与支払い事務	1,585 千円
3. 共済組合に関する事務	17,914 千円
4. 人事給与システムによる人事給与情報の管理	27,105 千円
・庶務事務システム賃借料（再リース）	9,881 千円
・人事給与システム賃借料（再々リース）	10,297 千円
・人事給与・庶務事務システム賃借料（新規リース）	4,965 千円
(拡) ・クラウド型勤怠管理等システム利用に伴う端末の賃貸借	1,962 千円

総務費

事業名	職員基本研修費					
予算科目	款 2 項 1 目 3 細目 01 説明 01			職員課		
指針体系コード	5-3-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	11,098					11,098
令和4年度	10,098					10,098
対前年度	1,000					1,000

【事業概要】

多様化する市民ニーズや社会情勢の変化、幅広い課題に迅速かつ的確に対応するため、人材育成基本方針に基づき、職員一人ひとりの資質の向上・組織力の向上を図り、市民サービスの向上につながるよう、職員の成長段階に応じた能力向上や自己啓発の推進のための基本研修・職場研修等を実施する。

1. 基本研修・職場研修の実施 9,969 千円
 変革性・チャレンジ精神の醸成に向けて、政策形成研修、キャリア関連研修及びDX関連研修などの基本研修並びに職場研修を実施する。
 - (1) 各種研修受講機会の拡充
 研修生のニーズの多様化や、より効果的な人材育成に資するため、オンラインで受講可能な約8,000本の動画研修コンテンツが用意されている民間ツールを導入する。
 - (2) DX関連研修の拡充
 デジタル推進室との連携を強化し、職員がDXを実践するために必要な知識・意識の向上を図るため、基本研修をはじめとする各研修において、関連科目を拡充する。
 - (3) キャリア関連研修の拡充
 ジョブローテーションの見直しなどを踏まえ、入庁後一定期間内にゼネラリストとしての能力向上を図るため、採用8年目までの基本研修において、キャリア関連研修を拡充する。

2. 事務経費 1,129 千円

総務費

事業名	職員専門研修費					
予算科目	款 2 項 1 目 3 細目 01 説明 02			職員課		
指針体系コード	5-3-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	7,006				600	6,406
令和4年度	7,006				600	6,406
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	(公財)神奈川縣市町村振興協会中央研修所等受講助成金				600

【事業概要】

多様化する市民ニーズや社会情勢の変化、幅広い課題に迅速かつ的確に対応するため、人材育成基本方針に基づき、職員一人ひとりの資質の向上・組織力の向上を図り、市民サービスの向上につながる専門的な知識やスキルを習得するため、専門研修・派遣研修を実施する。

1. 専門研修・派遣研修の実施 4,676 千円
 市民サービスの向上につながる専門的な知識やスキルの習得のため、庁内での専門研修の実施のほか、専門機関主催研修や民間企業への派遣研修を実施する。

2. 事務経費 2,330 千円

総務費

事業名	広報ふじさわ発行費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 01	広報シティプロモーション課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	81,309				7,350	73,959
令和4年度	77,778				7,350	70,428
対前年度	3,531				0	3,531
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				7,350

【事業概要】

市民の市政への理解を深め市民参加による市政運営を図るため、市の施策や催しなど市民生活に必要な情報を「広報ふじさわ」を発行することにより提供する。

- 「広報ふじさわ」の作成及び配布 75,477 千円
 月2回、1号当たり約165,000部発行予定
 ・ 広報ふじさわ印刷製本費 47,808 千円
 ・ 広報ふじさわ梱包配布及び郵送準備業務委託料 10,794 千円
 ・ 広報紙編集等業務委託料 16,875 千円
- 「点字版広報ふじさわ」及び「声の広報」作成及び配布 5,284 千円
 視覚障がいのある方等を対象に、「点字版広報ふじさわ」と「声の広報（音声版広報ふじさわ）」を作成し配布する。
 月2回、1号当たり点字版25部・音声版60部発行予定
- 事務経費 548 千円

総務費

事業名	CATV等視覚広報事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 02	広報シティプロモーション課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	27,038				24	27,014
令和4年度	27,038				24	27,014
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				24

【事業概要】

ケーブルテレビ等を利用し、市の施策や事業、市内の出来事、地域で活躍する人物等を広く市民に周知紹介するため、映像による広報番組を制作し放映する。

- CATV放映藤沢市広報番組制作業務委託 24,950 千円
 市広報番組「ふじさわ情報ナビ」を制作し、放映する。また、災害等緊急時には、被害状況や避難案内、ライフラインの復旧状況等きめ細かい情報提供を行う。
 ・ 15分番組年52回制作（毎週更新）
- tvk放映藤沢市広報番組制作業務委託 2,032 千円
 tvkで放送中の番組「猫のひたいほどワイド」内で、藤沢市のイベントや事業の告知を行う。
 ・ 毎月1回（年12回）放映
- 事務経費 56 千円

総務費

事業名	FM放送事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 03	広報シティプロモーション課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	45,949					45,949
令和4年度	45,949					45,949
対前年度	0					0

【事業概要】

FM放送を媒体として、市の広報番組を制作・放送し市民等に的確な情報発信を行うほか、災害発生時、防災ラジオとしての役割を果たせるよう環境を整備する。

1. エフエム放送藤沢市広報番組制作業務委託 45,949 千円
市広報番組・特別番組の制作、放送、及び緊急時のための試験放送を行う。
 - (1) 藤沢市広報番組
 - ・ハミングふじさわ（30分番組：月～金曜日 1日2回放送）
 - ・ハミングインフォメーション（5分番組：毎日 1日3回放送）
 - ・ラジカルなび（外国語講座）（5分番組：月～金曜日 1日2回放送）
（英語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語・中国語）
 - (2) 特別番組（60分番組：年5回放送）
各地域や団体等が行っているさまざまな取組やイベント等の公開収録・放送を行う。
 - (3) 緊急放送設備等保守点検及び試験放送
「災害時等における放送協力に関する協定書」に基づき、市民等に災害情報を迅速、かつ的確に発信できるよう、緊急放送設備等保守点検及び試験放送（原則第2木曜日）を行う。

総務費

事業名	ホームページ運営管理費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 04			広報シティプロモーション課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	13,158				1,000	12,158
令和4年度	12,563				1,000	11,563
対前年度	595				0	595
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				1,000

【事業概要】

ホームページを媒体として、市民等の市政への理解と周知を図るため、各課がホームページを作成するためのコンテンツマネジメントシステム（ウェブページを構成するテキストや画像、レイアウト情報などを一元的に保存・管理しサイトを構築・編集するシステム）の運営、管理等を行う。

1. インターネット活用業務委託 2,229 千円
 - ・ 特殊なページの公開作業やアクセス数集計などを業務委託により実施
 - ・ ホームページの改ざん防止や情報の暗号化など、ウイルス対策を実施

2. 藤沢市ホームページ等気象情報提供業務委託 1,023 千円

日本気象協会から提供される防災気象情報をPC版ホームページや携帯版ホームページ等に掲載する。

3. ウェブサイト管理システム利用料 9,597 千円

各課がホームページを作成するためのコンテンツマネジメントシステムサービスを利用する。

4. 事務経費 309 千円

事業名	(新)コンタクトセンター関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 07	市民相談情報課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	215,245		49,385			165,860
令和4年度	0		0			0
対前年度	215,245		49,385			165,860
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				49,385

【施策等を必要とする背景】

現在国は、デジタル庁を推進の旗振り役として、行政のデジタル化に向けて急速な改革を進めている。各自治体においても2040年問題への対応や内部事務の効率化、市民の利便性の向上など、デジタル市役所の実現に向けたさらなる取組の推進が求められており、広聴についても、従来の電話だけでなく、デジタルツールを活用して、市民の利便性向上と職員の業務負担軽減につながる仕組みを検討する必要性が生じている。

【提案に至るまでの経緯】

D X推進計画に定める基本的な考え方に基づく、デジタル化の推進を踏まえた環境整備の一環として、デジタルツールを活用することにより、市民等からの問い合わせに、一元的かつワンストップで対応するコンタクトセンターの構築・運営について検討を進めた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

D X推進計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

F A Qサイトを構築・運営することにより、市民等が市政に関する疑問・質問等を、24時間・365日自己解決を図ることが可能な環境を提供することができ、市民の利便性向上と職員の負担軽減につながる。

2. 将来にわたる費用

コンタクトセンターの運営は令和5年10月から業務委託による実施を予定しており、令和6年度以降も継続的な支出が必要となる。

【事業概要】

電話、問い合わせフォーム（電子メール）、チャット等、多様なチャネルによる市民等からの問い合わせに一元的かつワンストップで対応するコンタクトセンターを運営するとともに、市民等が市政に関する疑問・質問等を自己解決できるよう、F A Qサイト等をインターネット環境下に構築・運営する。

- 1. コンタクトセンター運営管理業務委託
コンタクトセンターの構築・運営 215,245 千円

総務費

事業名	シティプロモーション関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 03 説明 01	広報シティプロモーション課				
指針体系コード	5-4-41	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	17,359		0			17,359
令和4年度	17,930		163			17,767
対前年度	△ 571		△ 163			△ 408

【事業概要】

藤沢の魅力やイメージを効果的かつ継続的にアピールすることで、藤沢のブランド価値を高め、発展させていくため、「ふじさわシティプロモーション推進方針（第2期）」に基づき、「キュンとするまち。藤沢」のキャッチフレーズのもと、市民や企業（団体）等を巻き込んだ「市民参加型」のプロモーションを展開する。

また、SNSを主にした情報発信を強化するとともに、「クチコミ」やSNSの拡散効果を活用し、知名度やブランド力の向上を図る。

1. ふじさわシティプロモーション推進事業業務委託 9,364 千円
 SNSを活用し、より積極的に藤沢の魅力や情報を発信するとともに、SNSの強い拡散力を生かし、市民自らが藤沢の魅力発信する等の行動（アクション）を促す取組を行う。
2. ふじさわファンクラブ事務局運營業務委託 2,093 千円
 藤沢を応援するコミュニティである「ふじさわファンクラブ」活動を推進する取組を行う。
3. 公式WEBサイト運用管理業務委託 2,497 千円
 ふじさわシティプロモーション公式WEBサイトの運用管理を行う。
4. キャラクターデザイン作成業務委託 99 千円
 公式マスコットキャラクター「ふじキュン♡」の新規イラストデザインの作成を行う。
5. 市民アンケート調査の実施 365 千円
 藤沢への愛着度や居留意欲、ふじさわシティプロモーションの認知度等を測定するため、市民アンケート調査を行う。
6. シティプロモーション関係事務経費 2,941 千円
 - ・報償費（講師謝礼等） 552 千円
 - ・旅費 26 千円
 - ・役務費（郵便料、クリーニング等） 415 千円
 - ・その他（啓発品、消耗品等） 1,948 千円

総務費

事業名	ふるさと納税関係事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 6 細目 02 説明 01			財政課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	150,000					150,000
令和4年度	100,000					100,000
対前年度	50,000					50,000

【事業概要】

ふるさと納税制度を活用した寄附金募集を行い、シティプロモーションに資するお礼品等を寄附者に贈呈する。

- ふるさと納税関係事務に係る委託料等 150,000 千円
 インターネット上での寄附金の受付・決済・お礼品の選択等を行うサイト運営、寄附金の収納管理、お礼品の発注・配送・問合せへの対応、寄附受領証明書の発行等を行う。
 また、関係各課等と連携し、観光客等にも寄附しやすい仕組みの導入や各種媒体に本市のお礼品情報を含む広告を掲載するほか、過去に寄附していただいた方に対して、引き続き本市を応援していただくために、お礼品の情報等を発信するなど、さらなる寄附の拡大を図る。

総務費

事業名	広域行政推進関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 01 説明 01			企画政策課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	258					258
令和4年度	270					270
対前年度	△ 12					△ 12

【事業概要】

藤沢市、茅ヶ崎市及び寒川町の2市1町で構成する湘南広域都市行政協議会において、広域的な連携による住民サービスの向上、地域の活性化及び行政の合理化と効率化の実現のため、行政事務、都市農業、地球温暖化防止、文化振興、産業振興等、各分野の調査研究及び事業等を実施する。

また、その他の近隣市との間においても、共通した行政課題の解決に向けて、情報共有及び検討、協議等を行う。

- 湘南広域都市行政協議会（2市1町）での取組 98 千円
 各市町の関係部署の職員で構成する7つの専門部会等で、各取組に関する連絡調整や調査研究を行う。また、協議会の取組に関する進捗管理や基本的な事項を決定するため、各市町の市長・町長等で構成する定例会及び企画担当部長等で構成する幹事会を開催する。
- 事務経費 160 千円

総務費

事業名	企画業務関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 01 説明 02			企画政策課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	10,531					10,531
令和4年度	14,320					14,320
対前年度	△ 3,789					△ 3,789

【事業概要】

国・県の動向や社会経済情勢の急激な変化、多様化する市民ニーズに対応するため、政策の総合調整、重要施策に係る企画立案を行うとともに、緊急性の高い重要な課題に対し、迅速な対応を図る。

1. 市政運営の総合指針の推進 627 千円
 変化する社会情勢や市民ニーズに対応し、長期にわたって行政計画を継続できる仕組みとして重点化プログラムである「市政運営の総合指針2024」を推進する。
 また、施策評価を行うため、市民満足度等の意識調査を実施する。
2. 藤沢市総合教育会議の運営 90 千円
 市長と教育委員会の円滑な意思疎通により、本市の教育の課題やあるべき姿を共有し、次代を担うすべての子どもたちを市全体で見守り、育む取組を協議するため、「藤沢市総合教育会議」を運営する。
3. SDGs（持続可能な開発目標）の推進 180 千円
 SDGsのより一層の普及啓発に加え、一人ひとりの理解の深化をめざし、多様なステークホルダーと連携しながら、ワークショップや講演会、セミナー等を開催する。
 また、令和4年度から施行した「ふじさわSDGs共創パートナー制度」について、新たなパートナー間の交流や協働を促進する。
4. 未来共創に係るセッションの実施 4,598 千円
 地域住民をはじめとする地域における多様な関係者が、バックキャストイングの考え方を取り入れ、対話することで、持続可能な「まち」の共創をめざすワークショップを開催する。
5. 緊急課題への対応 3,000 千円
 年度途中に発生した緊急かつ重要な特定課題に対し、必要な調査研究を実施し、さまざまな課題に対応する施策等の総合調整を図る。
6. 事務経費 2,036 千円
 - ・講師謝礼 146 千円
 - ・旅費 260 千円
 - ・その他 1,630 千円

総務費

事業名	行政改革等推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 02 説明 01	行革内部統制推進室				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	10,204					10,204
令和4年度	8,773					8,773
対前年度	1,431					1,431

【事業概要】

コロナ禍、物価高騰等による社会経済情勢の急激な変化や本市の現状と将来課題を踏まえ、限られた財源・人員を効率的かつ効果的に活用するなど、行財政改革等に取り組むことで持続可能な行財政運営を推進する。

1. 行財政改革の推進 9,828 千円
 行財政改革2024基本方針に基づく実行プランの取組を着実に進めるため、行財政改革協議会を開催し、その進捗管理等を行う。
 また、デジタルツールを活用することにより、業務の可視化を目的とした全庁業務棚卸を実施するとともに、議事録作成等の業務の効率化を図る。

2. 指定管理者制度の総括及び出資団体への指導 165 千円
 指定管理者制度の円滑な運用を図るため、制度全体を総括するとともに、市民サービスの質的向上を図る観点から指定管理者に対する評価を実施する。
 また、出資団体改革基本方針に基づき、出資団体改革を推進する。

3. 事務経費 211 千円

総務費

事業名	生活・文化拠点再整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 03 説明 02	企画政策課				
指針体系コード	5-4-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	35,203				34,262	941
令和4年度	13,806				12,427	1,379
対前年度	21,397				21,835	△ 438
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				34,262

【事業概要】

市民会館及び旧南市民図書館の建て替えに合わせ、市民ギャラリーや文書館等の公共機能を複合化して奥田公園を含むエリアを整備するため、生活・文化拠点再整備基本計画を策定するとともに、事業者公募資料の作成等を行う。

1. アーバンデザインガイドライン策定委員会委員報酬 114 千円
生活・文化拠点再整備基本計画の策定に向けて、都市拠点のあり方やデザインの視点から、再整備において留意すべき点等を学識者で構成する委員会で整理する。
2. シンポジウム開催及び関係団体等意見交換謝礼 400 千円
生活・文化拠点再整備事業について、市民と共有を図るためシンポジウムを開催するほか、各公共機能に係る関係団体と意見交換を行う。
3. 公募資料等リーガルチェック 300 千円
事業者公募資料の作成等にあたり、リーガルチェックを行う。
4. 生活・文化拠点再整備基本計画等策定業務委託【継続費】 14,448 千円
生活・文化拠点の再整備に向けて基本計画を策定する。
5. 生活・文化拠点再整備事業支援業務委託 14,003 千円
事業者公募資料の作成等を行う。
6. 石綿事前調査・分析業務委託 3,050 千円
市民会館、旧南市民図書館等既存施設の解体工事に係る石綿事前調査・分析を行う。
7. 旧近藤邸建物調査委託 2,761 千円
旧近藤邸の躯体等の状況を把握するため建物調査を行う。
8. 事務費（旅費、消耗品費） 127 千円
9. 事業スケジュール

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
基本構想				市民会館閉館期間			
基本計画							
		基本設計・実施設計等					
				解体工事	建設工事		
							開館準備

供用開始

総務費

事業名	基幹系システム関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 01 説明 01			情報システム課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	814,897	106,295				708,602
令和4年度	757,841	62,347				695,494
対前年度	57,056	43,948				13,108
特定財源の内訳	(国庫支出金)	デジタル基盤改革支援補助金				86,975
		マイナンバーカード交付事務費補助金				3,022
		国民年金事務委託金				16,298

【事業概要】

行政事務の根幹である基幹系システム機器等を正常に稼働させ、事務処理の効率化や情報資産の管理の適正化を推進するとともに、国が主導する情報システム標準化に向けた準備を進める。

1. 基幹系システム機器及び基幹系システム用端末等の賃借 599,519 千円
 (主な基幹系業務)
 ・税業務 市県民税、固定資産税、軽自動車税等
 ・住民業務 住民記録、印鑑登録、選挙等
 ・福祉業務 国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、国民年金等
 ・その他業務 収納管理、滞納管理、団体内統合宛名管理等
2. 基幹系システムの運用、管理業務 117,865 千円
 入力データ作成業務委託、派遣S E (9人) の経費等
3. 基幹系システムのセキュリティ対策業務 3,854 千円
 セキュリティコンサルティング、ウイルス対策機器の賃借等
4. 自治体中間サーバー・プラットフォームの運営に係る交付金 6,684 千円
 社会保障・税番号制度において各種情報連携を行うため、地方公共団体情報システム機構が整備・運用する中間サーバー・プラットフォームの共同利用に関連する事務を同機構に委任することに伴う交付金
5. 情報システムの標準化への対応業務 86,975 千円
 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、対象となる情報システムの標準化対応に係る影響調査等を行う経費

総務費

事業名	情報系システム関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 01 説明 02	情報システム課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	662,231					662,231
令和4年度	602,921					602,921
対前年度	59,310					59,310

<拡充事業> 職員ポータルシステムの更新

【施策等を必要とする背景】

現在利用している職員ポータルシステムは令和6年3月に更新を迎えることから、この間のICT技術の進歩や新しい働き方への対応及び利用者からの機能要望や改善の提案を反映させ業務の効率化、生産性向上をめざし、職員ポータルシステムを更新する。

【提案に至るまでの経緯】

現職員ポータルシステムは平成30年3月に導入されたものであるが、この間の自治体を取り巻く環境の変化や2040年問題、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う新しい働き方への対応について、ICTを活用した業務効率化は、全国自治体の共通課題となった。

このことから、現行システムの更新についてDX推進本部会議の配下に「DX環境整備に向けた職員ポータル検討委員会」を設置することで、庁内横断的な検討体制を整備し、現行のシステムにおける課題や各種要望の整理及び新技術の情報収集を行いながら次期職員ポータルシステムについて検討を行った。

令和4年1月～ DX推進本部会議にてDX環境整備に向けた職員ポータル検討委員会の設置について報告

DX環境整備に向けた職員ポータル検討委員会を3回開催

職員ポータルシステムを構成する機能や庁内におけるあり方等、分野ごとに個別部会を設け検討

各種アプリケーション、インフラ基盤に関する情報提供依頼を2回実施

令和4年11月 DX推進本部会議にて次期職員ポータルシステムの検討結果を報告

令和5年1月 プロポーザル公募開始（3月優先交渉権者決定予定）

【市の策定する計画や条例との整合性】

市政運営の総合指針2024 まちづくりコンセプト3 スマート藤沢におけるデジタル市役所の実現について

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、最新の業務アプリケーションやツールの導入及び既存のインフラ基盤を刷新することで、職員に対し快適な業務環境を提供することができる。また、管理職向け端末はセキュリティに配慮したモバイル端末を導入することで、いつでもどこでも職員ポータルにアクセスすることが可能となる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

・令和5年度 61,896千円（令和6年3月運用開始予定で1月分）

・令和6年度以降 523,674千円（令和12年2月末まで）

【事業概要】

庁内の事務効率の向上及び情報セキュリティの確保のため、庁内のIT環境（庁内ネットワーク、職員ポータルシステム、セキュリティ対策等）の整備、運用管理を行うとともに、職員に対する情報セキュリティ研修を実施する。

- (拡) 1. 情報系端末、ネットワーク機器等の賃借・ソフト等の利用 396,434 千円
職員が日常的に使用する情報系端末、サーバ、ネットワーク機器、基本ソフト・アプリケーションのライセンス、職員ポータルシステム（文書管理・財務会計システム、グループウェア）等の賃借及び使用料
- (拡) 2. 職員ポータルシステム等の運用、管理業務 171,341 千円
運用サポート、複合機の管理・保守、インターネット接続専用機器の保守、ネットワーク機器の保守、基本ソフト・アプリケーションのアップデート、職員ポータルシステムの更新に伴う現行システムからのデータ抽出等の業務、各拠点間及びモバイル端末等回線使用料
3. 職員情報化研修 7,700 千円
全職員を対象としたeラーニング研修の実施
4. 神奈川情報セキュリティクラウド（KSC）利用料 77,213 千円
5. 情報系システムのセキュリティ対策業務 9,543 千円
入退室管理機器（監視カメラ等）及び磁気データ消去装置等の賃借、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証継続及び情報機器等処理の手数料



(参考) ISMS (ISO27001) 認定シンボル

○認証登録番号：JQA-IM1515

○認証登録範囲：

総務部情報システム課における、情報システム・ネットワークの運用管理業務

市民自治部市民窓口センターにおける、戸籍法及び住民基本台帳等の各種関係法令に基づく業務（令和2年4月1日付適用宣言書第3版）

○有効期限日：令和6年7月31日

総務費

事業名	デジタル推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 02 説明 01	デジタル推進室				
指針体系コード	5-2-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
区分	事業費	重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	71,070	0				71,070
令和4年度	128,429	29,986				98,443
対前年度	△ 57,359	△ 29,986				△ 27,373

<拡充事業> 行政手続等オンライン化とICTの利活用による内部事務効率化、キャッシュレス化の推進ほか

【施策等を必要とする背景】

現在国は、デジタル庁を推進の旗振り役として、デジタル社会の実現に向けて急速な改革を進めている。各自治体においても2040年問題への対応や市民の利便性の向上、内部事務の効率化など、デジタル市役所の実現に向けたさらなる取組の推進が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

- ・国
 - 令和2年12月 : 「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」を策定
 - 令和3年 5月 : デジタル改革関連法成立
 - 令和3年 9月 : デジタル庁発足
 - 令和4年 6月 : デジタル田園都市国家構想基本方針を閣議決定
- ・本市
 - 令和3年 6月 : 総務常任委員会において「本市におけるDXの取組について」を報告
 - 令和3年11月 : DX戦略推進プロデューサーの任用
 - 令和4年 4月 : 「DX推進計画」及び「スマートシティ基本方針」を策定
 - 令和4年12月 : 総務常任委員会において「今後のデジタル市役所に向けた取組について」を報告

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

DX推進計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

デジタル市役所の実現により、市民の利便性の向上、内部事務の効率化につなげる。
2. 将来にわたる費用

国・県等の動向を見据え、市民の利便性の向上や内部事務の効率化につながる施策に向けた交付金や助成金について、積極的に活用していく。

【事業概要】

市民の利便性の向上や内部事務の効率化を図るため、行政手続等のオンライン化、ICTの利活用による内部事務効率化、キャッシュレス化の推進、デジタル人材の育成等によって、デジタル市役所の実現を推進する。

- (拡) 1. 行政手続等オンライン化とICTの利活用による内部事務効率化 35,097 千円
・各課等の行政手続のオンライン化を支援するとともに、e-k a n a g a w a 電子申請システム等を活用する。
・AI-OCR、RPAツール等、ICTの利活用により事務処理の効率化を図る。
・オンライン手続において、市民向けのランディングページや手続きナビゲーションを設けることで、必要な手続きを簡単に調べることができるなど、オンライン手続の利用促進及び市民の利便性の向上を図る。
・Web会議システムを使用した会議や打ち合わせに対応するため、Web会議の環境整備及び維持管理を行う。
- (拡) 2. キャッシュレス化の推進 4,295 千円
市民センターの窓口における各種証明書の手数料等についてキャッシュレス化を推進し、市民の利便性の向上を図る。
3. デジタル人材の育成 8,659 千円
・各業務における課題整理、解決方法を習得し、業務プロセスの再構築を行うことができるデジタル人材の育成を継続して実施し、DXの推進にかかる体制強化に取り組む。
・DXの推進にかかる管理職層への研修を実施することにより、本市全体のDXに関し、さらなる機運醸成を図る。
4. ITガバナンスの推進 9,300 千円
各課等のシステム調達に対する相談・支援を委託し、効果的なシステムの導入及び経費縮減を図る。
5. DX戦略推進プロデューサーの活用 3,169 千円
自治体DXやスマートシティの一層の推進のため、DX推進本部会議をはじめとした諸会議等において、助言、指導が求められていることから、専門的な知見を持つ外部人材をさらに活用する。
- (新) 6. マイナンバーカード普及促進に向けた取組 6,124 千円
国が進めている自治体マイナポイント事業等を活用し、イベント参加者へポイントを付与することなどにより、市が実施するイベントへの市民の積極的な参加を促すとともに、マイナンバーカードの普及促進を図る。
7. その他事務経費 4,426 千円

総務費

事業名	スマートシティ推進事業費 (前年度事業名：ロボット未来社会推進事業費)					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 03 説明 01	デジタル推進室				
指針体系コード	5-2-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	71,734		3,191			68,543
令和4年度	27,740		0			27,740
対前年度	43,994		3,191			40,803
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				3,191

<拡充事業> 行政課題等の解決に向けたスマートシティ推進実証事業、デジタルデバイド対策事業、スマートシティの推進

【施策等を必要とする背景】

人口減少、少子超高齢化、自然災害の激甚化など、さまざまな社会課題が深刻化する中、限られた人員や財源で持続可能なまちを実現するためにスマートシティの取組を推進している。
 スマートシティの推進にあたっては、デジタル技術やこれまで取組を進めてきたロボット施策を発展させ取り組む必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

- ・国
 令和2年12月：「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」を策定
 令和3年5月：デジタル改革関連法成立
 令和3年9月：デジタル庁発足
 令和4年6月：デジタル田園都市国家構想基本方針を閣議決定
- ・本市
 令和3年6月：総務常任委員会において「本市におけるDXの取組について」を報告
 令和3年11月：DX戦略推進プロデューサーの任用
 令和4年4月：「DX推進計画」及び「スマートシティ基本方針」を策定

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

1. ロボテラスをはじめとして、生活支援ロボットに関する普及啓発事業や次世代のロボット人材を育成するセミナーなどを実施する。
2. スマートシティ施策の推進にあたり、市民意見を取り入れながら実施する。

【市の策定する計画や条例との整合性】

1. DX推進計画
2. スマートシティ基本方針

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果
 スマートシティの推進により、ICTやロボット等の新技術やデータの利活用で本市の抱える諸課題の解決を行い、市民生活の質をさらに向上させ、豊かで暮らしやすいまちを実現する。
2. 将来にわたる費用
 スマートシティ推進のための事業費が継続的に必要となる。
 なお、デジタル庁をはじめとする国の交付金・補助金等、国・県の支援策を積極的に活用する。

【事業概要】

市民生活の利便性や生活の質の向上を目的として、ロボットやICT等の先端技術の活用により、本市が抱える諸課題の解決を行い、新たな価値を創出し続けるスマートシティの取組を推進する。

また、実施にあたっては、市民意見を積極的に取り入れ、庁内関係課、企業、大学、市民など、さまざまな主体との連携を図るとともに、デジタルデバйд対策の強化を図り、誰一人取り残さないまちづくりを進める。

1. 生活支援ロボット普及啓発等推進事業 32,547 千円
地域経済団体と連携し、生活支援ロボットの展示ショールーム「ロボテラス」において、展示するロボットや開催するイベント等を充実させ、ロボットが生活の中で身近に感じられるよう普及啓発等を行う。
2. ロボットに関する次世代人材の育成 2,431 千円
子どもたちがモノづくりの楽しさを体験する中で、ロボットのメカニズムを通じ工学の基礎を学習し、創造性を養うことを目的とした「少年少女ロボットセミナー」を開催する。
- (拡) 3. スマートシティ推進実証事業 4,000 千円
市民生活の利便性や生活の質の向上を目的として、行政が抱えるさまざまな課題の解決や新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式への対応に適したデジタル技術やロボットなどの最先端技術を実証的に活用することで、スマートシティに資する先進的な取組を行う。
- (拡) 4. デジタルデバйд対策事業 9,908 千円
スマートフォン等のデジタル機器の取扱方法を学ぶ講座の開催や相談窓口の設置等、デジタル化に対する不安を解消する機会の提供を行う。
5. 藤沢市LINE公式アカウント運用 3,778 千円
藤沢市LINE公式アカウントを活用し、利用者のニーズに合わせた行政情報の配信やチャットボットによる自動問合せ対応などのサービス提供を行う。
- (拡) 6. スマートシティの推進 18,960 千円
令和4年度に実施した市民ニーズ調査の結果を深化させ、本市が優先して取り組むべきスマートシティ施策の実施に向けた支援を委託する。
7. その他事務経費 110 千円

(4、5、6の事業については、前年度のデジタル推進事業費から移管)

総務費

事業名	郷土づくり推進会議関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 01 説明 01	市民センター・公民館・市民自治推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	6,070				440	5,630
令和4年度	6,057				445	5,612
対前年度	13				△ 5	18
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				440

【事業概要】

地域の特性を生かした郷土愛あふれるまちづくりを推進するため、市民センター・公民館を拠点として市内13地区に設置した郷土づくり推進会議を運営する。

1. 推進会議関係事業費等 6,070 千円

<内訳> (単位：千円)

地区名等	予算額
六会地区	808
片瀬地区	657
明治地区	313
御所見地区	435
遠藤地区	135
長後地区	441
辻堂地区	564
善行地区	332
湘南大庭地区	479
湘南台地区	440
鶴沼地区	389
藤沢地区	184
村岡地区	731
市民自治推進課	162
合計	6,070

<対象経費>

- (1) 郷土づくり推進会議の運営に要する経費
- (2) 郷土づくり推進会議が実施する事業の企画及び実施に要する経費
- (3) 地区内の地域活動の支援に要する経費
- (4) 地区集会の開催に要する経費
- (5) 郷土づくり推進会議に関する地区内の広報活動に要する経費
- (6) 郷土づくり推進会議の運営に必要な学習又は調査研究活動に要する経費

総務費

事業名	六会地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2	項 1	目 1 2	細目 02	説明 01	六会市民センター
指針体系コード	2-3-2 1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,825					1,825
令和4年度	2,175					2,175
対前年度	△ 350					△ 350

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと 六会」を実現するため、さまざまなまちづくり事業を行い、地域の活性化と地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 花の植栽活動等による美しいまちづくり事業 278 千円
 地区内の公園、小・中学校等への花の植栽活動の支援や「六会の美しい庭・風景の写真展」、「ふるさと六会今昔写真展」、「あいさつ声掛け運動」を行い、自然とのふれあいや近所とのつながりを深めるとともに、美しいまちづくりを進める。
 ・ 幼苗の育成及び花苗配付、写真展の開催等（消耗品費・印刷製本費）

2. 六会人材センター推進事業 1,053 千円
 地域の人材発掘やボランティア先とのコーディネート事業等を行うとともに、学習支援などを通じて住民相互のつながりを深めるための方法の検討や地域活動の推進を図る。
 ・ 六会人材センター運営（委託料）

3. 交通不便地区解消検討事業 3 千円
 西俣野地区で運行する予約型乗合タクシーの利用者拡大を図るため、協議会主催の会議に参加するとともに、会報による周知を支援する。
 ・ 会報作成用の用紙（消耗品費）

4. 六会まちおこし活動支援事業 491 千円
 地域の子どもから高齢者・障がい者まで皆が楽しめるイベント等の掘り起こしや人がつながるためのコーディネートを行い、地域文化・郷土を愛する心を醸成し、活気あるまちづくりを推進する。
 (1) 六会日大前駅ロータリーにイルミネーションを設置する。また、年間を通じた六会ふるさと音頭の普及活動を行う。
 ・ イルミネーションの設置（光熱水費・手数料）
 (新) (2) 地域住民の参加を促す、キャンドルナイト事業等を実施する。
 ・ キャンドルの設置（消耗品費）



花の植栽活動等による美しいまちづくり事業（幼苗植替え作業）



六会まちおこし活動支援事業（駅前へのイルミネーション設置等）

総務費

事業名	片瀬地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 02	片瀬市民センター				
指針体系コード	2-3-3 1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,886					1,886
令和4年度	1,938					1,938
対前年度	△ 52					△ 52

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業 1,619 千円
 地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティア活動をしたい人と地域活動をつなぐコーディネート事業、ボランティア活動参加のきっかけづくりを支援する「地域活動見学・ボランティア体験会」、広報紙の発行等を行う。
 ・コーディネーター謝礼等、事業運営に関する経費（委託料）
2. まちかど相談事業 202 千円
 子育て世代や高齢者などの生活支援の充実を図るため、身近な地域の居場所等を活用し臨床心理士等の専門家による相談事業を支援する。
 ・臨床心理士謝礼等、まちかど相談事業に関する経費（補助金）
3. 民俗文化財等継承事業 13 千円
 制作職人の不在により、一旦は途絶えた地域の伝統民芸品である片瀬こまの保存活動を支援し、さらなる普及・発展を図るため、体験会や大会で使用するこまを購入する。
 ・片瀬こま（消耗品費）
4. 緑と花いっぱい推進活動事業 52 千円
 日本有数の観光地である江の島入口の景観の向上を図るため、江の島弁天橋植栽帯の花植え活動を支援する。
 ・花苗、肥料、上下水道代（消耗品費・光熱水費）



片瀬地区人材・情報バンクセンター事業
 (ボランティア体験会「地域の見守り」)



民俗文化財等継承事業
 (片瀬こま大会)

総務費

事業名	明治地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2	項 1	目 1 2	細目 02	説明 03	明治市民センター
指針体系コード	2-3-4	1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,005					1,005
令和4年度	604					604
対前年度	401					401

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「明るく楽しい未来を創るまち、めいじ」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 子育て支援充実事業 294千円
 明治地区内の子育てグループやフリースペースにこここ、市の子育て関係機関等が一堂に集い、団体相互の連携を図るほか、それぞれの活動を地域に発信する「明治発！子育て応援メッセ」を実施し、各団体のブースの開設やシンポジウム等を行う。
 ・子育て応援メッセ開催経費（報償金・消耗品費・印刷製本費）
 ・子育て支援室関連消耗品
2. 歴史・文化継承事業 679千円
 明治地区の歴史文化を継承していくための学習・啓発の場として、明治郷土史料室の企画運営を明治郷土史料室運営委員会に委託し、実施する。
 平成25年に国登録有形文化財に登録された旧三觜八郎右衛門家住宅について、建物の内装や外観のVR映像を引き続き一般公開することで、次世代への継承を図る。
 ・小笠原東陽に係る書物等資料の調査（報償金）
 ・明治郷土史料室の運営（委託料）
 ・旧三觜八郎右衛門家住宅のVR機器の賃貸借（賃借料）
 ・めいじ歴史散策まっぷの更新等（印刷製本費・手数料）
3. 明治地区マナーアップ推進事業 16千円
 自転車運転、歩きタバコ、ごみのポイ捨て等、さまざまな分野で地域のマナー向上を図るため、地域団体や住民、学校等が連携し、地域一丸となり、街頭キャンペーンをはじめとする啓発活動を実施する。
 ・チラシ作成（印刷製本費）
4. 明治地区健康体操支援事業 16千円
 明治地区内住民の健康維持と住民相互の交流を図り、健康でいきいきと生活できる地域づくりを推進するため、自治会・町内会等が中心となって、公園等地区内各所で健康体操を実施することができるよう支援する。
 ・チラシ作成（印刷製本費）



子育て支援充実事業
(明治発！子育て応援メッセの様子)



明治地区マナーアップ推進事業
(マナーアップキャンペーンの様子)

総務費

事業名	御所見地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2	項 1	目 1 2	細目 02	説明 04	御所見市民センター
指針体系コード	2-3-5 1		まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる		
			重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	480					480
令和4年度	480					480
対前年度	0					0

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域資源を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 田園パーク構想推進事業

480 千円

御所見地区の活性化を促進するため、地域団体やボランティアと連携し、農地や樹林地等地域の特性を生かし、「花のまち御所見」推進活動を行い四季折々の花に彩られた安らぎある環境整備を進める。

また、地区内の農畜産物を使用した「御所見グルメ」のさらなる定着及び新たな創出をめざす。

- ・花苗の植栽活動（消耗品費）
- ・地場産食材を使用した「食」の提供促進、地区から望める風景等を題材に行うフォトコンテスト等の開催、地区マスコットキャラクターを使用したPR活動等
(補助金)



「花のまち御所見」推進活動①

〔 ひまわりいっぱい計画（公民館共催事業）
子供たちと一緒に種まきから育てた
約1,000本のひまわり（少年の森） 〕



「花のまち御所見」推進活動②

〔 春の差し芽作業から育てたざる菊
（少年の森駐車場前の畑） 〕



「花のまち御所見」推進活動③

〔 花苗の植栽活動（葛原さとやま広場） 〕



地区PR活動

〔 地区から望める風景等を題材に行った御所見フォトコンテストの入選作品で作成した『2023ごしょみカレンダー』 〕

総務費

事業名	遠藤まちづくり推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 05	遠藤市民センター				
指針体系コード	2-3-6 1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	997					997
令和4年度	878					878
対前年度	119					119

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「人と自然がいきづくまち」夢のあるまち遠藤」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりを推進する。

1. 遠藤魅力アップ推進事業 543 千円
 寒川町との連携による小出川彼岸花まつりや、あじさいまつりの観光客等に対応するための仮設トイレを設置する。また、史跡案内看板の維持補修や地区観光マップの更新を行う。

 - ・地区内のまつりにおける仮設トイレ設置・汲み取り（賃借料・手数料）
 - ・史跡案内看板の維持補修（施設修繕費）
 - ・遠藤地区観光マップを更新・作成（印刷製本費）
2. 自然環境推進事業 126 千円
 地域の交流拠点である「いけのかしら公園」において、地場産野菜等をPRする遠藤朝市の開催を支援する。
 環境保全活動等の後継者育成のため、児童やその保護者等を対象に、地区の自然にふれあいながら、散策や美化活動を行う機会を設ける。

 - ・遠藤朝市の実施（補助金）
 - ・環境保全活動の実施（報償金・消耗品費）
3. 地域活動の広報充実事業 288 千円
 地区内の小中学生を対象に、地域の特産物や特性を意識づけ愛着を持ってもらうため「わがまち遠藤ポスターコンクール」を実施する。
 地域の情報を効果的に発信するため多様な媒体を活用するとともに、紙面でのまちづくりニュースを年1回発行する。

 - ・ポスターコンクールの実施（報償金・消耗品費）
 - ・コンクール優秀作品を使用したポスターの作成（印刷製本費）
 - ・まちづくりニュースの発行（印刷製本費）
4. 高齢者見守りネットワーク体制推進事業 40 千円
 高齢者のための活動を対象者にわかりやすく周知するため、紙資料等を作成する。

 - ・チラシの作成等（消耗品費）
5. 道路環境整備事業
 地区内道路等について自治会ごとに点検し、必要に応じて注意喚起・啓発を行う。
 啓発にかかる資材は他課所管のものを使用する。



遠藤魅力アップ推進事業
(小出川彼岸花まつり)



地域活動の広報充実事業
(わがまち遠藤ポスターコンクール表彰式)

総務費

事業名	長後地域活性化事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 06	長後市民センター				
指針体系コード	2-3-71	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	785					785
令和4年度	932					932
対前年度	△ 147					△ 147

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環」を実現するため、地域の特性を生かした事業を実施することにより、地域の活性化を図る。

1. 健康づくり普及事業 142 千円
 地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を専門機関と協働で実施する。
 ・健康づくりに関する講座の実施（報償金・消耗品費）
2. 長後すくすく応援事業 136 千円
 子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やボランティア等が実施する子育て応援事業を支援する。
 ・子育て応援事業「長後子育てメッセ」の実施（補助金）
3. 地域人材発掘・育成事業 39 千円
 地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成を図るため、地域活動及びボランティア活動に係る情報発信等を行う。
 ・「ボランティアまつり」の実施（消耗品費・保険料）
 ・機関紙「つなぐ」の作成等（消耗品費）
4. ちよご見守りネットワーク事業 59 千円
 住み慣れた地域で安心して生活を続けていくことができるよう、高齢者等を地域で支える「ちよご見守りネットワークシステム」の推進を図る。
 ・「ちよご見守りネットワーク通信」の発行（印刷製本費）
5. 観光・歴史資源開拓事業 242 千円
 観光・歴史資源の開拓を目的として、スタンプラリーや解説板の設置を行う。
 ・歴史観光スタンプラリーの実施（消耗品費・保険料）
 ・解説板の設置（施設修繕費）
6. 交通手段支援事業 14 千円
 交通不便地域の解消に向けた調査・研究を進める。
 ・周知チラシの作成等（消耗品費）
7. 花いっぱい運動推進事業 120 千円
 花があふれる地域づくりのため、花フェスタの開催、花の広場の定例作業、長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇植栽、プランターへの植栽等の活動を支援する。
 ・花フェスタの開催、花の広場の管理、プランターへの植栽等（補助金）
8. 地域活動支援事業 33 千円
 環境美化活動への支援を行う。
 ・環境美化活動に要する用具等（消耗品費）

総務費

事業名	辻堂地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 07	辻堂市民センター				
指針体系コード	2-3-81	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,373					1,373
令和4年度	914					914
対前年度	459					459

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち“湘南辻堂”」を実現するため、各種地域まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

- 辻堂交流事業 793 千円
 地域住民や地域団体などが、それぞれの役割を担いながら、積極的に意見を出し合い、連携・協力する仕組みを充実するための活動支援等を実施する。
 - 子ども向けSDGs関連事業（報償金、消耗品費）
 - 辻堂さんぼ（消耗品費、印刷製本費）
 - 辻堂ストリートギャラリープロジェクト（消耗品費）
 - みんなで美化キャンペーン（消耗品費）
 - 辻堂朝市（消耗品費）
 - 伝統文化継承講座（報償金、消耗品費）
 - 子ども回覧板作成事業（印刷製本費）
- くらし安心・安全事業 331 千円
 災害や犯罪などの脅威への対策や地域住民の健康増進等を図るための活動支援を実施する。
 - 交通事故マップの作成（手数料）
 - 防災講演会（報償金、消耗品費）
 - まちづくり講座（報償金、消耗品費）
- 福祉事業 161 千円
 健康増進など地域福祉の推進のための活動を実施する。
 - 認知症フレンドリーキッズ授業（報償金、消耗品費）
 - 絵ほん語り公演（報償金、消耗品費）
- 広報・啓発事業 88 千円
 辻堂への誇りや愛着を高めてもらうとともに、活動の周知及び参加を促すための取組を実施する。
 - オンラインcafe（消耗品費）
 - 「辻堂プライド」の周知啓発（消耗品費）



辻堂交流事業
(辻堂さんぼ)



くらし安心・安全事業
(防災講演会)



広報・啓発事業
(辻堂プライドロゴマーク)

総務費

事業名	善行地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2	項 1	目 1 2	細目 02	説明 08	善行市民センター
指針体系コード	2-3-9	1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる		
			重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,415					1,415
令和4年度	919					919
対前年度	496					496

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち」の実現に向けた取組として、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 広報・地域ネットワーク構築事業 456 千円
 郷土づくり推進会議の活動を地域住民に周知する。また、地域で活動する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援するとともに、周知・啓発を図る。
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等及び広報紙作成（消耗品費・印刷製本費）
 ・ 地域の活力を生かした事業に対する活動支援（補助金）
2. 交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業 175 千円
 坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することによる不便を感じる人に対する移動手段「のりあい善行」の運営を支援する。
 ・ 地区内への交通不便解消に向けた情報発信に要する紙代等（消耗品費）
 ・ 「のりあい善行」乗車回数券の作成（印刷製本費）
3. 地域共生社会の構築事業 18 千円
 藤沢型地域包括ケアシステムの推進を図るため、支えあいの地域づくりに向けて、地域におけるさまざまな福祉活動を支援するとともに、地区内への情報周知を行う。
 また、こうした良い取組を地区内に広げ、根付かせることを推進する。
 ・ 地区内への地域福祉に関する情報の発信や広報に要する紙代等（消耗品費）
4. 地域活性化に向けた取組の支援・推進事業 766 千円
 善行駅周辺バリアフリー化等のハード整備について、地域住民と協働で推進する。
 また、地域の魅力を広く内外に発信し、善行地区の活性化を図るための事業や取組を支援・推進する。
 ・ 地区内への活性化事業の周知や啓発のためのチラシなどの紙代等（消耗品費）
 ・ 地区内の回遊性を高め、地区の魅力を発信するための案内看板の設置（手数料）
 ・ 駅前・商店街を中心とした地域活性化事業の実施（補助金）



地域活性化に向けた取組の支援・推進事業
 (左：善行マルシェ・右：坂の案内看板)

総務費

事業名	湘南大庭地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 09	湘南大庭市民センター				
指針体系コード	2-3-101	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,619					1,619
令和4年度	471					471
対前年度	1,148					1,148

【事業概要】

湘南大庭地区郷土づくり推進会議において検討した地域課題の解決に必要な事業を実施し、地域まちづくりのテーマ「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」を実現する。

1. 健康なんでも相談事業 290 千円

地域で進展する高齢化の中で、地域と医療をつなぐための相談会や健康づくりに関する講習会等を実施し、心身の活力や生活機能の維持向上など、健康に対する地域住民の意識を高める。

- ・相談会開催に伴う医師等の専門スタッフの人件費及び運営に関する経費（委託料）
- ・地区内大型店舗の催事スペース使用（使用料）

2. ICT普及推進事業 91 千円

さまざまな地域情報について、収集力と発信力の向上や内容の充実により、地域におけるコミュニケーションの活性化や住民活動の魅力、付加価値の増進を図るため、ICTを活用した情報伝達などの取組を普及・推進する。

- ・湘南大庭ポータルサイトに関する講座の講師謝礼（報償金）
- ・湘南大庭ポータルサイト改良作業の謝礼（報償金）
- ・回覧デジタル化推進パンフレット作成（印刷製本費）

(新) 3. けやき通り健康・景観づくり推進事業 1,238 千円

中央けやき通りの大庭隧道北側から市民センターを経て湘南ライフタウンバスターミナルにかけての3.2km間には、200mごとに市民センターまでの距離表示板（路面シール式）が設置されている。しかし、近年、経年劣化による損傷が見受けられるため、デザイン化による自立式距離表示板として再生し、地域の新たなシンボルとして、健康増進や災害対策としての利活用を図る。

- ・自立式距離表示板の作成・設置（施設修繕費）



健康なんでも相談事業
（健康測定・相談会）



ICT普及推進事業
（湘南大庭ポータルサイトに関する講座）

総務費

事業名	湘南台地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 10	湘南台市民センター				
指針体系コード	2-3-1-1-1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	10,852				1,777	9,075
令和4年度	7,297				1,772	5,525
対前年度	3,555				5	3,550
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				1,777

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. ようこそ先輩 in 湘南台事業 18 千円
 地域と湘南台中学校及びPTAが連携し、中学1年生の職業観や勤労観を育てる目的で先輩講師との交流事業を開催する。
 ・ ようこそ先輩 in 湘南台開催経費（報償金・消耗品費）
2. 緑の回遊路事業 36 千円
 良好な自然環境や文化施設等、地域資産を有効に活用し、多くの人が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる事業を開催する。
 ・ ウォークイベント開催経費（消耗品費）
3. 子育てネットワーク事業 218 千円
 地域の子育て環境の向上を図るため、保育園、幼稚園、子育て支援センター、各種子育てサークル等が連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行う。
 ・ 湘南台子育て応援メッセ開催補助（補助金）
4. 地域サポーター育成事業 2 千円
 地域活動を支える人材不足の解消を図るため、社会貢献や地域貢献に意欲のある方を対象に、さまざまな地域活動やイベントに参加協力する地域サポーターを養成する講座を開催する。
 ・ 地域サポーター養成講座開催経費（消耗品費）
5. 文化創造事業 700 千円
 湘南台地区の地域性や特性を生かした文化創造の取組の一つとして、湘南台駅地下アートスクエアの有効活用を図りながら、展示ギャラリーや活性化イベントなどの多目的イベントを開催する。
 ・ 駅地下アートスクエア活用運営等業務委託（委託料）

- (拡) 6. 湘南台駅地下アートスクエア整備事業 9,477 千円
 湘南台駅地下広場を住民参加型の音楽とアートの文化芸術活動拠点とするため、「湘南台駅地下アートスクエア」として整備する。
 ・ ベルトパーテーション等（備品購入費・消耗品費）
 ・ ピアノ修繕、ピアノ調律等（物品修繕費・手数料）
 ・ 照明及びコンセント工事（工事請負費）

- (新) 7. 湘南台マチタン事業 401 千円
 ウィズコロナ時代でも誰もが安心して参加できる事業として、主に子育て世代を対象に、湘南台の街を探索するウォークラリーを実施する。
 ・ 湘南台マチタン事業開催経費（報償金・消耗品費・印刷製本費）

総務費

事業名	鶴沼地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 11	鶴沼市民センター				
指針体系コード	2-3-1-2-1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,669					2,669
令和4年度	1,765					1,765
対前年度	904					904

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鶴沼」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業 739 千円
 地域の子どもたちの豊かな人間性を育むため、地域のボランティアスタッフとのさまざまな学習や体験、運動等を通じて、児童の放課後の居場所づくりを行う。
 対象は、地域の小学3～6年生で、それぞれ週1回実施する。
 ・スタッフ謝礼、施設入場料、野外活動時の昼食、教材、チラシ等作成、交通費
 (報償金・食糧費・消耗品費・印刷製本費・使用料)

2. 認知症等啓発事業 110 千円
 誰もが安心して住み続けることができる地域づくりをめざし、認知症等への理解を深めるための講演会や啓発等を行う。
 ・講演会等講師謝礼(報償金)

3. 歴史・文化継承事業 739 千円
 鶴沼に特化した歴史文化の資料収集及び調査とその展示を行うことにより、地域住民の郷土理解を深めるとともに、コミュニケーションの場として、鶴沼郷土資料展示室の企画運営を行う。また、既存資料等の整理及びデータ化を行い、次世代への継承を図る。
 ・鶴沼郷土資料展示室の運営(委託料)
 ・鶴沼郷土資料展示室の資料整理(報償金・消耗品費)

- (拡) 4. まつり等事業 1,081 千円
 地域の方々とは郷土づくり推進会議との協働で地域活性化を目的としたまつり等を計画、実施する。
 ・まつり会場運営費(補助金)
 ・鶴沼の魅力発信事業に係る謝礼(報償金)



鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業
(夏のデイトリップ)



歴史・文化継承事業
(鶴沼郷土資料展示室
: 藤沢駅南口周辺の発展とその開発記録)

総務費

事業名	藤沢地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 12	藤沢公民館				
指針体系コード	2-3-131	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,829					2,829
令和4年度	2,610					2,610
対前年度	219					219

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点」を実現するため、藤沢地区郷土づくり推進会議において検討されている地域課題の解決と、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 藤沢宿活性化事業 2,536 千円

藤沢宿の伝承・継承を目的として未来を担う子どもたちに藤沢宿に関心を持ってもらう取組等を行うとともに、藤沢地区の歴史的資源等を活用した地域イベントを実施する活動を支援する。これらの事業により、藤沢宿の積極的なPRを行い、地域の活性化を図る。

- ・地域イベント等を実施する団体への助成（補助金）
- ・地域内トランスボックスのラッピング掲載料（使用料）
- ・藤沢宿紹介冊子「歩いて見よう藤沢宿」の増刷（印刷製本費）
- ・子ども向け藤沢宿紹介冊子「藤沢宿通行手形」の増刷（印刷製本費）
- ・子ども向け藤沢宿PRグッズの作成（消耗品費）

2. 子ども・高齢者の見守り活動事業 293 千円

学校・家庭・地域の連携のもと、子どもの見守り活動を行うとともに、高齢者見守りの環境づくりや住み慣れた地域で安心して暮らせる藤沢地区の実現に向けた取組を進める。

- ・中学生対象のVR体験型認知症サポーター養成講座講師謝礼（報償金）
- ・藤沢地区交通安全マップの作成（印刷製本費）



藤沢宿活性化事業
(地域イベント実施団体への助成)



藤沢宿活性化事業
(子ども向け藤沢宿紹介冊子「藤沢宿通行手形」)

総務費

事業名	村岡いきいきまちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 13	村岡公民館				
指針体系コード	2-3-141	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,269					1,269
令和4年度	1,269					1,269
対前年度	0					0

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. マナーアップ啓発事業 275 千円
 暮らしのマナーやモラル向上を図るため、ごみのポイ捨て、ペットのフンの放置、落書き等の迷惑行為に関するマナーアップ啓発を行うとともに、スタントマンを活用した自転車交通安全教室を実施する。
 ・スタントマン謝礼（報償金）
2. 村岡あいさつ運動事業 210 千円
 あいさつ運動の充実を図るため、あいさつ運動啓発用横断幕の設置や、キャンペーン活動及びポスター・標語コンクールを実施する。
 ・啓発物品の作製（消耗品費）
 ・審査員謝礼、コンクール記念品等（報償金）
3. 地域防災力強化事業 194 千円
 地域防災力の強化を図るため、地区内の公共施設等に防災啓発看板を設置するとともに防災関連講座を開催する。また、災害時に自治会・町内会等と地区防災拠点本部との通信手段となる通信機器の利用を確保する。
 ・啓発看板の作製、防災関連講座物品（消耗品費）
 ・防災関連講座謝礼（報償金）
 ・電波利用料（負担金）
4. 村岡美化活動事業 90 千円
 美しく住みよい地域環境を築くため、環境に対する意識の向上を図る事業及び村岡地区独自の一斉清掃を実施する。
 ・講習会用物品及び指導謝礼（消耗品費・報償金）
5. 歴史継承事業 280 千円
 地域の歴史的資産を継承していくため、歴史継承事業用冊子の作成及び今昔探訪ウォーキング等の事業を実施する。
 ・歴史継承事業用冊子の作成（印刷製本費）
 ・ウォーキング事業用物品及び指導謝礼（消耗品費・報償金）
6. 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業 220 千円
 まちの防犯力を高めるため、「村岡わんわんパトロール」事業を実施する。
 ・パトロール携行グッズ、キャンペーン物品（消耗品費）

総務費

事業名	市民センター整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 04 説明 01			六会・鶴沼市民センター		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	38,075	1,090		21,800		15,185
令和4年度	0	0		0		0
対前年度	38,075	1,090		21,800		15,185
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				1,090
	(地方債)	市民センター整備事業債				21,800
【事業概要】						
地域まちづくりの拠点である市民センターの利用者の安全確保と機能維持のため、施設整備等を行う。						
1. 六会市民センター体育棟エレベーター改修工事 28,644 千円 老朽化が著しい体育棟エレベーター設備の更新を行う。						
2. 鶴沼市民センター・公民館用地測量業務委託 9,431 千円 施設再整備に向けた測量調査を実施する。						

総務費

事業名	湘南台文化センター整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 5 細目 02 説明 01			文化芸術課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	66,599	0		24,000		42,599
令和4年度	84,128	67,400		0		16,728
対前年度	△ 17,529	△ 67,400		24,000		25,871
特定財源の内訳	(地方債)	湘南台文化センター整備事業債				24,000
【事業概要】						
湘南台文化センター利用者の安全確保と機能維持のため、施設整備等を行う。						
1. 建物調査委託 23,870 千円 長寿命化をめざした計画的な維持保全のため、施設の劣化度調査を行う。						
2. プラネタリウム投映システム賃貸借 4,493 千円						
3. 湘南台文化センター空調機器更新工事 32,131 千円 市民シアターのリハーサル室・スタジオの空調更新工事を行う。						
4. 緊急施設修繕 4,500 千円						
5. 構内電話設備賃貸借 1,584 千円						
6. その他事務経費（印刷製本費） 21 千円						

総務費

事業名	市民まつり開催費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 02 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	30,000					30,000
令和4年度	30,000					30,000
対前年度	0					0

【事業概要】

市民のふれあいと、個性豊かなふるさとづくりを推進するため、藤沢市民まつりの開催に要する事業費の一部を負担する。

- 第48回藤沢市民まつり開催費負担金 30,000 千円
 主催 藤沢市民まつり実行委員会
 会場 藤沢駅周辺、秋葉台公園、遊行寺周辺、湘南台駅周辺ほか

<令和4年度の様子>

荒天により屋内イベントのみ一部開催
 (湘南台ファンタジアは日程が異なるため予定どおり開催)



2022マーチング祭湘南藤沢オープン



マーチングフェスタ2022



湘南台ファンタジア

総務費

事業名	男女共同参画推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 04 説明 01	人権男女共同平和国際課				
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,818					1,818
令和4年度	1,800					1,800
対前年度	18					18

【事業概要】

ジェンダー平等・男女共同参画社会の実現に向け「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」の総合的推進を図るとともに、市民等への意識啓発と情報提供を行う。

- ジェンダー平等社会の実現に向けた啓発の推進 1,392 千円

ジェンダー平等・男女共同参画に関する知識や情報を市民や職員等に周知し、理解の浸透を図るため、講演会やセミナーを開催するとともに、インターネットを活用した情報発信や「藤沢市ジェンダー平等推進週間（男女共同参画週間）」に合わせたパネル展等を開催する。

また、性の多様性への理解と支援に向けた取組を行うとともに、DV防止対策に向け、2市1町広域連携の推進及びDV相談窓口案内カード等を作成し、啓発活動に取り組む。
- ふじさわジェンダー平等プラン推進協議会の運営 426 千円

ジェンダー平等・男女共同参画施策の総合的推進にあたり、必要な助言を得るため、「ふじさわジェンダー平等プラン推進協議会」を運営する。



ジェンダー平等・男女共同参画啓発講演会



藤沢市ジェンダー平等推進週間ポスター

総務費

事業名	多文化共生推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 05 説明 01	人権男女共同平和国際課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	7,303		82			7,221
令和4年度	1,346		0			1,346
対前年度	5,957		82			5,875
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村推進事業費補助金				82

【事業概要】

外国につながるのがある市民と共に生きるまちづくりのため、市民、団体、関係機関との連携を図り、外国につながるのがある市民への生活支援を行うとともに、互いの言葉や文化を理解し交流する場を提供し、多文化共生を推進する。

1. 「藤沢市外国人市民会議」の運営 420 千円
外国につながるのがある市民が市政について意見交換や提案等をする機会を確保するとともに、まちづくりへの主体的な参画を進めることにより、外国につながるのがある市民と「共に生きる」地域社会を築くため、「藤沢市外国人市民会議」を運営する。
2. 「藤沢市日本語支援ネットワーク会議」の運営 195 千円
市と日本語教室が連携し、外国につながるのがある市民への日本語習得支援に関する取組を進めるため、「藤沢市日本語支援ネットワーク会議」を運営し、日本語教室の活動場所の確保や日本語を教えるボランティアについての講座を開催する。
3. 多文化共生に向けた取組の推進 20 千円
市職員を対象に多文化共生の意識啓発を目的とした研修を実施する。
4. 「MINTOMO交流会」の開催 100 千円
世界の異なる文化や習慣を知り、地域における国際交流を深めるため、湘南台地区において、歌や踊り、工作等を行う交流会を開催する。
5. 生活ガイド等の多言語による情報提供 545 千円
生活する上で必要な行政情報を外国につながるのがある市民に的確に伝えるため、生活ガイドや休日夜間医療情報等を翻訳し、多言語で情報を提供する。
6. かながわ医療通訳派遣システム自治体推進協議会負担金 97 千円
日本語を母語としない市民が安心して医療を受けられるよう、神奈川県及び県内の市町を中心に構成される協議会に参加し、連携を図る。
7. 外国につながるのがある市民ヒアリング調査 5,804 千円
社会情勢の変化を踏まえた多文化共生施策に反映するため、外国につながるのがある市民と支援者、地域住民、事業所、学校などにヒアリング調査を実施する。
8. 事務経費 122 千円

総務費

事業名	平和都市宣言推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 06 説明 01	人権男女共同平和国際課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	12,061				12,061	
令和4年度	10,987				10,987	
対前年度	1,074				1,074	
特定財源の内訳	(その他)	平和基金繰入金				11,548
		平和学習広島・長崎派遣参加者負担金				513

【事業概要】

藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言及び藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例の趣旨に基づき、公募市民で構成する平和の輪をひろげる実行委員会と協働して、市民を対象とした平和事業を推進する。

また、日本非核宣言自治体協議会や平和首長会議への参画等を通じ、自治体間の連携を推進する。

1. 「平和学習広島・長崎派遣プログラム」（旧平和学習事業） 8,804 千円
 被爆の実相や戦争の悲惨さ、平和の尊さを学ぶため、未来を担う青少年を広島・長崎の両被爆地に派遣する。
 本事業は、従来の平和学習・長崎派遣事業及び親子記者・広島派遣事業を再編し、児童、生徒が主体的に学び、伝えることができる体系的なプログラムとして実施する。
 ・募集人数：36人
 （内訳）小・中・高校生 広島・長崎各15人
 大学生等（グループ指導員） 広島・長崎各3人

2. 平和の輪をひろげる実行委員会と協働で取り組む平和推進事業 1,333 千円
 公募市民で構成する平和の輪をひろげる実行委員会と協働して平和事業を展開し、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた事業に取り組む。

3. 日本非核宣言自治体協議会等への参画 362 千円
 日本非核宣言自治体協議会及び平和首長会議を通じて、自治体間の連携を強化し、核兵器廃絶に向けた活動を推進する。
 ・役員会・総会等への出席旅費 278 千円
 ・協議会等負担金 84 千円

4. 事務経費 1,562 千円
 ・旅費、消耗品費、役務費、研修会参加負担金等



平和学習・長崎派遣事業

総務費

事業名	ミライカナエル活動サポート事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 05	市民自治推進課				
指針体系コード	2-3-1 1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	7,556					7,556
令和4年度	9,056					9,056
対前年度	△ 1,500					△ 1,500

【事業概要】

今後の人口構造の変化や住民ニーズの多様化を起因とする地域課題へ対応するため、叶えたい未来を想定し、その実現に向けて取り組む市民活動団体等に対して、団体の立ち上げ期から発展期、多様な主体との協働に至るまで、成長段階に合わせた側面的な支援を行う。

1. 提案企画への補助金等の交付 6,000 千円
 市民活動団体等の目標や成長段階によって、市民活動への「きっかけづくり」から、「NPOの成長支援」、「多様な主体の協働」まで、段階に応じた3つのコースを設け、プレゼンテーション審査等を経て、補助金又は負担金を交付する。
 <スタート支援コース> 1 団体当たり上限 20 万円 1,000 千円
 市民活動団体の立ち上げを支援する。
 採択予定数：5 団体。構成員の半数以上が若者の団体を優先選考する枠を置く。
 <ステップアップ支援コース> 1 団体当たり上限 50 万円 1,500 千円
 市民活動団体の活動の継続や事業の発展を支援する。
 採択予定数：3 団体
 <協働コース> 1 団体当たり上限 250 万円 3,500 千円
 市民活動団体、企業、行政等が2 団体以上で取り組む事業や団体間を支援する。
 実施予定数：事業1 年度目 1 団体、事業2 年度目 2 団体。
 1 団体当たり交付上限額：事業1 年度目 150 万円、事業2 年度目 100 万円。

2. 伴走支援業務 996 千円
 スタート支援コース及びステップアップ支援コースの団体を対象に、提案事業の実施等をサポートする。事業の実効性や団体の活動の継続性を高めるため、中長期的視点をもって、募集時の講義や連続講座・相談会を行い、事業の実施に伴走する。

3. 協働コーディネート業務 500 千円
 協働コースの団体を対象に、提案事業の実施等をサポートする。団体の意向や特性を踏まえ、協働相手となる民間法人や行政とのマッチングの促進、協働の調整、事業計画のコンサルティングを行う。また、採択団体への相談対応や進捗確認を行い、事業の実施に伴走する。

4. 団体の成長や協働を促進する講座等の開催 60 千円
 事業のさらなる発展を望む団体を対象に、持続可能な事業計画や協働の理解を深める講座等をNPO運営相談サポートテラスと連携し開催する。



プレゼンテーション審査



伴走支援講座

総務費

事業名	チームFUJISAWA2020推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 06	市民自治推進課				
指針体系コード	5-5-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	市民参加型東京2020大会のレガシー創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	13,124					13,124
令和4年度	6,842					6,842
対前年度	6,282					6,282

<拡充事業> 大学連携事業として、事務局機能を委託する

【施策等を必要とする背景】

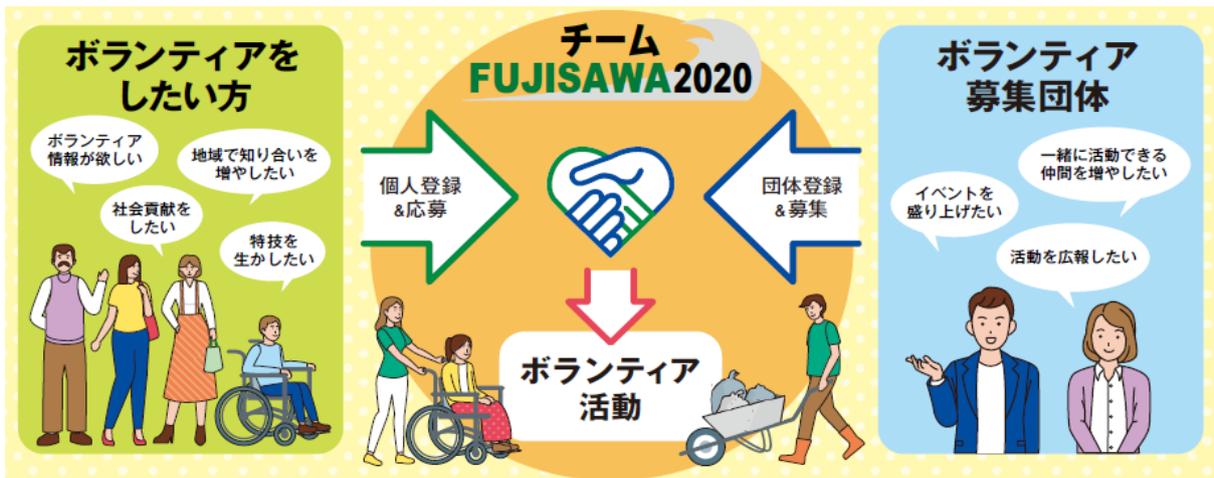
令和3年10月の事業立ち上げ以降、行政が主導して取組を進めてきた。行政をはじめとした関係機関との連携、協働については一定の成果が上げられており、今後は民間活力を活用した、利用者目線に立った産官学連携を踏まえた取組が急務である。本来、ボランティア活動は市民による自発的、自主的な活動であるべきであり、行政は後方支援に徹するべきという考え方も寄せられていることから、事務局機能を外部委託する。

【提案に至るまでの経緯】

令和3年度から関係機関を交えた「チームFUJISAWA2020連絡調整会議」を開催し、運営体制について検討を重ね、令和4年度には同会議を拡大して実施し、令和5年度の外部移管について方向性を決定した。

令和3年7月 チームFUJISAWA2020連絡調整会議 開催

【事業概要】



- 事務局運營業務委託 7,909 千円
事務局機能を委託し、ウェブサイトの運用、会議開催や広報事業を展開する。
- ウェブサイト保守等業務委託 5,115 千円
令和3年度に立ち上げたウェブサイトに関し、保守等を行う。
- ボランティア保険 100 千円
無保険状態になってしまう一部活動を対象に、補償する。



スマホ何でも相談窓口



湘南ユナイテッドBCボランティア

総務費

事業名	地域コミュニティ拠点施設整備支援事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 09 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	10,367					10,367
令和4年度	27,484					27,484
対前年度	△ 17,117					△ 17,117

【事業概要】

地域住民の福祉と自治意識の向上に寄与するため、自治会等が行う集会所の新築、増改築及び修繕等に要する費用に対する補助を行う。

1. 施設整備に対する補助 10,367 千円
- ・ 補助制度の概要
 - (1) 新築、増改築及び修繕等に要する費用の1/2以内
 - (2) 登記の申請をしたときに要した登録免許税相当額

(内訳)

種別	件数	補助金額	団体名
修繕	6件	10,367千円	朝日町町内会、葛原第一自治会、葛原第二自治会、三富士町町内会、羽根沢第三住宅自治会、FujisawaSSTコミッティ



令和4年度に修繕を行った今田南自治会集会所

総務費

事業名	人権施策推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 10 説明 01	人権男女共同平和国際課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	5,269		600			4,669
令和4年度	12,550		800			11,750
対前年度	△ 7,281		△ 200			△ 7,081
特定財源の内訳	(県支出金)	人権啓発活動委託金				600

【事業概要】

人権施策推進指針の基本理念である、「人権を大切にし、『人権文化』をはぐくむまちづくり」を多様な主体と共有することで、一人ひとりの市民が尊重され、さまざまな生き方や考え方を認め支えあいながら共に生きる社会の実現をめざし、人権施策・啓発事業を実施する。
また、「ふじさわ人権協議会」及び「藤沢市いじめ問題再調査委員会」を運営する。

1. 人権施策の推進 2,718 千円
多岐にわたる人権課題に関する知識や情報を市民や職員等に周知し、理解の浸透を図るため、さまざまな機関と連携し、講演会やセミナーを開催するとともに、各種研修会への参加を通じ、職員の人権意識の向上を図る。また、人権に配慮した施策・事業の推進を図るため、ダイバーシティ&インクルージョンの視点に基づく庁内組織を設置する。
2. 子どものいじめ防止施策の推進 477 千円
いじめ反対運動である「ピンクシャツデー」に合わせ、横断幕を作成・掲出するとともに、いじめ相談窓口案内カードを作成し、市内小中学生に配布する。同時に、子どもをいじめから守る条例の周知を図る。
3. 「ふじさわ人権協議会」の運営 377 千円
人権施策の推進について協議・検討するため、市民及び学識経験者で組織する「ふじさわ人権協議会」を開催する。
4. 人権擁護委員との連携及び活動支援 634 千円
法務大臣から委嘱された人権擁護委員と連携を図り、人権相談の機会を提供するとともに、中学生人権作文コンテスト、人権教室出前授業等の啓発活動を実施する。
 - ・ 藤沢市人権擁護委員会運営事業交付金 433 千円
 - ・ 人権の花運動事業費（市内8小学校で実施予定） 201 千円
5. 「藤沢市いじめ問題再調査委員会」の運営 1,063 千円
子どものいじめ防止施策の推進を図るため、市立の小・中・特別支援学校において、重大事態が発生した場合の再調査に備え設置した「藤沢市いじめ問題再調査委員会」を運営する。

総務費

事業名	マイナンバーカード普及促進事業費					
予算科目	款 2 項 3 目 1 細目 02 説明 07			市民窓口センター		
指針体系コード	5-2-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	18,747	18,747				
令和4年度	39,190	39,190				
対前年度	△ 20,443	△ 20,443				
特定財源の内訳	(国庫支出金)	マイナンバーカード交付事務費補助金				18,747
<p>【事業概要】 マイナンバーカードの普及促進と北部地域に居住する市民の利便性向上を図るため、マイナンバーカードの各種手続きを行う「マイナンバーカード北部窓口」を運営する。</p> <p>1. マイナンバーカード北部窓口（イトーヨーカドー湘南台店内）の運営 18,747 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 什器・端末等賃借料 4,612 千円 ・ 建物賃借料 11,983 千円 ・ その他(手数料、消耗品、回線使用料、警備委託料等) 2,152 千円 <p>(取扱業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイナンバーカード交付（事前予約制） ・ マイナンバーカード申請受付（再発行を含む） ・ マイナンバーカード記載事項変更 ・ 電子証明書関連業務 ・ マイナポイント等手続きサポート <p>(この事業は令和4年度6月補正で増額した事業)</p>						

総務費

事業名	窓口業務等協働事業推進費					
予算科目	款 2 項 3 目 1 細目 02 説明 08			市民窓口センター		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
重点施策名						
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	310,489	46,110				264,379
令和4年度	310,489	53,533				256,956
対前年度	0	△ 7,423				7,423
特定財源の内訳	(国庫支出金)	マイナンバーカード交付事務費補助金				46,110
<p>【事業概要】 市民サービスの維持・向上を図るため、市民窓口センターの業務の一部を協働事業（業務委託）として実施する。</p> <p>1. 市民窓口センター窓口業務等協働事業 310,489 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種証明書等の申請受付・交付等に関する業務 ・ 住民異動届、印鑑登録等に関する業務 ・ マイナンバーカードに関する業務 ・ フロア案内業務 ・ 電話等の問い合わせ対応 ・ 業務フロー図及び手順書、運営管理マニュアルの更新 など 						

総務費

事業名	防災対策総務費					
予算科目	款 2 項 7 目 1 細目 02 説明 02	防災政策課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	10,038		1,358		30	8,650
令和4年度	7,848		0		30	7,818
対前年度	2,190		1,358		0	832
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				1,358
	(その他)	広告料収入				30

<拡充事業> 災害情報発信手段一元化及び災害時職員参集システムの導入

【施策等を必要とする背景】

災害発生時の情報発信手段として活用している防災専用ホームページ、メールマガジン、Twitter、LINE等12媒体の発信作業については、現状それぞれのサイトにログインして個別入力を行っており、効率的な作業が必要である。

また、現状の災害対応時における参集方法のうち、自動参集については、個々に覚知、判断しなければならないため、安否確認や参集可否の把握に遅れが生じる課題がある。

切迫した災害時における限られた人的資源を有効活用するために、これらの業務の改善が急務となっている。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

各種情報発信媒体を利用して情報を受信する市民へ、災害情報を迅速かつ効率的に提供することができる。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

災害情報発信手段一元化機能を備えた災害時職員参集システムの導入により、情報の迅速かつ効率的な発信と限られた人的資源の有効活用が図られる。

2. 将来にわたる費用

この事業の財政負担見込額は次のとおり

- ・令和5年度 2,717千円
- ・令和6年度 1,716千円
- ・令和7年度以降 1,716千円/年

【事業概要】

地域防災計画の修正や重要事項の審議のため、防災会議を開催するとともに、地震及び風水害等災害への対策・対応を行う。

- (拡) 1. 災害時情報収集 2,717 千円
 災害時の災害情報収集、職員の参集、及び市民向けの災害情報・避難指示等の情報発信をより適切に行うため、災害情報発信手段一元化機能を備えた災害時職員参集システムを導入する。
 ・情報機器の使用料等
2. 内部管理事業等 7,321 千円
 ・報酬、報償費、旅費、需用費、役務費、負担金補助及び交付金

総務費

事業名	航空機騒音対策推進事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 1 細目 03 説明 01			危機管理課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	277	189			88	
令和4年度	306	189			117	
対前年度	△ 29	0			△ 29	
特定財源の内訳	(国庫支出金)	施設区域取得等事務地方公共団体委託金				189
	(その他)	平和基金繰入金				88

【事業概要】

県及び関係市と連携を図り、航空機騒音問題の解消に向けた要請行動を継続的に行うほか、本市独自の要請行動も行うことにより、問題の早期解消に努める。

- 騒音問題に対する取組 277 千円
 厚木基地騒音対策協議会や神奈川県基地関係縣市連絡協議会等を通じ、騒音問題の解消に向けた要請行動を実施する。
 また、住宅防音工事業の迅速な実施等、騒音対策事業の充実にに向けた要請行動を実施する。

総務費

事業名	急傾斜地防災事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 1 細目 04 説明 01			防災政策課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	17,465					17,465
令和4年度	15,565					15,565
対前年度	1,900					1,900

【事業概要】

急傾斜地崩壊危険区域内に存する宅地の安全性を確保するため、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」（昭和44年7月1日公布）の規定により、県と締結した「急傾斜地崩壊対策工事の施行に伴う費用負担等に関する協定書」に基づき、県が行う事業の一部費用を負担する。

- 急傾斜地崩壊危険区域内の急傾斜地崩壊対策事業費 17,300 千円
 - ・ 施行場所 片瀬山1丁目地内、大鋸3丁目地内及び宮前地内
 - ・ 施行内容 急傾斜地崩壊防止工事（延長：L=39m）及び現場監理業務委託
 - ・ 市負担事業費 県事業費 82,500千円のうち、藤沢市負担17,300千円
- 神奈川県治水砂防協会年会費 165 千円

総務費

事業名	防災施設等維持管理費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 02			防災政策課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	90,147				30	90,117
令和4年度	107,214				30	107,184
対前年度	△ 17,067				0	△ 17,067
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				30

【事業概要】

災害時に迅速な応急対策を行うため、防災備蓄場所や防災備蓄資機材等の維持管理などを実施する。

1. 防災備蓄場所、防災備蓄資機材等の維持管理 3,223 千円
 - ・ 防災備蓄資機材修繕費、防災拠点管理業務委託料等 2,259 千円
 - ・ 災害対策用浄水器等点検、修繕費 964 千円

2. 防災行政無線、MCA無線、防災ラジオシステム等の維持管理 81,871 千円
 - ・ 防災行政無線修繕費、電気料、保険料、保守点検等委託料、回線使用料等 39,108 千円
 - ・ MCA無線バッテリー交換修繕費、回線使用料、賃借料等 15,759 千円
 - ・ 防災情報ステーション保守点検等業務委託料、回線使用料等 1,538 千円
 - ・ ふじさわメールマガジン配信サービス保守点検業務委託料 1,735 千円
 - ・ 防災インフォメーション維持管理業務委託料等 1,865 千円
 - ・ 地震観測収集システム賃借料等 13,447 千円
 - ・ 被災者支援システムサーバ賃借料等 671 千円
 - ・ 災害対策本部室映像音響設備定期点検業務委託料 440 千円
 - ・ TV会議システム保守点検業務委託料等 683 千円
 - ・ 気象情報システム使用料 6,437 千円
 - ・ 衛星携帯電話使用料 188 千円

3. 耐震性飲料用貯水槽の維持管理 5,053 千円
 - 清掃点検委託料、緊急遮断弁点検委託料等

総務費

事業名	地域防災支援事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 04			危機管理課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,735	712	356			1,667
令和4年度	2,010	824	412			774
対前年度	725	△ 112	△ 56			893
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				712
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				356

【事業概要】

地域における災害時の避難支援体制を構築することを目的として、地震等の災害時に避難支援を必要とする高齢者や障がい児者等の情報を基に避難行動要支援者名簿を更新し、自主防災組織をはじめとした避難支援等関係者に提供するなどの支援を行う。

1. 避難行動要支援者支援事業 2,735 千円

(1) 避難行動要支援者名簿の更新・提供

新たに対象となった避難行動要支援者に対して、名簿掲載等に関する希望確認を実施し、自主防災組織等に更新後の避難行動要支援者名簿の提供を行う。

(2) 説明会等の実施

地域における避難行動要支援者の避難支援体制づくりを推進するため、自主防災組織等に制度内容について説明を行うとともに、制度改善に向けて、避難支援等関係者から意見等を伺う。

(3) 「藤沢市避難行動要支援者避難支援プラン全体計画」の一部見直し

避難支援等関係者や避難行動要支援者からの意見等を踏まえ、内容の一部を見直す。また、地域における避難支援体制づくりについてまとめた手順書や訪問用チラシについても配布を行い、地域における避難支援体制づくりを推進する。

(4) 「ふじさわ防災ナビ～避難行動要支援者編～」の改訂・配布

パンフレット及びリーフレットを改訂し、障がい者手帳交付対象者や高齢者世帯を中心に配布することで、災害への備え等について周知・啓発を行う。

(新) (5) 個別避難計画の作成

災害対策基本法の一部改正により、個別避難計画の作成が市町村に努力義務化されたことから、対象者の個別避難計画を作成する。

総務費

事業名	防災設備等整備事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 05			防災政策課		
指針体系コード	1-1-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
区分	事業費	重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	102,440	4,334	9,275	10,400	5,115	73,316
令和4年度	202,179	0	25,061	8,400	4,914	163,804
対前年度	△ 99,739	4,334	△ 15,786	2,000	201	△ 90,488
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				4,334
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				9,275
	(地方債)	防災施設整備事業債				10,400
	(その他)	防災ラジオ売払収入				1,000
		災害対応型自動販売機設置協力金				4,115

【事業概要】

災害に対する備えとして、防災備蓄資機材、防災ラジオ、津波避難施設等の整備や充実・強化を推進する。

1. 防災備蓄資機材等の整備・充実 57,301 千円
 長期保存食（ビスケット）、おかゆ、ミルク、紙おむつ、衛生用品、ウェットタオル、発電機用ガソリン等の購入・整備費
2. 防災ラジオの市民頒布 5,170 千円
 災害時等に緊急割込放送を自動受信できる防災ラジオ500台の購入及び頒布
3. 津波避難対策の充実・強化 15,185 千円
 ・津波避難施設整備事業基本・実施設計委託 14,960 千円
 ・津波ハザードマップの印刷費 225 千円
4. ふじさわ防災ナビの普及・充実 3,422 千円
 ・市民配布用の冊子「ふじさわ防災ナビ～いま、わたしたちにできること。」の印刷費
5. 防災対策の充実・強化 18,260 千円
 ・高潮ハザードマップの作成・印刷費 6,941 千円
 ・洪水・土砂災害ハザードマップの作成・印刷費 7,569 千円
 ・危険ブロック塀等安全対策工事費補助金 3,750 千円
6. 防災設備等事務経費 3,102 千円
 ・利用料、負担金

(3の事業の一部は令和4年度9月補正で債務負担行為を設定)

総務費

事業名	危機管理対策事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 06			危機管理課		
指針体系コード	1-1-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
区分	事業費	重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	71,447	0	23,999		104	47,344
令和4年度	18,398	2,830	6,060		0	9,508
対前年度	53,049	△ 2,830	17,939		104	37,836
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				454
		市町村地域防災力強化事業費補助金				23,545
	(その他)	起震車整備寄附金				104

【事業概要】

本市に想定されている災害に対し、被害を最小限に留め、安全で安心なまちづくりを推進するため、指定緊急避難場所（大規模火災）誘導標識柱の整備等や公共小型看板の更新を行う。また、地域防災力の向上を目的に起震車を更新するとともに、津波災害避難時の対策強化として、津波避難ビルへ保温シートを配備する。

(拡) 1. 起震車の更新 58,413 千円

東日本大震災や熊本地震発災後の最新の知見を踏まえ、地域防災力の向上に資するため、今後とも継続的かつ安定的に市民に震度体験を提供するとともに、本市の災害対応能力の強化を図るため、水防車機能や電源供給機能等を併せ持つ起震車の更新を行う。



現行起震車



車いすりフター

(新) 2. 保温シートの配備 5,434 千円

津波災害発生時において避難対象地域の外への避難が困難な場合に、一時的又は緊急に避難するための津波避難ビルについては、避難先が屋上又は共用部分の屋外であることが多く、冬場などの寒い環境下においては過酷な避難が想定されるため、避難者の体温低下を防ぐ保温シートを配備する。

3. 指定緊急避難場所（大規模火災）誘導標識柱の整備 3,396 千円

平成25年の災害対策基本法の改正を受けて、災害種別ごとに「指定緊急避難場所」の指定及び名称変更をしたことに伴い、道路等に設置している誘導標識柱の表示内容を「広域避難場所」から「指定緊急避難場所（大規模火災）」に表記変更する。

4. 公共小型看板の更新 1,760 千円

津波避難対策の一環として、東京電力パワーグリッド（株）所有の電柱に設置した海拔等を表示した小型看板について、表示内容を改め、津波災害警戒区域等であることを表示した看板に更新する。

5. 指定緊急避難場所等表示看板設置 464 千円

新たに指定緊急避難場所等として指定する施設について、災害発生時のみならず、日常的に周知・啓発を行うため、施設入口等に避難所であることを示す看板設置を行う。

6. SNS緊急速報情報サービスによる情報収集 1,980 千円

AI技術を取り入れたSNS緊急速報情報サービスを活用し、災害対応時等の情報収集手段の多角化を図る。

環境保全費

事業名	環境基本計画関係費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 02 説明 01			環境総務課		
指針体系コード	5-1-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	994					994
令和4年度	1,015					1,015
対前年度	△ 21					△ 21

【事業概要】

多様化する環境問題や今後の新たな課題に対し、良好な環境を次世代へ継承していくことを目的として市民、事業者及び行政が一体となって各種施策を推進する。

1. 藤沢市環境審議会の運営 646 千円
 藤沢市環境基本計画の推進及びふじさわ環境白書（藤沢市環境基本計画年次報告）の発行を行う。
2. その他事務経費 348 千円

環境保全費

事業名	地球温暖化対策関係事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 01			環境総務課		
指針体系コード	5-1-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	44,297				42,994	1,303
令和4年度	42,253				40,950	1,303
対前年度	2,044				2,044	0
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				42,994

<拡充事業> 電気自動車用急速充電設備設置費補助金等の新設ほか

【施策等を必要とする背景】

1. 電気自動車用急速充電設備設置費補助金を新設
 国の「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」（令和3年6月）において、電気自動車の普及を促進する上で、充電設備等のインフラ整備も含む包括的な取組の重要性が示されたことから、温室効果ガス排出削減に繋がる電気自動車の普及促進及び利用者の利便性向上を目的として、新たに電気自動車用急速充電設備設置費に対する補助を行う。
2. ZEH水準の省エネ性能住宅に係る住宅用太陽光発電システム設置費補助金の加算を新設
 国の「第6次エネルギー基本計画」（令和3年10月）において、2030年度以降の新築住宅は、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）水準の省エネ性能が確保されていることが目標として掲げられたことから、温室効果ガス排出削減に繋がるZEH水準の省エネ性能住宅の普及促進及び導入に係る負担軽減を目的として、ZEH水準の省エネ性能住宅を導入した市民に対する住宅用太陽光発電システム設置費補助金の加算を新設する。
3. 定置用リチウムイオン蓄電池に係る住宅用太陽光発電システム設置費補助金の加算を新設
 エネルギーの有効利用を促進するとともに、災害時におけるエネルギーの確保を強化するため、住宅用太陽光発電システムと定置用リチウムイオン蓄電池の同時設置に対する補助金の加算を新設する。

【将来にわたる効果及び費用】

本事業の実施により、家庭部門などにおける温室効果ガス排出量のさらなる削減を推進し、2050年カーボンニュートラルや脱炭素社会の実現に寄与する。

あわせて、ZEHに対する補助の開始により、市民のエネルギーコストの軽減やヒートショック防止による健康リスクの低減が期待されるとともに、蓄電池導入に対する補助の拡充により、レジリエンス強化を背景とした災害に強いまちづくりの推進が図られる。

【事業概要】

市民、事業者及び行政が一体となって、地球温暖化対策に取り組むため、住宅用太陽光発電システム設置者、家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置者、電気自動車導入者等への補助などの各種施策を実施する。

1. 藤沢市地球温暖化対策研究会の運営

自然環境や都市環境に応じた地球温暖化における諸課題について企業、学識経験者及び行政が協働して調査・研究を行う。

- (拡) 2. 地球温暖化対策等設備の導入に関する補助事業 42,200 千円
 市民及び事業者を対象に、地球温暖化対策等に関する設備の導入に対して補助金を交付する。

	対象	金額	予定件数	予算額
1	住宅用太陽光発電システム	個人住宅1kW当たり 15,000円 (上限50,000円)	150件	15,500千円
		家庭用燃料電池システムと同時 50,000円の増額	内20件	1,000千円
		(新) 定置用リチウムイオン蓄電池と同時 50,000円の増額	内20件	1,000千円
		家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電池と同時 100,000円の増額	内30件	3,000千円
		(新) ZEHの導入 100,000円の増額	内30件	3,000千円
2	事業者用太陽光発電システム	設置費の1/4 (上限 1,000,000円)	3件	3,000千円
3	家庭用燃料電池システム (エネファーム)	1件 50,000円	120件	6,000千円
4	定置用リチウムイオン蓄電池	1件 50,000円	100件	5,000千円
5	雨水貯留槽	購入金額の1/2 (上限 15,000円)	30件	450千円
6	電気自動車(EV)	(拡) 1台 50,000円	200件	10,000千円
7	燃料電池自動車(FCV)	1台 150,000円	5件	750千円
8	電気自動車用急速充電設備	(新) 設置費の4/5 (上限 500,000円)	3件	1,500千円
合計			611件	42,200千円

3. 地球温暖化対策関係団体等との連携 15 千円
 地球温暖化対策地域協議会と連携し講演会等を開催するとともに、グリーン購入ネットワーク、雨水ネットワーク等へ参加する。

4. 2市1町・湘南エコウェーブプロジェクト事業の推進
 茅ヶ崎市・寒川町と連携し、環境イベントの実施、緑の保全、レジ袋削減等の施策を広域的に推進する。

5. PPA事業（電力購入契約）による再生可能エネルギーの導入
 市有施設の屋根、土地を事業者に貸し、事業者負担で設置する太陽光発電システムにより発電した電力の購入契約を締結し、再生可能エネルギーの導入を図る。

6. その他事務経費 2,082 千円

環境保全費

事業名	環境啓発推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 02	環境総務課				
指針体系コード	5-1-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	5,519	0			900	4,619
令和4年度	10,952	5,000			900	5,052
対前年度	△ 5,433	△ 5,000			0	△ 433
特定財源の内訳	(その他)	環境制度推進事業協力金				900

【事業概要】

市民、事業者及び行政が一体となって、地球温暖化を中心とした環境問題に対応することを目的として、ふじさわ環境フェアの開催、「ゼロカーボン推進週間」啓発施策の実施、エコライフアドバイザーの派遣、小学生や園児を対象とした環境学習体験教室の開催など各種啓発事業を実施する。

1. 環境実践活動啓発関係事業の実施 3,684 千円
 環境啓発イベントとして、市民・環境団体・NPO法人・大学・環境関連企業等が連携し、環境活動の展示や発表を行うふじさわ環境フェアを開催する。
 また、本市が取り組んでいる様々な環境施策を発信することを目的に、環境ポータルサイト「ふじさわエコ日和」を運営するとともに、省エネに役立つ最新の情報等を掲載した「ふじさわエコライフ通信」を発行・配布する。
 - ・ふじさわ環境フェア開催関係費 1,337 千円
 - ・ふじさわエコ日和運営委託費 2,347 千円
 - ・ふじさわエコライフ通信関係費（費用はごみ減量推進事業費に含む）
2. エコライフアドバイザー派遣事業の実施 60 千円
 日常生活の中でできる省エネの取組などに関する講座等への専門的な講師の派遣について支援する。
3. 環境学習体験教室の開催
 市内の小学校4年生及び保育園児・幼稚園児を対象として、環境についての興味を持つきっかけ作りを目的に、環境学習体験教室を開催する。
4. 「COOL CHOICE」普及啓発事業の実施 269 千円
 地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」（賢い選択）などの取組を環境啓発イベント等で周知し、CO2排出削減に向けた普及啓発を推進する。
5. 「ゼロカーボン推進週間」啓発事業の実施 545 千円
 ゼロカーボン推進に特化したさまざまな施策を実施し、市民や事業者の意識向上を図る。
 - ・講演会事業費 100 千円
 - ・街頭啓発キャンペーン物品購入費 245 千円
 - ・パネル展示関係費 200 千円
 - ・大学生との意見交換会
 - ・リサイクルプラザの体験講座（費用はリサイクルプラザ環境啓発事業費に含む）
6. 環境啓発推進事業事務経費 961 千円
 環境教育教材等消耗品費ほか

環境保全費

事業名	緑地保全事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 01			みどり保全課		
指針体系コード	5-1-61	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
区分	事業費	重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	197,242		304		72,474	124,464
令和4年度	162,723		304		51,194	111,225
対前年度	34,519		0		21,280	13,239
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				94
		森林病虫害等防除事業補助金				110
		自然環境事務委託金				100
	(その他)	その他証明閲覧手数料				2
		みどり基金繰入金				15,569
				森林環境譲与税基金繰入金	56,903	

【事業概要】

市有山林・憩いの森など樹林地の維持管理及び里山環境の構築を図るとともに、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民等が所有する樹林・樹木・生垣の保存指定を行う。

また、緑地の保全活動を市民と協働で行い、市民ボランティアの育成を図り、活動に携わった市民の郷土愛や地域コミュニティの醸成、豊かな自然環境の復元及び防犯性の向上を目的に事業を実施する。

1. 市有山林、緑地等の維持管理 154,476 千円
 - ・緑地等修繕費等 29,518 千円
 - ・緑地下草刈り及び樹木剪定等業務委託 65,146 千円
 - ・緑地境界測量業務委託 924 千円
 - ・緑地パトロール業務委託 1,215 千円
 - ・樹林地復元業務委託 56,903 千円
 - ・憩いの森、自然環境保全地賃借料 770 千円

2. 藤沢市みどり保全審議会の開催 567 千円
 緑の保全及び緑化の推進について必要な事項を調査、審議するため、審議会を開催する。(開催予定数 4回)

3. 保存樹木等関係費 33,000 千円
 保存樹林・保存樹木・保存生垣の所有者に対し、奨励金を交付する。

4. 藤沢市みどり保全協働事業負担金 5,382 千円
 緑地保全活動事業、養成講座事業、環境調査事業、普及啓発事業、支援活動事業の5事業を実施する協働事業活動団体との基本協定に基づく負担金

5. 緑地保全事業事務経費 3,817 千円
 - ・消耗品費、交付金等

環境保全費

事業名	自然環境共生推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 03	みどり保全課				
指針体系コード	5-1-71	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	136,600				4,524	132,076
令和4年度	7,914				4,524	3,390
対前年度	128,686				0	128,686
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				4,524

< 拡充事業 > 藤沢市生物多様性地域戦略推進事業の拡充

【施策等を必要とする背景】

本市における生物多様性の保全と持続可能な利用の実現を図るため、平成30年6月に策定した「藤沢市生物多様性地域戦略」では、生物多様性の認識不足を最大の危機と捉え、まずは「普及啓発」や「協働」により、その意味や重要性を多くの市民に認識してもらうことを目的として、当戦略の重点プログラムに「生物多様性センター機能の構築による連携やつながりの創出」を位置付けた。

【提案に至るまでの経緯】

令和3年4月に策定した「藤沢市生物多様性実行プラン（第1期計画）」では、「生物多様性に関する拠点機能の構築」として長久保公園みどりの相談所に「生物多様性センター」を、さらに市内三大谷戸周辺に「生物多様性サテライトセンター」を配置することを示している。

そして、三大谷戸の一つ、遠藤笹窪谷に遠藤笹窪谷公園が令和4年7月に開園したことを受け、令和5年度より長久保公園と遠藤笹窪谷公園の2公園にそれぞれ「生物多様性センター」及び「同サテライトセンター」としての機能を付加し、生物多様性ネットワークの構築及び普及啓発の活性化を図る。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

これまでの市民ボランティア団体等との協働による自然環境の保全に向けた取組を今後も継続・発展しながら活性化を図るとともに、新たに遠藤笹窪谷公園の豊かな自然環境を活用した各種講習会や自然観察会など、生物多様性に関するさまざまなイベントを通じて来園者に本市の自然的特性や自然環境について理解を深め、生物多様性の保全について実体験を通し学んでもらう。

【市の策定する計画や条例との整合性】

生物多様性地域戦略は、市政運営の総合指針と整合・連携を図ると共に環境基本計画等、各既存計画に生物多様性という横ぐしを通すことで、本市の生物多様性の保全と持続可能な利用の一体的な推進を図ることを目的としている。

- ・ 市政運営の総合指針2024重点事業

【5-1-71 自然環境共生推進事業費(生物多様性地域戦略)】

【将来にわたる効果及び費用】

本事業の実施により、生物多様性に関する情報の提供や保全活動に触れられる機会が増加し、多くの市民に「生物多様性の保全と持続可能な利用」の浸透が図られることで、藤沢市気候非常事態宣言書に示した「みどり豊かな里山など、かけがえのない自然環境を未来の世代に残し、引き継いでいく」ことにつながることを期待できる。

【事業概要】

生物多様性に関する関心や認識を高めることを目的とし、生物多様性センター及び同サテライトセンターとして開設する長久保公園及び遠藤笹窪谷公園において、令和5年度より指定管理者制度により普及啓発の活性化を図る。

遠藤笹窪谷公園については、これまでも谷戸全体で保全活動を実施してきた市民活動団体に対する支援等を継続して実施する。

さらに、今後改定を予定している「藤沢市緑の基本計画」及び「藤沢市生物多様性地域戦略」の基礎資料として活用するため、過去2回にわたって実施してきた「自然環境実態調査」を改めて行う。

また、ヒートアイランド現象の緩和、みどり豊かな都市景観の創出などを目的として、市民や事業者を対象とした建物緑化に対する助成及び普及啓発を図る。

- | | |
|-------------------------|------------|
| (括) 1. 藤沢市生物多様性地域戦略推進事業 | 131,675 千円 |
| ・ 藤沢市自然環境実態調査等【継続費】 | 11,675 千円 |
| ・ 長久保公園・遠藤笹窪谷公園指定管理料 | 119,000 千円 |
| ・ 遠藤笹窪谷公園内管理作業手数料 | 1,000 千円 |
| 2. 藤沢市生物多様性地域戦略推進事業 | 3,601 千円 |
| ・ ビオトープ維持管理等 | |
| 3. 建物緑化事業 | 1,324 千円 |
| ・ 建物緑化助成事業交付金等 | |

<継続費年割額>

(単位：千円)

	5年度	6年度	合計
藤沢市自然環境実態調査	10,648	12,441	23,089

【生物多様性センター及び同サテライトセンター相関図】



(前年度の長久保都市緑化植物園運営費と健康の森保全再生整備事業費の一部を統合した事業)

環境保全費

事業名	緑地新設事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 04			みどり保全課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	153,052	0	197	0	152,855	
令和4年度	354,151	73,785	197	132,800	147,369	
対前年度	△ 201,099	△ 73,785	0	△ 132,800	5,486	
特定財源の内訳	(県支出金)	里地里山保全事業補助金				197
	(その他)	みどり基金繰入金				152,855

【事業概要】

希少な自然環境を有する市内三大谷戸等の主要な緑地における里山景観を保全するため、緑地の維持管理や「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用促進に関する条例」に基づく活動団体への支援、緑地の取得を実施する。

- | | |
|--|---|
| <p>1. 石川丸山緑地の維持管理
・里地里山保全地区内施設修繕等</p> <p>2. 川名緑地保全事業用地購入（公社買戻）
・公有財産購入費（取得予定面積2,859㎡）</p> <p>3. 緑地新設事業事務経費
・消耗品費、手数料</p> | <p>1,197 千円</p> <p>150,840 千円</p> <p>1,015 千円</p> |
|--|---|

環境保全費

事業名	緑地改修事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 05 説明 01			みどり保全課		
指針体系コード	1-1-5 1	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	49,588			15,900		33,688
令和4年度	41,228			7,100		34,128
対前年度	8,360			8,800		△ 440
特定財源の内訳	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				15,900

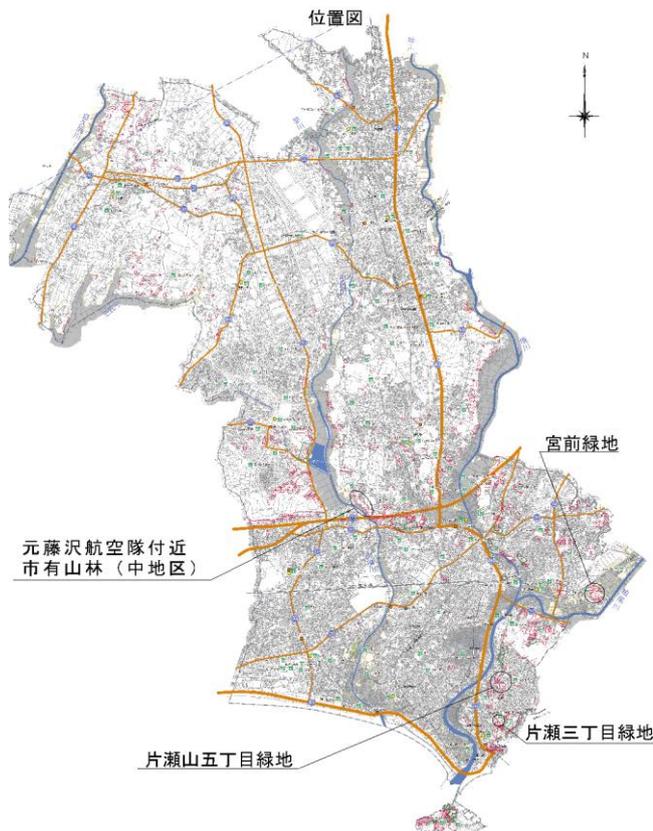
【事業概要】

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に位置する市有山林の法面について、前年度までの成果をもとに安全性の確保に向けた対策を進める。

1. 法面調査委託 27,841 千円
「元藤沢航空隊付近市有山林（中地区）」において、地質調査と測量を実施し、法面の安全性について評価を行う。
 - ・元藤沢航空隊付近市有山林法面二次調査委託（中地区）

2. 法面予備設計委託 5,698 千円
「片瀬山五丁目緑地」において、地質調査や測量の結果をもとに、予備設計を行う。
 - ・片瀬山五丁目緑地（その2）法面予備設計委託

3. 法面詳細設計委託 16,049 千円
「宮前緑地」、「片瀬三丁目緑地」において、予備設計の結果をもとに、詳細設計を行う。
 - ・宮前緑地法面詳細設計委託 8,987 千円
 - ・片瀬三丁目緑地法面詳細設計委託 7,062 千円



宮前緑地



片瀬山五丁目緑地

環境保全費

事業名	海岸美化関係費					
予算科目	款 3 項 1 目 3 細目 02 説明 01			環境総務課		
指針体系コード	5-1-41	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	69,086		22,122			46,964
令和4年度	67,911		22,885			45,026
対前年度	1,175		△ 763			1,938
特定財源の内訳	(県支出金)	海岸漂着物等対策事業費補助金				22,122

【事業概要】

近年、海洋プラスチックごみや微細なプラスチック類であるマイクロプラスチックが、生態系に与える影響等について国際的に関心が高まり、プラスチックごみ削減及び海洋プラスチックごみ対策は世界全体で取り組むべき地球規模の課題となっている。

そのため、市区域内海岸の自然環境の保全を図るとともに、利用者にとって快適な環境と安全性を確保するため、(公財)かながわ海岸美化財団への藤沢市分負担金の拠出、江の島島内及び海岸追加清掃、ゴミゼロクリーンキャンペーン等を行う。

1. (公財)かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金の拠出 35,000 千円
海岸清掃を一元化するために、県・関係市町・企業等により設立された(公財)かながわ海岸美化財団が海岸清掃を行うための、藤沢市分負担金を拠出する。
2. 江の島島内及び海岸追加清掃の実施 33,843 千円
・江の島島内清掃、江の島岩礁部緊急清掃
・夏期(7～8月)の海岸屑籠清掃、片瀬東浜・西浜追加清掃
3. ゴミゼロクリーンキャンペーンの実施 240 千円
海岸をきれいにするとともに、海岸美化への意識啓発を目的として、毎年5月30日(ゴミゼロ)直近となる5月の日曜日に、藤沢市域海岸一帯のボランティア清掃としてゴミゼロクリーンキャンペーンを開催する。
4. その他事務経費(旅費) 3 千円

環境保全費

事業名	交通安全啓発費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 01 説明 02			防犯交通安全課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	11,161				469	10,692
令和4年度	11,127				260	10,867
対前年度	34				209	△ 175
特定財源の内訳	(その他)	交通安全対策基金繰入金				469

【事業概要】

市民を対象として交通安全意識の高揚を図るため、交通安全運動や交通安全事業及び交通安全教育事業を行う。

1. 交通安全運動の実施 2,323 千円
交通安全推進団体等と連携し、交通安全運動を実施する。
 - (1) 春の全国交通安全運動
 - (2) 夏の交通事故防止運動
 - (3) 秋の全国交通安全運動
 - (4) 年末の交通事故防止運動

2. 交通安全事業の実施 3,910 千円
交通安全対策として各種事業を実施する。
 - (1) 自転車マナーアップ運動キャンペーン
 - (2) 自転車街頭点検
 - (3) 交通安全研修会（幼児教育担当者、地域指導者、高齢者を対象に各1回開催）
 - (4) 藤沢市民交通安全推進総ぐるみ大会
 - (5) 交通安全対策のための注意喚起シール等の設置
 - (6) 高齢者安全運転診断

3. 交通安全教育事業の実施 4,928 千円
幼児、小学生、中学生、高齢者等を対象とした交通安全教室等を実施する。
 - (1) 幼稚園、保育園、学校等の交通安全教室
 - (2) 各市民センター・公民館で実施する高齢者交通安全教室
 - (3) シルバー四輪ドライバースクール
 - (4) 二輪車安全運転教室
 - (5) 視聴覚ライブラリー



自転車街頭点検



シルバー四輪ドライバースクール

環境保全費

事業名	防犯対策強化事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 03	防犯交通安全課				
指針体系コード	1-2-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	10,728		0			10,728
令和4年度	8,581		900			7,681
対前年度	2,147		△ 900			3,047

【事業概要】

市民と行政が連携して積極的に犯罪防止に取り組むため、多様な防犯活動等への支援を行う。

1. 街頭犯罪抑止環境整備 4,930 千円
 こども110番の設置及び登録者確認作業、防犯ブザーの貸出し、青色回転灯装備車両の更新等により街頭犯罪抑止環境を整備する。
2. インターネット等による防犯情報広報啓発事業 1,350 千円
 - (1) 藤沢市防犯対策システムソフトウェア保守管理業務等 927 千円
 不審者情報、防犯に関する注意喚起などをメール及びファックス配信するための防犯対策システムソフトウェアの保守管理等を行う。
 - (2) 防犯情報広報啓発事業 423 千円
 ホームページ・SNSにより防犯情報を周知し、防犯意識を啓発する。
3. 暴力追放推進協議会等の活動支援 760 千円
 暴力団排除への市民意識の高揚を図る暴力追放推進協議会への支援を行う。
4. 市民防犯パトロール隊の活動支援 2,300 千円
 市内14地区で活動している防犯パトロール団体等にパトロール用品等の支援を行う。
5. 特殊詐欺被害防止対策事業 1,200 千円
 特殊詐欺被害防止のための啓発チラシ作成や、迷惑電話防止機能付電話機等の購入に対する補助を行う。
6. 防犯市民のつどいの開催 188 千円
 防犯功労者表彰や防犯に関する講演等を行い、日頃の地域防犯活動への功績に感謝するとともに防犯意識の高揚を図る。

電話で特殊詐欺から身を守ろうキュン♡

迷惑電話防止機能付き電話機を

購入すると、最大 **6,000 円**

が補助されます！



迷惑電話防止機能付電話機等購入補助制度
 (令和4年度回覧チラシ抜粋)

環境保全費

事業名	安全・安心まちづくり対策会議事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 04			防犯交通安全課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,034					1,034
令和4年度	730					730
対前年度	304					304

【事業概要】

市民・警察・行政が一体となって総合的な防犯体制を確立し、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進する。

1. 犯罪のない安全・安心まちづくり対策会議の開催 10 千円
2. 地域安全マップ指導者養成講座等の開催 524 千円
 犯罪機会論の普及促進を目的として、市民や小学校教諭等を対象に、地域安全マップ指導者養成講座や防犯講座を実施する。また、防犯VRを活用した防犯体験学習を行い、地域の防犯意識の活性化を図る。
3. 防犯キャンペーン等の活動 500 千円
 自転車盗難やひったくり等の街頭犯罪や特殊詐欺の対策として、防犯チラシやグッズを配布するなど効果的なキャンペーンを実施する。



夏期江の島周辺夜間パトロール



地域安全マップ指導者養成講座



市内一斉防犯パトロール出発式



防犯街頭キャンペーン

環境保全費

事業名	街頭防犯カメラ設置推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 05			防犯交通安全課		
指針体系コード	1-2-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	5,956		720			5,236
令和4年度	12,662		1,080			11,582
対前年度	△ 6,706		△ 360			△ 6,346
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				720

【事業概要】

自治会・町内会が設置する防犯カメラの設置費と修繕費の補助や、市が設置した街頭防犯カメラの維持管理を行う。

1. 自治会・町内会による防犯カメラ設置費補助 4,566 千円
 自治会・町内会が設置する防犯カメラ18台について、設置費の一部を補助する。

・設置事業計画届出一覧

地区	団体数	台数
藤沢東部	2 団体	4 台
片瀬	1 団体	2 台
明治	1 団体	2 台
辻堂	2 団体	10 台
合計	6 団体	18 台

2. 自治会・町内会が設置する防犯カメラの更新費と修繕費補助 1,286 千円
 自治会・町内会が設置する防犯カメラの更新費や設置している防犯カメラ本体と周辺機器の修繕費について一部を補助する。

・設置（更新）事業計画届出一覧

地区	団体数	台数
藤沢西部	1 団体	2 台
湘南大庭	1 団体	5 台
合計	2 団体	7 台

3. 市が設置した街頭防犯カメラの維持管理 104 千円
 市が駅前広場等に設置している15台の街頭防犯カメラについて、維持管理を行う。

・市が設置した街頭防犯カメラ一覧

駅名	台数
藤沢駅	8 台
辻堂駅	2 台
湘南台駅	3 台
片瀬江ノ島駅	2 台
合計	15 台

環境保全費

事業名	浄化槽設置助成事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 5 細目 06 説明 01			下水道総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	3,835	1,270	1,270			1,295
令和4年度	3,525	1,165	1,100			1,260
対前年度	310	105	170			35
特定財源の内訳	(国庫支出金)	循環型社会形成推進交付金				1,270
	(県支出金)	浄化槽整備事業補助金				1,270

【事業概要】

生活排水による公共用水域の水質汚濁負荷を軽減するため、公共下水道事業計画区域外において、居住の用に供する住宅でみなし浄化槽又はくみ取り槽から浄化槽へ転換する者に対して、その費用の一部を助成する。

1. 補助金 3,812 千円

(1) 浄化槽設置費補助 5基

人槽	補助単価	基数
5人	332千円	4基
7人	414千円	1基
10人	548千円	—

(2) 浄化槽撤去費補助

- ・ 120千円×4基 (みなし浄化槽)
- ・ 90千円×1基 (くみ取り槽)

(3) 宅内配管工事費補助

- ・ 300千円×5基

2. 浄化槽設置助成事務経費 23 千円

- ・ 旅費、負担金

民生費

事業名	民生委員活動費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 02 説明 01			福祉総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	67,553		34,890			32,663
令和4年度	68,922		35,172			33,750
対前年度	△ 1,369		△ 282			△ 1,087
特定財源の内訳	(県支出金)	民生委員活動費負担金				34,890
<p>【事業概要】 地域福祉の推進役として住民に必要な援助を行い、行政との橋渡し役を務める民生委員児童委員の活動推進のため、必要な支援事業を行う。また、欠員が生じている地区における民生委員児童委員の選任のため、推薦会を開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員の報酬及び活動旅費 63,280 千円 報償費 231 千円 <ol style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員の力量向上のための研修会の開催 民生委員児童委員全員が対象の全体研修、高齢者等4つのテーマ別部会に分かれて実施する部会研修及び主任児童委員研修のほか、編集委員会の研修を開催 民生委員サポーター制度の検証 令和4年度にモデル事業として実施した民生委員サポーター制度の検証 民生委員推薦会の開催（委員報酬） 446 千円 民生委員児童委員活動費負担金 3,510 千円 16地区の各地区民生委員児童委員協議会が実施する事業や活動に要する経費の一部を負担 その他事務経費（消耗品費等） 86 千円 						

民生費

事業名	社会福祉協議会関係費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 04 説明 01			福祉総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	106,035				20,000	86,035
令和4年度	100,564				20,000	80,564
対前年度	5,471				0	5,471
特定財源の内訳	(その他)	藤沢市社会福祉協議会貸付金元金収入				20,000
<p>【事業概要】 地域福祉を推進するための諸事業を行う藤沢市社会福祉協議会に対し、団体運営に係る職員の人件費等を助成するとともに、福祉資金等に係る原資の貸付けを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 職員人件費等補助 86,025 千円 行旅人等旅費支給事業（委託） 10 千円 貸付金（福祉資金15,000千円、修学旅行資金5,000千円） 20,000 千円 						

民生費

事業名	生きがい福祉センター業務委託費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 06 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	40,510					40,510
令和4年度	33,528					33,528
対前年度	6,982					6,982

【事業概要】
 高齢者等に就業の機会を提供し、生きがいづくりの支援と社会参加の促進、福祉の向上を図るため、藤沢市生きがい福祉センターの管理運営を行う。

1. 藤沢市生きがい福祉センターの管理運営 40,429 千円
 高齢者等の生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、指定管理者による事業運営及び施設の維持管理等を行う。
2. 施設賠償責任保険の加入 15 千円
3. AEDの設置（賃借料） 66 千円

民生費

事業名	シルバー人材センター事業会計助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 06 節 02			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	43,040					43,040
令和4年度	47,315					47,315
対前年度	△ 4,275					△ 4,275

【事業概要】
 高齢者に就業の機会を提供し、生きがいづくりや社会参加を促進するとともに、市民福祉の向上に寄与するため、シルバー人材センターを設置した公益財団法人藤沢市まちづくり協会に対し、その運営費を助成する。

1. シルバー人材センター運営費助成 43,040 千円
 高齢者に就業機会を提供するとともに、研修・相談会等の実施による就業支援を行い、生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、シルバー人材センターの運営費を助成する。

民生費

事業名	地域福祉プラザ運営事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 08 説明 02			福祉総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	97,243	4,520			1,168	91,555
令和4年度	97,366	3,022			1,168	93,176
対前年度	△ 123	1,498			0	△ 1,621
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				500
		重層的支援体制整備事業交付金				4,020
	(その他)	愛の輪福祉基金繰入金				1,168

【事業概要】

本市がめざす、地域住民や多様な主体の参加による、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現に資するため、地域住民等のネットワークの拠点として、また、世代や属性を超えた総合支援拠点として「地域福祉プラザ」の運営を行うにあたり、連携の中心となる藤沢市社会福祉協議会に対して、職員の人件費や事業経費を補助する。

- | | |
|--|-----------|
| 1. 地域福祉プラザを運営するための経費の補助 | 97,243 千円 |
| (1) 職員人件費等 | 94,765 千円 |
| (2) 地域福祉活動センターの運営 | 1,168 千円 |
| 障がい者をはじめとする当事者会や家族会等の活動支援を行うとともに、ボランティアの相談事業や養成事業等を実施する。また、福祉に関するイベント等の実施により、地域福祉活動センターの周知及び関係団体の交流を促進する。 | |
| (3) 福祉情報配信の取組 | 976 千円 |
| ボランティア等の地域福祉に関する活動団体の情報や福祉行政に係る事業等の情報を配信し、地域資源に関する情報を共有することで、多様な主体との協働による地域づくりの推進を図る。 | |
| (4) 社会参加スペースの運営 | 271 千円 |
| 既存の社会参加の機会において、その環境に配慮を要する者等を対象として、居場所の提供を行うとともに、社会参加のきっかけづくりを目的としたボランティア活動、就労体験等の事業を実施することで参加支援の推進を図る。また、家族等の関係者が専門的な相談を受けることができる機会を提供する。 | |
| (5) その他事務経費（役務費） | 63 千円 |

民生費

事業名	愛の輪福祉基金積立金					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 09 説明 01			福祉総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	25,929				25,929	
令和4年度	20,168				20,168	
対前年度	5,761				5,761	
特定財源の内訳	(その他)	愛の輪福祉基金寄附金				25,766
		愛の輪福祉基金利子収入				163
<p>【事業概要】 社会福祉の増進を図るため、愛の輪福祉基金を設置し、基金の積立てを行う。また、パンフレットの配布等により基金の概要や趣旨の周知を行い、基金への寄附を促進する。 (令和3年度末基金残高 543,450,732円)</p> <p>1. 寄附金 25,766千円 市民、法人、団体等からいただいた寄附金を基金に積み立てる。</p> <p>2. 利子収入 163千円 利子収入を基金に積み立てる。</p>						

民生費

事業名	愛の輪福祉基金事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 10 説明 01			福祉総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	10,137				10,137	
令和4年度	10,137				10,137	
対前年度	0				0	
特定財源の内訳	(その他)	愛の輪福祉基金繰入金				10,137
<p>【事業概要】 福祉活動の育成強化及び活動の充実を図るため、社会福祉に関するボランティア団体や障がい者団体などを対象として、愛の輪福祉基金を活用した助成を行う。</p> <p>1. ボランティア団体等への助成 10,000千円 愛の輪福祉基金補助金交付要綱に基づき、審査委員会で決定した事業を行うボランティア団体等へ補助金を交付する。</p> <p>2. 補助金交付事務支援業務 137千円 地域団体からの相談業務、補助金交付申請の集計、審査委員会の開催補助等の補助金交付事務に係る支援業務を藤沢市社会福祉協議会に委託する。</p>						

民生費

事業名	介護人材育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 18 説明 01	介護保険課				
指針体系コード	5-3-41	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	7,084		424			6,660
令和4年度	8,121		595			7,526
対前年度	△ 1,037		△ 171			△ 866
特定財源の内訳	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金(介護分)事業費補助金				45
		市町村自治基盤強化総合補助金				379

<拡充事業> 先進的介護の構築、介護職員等研修受講料助成の充実

【施策等を必要とする背景】

超高齢社会の進展に伴い、要介護認定者等の増加が見込まれる中、生産年齢人口の減少により、介護人材不足は一層深刻化することが予想されている。また、多様化する介護ニーズに対応するため、介護職員の質的向上も求められている。

そのため、国においては、介護職員の処遇改善による人材確保に努めるとともに、限られた人材で介護サービスの維持と質の向上を図るため、「介護現場革新会議」を発足し、業務改善やロボット・ICTの活用等による介護現場の生産性向上に向けた検討を行っている。

また、神奈川県においても、地域医療介護総合確保基金を活用し、介護人材を質的・量的両面から確保する取組を進めている。

【提案に至るまでの経緯】

介護事業所における生産性向上を推進するため、令和4年度に介護ロボット・ICTの活用による業務改善効果を検証する「先進的介護実証事業」を地域密着型の特別養護老人ホーム1施設で実施し、当該実証事業に関して、特別養護老人ホーム等の施設長会において、情報を提供し、意見交換を行ってきた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

いきいき長寿プランふじさわ2023（令和3年度～令和5年度）

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

人材の確保・定着及び技能の向上により、多様化する利用者ニーズに対応した質の高い介護サービスが提供される。また、介護事業所が地域における安心の担い手としての役割を果たし続けることができる。

2. 将来にわたる費用

介護ニーズに応じて、継続的な支出が必要である。

【事業概要】

介護人材の確保・定着や育成を図るため、介護職員初任者研修等の受講料助成をはじめ、介護未経験者や外国人介護職員の参入促進、学生に対するイメージ改善等の取組を進めるとともに、介護施設における介護ロボット・ICT活用等によるDX化に向けた支援を行う。

- (拡) 1. 先進的介護伴走支援事業 1,650 千円
介護ロボット・ICTの活用等による介護職員の負担軽減や、業務効率と質の高いケアの提供体制を図る先進的介護の普及につなげるため、モデルとなる施設を構築し、他施設へ普及促進させることを目的に、特別養護老人ホーム等を対象として、専門のコンサルティング事業者による介護現場でのヒアリング、調査分析、人材育成、業務改善提案等を行う。
・対象 市内の特別養護老人ホーム等 2カ所
- (拡) 2. 介護職員等研修受講料助成事業 1,620 千円
介護職員初任者研修・介護支援専門員実務研修の修了者が、市内の介護事業所等に6か月以上就労した場合に、当該研修受講料の一部を助成する。
また、より広く介護人材の確保を図るため、補助率・補助上限額を上げるとともに、市外在住者が市内の介護事業所等に就労した場合も対象とするよう補助対象者の拡充を行う。
(研修受講料の3分の2以内、上限：5万円（市内在住）、2万円（市外在住）)
3. 介護の入門的研修等就労支援事業 954 千円
介護分野への人材参入を促進するため、介護に関心を持つ介護未経験者を対象に、介護業務に携わる上での不安を払拭することを目的とした基本的知識を身につける研修をオンデマンドにより実施する。
また、研修修了者を対象に、かながわ福祉人材センターと連携し、当該センターへの届出登録の促進を図るとともに、就労につなげる情報配信等を行う。
4. 外国人介護職員受入支援事業 1,800 千円
介護福祉士資格の取得をめざす外国人留学生等を新たに受け入れる特別養護老人ホーム等を運営する法人に対し、居住費及び生活必需品に係る費用の一部を助成する。
・居住費（1人当たり上限月額1万円・6カ月）
・生活必需品費（1人当たり上限5万円）
5. 介護職員等キャリアアップ研修支援事業 1,000 千円
介護職員等の資格取得又はスキルアップにつなげるため、介護事業所が講師を招いて行う研修や職員を外部に派遣する研修等に係る費用の一部を助成する。
(研修受講料等の2分の1以内、1法人当たり上限12万円)
6. 介護のしごと出前授業 60 千円
市内中学校からの依頼により、介護事業所の職員が学校を訪問し、介護の仕事内容や体験、やりがいについての講演会等を実施する。

民生費

事業名	成年後見制度等推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 19 説明 01			地域共生社会推進室		
指針体系コード	2-1-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	45,429	9,628	7,599			28,202
令和4年度	42,427	8,894	7,850			25,683
対前年度	3,002	734	△ 251			2,519
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				6,489
		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				3,139
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				3,244
		地域医療介護総合確保基金(介護分)事業費補助金				4,355

【事業概要】

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及啓発、また相談・支援体制整備を図ることにより、判断能力が十分でない高齢者や障がいのある人が、適切にサービスを利用し、安心して暮らせる地域づくりを進めることを目的とし、成年後見制度利用支援事業の実施及び藤沢市社会福祉協議会内に設置している「ふじさわあんしんセンター」への助成等を実施する。

1. 市民後見人養成事業 4,389 千円
 適切かつ安定的に権利擁護の推進を図るため、市民後見人の育成及び活用に向けた基盤整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施
2. 成年後見制度の利用促進事業 9,003 千円
 権利擁護支援の中核機関として、地域連携ネットワークの充実やチーム支援、アウトリーチの実施、さらに成年後見制度の周知や啓発などの成年後見制度利用促進に向けた体制整備、及び緊急事務管理事業をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施
3. 藤沢市社会福祉協議会ふじさわあんしんセンターに対する補助等 22,474 千円
 ふじさわあんしんセンターの運営及び日常生活自立支援事業に対する事業費補助
4. 後見人に対する報酬等 9,216 千円
 成年後見人等への報酬助成
5. その他事務経費 347 千円
 旅費、需用費、役務費

※ 高齢者を対象とする事業の一部は、介護保険事業費特別会計にて実施

民生費

事業名	生活困窮者自立支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 01			地域共生社会推進室		
指針体系コード	2-1-21		まちづくりテーマ 健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費		重点施策名 地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	64,242	41,029	6			23,207
令和4年度	64,281	41,051	0			23,230
対前年度	△ 39	△ 22	6			△ 23
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				13,464
		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				26,859
		重層的支援体制整備事業交付金				706
	(県支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				6

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を実施する。

1. 自立相談支援事業（必須事業） 361 千円
 《事業内容》 生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、さまざまな社会資源と連携・協働しながら、相談支援を包括的かつ計画的に行う。
 《実施機関》 地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）
 福祉総合相談支援センター及び北部福祉総合相談室
2. 住居確保給付金事業（必須事業） 17,952 千円
 《事業内容》 離職者や休業等により経済的に困窮した世帯へ家賃相当額を支給するとともに、就労に向けた支援を行う。
 《実施機関》 地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）
3. 就労準備支援事業（任意事業） 14,528 千円
 《事業内容》 就労意欲の喚起や、就労に向けた基礎能力の形成を目的として、日常生活自立・社会生活自立の段階から支援を行う。
 《実施機関》 委託事業として実施
4. 家計改善支援事業（任意事業） 9,409 千円
 《事業内容》 家計管理に関する相談と指導及び家計改善の意欲を高める支援を行うとともに、必要な貸付のあっせん等の支援を行う。
 《実施機関》 委託事業として実施
5. 子どもの学習・生活支援事業（任意事業） 20,190 千円
 《事業内容》 市内4地区（北部・東部・西部・御所見）に拠点を開設し、学校等の支援機関と連携しながら、生活困窮世帯の子どもへの学習支援、居場所づくり及び不登校等の課題を有する子どもに対する支援を行う。また、子どもを取り巻く保護者や世帯の生活環境や生活上の課題解決に向け支援を行う。
 《実施機関》 委託事業として実施
6. 一時生活支援事業（任意事業） 1,802 千円
 《事業内容》 住居のない生活困窮者であって、所得が一定基準以下の者に対し、宿泊場所等を提供するとともに、入所者への自立に向けた相談支援を行う。
 《実施機関》 県及び市による広域・共同により、委託事業として実施

民生費

事業名	包括的支援体制推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 02	地域共生社会推進室				
指針体系コード	2-1-1-1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	94,805	62,212	8,890			23,703
令和4年度	97,140	72,852	0			24,288
対前年度	△ 2,335	△ 10,640	8,890			△ 585
特定財源の内訳	(国庫支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				62,212
	(県支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				8,890

【事業概要】

地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制の整備による包括的な相談支援体制の推進を目的に、藤沢市社会福祉協議会への委託により、重層的支援体制整備事業に関連する各種事業を実施する。なお、本事業の実施により配置する相談支援員をコミュニティソーシャルワーカー（CSW）として生活圏域13地区に配置し、地域のさまざまな活動団体との連携・協働による個別と地域生活課題に対する支援、及び個別支援の積み重ねから把握される地域課題の解決に向けた取組を行う。

1. 自立相談支援事業（必須事業） 59,240 千円
生活困窮者が抱える多様で複合的な相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、さまざまな支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図る。
2. 多機関協働事業（任意事業） 2,886 千円
単独の支援機関だけでは対応が難しい複合化・複雑化した地域生活課題を抱える生活困窮者に対する支援について、支援関係機関における方向性の確認と役割分担を行うことで、重層的な支援と分野を超えた包括的な支援に向けた体制を構築する。
3. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（任意事業） 19,190 千円
支援関係機関等の連携や、地域住民とのつながりの中から把握される、潜在的な生活課題を抱える人に対し、当該対象者との信頼関係を構築することをめざし、時間をかけて丁寧な働きかけを行うことで、必要な制度、サービスにつなげていく。
4. 参加支援事業（任意事業） 13,489 千円
既存の社会参加に向けた事業では対応できない本人のために、本人及びその世帯が抱える生活課題を把握し、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネート・マッチングを行う。また、既存の社会資源への働きかけやその拡充を図ることにより、ニーズに即した新たな支援メニューの創設を行う。

民生費

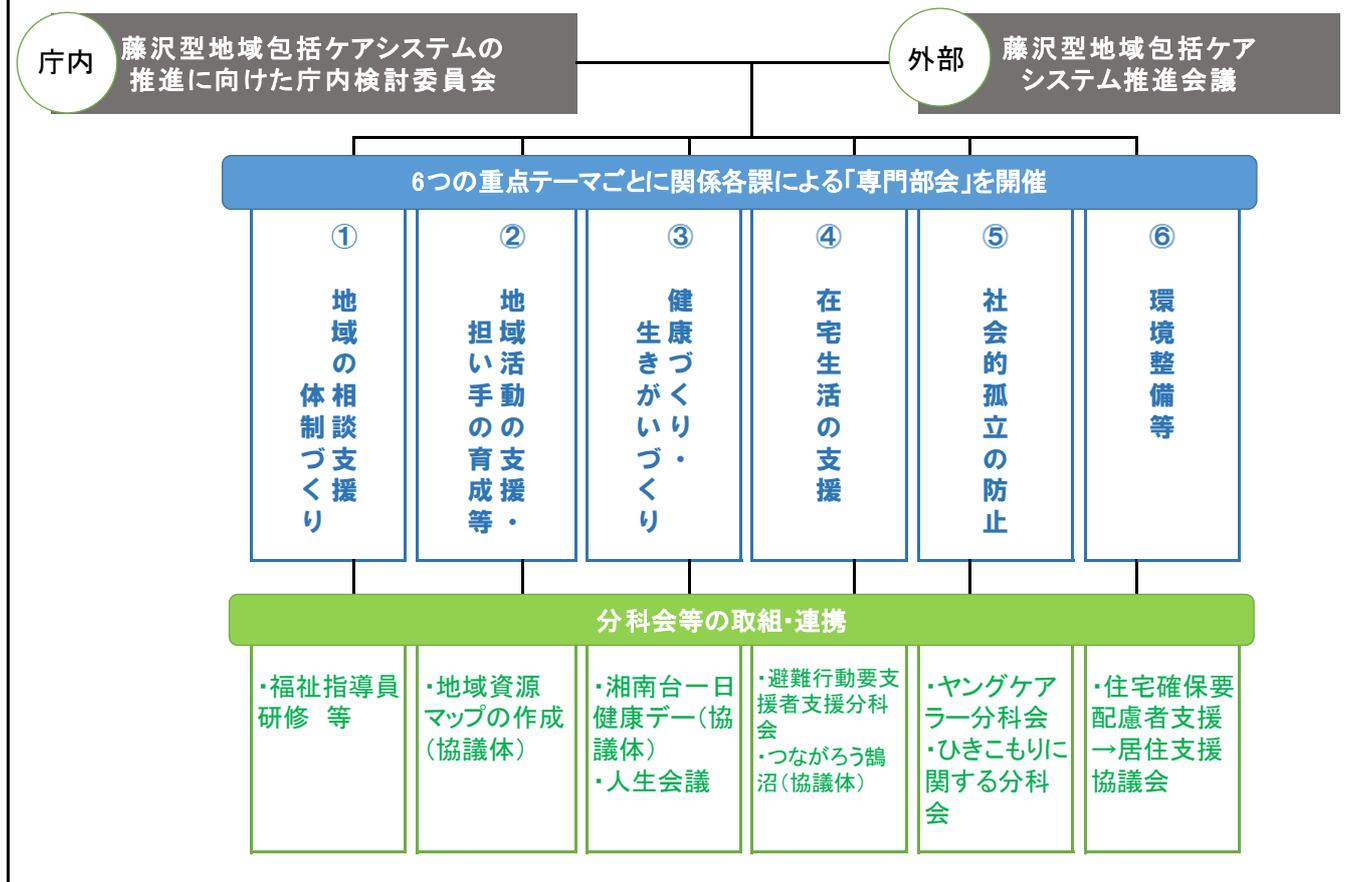
事業名	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 23 説明 01	地域共生社会推進室				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,161	388	194			579
令和4年度	1,087	582	0			505
対前年度	74	△ 194	194			74
特定財源の内訳	(国庫支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				388
	(県支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				194

【事業概要】

「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けることができるまち」をめざし、市民・地域で活動する団体・事業者等と行政との協働、及び各地域における会議体などを活かし、支えあいの地域づくりについて取組を支える仕組みの構築及び連携体制により、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた施策等に取り組む。

1. 「藤沢型地域包括ケアシステム推進会議」の開催（委員報酬） 777千円
市民、医療・福祉等の関係機関や地域団体の代表者、藤沢市社会福祉協議会や行政の職員で構成する審議会を開催し、藤沢型地域包括ケアシステムの推進における多機関との連携体制やネットワークづくりに向けた意見交換、情報共有を図る（年4回）。
2. 地域共生社会の実現に向けた市民への普及啓発 384千円
市民一人ひとりが地域社会の一員として支えあう地域づくりに向け、認知症等当事者の視点や感情を自分事として実感できるVR体験会と講義、身近なテーマを切り口としたワークショップの開催やイベントなど、地域づくりについてより身近に感じてもらえるような啓発を行う。

藤沢型地域包括ケアシステムの会議体系図



民生費

事業名	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 24 説明 01			地域共生社会推進室		
指針体系コード	2-1-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	27,296	1,980			19,727	5,589
令和4年度	28,457	1,963			20,922	5,572
対前年度	△ 1,161	17			△ 1,195	17
特定財源の内訳	(国庫支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				1,980
	(その他)	愛の輪福祉基金繰入金				19,727

【事業概要】

藤沢型地域包括ケアシステムの推進にあたり、支えあいの地域づくりに向けた活動を実施する団体へ運営費及び家賃等の補助を行う。

1. 支えあいの地域づくり活動に対する補助 23,296 千円

事業名		団体数	予算額 (千円)
地域の縁側事業		41	9,890
基本型	誰もが気軽に立ち寄れ、交流や相談ができる居場所	27	
特定型	特定の利用対象者が自由に集え、交流できる居場所	8	
基幹型	地域の縁側事業の中核としての役割（介護予防特化型を除く）を担う居場所	4	
介護予防特化型	介護予防を目的に軽運動等を中心とした高齢者の居場所（高齢者支援課で実施）	2	地域介護予防活動支援事業費で計上
地区ボランティアセンター事業 地区活動のコーディネート等による、住民を主体とした地域支えあい活動の拠点		12	11,592
安全・安心ステーション事業 地域における防犯意識の高揚と地域住民による防犯活動の活発化を図る拠点		7	1,814

2. 地域の縁側事業に係る事務経費等 4,000 千円

- (1) 地域の縁側ポイント支援金 39 千円

地域の縁側においてボランティア活動を行った者に対してポイントを付与し、活動者からの申請に基づき1ポイント100円の支援金を、前年度の付与ポイントに対し支給する。

- (2) 地域の縁側活動支援事業 3,961 千円

地域団体など、それぞれの運営主体による地域の縁側の活動を藤沢市社会福祉協議会と協働して支援するため、活動支援業務を委託する。

民生費

事業名	窓口業務等協働事業推進費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 25 説明 01			保険年金課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	298,106	21,468				276,638
令和4年度	295,888	11,673				284,215
対前年度	2,218	9,795				△ 7,577
特定財源の内訳	(国庫支出金)	国民年金事務委託金				21,468

【事業概要】

市民サービスの維持・向上を図るため、保険年金課の業務（国民健康保険業務、後期高齢者医療業務及び国民年金業務）の一部を協働事業（業務委託）として実施する。

- | | |
|--|--------------------------------|
| <p>1. 保険年金課窓口業務等協働事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種申請受付事務、当該申請に係るシステム入力などの補助的業務及び電話対応 ・運営管理マニュアル、業務フロー及びマニュアルの更新 ・月次及び年次報告書の作成 ・モニタリング指標の測定 ・内部監査の実施 <p>2. 審査選定委員会の開催</p> <p>報酬、筆耕翻訳料</p> | <p>298,022 千円</p> <p>84 千円</p> |
|--|--------------------------------|

民生費

事業名	障がい者福祉手当					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 02 説明 01	障がい者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	365,105	98,883				266,222
令和4年度	423,238	97,282				325,956
対前年度	△ 58,133	1,601				△ 59,734
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特別障がい者手当等給付費負担金				98,883

【事業概要】

障がい児者の生活の安定と福祉の増進を図るため、特別児童扶養手当等の支給に関する法律及び藤沢市障がい者福祉手当条例に基づき、障がい児者に対して福祉手当を支給する。

1. 特別障がい者手当 月額27,300円 95,878 千円
 20歳以上の障がい者で、国民年金の1級程度の障がい重複するなど著しく重度の障がい状態にあるため、日常生活に常時特別の介護を必要とする在宅の人に支給する。
 ただし、本人、配偶者又は扶養義務者の所得が一定額以上ある人、障がい者支援施設等に入所している人、3カ月以上医療機関に入院している人を除く。
2. 障がい児福祉手当 月額14,850円 34,007 千円
 次のいずれかに該当する20歳未満の重度障がい児で、日常生活において常時の介護を必要とする在宅の人に支給する。
 (1) 身体障がい者手帳1・2級の一部の人
 (2) 知能指数20以下の人
 (3) 精神障がい者保健福祉手帳1級の一部の人、その他、常時介護が必要であると認められる人
 ただし、本人、配偶者又は扶養義務者の所得が一定額以上ある人、障がいを支給事由とする公的年金を受給している人、肢体不自由児施設等に入所している人、補聴器が交付されている聴覚障がい児又は自動車運転免許証を所持している人を除く。
3. 経過的福祉手当 月額14,850円 1,960 千円
 従来福祉手当の受給者のうち、特別障がい者手当に該当せず、障がい基礎年金も支給されない人に支給する。(経過措置として支給する手当)
4. 藤沢市障がい者福祉手当 月額4,000円 233,244 千円
 市内に居住する20歳未満又は個人市町村民税が課税されていない20歳以上65歳未満の人で、次のいずれかに該当する人に支給する。
 (1) 身体障がい者手帳1～3級の人
 (2) 知能指数50以下(療育手帳A1～B1相当)の人
 (3) 精神障がい者保健福祉手帳1・2級の人
 ただし、特別障がい者手当、障がい児福祉手当又は経過的福祉手当を受給している人、児童福祉施設又は障がい者支援施設に入所している人を除く。
5. 特別障がい者手当審査嘱託医報酬 16 千円

民生費

事業名	心身障がい者介護手当					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 02 説明 02	障がい者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	19,957					19,957
令和4年度	20,727					20,727
対前年度	△ 770					△ 770

【事業概要】

重度の心身障がい児者の福祉の増進を図るため、常時介護が必要な重度の障がい児者の介護を在宅で行っている介護者に対し、介護手当を支給する。

1. 心身障がい者介護手当 月額7,000円 19,957千円
 市内に居住する4歳以上65歳未満の障がい児者で、介護保険法によるサービスを受けていない人のうち、次のいずれかに該当する障がい児者を介護している人に支給する。
 (1) 6カ月以上寝たきり又はこれと同等の状態にあり、1・2級の肢体不自由・内部障がい・視覚障がいの身体障がい者手帳が交付されている常時介護が必要な人
 ただし、視覚障がいの場合は、幼児・未就学児に限る。
 (2) A1・A2の療育手帳が交付されている常時介護が必要な人

ただし、次の場合を除く。

- ・障がい児者が施設に入所しているとき。
- ・障がい児者が医療機関に入院しているとき。
- ・現に介護をしていないとき。

民生費

事業名	学園等運営委託費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 03 説明 02	障がい者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	184,886					184,886
令和4年度	183,850					183,850
対前年度	1,036					1,036

【事業概要】

障がい児者の福祉及び健康の増進を図るため、指定管理者に委託して、太陽の家（しいの実学園、藤の実学園及び体育館）の管理運営事業を行う。

1. 学園等管理運営業務委託 184,886千円
 (1) 指定管理者により、障がい児者への支援を行う。
 (2) 障がい者スポーツの振興のため、活動の場の提供、講習会、大会等を実施する。
 (3) しいの実学園、藤の実学園の利用者を対象とした、歯科健診・口腔衛生指導・摂食機能指導を実施する。

民生費

事業名	障がい者等医療助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 05 説明 01			障がい者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,050,834		304,745		203,846	1,542,243
令和4年度	1,879,169		280,601		162,285	1,436,283
対前年度	171,665		24,144		41,561	105,960
特定財源の内訳	(県支出金)	重度障がい者医療費補助金				304,745
	(その他)	高額療養費還付金				203,646
		障がい者等医療助成費返還金				200

【事業概要】

障がい者等の医療に係る経済的負担を軽減し、保健の向上及び福祉の増進を図るため、入通院の医療費の自己負担分（入院時の標準負担額を除く。）を助成する。

対象者は、次のいずれかに該当する人

- ・身体障がい者手帳1～3級の人
- ・精神障がい者保健福祉手帳1・2級の人
- ・知能指数50以下（療育手帳A1～B1相当）の人
- ・65歳以上で身体障がい者手帳4級の一部の人
- ・65歳以上でねたきりの人

- | | | |
|---------------|----------------------------------|--------------|
| 1. 医療費助成（扶助費） | | 2,022,257 千円 |
| ・受給者数 | 12,243人（令和5年4月1日見込み） | |
| ・受診件数 | 35,324件（令和5年度月平均見込み） | |
| 2. 審査支払手数料 | | 28,076 千円 |
| | 医療証取扱い分における神奈川県国民健康保険団体連合会等への手数料 | |
| 3. その他事務経費 | | 501 千円 |
| | 旅費、消耗品費、印刷製本費 | |

民生費

事業名	障がい者等歯科診療事業運営費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 06 説明 01	障がい者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	150,476		7,900			142,576
令和4年度	147,549		7,900			139,649
対前年度	2,927		0			2,927
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村障がい者福祉事業推進補助金				7,900

【事業概要】

障がい者等の歯科の健康の増進を図るため、一般の開業医では対応が困難な障がい児者及び要介護高齢者のための歯科診療等を藤沢市歯科医師会に委託して行う。

1. 障がい児者歯科診療の実施 98,890 千円
 診療日 南部診療所 火・木曜日午後
 北部診療所 木・土曜日午後

2. 要介護高齢者の歯科診療の実施 51,586 千円
 診療日 南部診療所 木・日曜日午前
 北部診療所 木・日曜日午前

3. 静脈内鎮静法による診療の実施 (経費は上記1に含む。)
 歯科診療に伴う苦痛や不安を取り除くために鎮痛薬や向精神薬を静脈に直接注入し、
 麻酔状態の間に診療を行う。
 診療日 南部診療所 火・木曜日午後 月4回
 北部診療所 木・土曜日午後 月4回

4. 施設訪問歯科健診及び施設訪問口腔衛生指導の実施 (経費は上記1に含む。)
 市内の障がい者施設を訪問し、歯科健診及び口腔衛生指導を実施する。
 施設数 29施設 各1回

5. 藤沢市歯科医師会による摂食支援相談会の実施 (経費は上記1に含む。)
 実施日 南部診療所 日曜日 月1回

6. 藤沢市歯科医師会による摂食嚥下リハビリテーションの実施 (経費は上記2に含む。)
 実施日 南部診療所 日曜日 月1回

7. 施設管理費 (経費は上記1に含む。)
 保健医療センター内に設置した北部診療所の施設管理を行う。

民生費

事業名	障がい者等福祉タクシー助成事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 07 説明 01			障がい者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	130,995					130,995
令和4年度	132,692					132,692
対前年度	△ 1,697					△ 1,697

【事業概要】

重度の障がい者等の行動範囲の拡大や社会参加の促進を図るため、福祉タクシー利用券を交付しタクシー利用料の助成を行う。

対象者は、次のいずれかに該当する人

- ・身体障がい者手帳上肢又は内部1級、体幹又は下肢1～3級、視覚1・2級の人
- ・療育手帳A1・A2又は知能指数35以下の人
- ・身体障がい者手帳3級かつ知能指数50以下の人
- ・精神障がい者保健福祉手帳1級の人
- ・特定医療費（指定難病）医療受給者証が交付されている人
- ・特定疾患医療受給者証が交付されている人

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. 福祉タクシー利用券の交付 | 123,522 千円 |
| 福祉タクシー利用券 1人当たり 月2, 400円分を交付 | |
| 福祉タクシー利用券（時間制運賃用） | |
| 1人当たり 月2枚を交付 | |
| ※人工透析による通院対象者には、上記の1. 5倍を交付 | |
| 2. 福祉タクシー利用券取扱手数料 | 5,483 千円 |
| 3. 福祉タクシー利用券等印刷製本費 | 1,990 千円 |

民生費

事業名	心のバリアフリー推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 11 説明 01	障がい者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	6,886	2,249	1,124		1,402	2,111
令和4年度	2,290	750	375		272	893
対前年度	4,596	1,499	749		1,130	1,218
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				2,249
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				1,124
	(その他)	愛の輪福祉基金繰入金				1,402

<拡充事業> 「合理的配慮に関する啓発事業」の実施

【施策等を必要とする背景】

令和3年5月に障害者差別解消法が改正され、今後の施行に伴い、民間事業者においても合理的配慮が義務化されるため、事業者向けのセミナー、イベント等を開催し、合理的配慮に対する意識向上を図る。

【提案に至るまでの経緯】

年2回開催している障がい者差別解消支援地域協議会において、合理的配慮が義務化される民間事業者に対して、行政が積極的に周知、啓発を行うことが必要であることが協議された。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

事業者、行政が一体となり、合理的配慮に関する周知、啓発を行う。

【市の策定する計画や条例との整合性】

ふじさわ障がい者プラン2026

【将来にわたる効果及び費用】

本事業の実施により民間事業者における合理的配慮に対する意識向上が図られる。

【事業概要】

障がいに対する正しい認識と理解の浸透を図るため、啓発事業等を行う。

1. 「障がい者差別解消支援地域協議会」の開催（委員報酬） 186千円
障害者差別解消法に基づく障がい者差別解消支援地域協議会を年度内に2回開催する。
2. 「心のバリアフリー講習会」等の啓発事業の実施 859千円
(報償金、消耗品費、印刷製本費、委託料)
市民や市内事業者等を対象に障がいについて理解を深めるため、講習会の実施や啓発を目的とした動画、リーフレットを作成する。
3. 「藤沢バリアフリーマップ」の保守（委託料） 272千円
設備等の変更を確認した掲載施設について、最新の情報に更新する。
4. 「心のバリアフリーハンドブック」の作成（委託料） 2,149千円
障がいに対する理解と関心を深めるため、障がい者が困っているときの対応を写真、イラストを交えた大人向けのハンドブックを作成し、市民、事業者等に対して活用を促す。

- (拡) 5. 「合理的配慮に関する啓発事業」の実施（委託料） 3,420千円
令和3年5月の障害者差別解消法の改正により、今後、民間事業者においても義務化される合理的配慮について、セミナー、イベント等を開催し周知、啓発を行う。

民生費

事業名	介護給付費等事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 13 説明 01			障がい者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	8,124,556	3,889,738	2,017,389			2,217,429
令和4年度	7,499,811	3,572,368	1,850,608			2,076,835
対前年度	624,745	317,370	166,781			140,594
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者介護給付費等負担金				3,877,223
		療養介護医療費負担金				12,515
	(県支出金)	障がい者介護給付費等負担金				1,938,611
		療養介護医療費負担金				6,257
		市町村障がい者福祉事業推進補助金				72,521

<拡充事業> 障がい者地域生活サポート事業における短期入所利用促進事業の実施

【施策等を必要とする背景】

本市では、ふじさわ障がい者プラン2026を策定しており、重度障がい及び医療的ケアへの対応の充実を掲げている。市内の障がい福祉サービス事業所や医療機関及び広域の支援機関と連携し、重度障がい児者や医療的ケアを必要とする人が、自分らしい生活を実現していくことができるよう、さまざまな活動に参加できるような支援体制をめざしている。

しかし、在宅で生活する重症心身障がい児者等が利用できる障がい福祉サービスが不足しており、さらなる充実が必要である。

短期入所利用促進事業を実施することで、在宅で生活する重症心身障がい児者等が利用できる障がい福祉サービスの事業所の拡大を推進することができる。

【提案に至るまでの経緯】

ふじさわ障がい者プラン2026中間見直し策定に向けたニーズ調査において、当事者団体等から重症心身障がい児者等への支援について、介護者の不調等緊急時の預け先が不足している等の課題が挙げられている。

このような状況の中、神奈川県では、市町村障害者福祉事業推進補助金事業実施要領（障害者地域生活サポート事業分）の改正が行われる予定であり、これまで在宅で生活する重症心身障がい児者等の受け入れ拠点となっている障がい福祉サービス等地域拠点事業所配置事業実施事業者が短期入所利用促進事業を実施できるようになることから、当該事業を追加実施し、重症心身障がい児者等の地域生活の充実を図る。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

ふじさわ障がい者プラン2026

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、不足している重症心身障がい児者等の支援について、受け入れ事業者の拡大を図ることができる。また、在宅で生活する重症心身障がい児者等の受け入れ拠点となる障がい福祉サービス等地域拠点事業所配置事業を安定して継続することができる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

- ・令和5年度 6,841千円
- ・令和6年度 6,841千円
- ・令和7年度以降 6,841千円

【事業概要】

障がい児者やその家族の身体的・精神的負担を軽減し、障がい者福祉の向上を図るため、障がい児者に対して、居宅又は施設においてそれぞれの障がいに適した支援を行う。

1. 居宅介護等 1,058,838 千円
居宅等において、入浴、排泄及び食事等の介護、調理・掃除等の家事、並びに生活等に関する相談及び助言、その他生活全般にわたる支援のため、居宅介護、同行援護、行動援護、重度訪問介護を行う。
2. 短期入所（ショートステイ） 120,712 千円
施設に短期間入所した障がい者に対し、入浴、排泄、食事等の介護を行う。
3. 施設等での入通所サービス 6,649,853 千円
入所又は通所する障がい者に対し、施設において食事、入浴、排泄等の介護及び日常生活上の支援又は生産活動や創作活動を通じて必要な訓練を行うほか、重度障がい者を受け入れる市内入通所施設への処遇費補助を実施する。
- (拡) 4. 障がい者地域生活サポート事業 57,904 千円
障がい者の地域生活を支える社会的な資源として、障がい者施設等の活用を図り、障がい者の地域生活移行を促進する。また、短期入所利用促進事業を新たに実施することにより、在宅で生活する重症心身障がい児者等の地域生活の充実を図る。
5. 自立支援給付費支払事務負担金、システム運用経費等 35,675 千円
6. 障がい者施設等通所交通費助成 71,968 千円
地域で生活する障がい者の社会参加を促進し就労意欲を高めるため、通所施設等への通所交通費を助成する。
7. 共同生活援助事業等 129,606 千円
障がい者が住み慣れた地域で生活を維持できるよう、グループホーム等の利用者に対する家賃及び必要な支援を行うグループホームを運営する団体に対する運営費等を助成する。

民生費

事業名	障がい児通所給付費等事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 13 説明 02			子ども家庭課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,461,762	1,230,442	615,221			616,099
令和4年度	2,335,048	1,167,092	583,546			584,410
対前年度	126,714	63,350	31,675			31,689
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい児施設措置費負担金				1,223,050
		障がい者地域生活支援事業費補助金				7,392
	(県支出金)	障がい児施設措置費負担金				611,525
		障がい者地域生活支援事業費補助金				3,696

【事業概要】

障がい児やその家族の身体的・精神的負担を軽減し、障がい児福祉の向上を図るため、それぞれの障がい特性に応じた支援を行う。

1. 障がい児通所支援等 2,446,100 千円
 - (1) 日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応訓練等
(児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援等)
 - (2) 障がい児通所支援等の利用に関する相談支援
2. 重度障がい児放課後等デイサービス受入れ推進事業 14,784 千円
 重度の障がい児を受け入れている事業所に対する助成を行う。
3. 児童発達支援センター昼食代等助成事業 625 千円
 法人立の児童発達支援センターにおける昼食代等の利用者負担額の一部を助成する。
4. その他事務経費 253 千円

民生費

事業名	地域生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 16 説明 01			障がい者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	500,729	138,707	79,744		7,981	274,297
令和4年度	445,548	149,638	85,042		5,868	205,000
対前年度	55,181	△ 10,931	△ 5,298		2,113	69,297
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				136,082
		重層的支援体制整備事業交付金				2,625
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				68,040
		市町村障がい者福祉事業推進補助金				10,392
	(その他)	重層的支援体制整備事業交付金				1,312
		障がい福祉事業所建物賃貸料収入				5,868
		愛の輪福祉基金繰入金				2,113

【事業概要】

障害者総合支援法に基づき、地域の特性や利用者の状況に応じた事業（地域生活支援事業）を実施する。

1. 手話通訳等の派遣・配置 3,332 千円
聴覚障がい者等に対し、手話通訳者又は要約筆記者の派遣及び配置を行う。
2. 日常生活用具の給付 122,301 千円
重度の障がい児者に対して、日常生活を円滑に行うための用具を給付する。
3. 移動支援事業の実施 153,501 千円
屋外での移動が困難な障がい児者に対して、外出のための支援を行う。
4. 日中一時支援事業の実施 52,606 千円
障がい児者の日中活動の場を確保し、一時的な支援を行う。また、夕方以降の支援の場を確保することで、障がい者の日常生活の安定と介護者の負担軽減を図る。
- (拡) 5. 訪問入浴事業の実施 51,989 千円
自宅での入浴が困難な障がい児者に対して、入浴サービスの支援を行う。
令和5年度から12歳未満の障がい児が利用できるようサービスを拡充する。
6. 手話講習会事業等の実施 4,632 千円
手話講習会、要約筆記体験会を実施する。
- (拡) 7. 障がい児者一時預かり事業 38,176 千円
緊急時に障がい児者を受け入れる一時預かり事業に対して助成を行う。
令和5年度から新たに北部の事業所にも看護師を配置し、医療的ケアに対応する。
8. 障がい者虐待防止センターの運営等 107 千円
障がい者虐待防止法にかかる普及啓発等を行う。
9. 地域活動支援センターへの運営費等の助成 72,604 千円
10. 市外の地域活動支援センター利用に対する負担金 1,200 千円
11. 居室確保事業 281 千円
介護者の不在等、緊急的に宿泊を伴う支援の必要が生じた際の一時的な居室を提供する。

民生費

事業名	障がい者相談支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 16 説明 02			障がい者支援課		
指針体系コード	2-1-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	113,555	32,183	16,092			65,280
令和4年度	113,641	38,636	17,296			57,709
対前年度	△ 86	△ 6,453	△ 1,204			7,571
特定財源の内訳	(国庫支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				32,183
	(県支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				16,092

【事業概要】

障がい福祉に関する相談に対応するため、障がい者とその家族等を対象に、障がい者相談支援事業を行い、必要に応じた情報提供及び助言、権利擁護に必要な援助等を行う。

- 障がい者地域相談支援センター（総合相談支援事業所） 55,640 千円
市内4つの地域（東南部、西南部、中部、北部）において、障がい種別にかかわらず障がいに関する相談を受け、ワンストップ機能を果たし、相談者のニーズに対応する。
- 専門相談支援事業所 36,980 千円
重症心身障がい、発達障がい、高次脳機能障がいの3つの障がい分野について、専門的な知見から相談を受けるとともに、障がい福祉サービス提供事業者の支援を行う。
- 基幹相談支援センター 20,935 千円
委託相談支援事業所、指定特定相談支援事業所等への人材育成支援を含めた総合的な相談支援等を行う。

民生費

事業名	老人措置事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 01 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	298,746				50,408	248,338
令和4年度	316,636				52,995	263,641
対前年度	△ 17,890				△ 2,587	△ 15,303
特定財源の内訳	(その他)	老人措置費自己負担金				50,408

【事業概要】

65歳以上の高齢者で、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な人や、やむを得ない事由により介護保険法に規定するサービスを受けることが困難な人に対し、養護老人ホーム（市内外4施設）及び特別養護老人ホームへの入所措置等を行う。

- 養護老人ホームの入所措置費（扶助費） 290,766 千円
養護老人ホーム4施設
（1）藤沢養護老人ホーム
（2）養護老人ホーム湘風園
（3）養護老人ホーム敬愛の園
（4）横須賀養護老人ホーム
- やむを得ない事由による措置費（扶助費） 7,731 千円
特別養護老人ホームへの入所等
- その他事務経費 249 千円

民生費

事業名	老人クラブ助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 02 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	8,357		2,816			5,541
令和4年度	8,253		2,908			5,345
対前年度	104		△ 92			196
特定財源の内訳	(県支出金)	老人クラブ等補助金				2,816
<p>【事業概要】 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、単位老人クラブ及び藤沢市老人クラブ連合会に対する運営費を補助し、老人クラブの育成と充実を図るとともに、高齢者福祉大会及びスポーツ大会を開催する。</p> <p>1. 単位老人クラブへの運営費補助 5,693 千円 (補助予定対象130クラブ)</p> <p>2. 藤沢市老人クラブ連合会への運営費及び事業費補助 1,621 千円</p> <p>3. 高齢者福祉大会の開催 562 千円 藤沢市老人クラブ連合会への委託により、高齢者福祉大会を開催し、講演会や各単位老人クラブへの表彰等を行い、高齢者間の交流を図る。</p> <p>4. 高齢者スポーツ大会の開催 481 千円 藤沢市老人クラブ連合会への委託により、高齢者スポーツ大会を開催し、高齢者の健康増進や介護予防を図るとともに、地域の高齢者間の交流を図る。</p>						

民生費

事業名	敬老事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 03 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	16,418					16,418
令和4年度	15,801					15,801
対前年度	617					617
<p>【事業概要】 長年にわたり社会に貢献された高齢者に敬愛の意を表し、健康と長寿をお祝いするため、各地区社会福祉協議会が実施する敬老事業へ補助を行う。</p> <p>1. 各地区社会福祉協議会への補助 16,418 千円</p>						

民生費

事業名	湘南すまいるバス運行事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 04 説明 03			高齢者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	41,919					41,919
令和4年度	41,784					41,784
対前年度	135					135

【事業概要】
 高齢者の外出を支援し、生きがいづくりや介護予防の促進を図るため、いきいきシニアセンター（老人福祉センター）3館それぞれから、交通の不便な地域を中心に、無料の巡回送迎バスを運行する。

1. 湘南すまいるバス運行事業業務委託 41,917 千円
 (1) 運行ルート
 ア やすらぎ号 「亀井野・白旗」、「大庭・遠藤」ルート
 イ 湘南なぎさ号 「鶴沼神明・辻堂」、「村岡・片瀬」ルート
 ウ こぶし号 「湘南台・六会」、「御所見」、「上谷台」ルート
 (2) 運行数 各ルート 3便/1日（午前・昼・午後）
 (3) 運行日数 305日（いきいきシニアセンターの開館日数）
 (4) 運行バス マイクロバス3台

2. その他事務経費 2 千円
 時刻表、停車場の表示等（消耗品費）

民生費

事業名	高齢者はり・きゅう・マッサージ利用助成事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 14 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	148,093				9,501	138,592
令和4年度	173,159				10,039	163,120
対前年度	△ 25,066				△ 538	△ 24,528
特定財源の内訳	(その他)	後期高齢者医療制度事業補助金				9,501

【事業概要】
 市内在住の70歳以上の人を対象に、健康増進や介護予防を目的として、指定はり・きゅう・マッサージ施術所で利用できる利用券を、1人当たり年間3枚交付する。

1. 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用助成事業の実施 148,093 千円
 (1) 施術利用助成（扶助費） 132,294 千円
 (2) 利用券封入封緘等委託料 5,700 千円
 (3) フレイルチェック等にかかる委託料 9,240 千円
 (4) 指定はり・きゅう・マッサージ施術所手数料 297 千円
 (5) その他事務経費（消耗品費、印刷製本費等） 562 千円

民生費

事業名	敬老祝金事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 16 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	12,627					12,627
令和4年度	12,407					12,407
対前年度	220					220

【事業概要】
 多年にわたり、社会の発展に尽くしてきた高齢者に対し、敬愛の意を表し、長寿を祝う。

- 敬老祝金の贈呈 8,347 千円
 高齢者に対し敬愛の意を表し、その長寿を祝い、敬老祝金を贈呈する。
 ・祝金90歳 5,000円 8,265 千円
 ・その他経費（消耗品費、保険料） 82 千円
- 100歳訪問 4,280 千円
 100歳になる人の誕生月に市長の訪問による祝金品の贈呈を行う。
 ・祝金100歳 20,000円 2,680 千円
 ・その他経費（色紙、記念写真、花束等） 1,600 千円

民生費

事業名	老人福祉施設建設助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 17 説明 01			介護保険課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	180,000			144,000		36,000
令和4年度	20,000			19,200		800
対前年度	160,000			124,800		35,200
特定財源の内訳	(地方債)	社会福祉施設整備事業債				144,000

【事業概要】
 特別養護老人ホームは、在宅生活が困難な重度の要介護高齢者を支えるセーフティネットとしての機能を果たす施設であり、「いきいき長寿プランふじさわ2023」に位置付けた整備計画に基づき、社会福祉法人が実施する老朽化した既存の特別養護老人ホームの移転改築に伴う建設経費の一部を助成する。

- 特別養護老人ホームの施設整備に対する補助 180,000 千円
 (令和4年度～令和5年度整備計画の2年目)
 (1) 対象事業者 社会福祉法人 睦愛会
 (2) 対象施設 特別養護老人ホーム 睦愛園
 (3) 整備予定地 藤沢市亀井野2087番1ほか
 (藤沢市亀井野2520番地の3から移転)
 (4) 入所定員 100人 (うち増床により増加する入所定員50人)
 (5) 開設予定 令和6年4月
 (6) 補助金内訳

補助単価 (入所定員1人当たり)	入所定員	令和5年度進捗率	補助金額
2,000千円	100人	90%	180,000千円

民生費

事業名	地域密着型サービス整備助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 19 説明 01			介護保険課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	87,324		87,324			
令和4年度	10,080		10,080			
対前年度	77,244		77,244			
特定財源の内訳	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金(介護分)事業費補助金				87,324

【事業概要】

地域密着型サービスは、地域包括ケアシステムを深化・推進していく上での核となる高齢者向けサービスであり、「いきいき長寿プランふじさわ2023」に位置付けた整備計画に基づき、整備を行う事業者に対し、施設整備及び開設準備に要する経費の一部を助成する。

1. 認知症対応型共同生活介護事業所の施設整備に対する補助 38,622 千円
(令和4年度～令和5年度整備計画の2年目)

- (1) 対象事業者 NPO法人 ぐるーぷ藤
- (2) 整備予定地 藤沢市柄沢2-2-2ほか
- (3) 宿泊定員 2ユニット18人
- (4) 開設予定 令和5年8月
- (5) 補助金内訳

区分	補助単価	整備数	進捗率	補助金額
施設整備費補助	33,600千円 (1施設当たり)	1施設	70%	23,520千円
開設準備経費補助	839千円 (宿泊定員1人当たり)	18人	100%	15,102千円
合計				38,622千円

- (括) 2. 認知症対応型共同生活介護事業所の施設整備に対する補助 48,702 千円

- (1) 対象事業者 社会福祉法人 永寿会
- (2) 整備予定地 藤沢市大庭5224-12
- (3) 宿泊定員 2ユニット18人
- (4) 開設予定 令和6年3月
- (5) 補助金内訳

区分	補助単価	整備数	進捗率	補助金額
施設整備費補助	33,600千円 (1施設当たり)	1施設	100%	33,600千円
開設準備経費補助	839千円 (宿泊定員1人当たり)	18人	100%	15,102千円
合計				48,702千円

事業名	(新) 養護老人ホーム湘風園施設再整備助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 20 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	11,999					11,999
令和4年度	0					0
対前年度	11,999					11,999

【施策等を必要とする背景】

養護老人ホーム湘風園は、藤沢市、茅ヶ崎市及び寒川町の2市1町で設立した社会福祉法人湘南広域社会福祉協会が運営しており、65歳以上で、環境上及び経済的な理由により、自宅での生活が困難と判断される高齢者を措置として受け入れることで、安心して生活ができる環境を確保している。

【提案に至るまでの経緯】

- ・昭和47年 湘風園開設
- ・平成9年 湘風園新館の整備（50床）
- ・平成25年6月 湘南広域都市行政協議会事務研究部会に「養護老人ホーム湘風園のあり方に関する検討分科会」を設置
- ・令和3年 「養護老人ホーム湘風園再整備基本構想検討委員会」での協議・検討
- ・令和4年3月 再整備基本構想の4者（2市1町及び湘南広域社会福祉協会）合意

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果
老人福祉法の措置施設として、困難な生活課題を抱える高齢者を受け入れるためのセーフティネットとしての役割、また、自立できるよう社会復帰をめざす施設として、存在し続ける必要性がある。
2. 将来にわたる費用
実施設計や工事に要する事業費の助成が必要となる。
再整備にあたっての2市1町による費用負担の割合
藤沢市：60%、茅ヶ崎市：33%、寒川町：7%

【事業概要】

養護老人ホーム湘風園の本館について、利用者に配慮した構造・設備の更新や安全性の確保を行うため、湘南広域社会福祉協会に対し、再整備に係る事業費の助成を行う。

1. 養護老人ホーム湘風園再整備助成事業 11,999 千円
 - (1) 助成の内訳
 - ・基本設計 6,917千円
 - ・地質調査 1,122千円
 - ・敷地測量 3,960千円
 - (2) 再整備に関するスケジュール（予定）
 - ・令和5年度 基本設計・地質調査・敷地測量
 - ・令和6年度 実施設計
 - ・令和7年度～9年度 工事期間
 - ・令和10年度 施設供用開始

事業名	(新) 地域介護予防活動支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 21 説明 01		高齢者支援課・地域共生社会推進室			
指針体系コード	2-2-32	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	18,699	4,378	2,337		9,645	2,339
令和4年度	0	0	0		0	0
対前年度	18,699	4,378	2,337		9,645	2,339
特定財源の内訳	(国庫支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				4,378
	(県支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				2,337
	(その他)	介護保険事業費特別会計繰入金				9,645

【施策等を必要とする背景】

令和2年の社会福祉法の改正において、包括的な支援体制の具体的な手法として、「包括的相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に行う「重層的支援体制整備事業」が創設され、本事業は「地域づくり事業」の一つに位置付けられた。

重層的支援体制整備事業の本格実施は、本市が推進する「藤沢型地域包括ケアシステム」のさらなる深化につながるものであり、重層的支援体制整備事業が社会福祉法に基づく事業であることから、本事業費を介護保険事業費特別会計から一般会計へ移行した上で引き続き事業を実施する。

【事業概要】

高齢者等が地域において社会的な活動に参加するきっかけづくりや生きがいがづくりなど、住民主体の介護予防活動事業について支援を行う。

1. 地域介護予防活動支援事業 6,026 千円
 介護予防について、地域で自主的に活動を継続できるような人材の育成、地域の縁側（介護予防特化型）等活動団体の支援を行う。
2. いきいきパートナー事業 2,173 千円
 福祉施設等におけるボランティア活動に対してポイントを付与し、そのポイント数に応じた支援金を交付する。
3. 地域ささえあいセンター運営事業 10,500 千円
 高齢者の生きがいがづくりや多世代交流などを推進するため、地域の縁側（基幹型）に位置付けられる地域ささえあいセンターの運営経費を助成する。

(この事業は介護保険事業費特別会計から一般会計へ移行した事業)

民生費

<新規事業>

事業名	(新)生活支援体制整備事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 21 説明 02			地域共生社会推進室		
指針体系コード	2-1-62	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	49,090	18,899	9,572		11,291	9,328
令和4年度	0	0	0		0	0
対前年度	49,090	18,899	9,572		11,291	9,328
特定財源の内訳	(国庫支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				18,899
	(県支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				9,572
	(その他)	介護保険事業費特別会計繰入金				11,291
<p>【施策等を必要とする背景】 「藤沢型地域包括ケアシステム」を推進する中での具体的な手法の一つである「重層的支援体制整備事業」を本格実施し、包括的な支援体制の充実をこれまで以上に図る必要がある。</p> <p>【事業概要】 高齢者等が多様な生活支援・介護予防サービス等を利用できる地域づくりを支援するため、「生活支援コーディネーター」を配置するとともに、協議体等による関係主体間の情報共有及び連携・協働による地域福祉の推進を図る。</p> <p>1. 生活支援コーディネーターの配置 48,730 千円</p> <p>2. 協議体等の開催等 360 千円</p> <p style="text-align:center">(この事業は介護保険事業費特別会計から一般会計へ移行した事業)</p>						

民生費

<新規事業>

事業名	(新)地域包括支援センター運営事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 21 説明 03			高齢者支援課		
指針体系コード	2-1-63	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	485,046	186,742	94,583		111,561	92,160
令和4年度	0	0	0		0	0
対前年度	485,046	186,742	94,583		111,561	92,160
特定財源の内訳	(国庫支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				186,742
	(県支出金)	重層的支援体制整備事業交付金				94,583
	(その他)	介護保険事業費特別会計繰入金				111,561
<p>【施策等を必要とする背景】 「藤沢型地域包括ケアシステム」を推進する中での具体的な手法の一つである「重層的支援体制整備事業」を本格実施し、包括的な支援体制の充実をこれまで以上に図る必要がある。</p> <p>【事業概要】 高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を維持できるよう必要な支援を実施するため、市内19カ所において地域包括支援センター（サテライト（分室）を含む）を運営する。</p> <p>1. 地域包括支援センター運営業務委託料 482,623 千円</p> <p>2. その他事務経費（報償費、消耗品費等） 2,423 千円</p> <p style="text-align:center">(この事業は介護保険事業費特別会計から一般会計へ移行した事業)</p>						

事業名	(新) いきいきシニア外出支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 22 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	5,082					5,082
令和4年度	0					0
対前年度	5,082					5,082

【施策等を必要とする背景】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外出が制限され、高齢者の生活においては、活動量の低下による転倒・骨折のリスクの高まりや、人と触れ合う機会の減少に伴うMC I（軽度認知障がい）の発症等、さまざまな弊害が生じている。

加齢とともに増加していく一人暮らしの高齢者が、人とのつながりと健康を維持するための活動量を確保していくためには、外出目的の創出や住民同士の見守り体制によるセーフティネットを構築する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

スマートフォンによるアプリの活用により、高齢者のデジタルデバイドの解消を図るとともに、外出機会を創出し、活動や外出に慎重になっている高齢者の活動意欲も高められるような仕組みの構築を図る。令和4年度に産学官の協働により本事業を試行実施し、参加した高齢者の外出意欲の向上に寄与している。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市高齢者保健福祉計画（令和3年度～令和5年度）

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

(1) 外出意欲の向上及び活動範囲の拡大

高齢者がアプリを介して仲間と交流することで、投稿写真の撮影場所を探しに出かけることが習慣となり、外出意欲の向上や活動範囲の拡大につなげることができる。

(2) 新たなセーフティネットの構築

住民同士のつながりを拡大していくことで見守り体制が構築され、支え合いや安否確認の新たな仕組みを創出することができる。また、早期介入により、安否確認や孤独死への対応業務の負担軽減を図ることができる。

(3) デジタルデバイドの解消

目的を持ち、楽しみながらデジタル機器を活用することにより、ICTの苦手意識を軽減し、使い方を覚えるモチベーション向上につなげることができる。

(4) 介護給付費等の抑制

加齢とともに進行するフレイルのスピードを緩やかにし、介護給付費の増加を遅らせることによる抑制効果や、現状の健康状態を維持することで、健康寿命の延伸やその他社会保障費の増大抑制につながることを期待できる。

2. 将来にわたる費用

- ・習慣化アプリを活用した外出支援事業（アプリの講座開催等）に係る経費
- ・活動量計の利用及びデータ分析等に要する経費
- ・ボランティアスタッフの育成及び活動謝礼等に係る経費

【事業概要】

65歳以上でスマートフォンを所持している市民を対象に、グループ参加型の運動や散策等の写真を共有するアプリを活用した、外出のきっかけづくりとなる取組を実施し、人とのつながりを広め、身近なコミュニティ形成を支援する。

1. いきいきシニア外出支援事業 ♪スマホdeおでかけ みんなdeげんき♪ 5,082 千円
- (1) 習慣化アプリを活用した外出支援事業に係る経費 3,222 千円
- ・アプリのカスタム開発に要する経費
 - ・講座開催に要する経費等
- (2) 活動量計の利用及びデータ分析等に要する経費 1,860 千円



令和4年度の実証実験の様子

民生費

事業名	小児医療助成費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 05 説明 01			子育て給付課		
指針体系コード	3-2-121	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,925,612		365,105		136	1,560,371
令和4年度	1,871,532		228,082		136	1,643,314
対前年度	54,080		137,023		0	△ 82,943
特定財源の内訳	(県支出金)	小児医療費助成事業費補助金				364,905
		小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業費補助金				200
	(その他)	高額療養費還付金				125
		第三者行為損害賠償金				11

<拡充事業> 中学生の医療費助成に係る所得制限の撤廃

【施策等を必要とする背景】

近年、全国的にも所得制限の撤廃が進んでおり、県内19市すべてが中学校卒業までの期間を医療費助成の対象としている。そのうち8市が所得制限を設けずに、中学3年生まで助成をしており、その他の自治体においても見直しが進められている。また、神奈川県においては、令和5年4月から小児医療費助成事業費補助金の補助対象年齢が小学6年生修了まで拡大される予定である。

本市においても、令和5年4月から中学生の所得制限を撤廃し、子どもの医療費に係る保護者の経済的負担を軽減し、子どもたちの生活を支援することにより、すべての子どもたちが笑顔で健やかに育つ、子育てしやすい環境づくりの推進を図るものである。

【提案に至るまでの経緯】

小児医療費助成制度の対象年齢を中学生まで拡大した際に、対象となる中学生には児童手当に準ずる所得制限を導入したが、子どもの健全な育成を支援し、福祉の増進を図るという事業の目的に鑑みれば、すべての子どもは保護者の所得に左右されることなく、等しく医療を受けられるべきである。

児童手当法の一部改正により、特例給付に上限が設けられ、令和4年10月支給分から高額所得世帯の手当が廃止されたことから、これによる財源をもとに、中学生の所得制限を撤廃する。

所得制限の撤廃により、本市に住むすべての中学生までの子どもが平等に必要な医療に対し助成を受けられるようになり、小児の保健の向上と福祉の増進が図られる。

【市の策定する計画や条例との整合性】

第2期子ども・子育て支援事業計画<令和2年度～令和6年度>
子ども共育計画<令和2年度～令和6年度>

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、小児の保健の向上と福祉の増進が図られるとともに、子育て世帯の保護者の経済的負担が軽減される。

2. 将来にわたる費用

令和5年度以降 77,488千円 (内訳 扶助費：75,433千円 役務費：2,055千円)

【事業概要】

小児の健康増進と子育てに係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、0歳から中学3年生までの入通院に係る医療費（入院時標準負担額を除く）を助成する。

また、小児慢性特定疾病児童に対し、日常生活用具を給付する。

1. 医療費助成（扶助費）	1,867,488 千円
対象者の保険診療に係る医療費の自己負担分を助成する。	
未就学児分 受診件数見込み 458,958件	840,238 千円
小学生分 受診件数見込み 330,746件	744,569 千円
中学生分 受診件数見込み 118,000件	282,681 千円
2. 審査支払手数料	54,235 千円
小児医療証取扱分に係る神奈川県国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金への審査支払手数料 件数見込み 878,786件	
3. 小児医療助成費事業事務経費 旅費、需用費、委託料	3,489 千円
4. 小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付（扶助費） 件数見込み 6件	400 千円

民生費

事業名	母子家庭等自立支援給付金事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 02	子育て給付課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	53,860	40,116				13,744
令和4年度	52,614	39,234				13,380
対前年度	1,246	882				364
特定財源の内訳	(国庫支出金)	母子家庭等対策総合支援事業費補助金				40,116

【事業概要】

児童扶養手当受給者及び同水準の所得にあるひとり親家庭の親に対し、生活の安定と自立の促進を図るため、高等職業訓練促進給付金及び修了支援給付金並びに自立支援教育訓練給付金を支給する。

また、ひとり親家庭の親及び子が、高等学校卒業程度認定試験合格のための講座を受講した場合、高等学校卒業程度認定試験合格支援事業給付金を支給する。

1. 高等職業訓練促進給付金 51,175 千円
 看護師や介護福祉士及び保育士等の資格を取得するために6カ月以上養成機関で修業する場合、その修業期間中の経済的負担を軽減するため給付金を支給する。
 ・ 市民税非課税世帯 月額 100,000円（最後の12カ月は月額140,000円）
 ・ 市民税課税世帯 月額 70,500円（最後の12カ月は月額110,500円）
2. 高等職業訓練修了支援給付金 475 千円
 養成機関への入学時の経済的負担を軽減するため、養成機関の修業が修了した際に修了支援給付金を支給する。
 ・ 市民税非課税世帯 50,000円
 ・ 市民税課税世帯 25,000円
3. 自立支援教育訓練給付金 1,406 千円
 厚生労働省指定の教育訓練講座を受講した場合、受講料の一部を支給する。
 （上限あり）
 ・ 雇用保険給付の受給無資格者 受講料の60%
 ・ 雇用保険給付の受給資格者 受講料の60%のうちハローワークから支給される給付金を差し引いた額
4. 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業給付金 804 千円
 高等学校卒業程度認定試験合格のための講座を受講した場合、開始時、修了時及び認定試験合格時に受講料の一部を支給する。（上限あり）

	国の制度による 補助対象分	市単独補助分	補助合計
受講開始時	受講料の40%	—	受講料の40%
受講修了時	受講料の10%	受講料の20%	受講料の30%
試験合格時	受講料の10%	受講料の20%	受講料の30%

民生費

事業名	ひとり親家庭等医療助成費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 03			子育て給付課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	205,910		97,539		50	108,321
令和4年度	211,008		99,160		30	111,818
対前年度	△ 5,098		△ 1,621		20	△ 3,497
特定財源の内訳	(県支出金)	ひとり親家庭等医療費助成事業費補助金				97,539
	(その他)	高額療養費還付金				50

【事業概要】

18歳まで（一部20歳未満）の児童を養育しているひとり親家庭等に対し、経済的負担を軽減するため、入通院に係る医療費を助成する。

1. 医療費助成（扶助費） 200,909 千円
 対象者の保険診療に係る医療費の自己負担分を助成する。
 受診件数見込み 74,222件
2. 審査支払手数料 4,873 千円
 ひとり親家庭等福祉医療証取扱い分に係る神奈川県国民健康保険団体連合会及び社会
 保険診療報酬支払基金への審査支払手数料
 件数見込み 73,104件
3. ひとり親家庭等医療助成費事業事務経費 128 千円
 福祉医療証の印刷製本費

民生費

事業名	養育者支援金事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 04			子育て給付課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	3,235					3,235
令和4年度	4,843					4,843
対前年度	△ 1,608					△ 1,608

【事業概要】

公的年金等との併給調整により児童扶養手当の全部又は一部が支給対象とならない養育者に対し、公的年金等を含む所得に応じて児童扶養手当相当額（児童扶養手当として支給される部分を除く）を養育者支援金として支給する。

1. 扶助費		3,235 千円
養育者支援金の支給		
対象者数見込み		
・継続受給者	5人（対象児童5人）	1,783 千円
・新規受給者	3人（対象児童4人）	1,452 千円

民生費

事業名	養育費確保支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 06			子育て給付課		
指針体系コード	3-2-91	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	3,939	1,950				1,989
令和4年度	3,202	1,575				1,627
対前年度	737	375				362
特定財源の内訳	(国庫支出金)	母子家庭等対策総合支援事業費補助金				1,950

【事業概要】

離婚後のひとり親家庭における子どもの健やかな成長を支援するため、市内在住で、養育費の取り決めの対象となる20歳未満の子を養育しているひとり親を対象に、養育費の取り決めに関する公正証書等の債務名義の取得に要する費用及び、不払い養育費に係る強制執行申立てに要する費用を補助する。

1. 債務名義取得促進事業 2,400 千円
 養育費の取り決めに関する公正証書や調停調書等の債務名義の取得に要する費用を補助する。(上限5万円)
 <補助対象経費>
 - ・公正証書(強制執行認諾付き)の作成に係る公証人手数料
 - ・家庭裁判所の調停申立て又は裁判に要する収入印紙代
 - ・戸籍謄本等添付書類取得費用及び連絡用の郵便切手代

2. 民事執行手続支援事業 1,500 千円
 債務名義を有している養育費について、養育費が不払いになった場合の裁判所への強制執行申立てに要する費用を補助する。(上限15万円)
 <補助対象経費>
 - ・収入印紙代や郵便切手代などの実費
 - ・弁護士、司法書士に依頼した場合の強制執行申立てに要する費用(着手金)

3. その他事務経費 39 千円
 旅費、消耗品費

民生費

事業名	市立保育所整備費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 02	子育て企画課・保育課				
指針体系コード	3-2-101	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	19,161	3,669				15,492
令和4年度	829	0				829
対前年度	18,332	3,669				14,663
特定財源の内訳	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				3,669

<拡充事業> 公立保育園での主食提供及びICT化の推進

【施策等を必要とする背景】

本市の公立保育園では、3歳児クラス、4歳児クラス及び5歳児クラスの児童に対する給食は副食のみを提供しており、主食に関しては各自持参する取扱いとしている中、保護者からは主食の提供を求める声が多数寄せられている。

また、保育士の事務負担を軽減し、保育の質の向上を図る観点から、現在、全国的に保育園業務のICT化が進められており、本市の公立保育園においても導入の検討が必要となっている。

【提案に至るまでの経緯】

公立保育園での主食提供については、保護者の負担軽減及び衛生面の向上等のメリットを踏まえ、この間、設備やスペース、運用体制の整備等の課題を整理し、導入に向けた具体的な検討を進めてきた。

また、公立保育園のICT化については、令和3年度から、保育士によるプロジェクトチームを構成し、事務負担の軽減及び保育の質を高め、保育サービスを向上させる観点から、保育園総合業務支援システムの導入について検討を進めた。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

主食提供により、給食が充実するとともに、保護者負担の軽減が図られる。また、ICT化の推進により、保育の質の向上や保護者サービスの向上が図られる。

2. 将来にわたる費用

公立保育園での主食提供による翌年度以降の財政負担見込額は次のとおり

- ・令和6年度 27,973千円 ※通年化及び実施施設拡大による増
- ・令和7年度 39,119千円 ※実施施設拡大による増

公立保育園のICT化による翌年度以降の財政負担見込額は次のとおり

- ・令和6年度以降 35,935千円 ※通年化による増

【事業概要】

公立保育園における給食の充実及び保護者の負担軽減を目的に、3歳児クラス、4歳児クラス及び5歳児クラスの児童を対象に、新たに自園調理方式による主食提供を行うとともに、公立保育園の保育士の事務負担軽減及び保育の質の向上を目的に、保育園総合業務支援システムの導入を行う。

また、老朽化した公立保育園の施設の安全性の確保及び保育需要への対応を目的に、善行保育園・善行乳児保育園の再整備を行う。

1. 公立保育園での主食提供 8,806 千円

令和5年10月を目途に、公立保育園（5園）での主食提供を開始するにあたり、必要な設備等の購入や人員体制の構築を行う。

※5園以外の園については、令和6年度以降の実施を予定

- ・食器類など消耗品の購入 845千円
- ・炊飯器具や調理台等の備品の購入 1,572千円
- ・調理補助員の派遣委託料 6,389千円

2. 公立保育園のICT化 9,094 千円

令和6年1月を目途に、公立保育園（全14園）において、保育園総合業務支援システムの導入を行う。

- ・タブレット等機器導入及び無線ネットワーク環境構築に要する賃借料 6,116千円
- ・システム使用料、回線使用料、保守費用等 2,978千円

3. 善行保育園・善行乳児保育園の再整備 1,261 千円

善行保育園については、建設から50年以上、善行乳児保育園については、45年以上が経過しており、保育環境の維持・向上を図るため、次のスケジュールに沿って再整備を実施する。

再整備については、「設計・施工一括リース方式」により行う。

リース期間は、令和7年度から令和17年度の10年間とし、リース期間後の建物は市に無償譲渡され、引き続き公立保育園として運営する。

令和4年度			令和5年度												令和6年度												令和7年度													
11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
					公募型 プロポーザル			設計・施工一括方式による施設整備																														供用開始		

- ・善行保育園・善行乳児保育園等再整備事業【債務負担行為の設定】
(2,500,000 千円)

- ・事務経費
報酬及び手数料

民生費

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 04			保育課		
指針体系コード	3-2-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
	5-3-51	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,772,199	212,564	248,199		90,480	2,220,956
令和4年度	2,840,756	358,624	265,204		90,480	2,126,448
対前年度	△ 68,557	△ 146,060	△ 17,005		0	94,508
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				56,832
		保育対策総合支援事業費補助金				154,400
		子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金				1,332
	(県支出金)	民間保育所特別経常費補助金				12,871
		子ども・子育て支援交付金				56,832
		保育対策総合支援事業費補助金				143,867
		保育緊急対策事業費補助金				26,648
		保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金				5,431
		短時間保育士雇上事業費補助金				2,550
	(その他)	法人立保育所建物賃貸料収入				90,284
法人立保育所用地賃貸料収入				196		

<拡充事業> 保育士人材確保策の強化及びICT化の推進

【施策等を必要とする背景】

近年、保育士不足が全国的に顕著であり、本市においても保育士不足の状況が続いている。令和4年4月の認可保育施設の入所申込みにおいては、引き続き保育士不足を理由に受け入れができない定員枠が生じており、保育士の確保が喫緊の課題となっている。

また、保育士の業務負担の軽減を図り、保育士が働きやすい環境を整備するため、保育所業務のICT化の必要性が高まっている。

【提案に至るまでの経緯】

保育士の人材確保策について、近年には保育士就労奨励助成金の新設や保育士奨学金返済補助金の対象要件等の拡大、また本市独自での子育て支援員研修の実施等の取組を行ってきたが、保育士不足は依然として生じている状況にある。令和5年度に向けては、関係団体からの要望等を踏まえ、既存事業のさらなる拡充について検討を進めた。

また、ICT化の推進については、国は令和4年度第2次補正予算において「保育所等におけるICT化推進等事業」の見直しを行い、保育士の業務負担の軽減を図り、保育士が働きやすい環境の整備をより一層進めることとしたところであり、本市ではその趣旨を踏まえ、国庫支出金を活用した補助事業の実施を検討した。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）<令和2年度～令和6年度>

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

保育士の安定的な確保により、保育の質の確保とその向上につながる。

2. 将来にわたる費用

保育士不足が一定程度解消されるまでの間は、継続的な事業実施が必要となる。

【事業概要】

法人立認可保育所の保育の質の向上及び施設運営の安定化を図るため、設置運営法人等に対して各種助成等を行う。また、保育所の人材確保策として、保育士等に対する補助事業を行う。

1. 法人立認可保育所運営等業務委託	2,067,173 千円
市内法人立認可保育所に対する人件費・施設管理費のほか、一時預かり事業や病児・病後児保育事業等の実施に要する経費等	
2. 保育士人材確保事業	154,961 千円
・ 保育士奨学金返済補助金	9,000 千円
・ 保育士転入奨励補助金	1,350 千円
(拡) ・ 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金	107,748 千円
保育士宿舍の借り上げを行う市内の法人立認可保育所等に対し、当該費用の3/4(月額上限61,500円)を補助する。令和5年度は1施設当たりの補助対象者数を5人から7人へ拡大する。	
・ 保育士等確保事業補助金	26,388 千円
(拡) ・ 保育士就労奨励助成金	7,305 千円
新たに市内の法人立認可保育所等へ就労した保育士を対象に助成金を交付する。令和5年度は新たに新卒・新採用者を対象とする。	
・ 潜在保育士保育体験費用補助金	50 千円
・ 保育士募集案内用リーフレット作成、子育て支援員研修	3,120 千円
3. 法人立認可保育所の設置運営等に係る経費への補助	440,264 千円
・ 法人立保育所特別経常費補助金	60,507 千円
・ 社会福祉法人立保育所用地賃借料補助金	19,869 千円
・ 分園設置運営補助金	5,000 千円
・ 保育所建物設置賃借料補助金	283,488 千円
・ 新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金	44,200 千円
(新) ・ ICT化推進事業費補助金	27,200 千円
保育士の負担軽減を図り、保育士が働きやすい環境を整備するため、保育所等での業務支援システムの導入等に係る経費を補助する。	
4. 湘南C-X内保育所建物賃借料、その他保育所土地賃借料	97,045 千円
5. 市外法人立認可保育所等に在園する本市在住児童への法外扶助費	9,965 千円
6. その他法人立認可保育所の運営等に係る事務経費	2,791 千円

民生費

事業名	法人立保育所等施設整備助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 07			子育て企画課		
指針体系コード	3-2-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	346,636	219,131				127,505
令和4年度	190	0				190
対前年度	346,446	219,131				127,315
特定財源の内訳	(国庫支出金)	保育所等整備交付金				219,131
【事業概要】						
<p>既存保育施設における保育環境の向上及び保育需要への対応として、法人立認可保育所が実施する整備費用の一部を助成する。</p> <p>1. 既存認可保育所の再整備 346,522 千円 昭和52年に建築した二葉保育園園舎について、保育環境の維持・向上を図るため、建て替えを行う。 ・設置運営法人 社会福祉法人 二葉福祉会 ・所在地 鶴沼海岸6-6-10 ・定員 120人（建て替え後、125人に増員予定） ・整備期間 令和5年4月～令和6年3月（予定）</p> <p>2. 保育所等設置運営者選考委員会委員報酬 114 千円 公募の審査選定を行う保育所等設置運営者選考委員会の専門委員に対する報酬</p>						

民生費

事業名	医療的ケア児保育事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 09			保育課		
指針体系コード	3-2-81	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	19,989	9,610	2,659			7,720
令和4年度	11,840	5,649	2,824			3,367
対前年度	8,149	3,961	△ 165			4,353
特定財源の内訳	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				9,610
	(県支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				2,659

<拡充事業> 医療的ケア児保育の受入体制の拡充

【施策等を必要とする背景】

日常生活において医療的ケアを必要とする子ども（医療的ケア児）が年々増加する中、これまで保育所での受入れが課題となっていたが、本市では令和4年10月に医療的ケア児保育事業を開始し、公立保育園1施設での受入れを開始した。

その後、この事業の利用を希望する医療的ケア児は増加しており、今後より多くの受入れを行うためには、受入体制の量的拡充が不可欠となっている。また、現在は訪問看護師による時間の定まった医療的ケアの実施体制を整えているが、常時のケアを必要とする医療的ケア児については受入れが困難な状況が生じていることから、保育所の利用ニーズに対応し、インクルーシブ保育をさらに進めるため、受入体制の質的拡充も必要となっている。

【提案に至るまでの経緯】

上記の状況を踏まえ、令和5年度に向けて量的及び質的拡充の両面から受入体制の検討を進め、量的拡充としては、公立保育園の受入可能施設数の増加や法人立保育所への助成対象の拡大、また質的拡充としては、公立保育園への看護師の常駐配置について検討を行った。

【市の策定する計画や条例との整合性】

1. 藤沢市子ども・子育て支援事業計画<令和2年度～令和6年度>
子育て支援の充実、仕事と家庭との両立の推進
2. 藤沢市子ども共育計画<令和2年度～令和6年度>
障がい児等の相談・支援の充実

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、インクルーシブな環境のもと、集団生活の中で子どもたちが相互に育まれ、成長していく機会が提供されるとともに、これまで復職や就労等を断念していた保護者に対し、子育てと就労等の両立が図られる。

2. 将来にわたる費用

翌年度以降においても、医療的ケア児の利用ニーズに応じて、国等の補助金を活用しながら必要な体制整備を行う。

【事業概要】

保育所での集団保育が可能な医療的ケア児を対象に、医療的ケア児保育事業を実施する。令和5年度は、公立保育園3施設及び法人立保育所1施設の計4施設での実施を予定する。また、従来の訪問看護師による対応に加え、公立保育園への看護師の配置により、常時医療的ケアを必要とする児童への対応を図る。

- | | |
|---|-----------|
| 1. 対象児童の医療的ケアに係る業務委託
訪問看護ステーションによる医療的ケアの実施、緊急時の相談対応、ケア計画の作成等 | 5,878 千円 |
| 2. 医療的ケア児等受入検討会議謝礼
標記会議の構成員に対する謝礼金 | 360 千円 |
| 3. 医療的ケア児保育に関する研修講師謝礼
保育士等が医療的ケア児保育に関する知識を習得するための研修に係る講師謝礼金 | 45 千円 |
| 4. 医療的ケア児の受入れに向けた環境整備のための物品等の購入
ケアマット等の物品購入費 | 210 千円 |
| 5. 専門研修への参加負担金
医療的ケア児保育の実施に係る専門研修受講費用 | 120 千円 |
| 6. 法人立保育所における医療的ケア児保育従事者の配置
法人立保育所で医療的ケア児を受け入れるにあたり、必要となる人員配置等に要する経費 | 12,346 千円 |
| 7. 法人立保育所における医療的ケア児保育のための環境整備
法人立保育所で医療的ケア児を受け入れるにあたり、必要となる施設改修等に要する経費 | 1,030 千円 |

民生費

事業名	幼児教育振興助成費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 04 説明 03	保育課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	100,747	20,000	20,000			60,747
令和4年度	96,854	18,400	18,400			60,054
対前年度	3,893	1,600	1,600			693
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				20,000
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				20,000

【事業概要】

幼児教育・保育の無償化の対象とならない幼児教育施設の利用者等を対象に、経済的な負担軽減を図るための保育料補助を行うとともに、市内幼稚園に対し、無償化の実施に伴う事務負担の軽減に係る経費への補助を行う。

また、市内の幼稚園、認定こども園及び幼児教育施設の教育環境の充実を図るため、教材教具の購入や児童・教職員の健康管理等に要する経費を補助する。

1. 幼児教育施設利用者等への保育料補助 76,438 千円
- ・対象施設 幼児教育施設及び各種学校
 - ・対象児童 対象施設の利用児童のうち、無償化対象とならない児童
 - ・対象経費 対象施設に支払う保育料（入園初年度のみ入園料も含む）
 - ・補助金額 補助上限月額×対象児童数×12月

	補助上限月額	対象施設	対象園児数	補助見込額
指導監督基準に適合する幼児教育施設	25,700円	施設	234人	72,165,600円
指導監督基準に適合しない幼児教育施設	9,000円	施設	4人	432,000円
各種学校	20,000円	施設	16人	3,840,000円

2. 幼稚園等への事務負担軽減補助 6,250 千円
- ・対象施設 市内幼稚園（30施設）及び認定こども園（2施設）
 - ・対象経費 無償化給付事務等に係る対応経費
 - ・補助金額 園児割単価（100円）×市内在住の在園児童数（5,208人）×12月
3. 幼稚園等の教育環境の充実に係る経費の補助 18,059 千円
- ・対象施設 市内幼稚園（30施設）、認定こども園（2施設）及び幼児教育施設（11施設）
 - ・対象経費 ①教材教具等の購入費
②職員及び児童の健康管理等に要する経費
 - ・補助金額 （対象経費の園割単価）＋（園児割単価×各施設の対象園児数）

	施設数	園割単価(上限)	対象園児数	園児割単価	補助見込額
幼稚園 及び認定こども園	32施設	① 177,000円	5,259人	1,600円	16,958,400円
		② 90,000円			
幼児教育施設	11施設	① 46,000円	186人	1,600円	1,100,600円
		② 27,000円			

民生費

事業名	幼稚園等預かり保育推進事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 04 説明 04			保育課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	51,964	9,207	9,207			33,550
令和4年度	55,173	10,595	10,595			33,983
対前年度	△ 3,209	△ 1,388	△ 1,388			△ 433
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				9,207
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				9,207

【事業概要】

幼稚園等における預かり保育を推進し、保護者の多様な保育ニーズに対応するため、幼稚園等に対し、預かり保育の実施に係る人件費を補助するとともに、一時預かり事業（幼稚園型）を委託する。

- 一時預かり事業（幼稚園型） 27,621 千円
 子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園及び認定こども園（市内在住の児童が在園する市外幼稚園等を含む。）において、一時預かり事業を行う。
- 私立幼稚園預かり保育推進事業費補助金 24,343 千円
 担当教員を配置し、預かり保育を実施する市内幼稚園（一時預かり事業（幼稚園型）の実施施設を除く。）に対し、保育の実施に係る人件費を補助する。

補助対象区分	補助単価 (年額)	施設数 (見込)	補助金額 (見込)
課業日 年間を通じて継続的に平日の開園日に1日2時間以上実施	293,500円 ～ 1,542,600円	21施設	12,497,600円
休業日 長期休業日を除く土日・祝日に1日4時間以上かつ年間35日以上実施	67,200円	1施設	67,200円
長期休業日 春・夏・冬季休業日に、1日8時間以上かつ年間30日以上実施	80,000円 ～ 1,276,400円	17施設	11,777,400円

民生費

事業名	幼稚園人材確保支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 04 説明 06	保育課				
指針体系コード	5-3-61	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	9,980					9,980
令和4年度	9,980					9,980
対前年度	0					0

【事業概要】

市内幼稚園及び認定こども園における幼稚園教諭等の確保、定着及び離職防止を図るため、各種補助事業を行うとともに、事業の広報周知を図る。

- (拡) 1 幼稚園教諭等就労奨励助成金 2,900 千円
- ・対象者 次のいずれかに該当する市内在住の幼稚園教諭等で、市内幼稚園等に就職又は再就職（1年以上の雇用契約を締結）した人
 - ア 幼稚園教諭免許を所有し、市内の幼稚園等へ教諭として就労する人
 - イ 幼稚園教諭免許が失効しているが、過去に幼稚園教諭として就労経験がある人
 - ・助成額
 - ①対象者アに該当し、幼稚園教諭免許取得後1年を経過せずに常勤職員として就労した場合 10万円
 - ②対象者アに該当し、幼稚園教諭免許取得後1年以上経過し常勤職員として就労した場合 7万円
 - ③対象者アに該当し、非常勤職員として就労した場合 5万円
 - ④対象者イの該当者が就労した場合 3万円
- 2 幼稚園等住宅手当補助金 5,490 千円
- ・対象者 預かり保育事業を実施し、雇用する幼稚園教諭又は保育士へ賃貸住宅に係る住宅手当等を支給している市内幼稚園等の設置者等
 - ・対象経費 市内幼稚園等の設置者等が雇用する幼稚園教諭又は保育士へ支給した住宅手当等の実支出額とし、幼稚園教諭等1人当たり月額上限3万円
 - ・補助額 1月当たりの対象経費 × 補助率※ × 対象月数
 ※補助率は幼稚園等での預かり保育事業の実施状況に応じて、1/4、1/2又は3/4とする。
- 3 幼稚園教諭等奨学金返済補助金 1,485 千円
- ・対象者 市内幼稚園等に勤務し、一定の要件を満たす幼稚園教諭等
 - ・対象経費 対象者の奨学金返済費用のうち、当該年度中に返済した額
 - ・補助額 対象経費 × 補助率1/2（1年度につき20万円を限度）
- (新) 4 補助事業広報周知のためのリーフレット等の作成 105 千円
- 本市が行う幼稚園人材確保支援事業の広報周知を図るため、リーフレット等を作成し、幼稚園教諭養成校や大学等に配布する。

民生費

事業名	少年の森整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 03 説明 02			青少年課		
指針体系コード	3-2-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	33,099					33,099
令和4年度	52,312					52,312
対前年度	△ 19,213					△ 19,213

<拡充事業> 北部地域の活性化に向けた少年の森再整備（基本方針・基本構想の策定）

【施策等を必要とする背景】

少年の森は青少年の健全育成のための野外活動施設として昭和55年の開園以来、大規模な修繕や改修等を実施せず今日に至っているため、施設を再整備する必要が生じている。

再整備にあたっては、市北部地域の活性化に資する施設となるようそのポテンシャルや可能性について民間事業者から意見や提案等を聞き取るサウンディング型市場調査を令和3年度に行ない、令和4年度は施設再整備に向けて基礎的なデータとなる敷地全体の測量調査及び管理棟や周辺建物のアスベスト含有調査を行った。

令和5年度からは再整備の基本方針及び再整備後の施設の基本構想策定を行うこととしている。

【提案に至るまでの経緯】

令和4年1月～2月 サウンディング型市場調査

令和4年6月～令和5年3月 敷地測量委託

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

令和3年5月～6月 地権者及び地域住民へ再整備について説明

令和4年6月～7月 地権者及び地域住民へ令和3年度の取組と令和4年度以降の取組について説明

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

少年の森を市北部の地域資源として再構築し活用することにより、北部地域の活性化に資することが見込める。

2. 将来にわたる費用

再整備にあたり民間活力の導入を視野に入れ、運営に必要な費用の縮減を図る。

【事業概要】

ナラ枯れへの対処により、少年の森の施設環境整備を進め、利用者の安全の確保及び快適性の向上を図る。また、施設の再整備に向けて公民連携手法により再整備の基本方針及び再整備後の施設の基本構想を策定する。

1. ナラ枯れによる枯死木伐採処分 25,179 千円

(拡) 2. 基本方針・基本構想策定業務委託【継続費】 7,920 千円

期間 令和5年度から令和6年度 総額 15,818千円

スケジュールのイメージ

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
事業者選定	基本方針・基本構想(委託)	設計(委託)	整備工事(別発注)		運営(委託)

民生費

事業名	地域子どもの家等整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 04 説明 02			青少年課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	49,247			39,300		9,947
令和4年度	0			0		0
対前年度	49,247			39,300		9,947
特定財源の内訳	(地方債)	地域子どもの家等整備事業債				39,300

【事業概要】

地域子どもの家の整備を行うことにより子どもたちの安全で安心な居場所の環境を整える。

1. 湘南台子どもの家防水等改修工事

49,247 千円



湘南台子どもの家

民生費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団青少年事業関係費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 05 説明 01	青少年課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	425,351		738		742	423,871
令和4年度	367,691		738		742	366,211
対前年度	57,660		0		0	57,660
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				738
	(その他)	青少年会館使用料				742

【事業概要】

青少年の健全育成を目的として、地域における青少年及び青少年団体の活動の場と機会を提供するため、(公財) 藤沢市みらい創造財団へ事業を委託し、青少年施設の管理運営と青少年健全育成事業等を行う。また、(公財) 藤沢市みらい創造財団の事務所移転に係る費用を負担する。

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1. 青少年施設の管理運営及び青少年健全育成事業 | 379,052 千円 |
| (1) 青少年会館管理運営業務(指定管理) | |
| (2) 少年の森管理運営業務(指定管理) | |
| (3) 地域子どもの家管理運営業務(指定管理) | |
| (4) 児童館管理運営業務(指定管理) | |
| (5) S L 広場管理運営業務委託 | |
| (6) 青少年事業業務委託 | |
| ・はたちのつどい | |
| ・親子ふれあいコンサート | |
| ・青少年体験学習事業 | |
| (7) はたちのつどい屋外誘導警備業務委託 | |
| (8) 少年の森宿泊研修施設運営費負担金 | |
| 2. 施設修繕 | 2,682 千円 |
| (1) 藤沢青少年会館2階ファンコイル操作パネル交換 | |
| (2) 辻堂青少年会館1階トイレ修繕 | |
| (3) S L 広場倉庫修繕 | |
| 3. (公財) 藤沢市みらい創造財団事務所移転費用 | 10,924 千円 |
| 4. (公財) 藤沢市みらい創造財団青少年事業関係事務経費 | 32,693 千円 |
| ・青少年会館AED賃借料等 | |
| ・(公財) 藤沢市みらい創造財団運営補助金 | |

民生費

事業名	放課後児童健全育成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 01			青少年課		
指針体系コード	3-2-71	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,029,021	250,740	250,740			527,541
令和4年度	988,355	256,490	227,450			504,415
対前年度	40,666	△ 5,750	23,290			23,126
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				250,740
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				250,740

【事業概要】

保護者が就労等により放課後不在となる家庭等の児童の健全育成と、保護者の就労と子育てを支援するため、児童に居場所や生活の場を提供する放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）を行う。

また、児童クラブの安定的な運営とより質の高い人材確保等に向けて、児童クラブ指導員の処遇改善事業を実施する。

さらに、小学校夏期休暇期間において、小学校4・5・6年生を対象としたサマースクールを実施する。

1. 放課後児童健全育成事業運営費負担金 1,018,391 千円
 - ・法人が運営する77クラブの運営費の負担金
 - ・放課後児童支援員等処遇改善事業負担金

2. その他経費 619 千円
 - ・除草作業

3. 長期休暇対策事業の実施 10,011 千円

小学校の夏期休暇期間中に子どもの居場所確保策としてサマースクール事業を2カ所で実施する。

 - ・実施期間 小学校夏期休暇期間（日曜日・祝日は閉所）
 - ・対象者 市内在住・在学の小学校4・5・6年生

民生費

事業名	放課後児童クラブ整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 03			青少年課		
指針体系コード	3-2-61	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,559	833	833	0	0	893
令和4年度	80,614	333	333	60,800	15,265	3,883
対前年度	△ 78,055	500	500	△ 60,800	△ 15,265	△ 2,990
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				833
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				833
【事業概要】						
第2期藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、放課後児童クラブの整備及び運営を行う事業者を公募する。						
また、亀井野小学校区の放課後児童クラブの移管整備に係る費用を負担する。						
<p>1. 公募による施設整備（藤沢小学校区・湘南台小学校区） 59千円 設置運営事業者を選考するための選考委員会委員報酬</p> <p>2. 亀井野小学校区放課後児童クラブ移管整備に係る費用 2,500千円</p>						

民生費

事業名	放課後子ども教室整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 04			青少年課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	4,319		1,677			2,642
令和4年度	0		0			0
対前年度	4,319		1,677			2,642
特定財源の内訳	(県支出金)	放課後子ども教室推進事業費補助金				1,677
【事業概要】						
放課後の児童の安全・安心な居場所を提供するため、「藤沢市子どもの居場所づくり推進計画」に基づき、子どもの居場所である地域子どもの家や児童館が整備されていない小学校区を中心に放課後子ども教室を整備する。						
<p>1. 運営費用（報償費・消耗品費・保険料等） 3,632千円 ・実施日時 原則給食のある日のうち、最大60日 ・対象者 対象小学校区の在籍児童</p> <p>2. 倉庫設置 687千円 遊具等物品を収納する倉庫設置に要する経費</p>						

民生費

事業名	児童虐待防止対策関係費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 01 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,084	488	488			1,108
令和4年度	2,339	576	576			1,187
対前年度	△ 255	△ 88	△ 88			△ 79
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				488
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				488

【事業概要】

児童の家庭における安定と児童福祉の向上を図るため、児童や保護者等から相談を受け、専門的な指導・助言を行うとともに、子ども家庭総合支援拠点として通所・在宅支援を行う。

また、児童虐待のおそれがあるなど、特に支援が必要な家庭に対しては「藤沢市要保護児童対策地域協議会」の構成機関が連携して、迅速に対応し、家庭への支援及び指導等を行うことにより児童虐待の予防・早期発見、適切な養育環境の確保を図る。

1. 相談機関としての業務の実施 707 千円
 - (1) 児童虐待に関する相談や通告を受けた児童の安全確認、要保護児童対策地域協議会の構成機関等への調査及び保護者に対する指導や継続的支援の実施。
 - (2) 子ども・子育ての相談に対する、専門相談員による助言や情報提供及び必要に応じた専門機関への引継ぎ。

2. 要保護児童対策地域協議会の運営 111 千円
 - (1) 藤沢市要保護児童対策地域協議会（代表者会議）
定例会：年1～2回
 - (2) 藤沢市要保護児童対策地域協議会（実務者会議）
定例会：年1～2回、部会：年4回程度
 - (3) 支援内容検討のための個別ケース検討会議の開催
 - (4) 児童虐待防止のための啓発事業の実施

3. 養育支援訪問事業の実施 1,266 千円
 - (1) 保健師、保育士等による養育に関する専門的指導・助言の実施
 - (2) 育児・家事援助ヘルパーの派遣

民生費

事業名	子ども発達相談関係費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 02 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	3,445	558	194			2,693
令和4年度	3,360	621	228			2,511
対前年度	85	△ 63	△ 34			182
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				388
		子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金				170
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				194

【事業概要】

障がい児や発達に心配のある子どもについての相談支援を行うとともに、ライフステージに応じて一貫した支援が受けられるよう、ネットワークを活用した支援や啓発事業を実施する。

1. 障がい児や発達に心配のある子どもの相談及び家族支援 1,375 千円
2. 保護者や支援者向け啓発事業の実施 258 千円
 - ・市民及び支援者向け発達障がい啓発講座
3. 発達障がい児等支援者向け研修会の実施 860 千円
 - ・発達支援コーディネーター養成講座（保育園、幼稚園等）
 - ・専門相談員の巡回による保育園や幼稚園への相談や助言及び園内研修
 - ・支援者向け研修会（児童発達支援事業所等）
4. 子ども発達支援連絡会議の開催 225 千円
 - ・関係機関のネットワークによる発達支援の推進を図るための連絡会議
 （構成機関：児童相談所、児童福祉施設、私立幼稚園協会、民間保育園園長会等）
5. 子どもサポートファイルの活用と発達障がいに関する啓発の実施 485 千円
6. その他事務経費 242 千円

民生費

事業名	子どもの生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 03 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	9,059	4,156				4,903
令和4年度	10,388	4,849				5,539
対前年度	△ 1,329	△ 693				△ 636
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				4,156

【事業概要】

経済的に困難を抱えるなど、養育環境に課題がある家庭の子どもに、夕方から夜までの時間を安心して過ごすことができる場を提供し、基本的な生活習慣の習得、学習習慣の定着、食事の提供等の支援を行うことで、子どもの豊かな人間性や社会性を育む事業を実施する。

1. 子どもの生活支援事業業務委託 9,059 千円
 - 《実施場所》 市内2カ所
 - 《実施日数》 週3日以上（平日の夜間等に実施）

事業名	(新) 児童相談システム関係事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 04 説明 01	子ども家庭課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	30,394	1,000	1,000			28,394
令和4年度	0	0	0			0
対前年度	30,394	1,000	1,000			28,394
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				1,000
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				1,000

【施策等を必要とする背景】

児童福祉法改正により、努力義務とされた児童福祉部門と母子保健部門による一体的相談支援機関を設置するにあたり、効果的な運用をするため、双方で相談支援情報を共有する庁内システムの整備が必要である。

また、重篤な虐待事例の発生を防ぐため、転入・転出があった自治体や児童相談所との間で迅速かつ的確な情報共有を図ることができる国の情報共有システムを活用するため、連動する児童相談システムが必要である。

【提案に至るまでの経緯】

令和3年9月 国が情報共有システムの運用を開始

- ・支援対象家庭が転居した際の自治体間における確実な引継ぎや児童相談所と市区町村の迅速かつ的確な情報共有の実施を目的とする

令和4年6月 児童福祉法改正案の成立

- ・児童福祉部門と母子保健部門のより一層の連携強化を図り、支援が必要な妊産婦、子育て世帯、子どもへの包括的な支援体制の構築を目的とする

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市子ども共育計画の施策方針1「柱3 切れ目ない相談支援の充実」において、子ども家庭総合支援拠点の運営を位置付け、子どもや保護者等から受けた相談について調査や実情の把握に努め、必要な情報提供や指導及び助言を行うとともに支援につなげるとしている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

児童相談システムの導入は、こども家庭センターの設置に資するとともに、支援の進捗管理や各種統計資料の作成等の内部事務を省力化し、ケースワーク業務に注力することで支援の充実を図ることができる。

また、国が運用する情報共有システムに児童相談システムを接続することにより、他自治体や児童相談所との迅速かつ正確な情報共有が可能となり、児童の安全確保が図られる。

さらに、母子保健を所管する健康づくり課をはじめ、子どもに関する相談支援を実施している、子育て給付課、教育指導課、学校教育相談センターでシステムを活用することにより、必要な支援を円滑に継続して行うことができる。

2. 将来にわたる費用

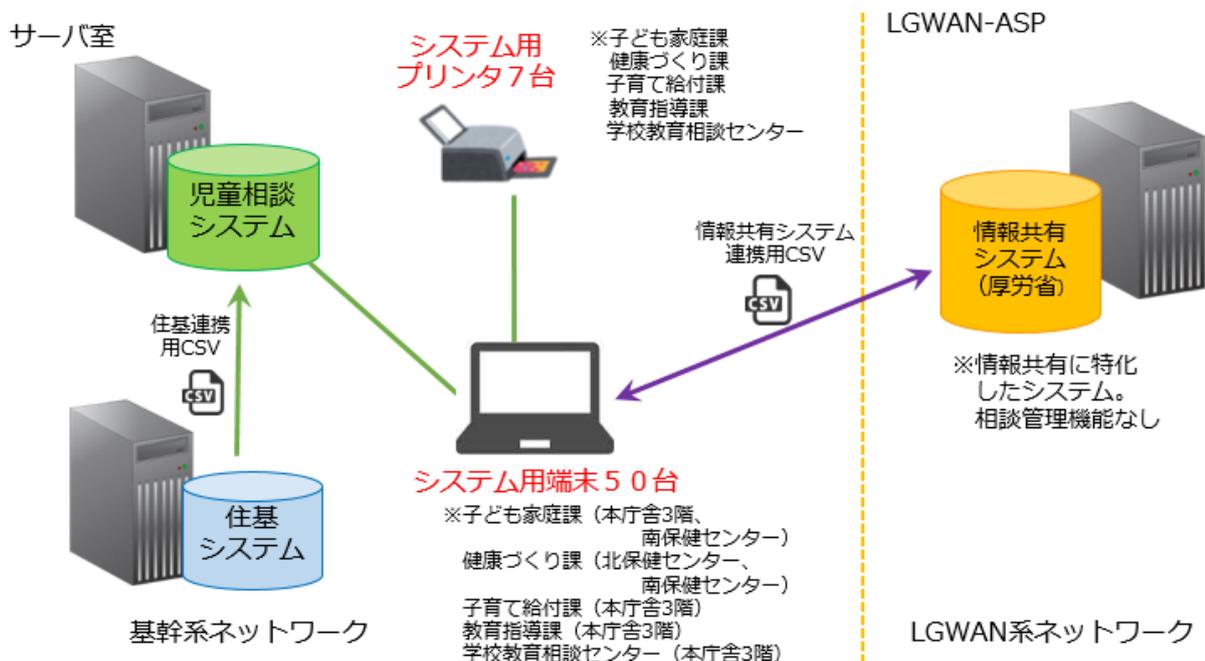
児童相談システムの保守費用及び機器等のリース料が継続的に必要となる。

【事業概要】

児童相談所や関係自治体との迅速かつ正確な情報共有を行うため、児童相談システムを導入して国の情報共有システムに接続することにより、相談記録の管理や統計等の作成、支援の進捗管理などの内部事務を省力化し、ケースワーク業務に注力して児童の安全確保と支援の充実を図る。

1. 児童相談システム導入に関する費用	30,394 千円
・ 生体認証用機器購入費	996 千円
・ LAN配線及びネットワーク機器設定変更作業業務委託	11,382 千円
・ 住基情報等連携対応業務委託	10,433 千円
・ 情報セキュリティソフト使用料	873 千円
・ 児童相談システム機器賃貸借（システム保守費用含む）	6,710 千円

児童相談システムと情報共有システム運用イメージ



事業名	(新) 医療的ケア児等支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 05 説明 01	子ども家庭課				
指針体系コード	3-2-111	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	7,266	2,100	2,583			2,583
令和4年度	0	0	0			0
対前年度	7,266	2,100	2,583			2,583
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				2,100
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				1,050
		市町村障がい者福祉事業推進補助金				1,533

【施策等を必要とする背景】

医療技術の進歩に伴い、日常的に医療的ケアが必要な医療的ケア児が増加傾向にある。医療的ケア児への適切な支援を行うために、福祉、医療、教育等の情報共有の仕組みづくりや、相談支援体制のあり方を検討してきた。令和3年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され、従来は努力義務であった施策の実施が地方公共団体の責務となった。

【提案に至るまでの経緯】

- 令和元年度 「藤沢市障がい者総合支援協議会重度障がい者支援部会」の分科会として、「コーディネーター機能推進チーム」を設置。神奈川県内の医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者及び関係機関と意見交換。
- 令和2年度 「湘南東部障害保健福祉圏域自立支援協議会重度障害者等の医療ケアに関する連絡会」において、医療的ケア児者の実態調査を行い、在宅医療体制や福祉サービスの不足、連携体制の確保等の課題が報告された。
- 令和3年度 障がい福祉サービスの報酬改定により、医療的ケア児者に対する支援を行う事業所に対し加算制度が設置される。「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」施行。
- 令和4年度 神奈川県が「かながわ医療的ケア児支援・情報センター」を設置。令和5年度に向けて、県が湘南東部圏域に設置する相談窓口と市町村が配置する医療的ケア児等コーディネーターが連携した支援体制づくりについて協議を進めた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・ふじさわ障がい者プラン2026
 - ふじさわ障がい者計画
 - 第6期 ふじさわ障がい福祉計画
 - 第2期 ふじさわ障がい児福祉計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、地域において、医療的ケア児の健やかな成長を見守るとともに、その家族が適切な支援を受けられる環境が整備され、すべての子どもを安心して育てることができる誰一人取り残さないまち、インクルーシブ藤沢の実現に寄与することができる。
2. 将来にわたる費用

制度導入後の継続的な支援にかかる事業費は国・県支出金を確保し進める。

医療的ケア児等相談支援事業業務委託

 - ・令和5年度以降 4,200千円 (内一般財源 1,050千円)

医療的ケア児家族等支援事業

 - ・令和5年度 3,066千円 (内一般財源 1,533千円) 6カ月分
 - ・令和6年度以降 6,132千円 (内一般財源 3,066千円) 12カ月分

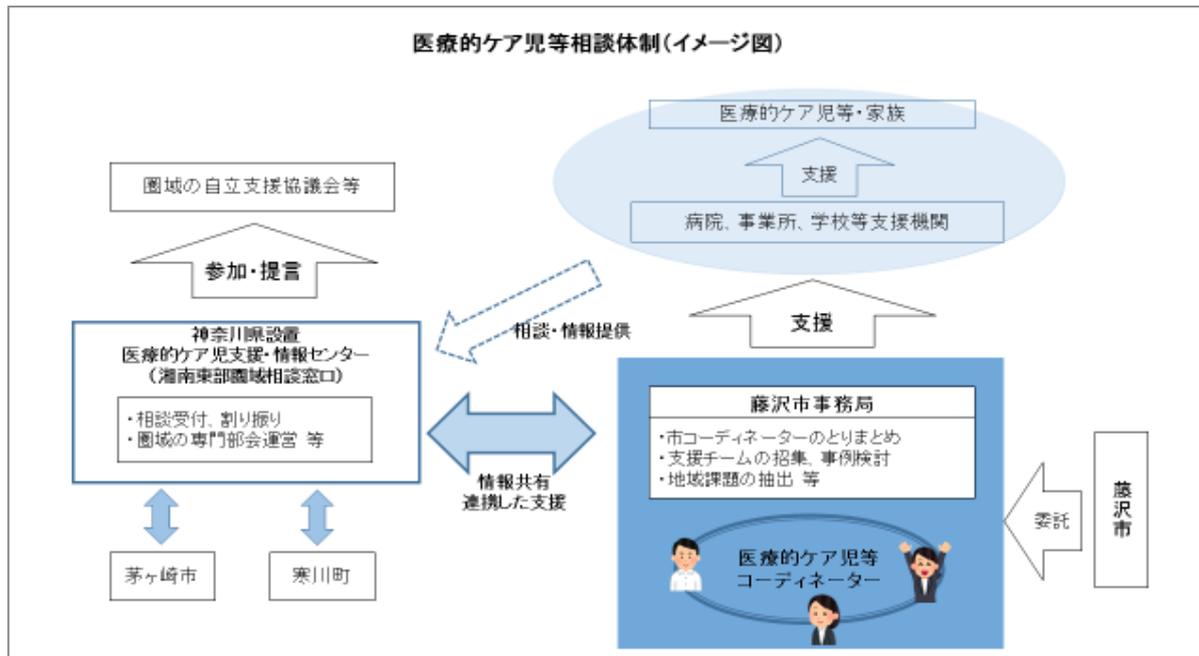
【事業概要】

医療的ケア児等が心身の状況等に応じた支援を受けるため、医療的ケア児及びその家族に対して地域の相談支援体制を構築する。また、医療的ケア児を支える家族を支援するため、家族等に代わり一時的に看護を行う事業を実施する。

1. 医療的ケア児等相談支援事業業務委託 4,200 千円

医療的ケア児等とその家族に対し、保健、医療、福祉、教育等の多分野にわたるサービスを調整し支援につなぐため、専門の研修を受けた医療的ケア児等コーディネーターを取りまとめ、協議の場の運営や困難事例の総合的な調整を行う機能を法人等に委託する。また、神奈川県が湘南東部圏域に設置する相談窓口と連携し、支援者等のサポートを行う。

・開始時期 令和5年4月



2. 医療的ケア児家族等支援事業 3,066 千円

在宅で生活する医療的ケア児の家族等の負担を軽減するため、委託契約した訪問看護ステーション等の看護職員等が、居宅を訪問して家族等に代わり一時的に看護を行う。

- ・開始時期 令和5年10月
- ・積算根拠 (神奈川県補助金交付要領)

項目	県補助基準額	上限
看護経費	4,500円/30分	48時間/年
医師指示書代	3,000円/回	年2回

・支援見込み人数 14人

民生費

事業名	生活保護扶助費					
予算科目	款 4 項 3 目 2 細目 01 説明 01			生活援護課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	10,176,835	7,500,625	145,446			2,530,764
令和4年度	9,998,459	7,393,843	188,271			2,416,345
対前年度	178,376	106,782	△ 42,825			114,419
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活扶助費等国庫負担金				3,893,635
		医療扶助費等国庫負担金				3,382,482
		介護扶助費等国庫負担金				224,508
	(県支出金)	生活保護費負担金				145,446

【事業概要】

生活保護法に基づき、生活困窮者の最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図るため、生活扶助費等を支給し、必要な支援を実施する。

1. 生活保護扶助費の支給 10,176,835 千円
 対象数（月平均） 4,578 世帯 5,811 人

（内訳）

	世帯数	人員（人）	金額（千円）
生活扶助費	3,989	5,101（月平均）	3,182,494
住宅扶助費	4,199	5,338（月平均）	2,035,483
教育扶助費	227	330（月平均）	31,757
介護扶助費	989	1,000（月平均）	302,345
医療扶助費	3,997	4,812（月平均）	4,512,976
出産扶助費	2	2（年間）	518
生業扶助費	129	144（月平均）	26,491
葬祭扶助費	131	131（年間）	35,088
施設事務費	18	18（月平均）	38,516
委託事務費	20	20（月平均）	5,767
就労自立給付金	60	60（年間）	2,400
進学準備給付金	30	30（年間）	3,000

民生費

事業名	災害見舞金関係費					
予算科目	款 4 項 4 目 1 細目 01 説明 01			福祉総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,500					2,500
令和4年度	2,500					2,500
対前年度	0					0

【事業概要】

藤沢市災害弔慰金の支給等に関する条例等に基づき、火災又は自然災害（床上浸水等）等の災害による罹災者に対し、弔慰金、見舞金の支給を行う。

1. 災害弔慰金及び見舞金の支給 2,500 千円
- (1) 災害弔慰金の支給
火災又は自然災害等により死亡した人の遺族に対し、災害弔慰金を支給する。
- (2) 災害見舞金の支給
火災又は自然災害等により住居等が被害を受けた人、またその災害により負傷した人に対し、災害見舞金の支給を行う。
- (3) 災害援護資金の貸付け
自然災害等により住居もしくは家財が被害を受けた世帯の世帯主に対し、生活の立て直しに資するため、災害援護資金の貸付けを行う。

衛生費

事業名	乳幼児健診事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 01			健康づくり課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	102,016	403				101,613
令和4年度	102,114	0				102,114
対前年度	△ 98	403				△ 501
特定財源の内訳	(国庫支出金)	母子保健衛生費補助金				403

【事業概要】

すべての子どもが健やかに成長できるように乳幼児の発育・発達の確認を行う健康診査を実施する。健康診査において、疾病及び発達や運動機能等の障がいを早期発見し、適切な保健指導を行うことで養育や発達過程に応じた相談及び発達支援につなげる。

1. 乳児健康診査 56,186 千円
4カ月児及び9～10カ月児を対象に医療機関での個別健康診査を実施する。
2. 幼児健康診査 42,856 千円
1歳6カ月児、2歳児（歯科）、3歳6カ月児を対象に南・北保健センターでの集団健康診査を実施する。また、4・5歳児を対象に尿検査を実施する。
3. その他経費 2,974 千円
報酬、消耗品費、印刷製本費等

衛生費

事業名	母子保健事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 02	健康づくり課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	8,730				165	8,565
令和4年度	8,315				165	8,150
対前年度	415				0	415
特定財源の内訳	(その他)	歯科予防処置手数料				165

【事業概要】

母及び乳幼児の健康の保持・増進を図るため、妊娠、出産、育児（思春期含む）についての知識の普及や育児支援、未熟児や慢性疾患児等に対する療育支援を実施する。

また、南・北保健センターを子育て世代包括支援センターとして位置付け、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談支援を実施する。

1. 各種教室、各種相談の実施 6,654 千円
 両親学級、ぱくぱく教室（1歳～1歳2カ月児）、もぐもぐ教室（7カ月児）、育児支援教室等を行う。
 また、赤ちゃんの健康相談、お母さんと子どもの健康相談、心理相談経過観察、幼児健診事後相談、歯科相談等を行う。

2. 各種訪問等の実施 2,076 千円
 こんにちは赤ちゃん事業（生後4カ月までの全戸訪問事業）、未熟児訪問指導、慢性疾患児訪問指導等を行う。

衛生費

事業名	妊娠・出産包括支援事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 05	健康づくり課				
指針体系コード	3-2-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	617,514	138,117	27,981			451,416
令和4年度	275,748	26,420	0			249,328
対前年度	341,766	111,697	27,981			202,088
特定財源の内訳	(国庫支出金)	母子保健衛生費補助金				26,193
		妊娠出産子育て支援交付金				111,924
	(県支出金)	妊娠出産子育て支援交付金				27,981

<拡充事業> 産後ケア（アウトリーチ型）の実施及び多胎妊婦健康診査・新生児聴覚検査の費用助成

【施策等を必要とする背景】

国の第4次少子化対策大綱では、令和6年度末までに産後ケア事業の全国展開をめざしており、本市においても令和3年度から開始した産後ケア事業の段階的拡充を図る必要がある。

また、多胎児を妊娠した妊婦は、単胎妊娠の場合よりも頻回の妊婦健康診査の受診が推奨されていることから、経済的負担の軽減が求められている。

さらに、産後入院中に行われる新生児聴覚検査については、難聴児の早期発見、早期医療に重要な検査である。令和4年7月、国の事務連絡により、すべての新生児が対象となっており、経済的負担を軽減し、受検率向上を図ることが求められている。

【提案に至るまでの経緯】

「産後ケア事業」については、令和4年度に①ショートステイ②デイサービス6時間③デイサービス3時間の3種類の支援に拡充を図り、個室利用での休息にも対応したが、移動を必要としないアウトリーチ型の支援ニーズも高いことから、体制整備を行う必要がある。

「多胎妊婦の健康診査費用助成」については、助成回数が不足しているという市民からの要望もあり、多胎妊婦の妊婦健康診査費用助成回数を上乘せして経済的負担の軽減を図る。

「新生児聴覚検査」については、本市の受検率は令和3年度95.8%と高いものの、一定の未受検者について検査が適正に行われるように公費助成による負担軽減でさらなる受検率の向上を図る。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

利用者アンケートによる意見を事業立案の参考とした。

【市の策定する計画や条例との整合性】

1. 市政運営の総合指針における重点施策として位置付けている。
2. 子ども・子育て支援事業計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、妊娠・出産を通じた不安を軽減し、安心して子育てができる環境が整備されることで、孤立を防ぎ、子育てしやすいまちづくりにつながる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

- ・令和5年度 617,514千円
- ・令和6年度 617,514千円
- ・令和7年度以降 617,514千円

【事業概要】

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行い、安全・安心で健やかな妊娠・出産・産後をサポートするため、妊産婦の健康診査の費用助成及び産後ケア事業等を実施する。

- (拡) 1. 妊産婦健康診査 245,896 千円
妊産婦健康診査の積極的な受診を促し、妊産婦の健康確保を図るため、16回の公費負担を実施し、多胎妊婦については、新たに5回の公費負担を実施する。また、里帰り出産等において安心して妊産婦健康診査が受診できるように償還払いにより公費負担を実施する。
さらに、低所得の妊婦の経済的負担の軽減を図るとともに、状況を継続的に把握し、必要な支援につなげるため、初回の産科受診料の全部又は一部を補助する。
- (拡) 2. 産後ケア事業の実施 25,177 千円
おおむね産後4カ月（最大1年）までを中心に、支援を必要とする母と子を対象に、産後ケア事業として、既存のショートステイ、デイサービス6時間、3時間に加え、アウトリーチを新たに実施する。移動手段の確保が難しい場合や、疲労等により移動をせずに支援を利用したい方の利便性を図り、産後の不安定な時期の産後うつ予防や早期対応の充実を図る。
また、利用者の経済的負担の軽減を図るため、自己負担額の全部又は一部を補助する。
- (新) 3. アウトリーチ事務委託費 1,010 千円
- (新) 4. 新生児聴覚検査費用助成事業費 9,672 千円
生後間もなく行う難聴児の早期発見・早期療育推進のための検査費用の助成により、受検者の経済的負担の軽減とともに受検率向上を図る。
5. 出産・子育て応援事業の実施 335,759 千円
妊娠期から出産・子育て期まで一貫した伴走型相談支援と現金給付による経済的支援を一体として実施する。

(5の事業は令和4年度12月補正で実施した事業)

衛生費

事業名	健康づくり推進事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 01	健康づくり課				
指針体系コード	2-2-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	75,661	2,768	2,441		3,710	66,742
令和4年度	68,577	2,582	2,441		1,987	61,567
対前年度	7,084	186	0		1,723	5,175
特定財源の内訳	(国庫支出金)	受動喫煙対策促進事業補助金				2,768
	(県支出金)	健康増進事業費補助金				2,441
	(その他)	後期高齢者健康診査補助金				3,710

【事業概要】

健康増進計画（第2次）の到達目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を達成するため、生活習慣病予防及び重症化予防を目的とする健康教育・健康相談等、健康づくり事業を実施し、市民が健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備を図る。

1. 健康づくり施策の進捗状況や事業の検証を行うための会議の開催 854 千円
健康づくり推進会議・タバコ対策協議会・食育推進会議・歯科保健推進会議

2. がん対策や健康づくり、生活習慣病予防等に関する各種事業の実施 67,675 千円
身体活動・運動、栄養・食生活、歯・口腔等の健康づくりに関する7分野の普及啓発、人材育成等の各種事業を実施する。
 - ・健康づくりに関する健康教育や健康相談の実施
 - ・保健医療センターの専門職による健康増進事業の実施
 - ・市民活動団体の育成及び健康づくり応援団事業の実施
 - ・健康づくりに関する普及啓発
 - ・健康増進計画（第2次）及び第3次食育推進計画最終評価に関する調査の実施

3. ふじさわ歩くプロジェクトの実施 3,421 千円
健康増進計画（第2次）の中間評価において、特に働き世代や子育て世代での身体活動の低下が課題となっている。健康寿命のさらなる延伸に向けて、当該世代の身体活動の促進を図るために、家事や仕事、趣味などの日常生活のあらゆる行動も「運動」につながる「気づき」を促すとともに、SNSを活用して思わず歩きたくなる情報を発信するなど、歩くことが楽しくなる環境づくりを推進する。

4. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 3,711 千円
「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」に基づき、後期高齢者医療広域連合が実施する高齢者の保健事業について、市が受託し、介護予防と一体的に実施する。

衛生費

事業名	がん検診事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 03	健康づくり課				
指針体系コード	2-2-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	707,530	9,766				697,764
令和4年度	661,087	8,935				652,152
対前年度	46,443	831				45,612
特定財源の内訳	(国庫支出金)	がん検診総合支援事業補助金				9,766

【事業概要】

がんの早期発見、早期治療のため、市内指定医療機関でがん検診を実施する。対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。

特に女性のがんについては、クーポンの配布を継続するとともに、検診車によるマンモグラフィ検診の実施により普及啓発を図る。

- (拡) 1. 胃がん検診 (実施期間4月～3月) 194,750 千円
 ・40歳以上の市民を対象にバリウムによる検診を行う。 42,984 千円
 ・50歳以上の該当年齢の市民を対象に内視鏡検査を行う。 151,766 千円
 自己負担額は3,000円 (70歳以上は無料)
2. 胃がんリスク検診 (実施期間6月～10月) 3,558 千円
 40～70歳の5歳刻みの年齢の市民を対象に採血による検診を行う。
 自己負担額は1,000円
3. 子宮頸がん検診 (実施期間4月～3月) 129,832 千円
 20歳以上の該当年齢の女性市民を対象に細胞診検診を行う。
 自己負担額は2,000円 (クーポン対象者及び70歳以上は無料)
4. 乳がん検診 (実施期間4月～3月) 87,712 千円
 40歳以上の該当年齢の女性市民を対象にマンモグラフィによる検診を行う。
 自己負担額は40歳～49歳まで (2方向撮影) は3,000円 (クーポン対象者は無料)、50歳以上 (1方向撮影) は1,800円 (70歳以上は無料)
5. 肺がん検診 (実施期間6月～10月) 117,293 千円
 40歳以上の市民を対象に胸部X線検査及び喀痰検査による検診を行う。
 自己負担額は600円 (70歳以上は無料)
6. 大腸がん検診 (実施期間6月～10月) 47,937 千円
 40歳以上の市民を対象に便潜血反応検査による検診を行う。
 自己負担額は600円 (70歳以上は無料)
7. 前立腺がん検診 (実施期間6月～10月) 34,049 千円
 50歳以上の男性市民を対象にPSA検査による検診を行う。
 自己負担額は1,000円
8. マンモグラフィ検診車による集団検診の実施 3,525 千円
9. がん検診デジタル読影の実施 58,372 千円
 胃がん、乳がん、肺がんの各検診の二次読影において、デジタル読影を実施する。
10. その他事務経費 30,502 千円
 消耗品費、印刷製本費等

衛生費

事業名	歯科健康診査事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 04	健康づくり課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	50,334		6,476			43,858
令和4年度	43,165		6,568			36,597
対前年度	7,169		△ 92			7,261
特定財源の内訳	(県支出金)	健康増進事業費補助金				6,476

【事業概要】

8020運動を推進し、歯の健康に対する意識の高揚と、歯科疾患の予防及び早期発見を図るため、市内指定歯科医療機関で成人歯科健康診査を実施するとともに、口腔がん集団検診を実施する。

成人歯科健康診査対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。

1. 成人歯科健康診査（実施期間6月～10月） 44,376千円
 20～70歳の5歳刻みと80歳の市民を対象に成人歯科健康診査を実施
 自己負担額は500円
2. 口腔がん検診（集団検診） 1,657千円
 年2回、申込制で実施
 自己負担額は500円
3. その他事務経費 4,301千円
 郵便料、印刷製本費等

衛生費

<新規事業>

事業名	(新)がん療養支援事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 07	健康づくり課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	4,300					4,300
令和4年度	0					0
対前年度	4,300					4,300

【施策等を必要とする背景】

がんは、医療の進歩により長期生存や治癒が可能となり、治療をしながら日常生活を送る患者も増えてきている。

国の第3期がん対策推進基本計画では、「就労以外の社会的な問題」としてがん治療に伴う外見（アピアランス）の変化（爪、皮膚障害、脱毛等）を指摘しており、がん患者のQOL向上に向けた取組が求められている。

この度、アピアランスケア（治療による外見の変化を補完し、外見の変化に起因する患者の苦痛を軽減するケア）に関し、市のがん患者療養支援に関する取組として助成制度を創設する。

【提案に至るまでの経緯】

がん患者のアピアランスケアに関しては、現在、都道府県や市町村単位で、ウィッグの購入・レンタル費用や、胸部補整具の購入費用などを助成する制度の導入例が見られる。

当該助成制度については、当初、神奈川県による取組予定があったが、県における制度構築の動きはなくなり、県内でも市単位で新たに助成を開始する例が増えている。

がん患者の社会参加を支援し、療養生活の質の向上及び経済的負担の軽減を図っていくことが喫緊の課題として認識されるようになったことを踏まえ、本市においても市単独助成制度を創設する必要が生じてきた。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業は、がんの治療をしながら日常生活を送る患者の支援であり、本市が進めるがん対策としてのがん予防（検診の実施）に加え、罹患した患者の療養支援までの一体的なケアの一要素となることで、がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会の実現の推進に寄与する。

2. 将来にわたる費用

がん治療に伴う外見の変化は、皮膚の色素沈着、皮疹や爪の割れ、変色などもあり、広くアピランスケアの対象として捉えられるが、これらについては個人差があり、またメイクによる補整といった要素もあることから、現時点では、自治体の支援サービスとしての拡充対象とは考えにくい。

【事業概要】

がんの治療による外見の変化等が生じている患者に対し、当該変化を補完し、外出のきっかけづくりを後押しすることで、療養生活の質を向上させることを目的に、ウィッグの購入費用及びレンタル費用の1/2について上限30,000円の範囲内で助成する。

また、胸部補整具の購入費用の1/2について、上限10,000円の範囲内で助成する。

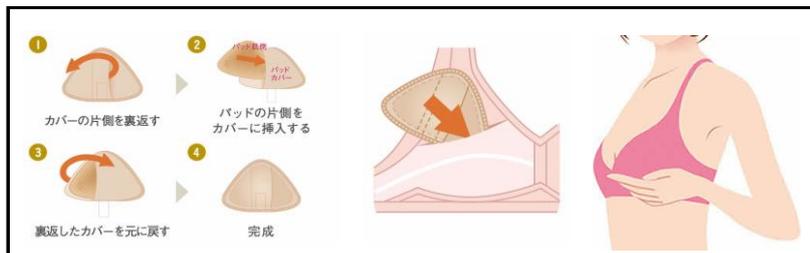
1. 制度PRのためのチラシ・ポスター等作成費 200 千円
 新規制度の周知のため、チラシ・ポスターなどを作成する。

2. ウィッグの購入費用・レンタル費用及び胸部補整具の購入費用に 4,100 千円
 対する補助

- ・ 補助対象者 以下の項目のすべてに該当する者
 - ・ 申請日時点で本市に住民票がある者
 - ・ 抗がん剤治療等に伴う副作用から生じる脱毛症状や乳房の切除などにより、ウィッグや胸部補整具を必要とする者
 - ・ 他市町村における同様の助成を受けていない者
 - ・ 本事業における助成金の交付を受けたことのない者
 - ・ 市税の滞納がない者
- ・ 補助対象 ①ウィッグの購入費用・レンタル費用
 ②胸部補整具の購入費用
- ・ 補助率 ①②ともに補助対象経費の1/2
- ・ 補助限度額 ①30,000円 ②10,000円
- ・ 補助申請期限 補助対象の購入費用・レンタルの費用を支払った日から1年以内
- ・ 補助総額内訳 ①30,000円×125人(想定数)
 ②10,000円×35人(想定数)



ウィッグ



胸部補整具の一例（パッド装着のイメージ図）

衛生費

事業名	保健医療センター整備事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 09 説明 02	地域医療推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	29,336			21,900		7,436
令和4年度	0			0		0
対前年度	29,336			21,900		7,436
特定財源の内訳	(地方債)	保健衛生施設整備事業債				21,900

【事業概要】

保健、医療、福祉に関する総合的な市民サービスを実施する保健医療センターの機能維持のため、必要な整備事業を行う。

1. 無停電電源装置更新工事 29,336 千円
老朽化した、不具合のある無停電電源装置を更新する。

衛生費

事業名	ふれあい入浴事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 12 説明 01	高齢者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	17,520					17,520
令和4年度	20,529					20,529
対前年度	△ 3,009					△ 3,009

【事業概要】

市内の公衆浴場における公衆衛生の確保及び世代間交流や地域交流の活性化に資するため、藤沢浴場組合の事業費や設備整備費等の一部を補助する。

1. 藤沢浴場組合に対する補助 17,520 千円
藤沢浴場組合が実施する交流事業や公衆衛生の確保のための設備整備等に対し、補助金を交付する。
 - (1) 交流事業補助 16,304 千円
浴場組合が実施する世代間交流や地域交流を促進するための事業に対する補助
 - ・ふれあい入浴事業
週に5回、65歳以上又は同一世帯の家族の入浴に対し、利用料金を割引する事業
 - ・イベント事業
地域交流や健康の促進を図る事業
 - (2) 運営補助 416 千円
各事業の広報活動等に関する費用の補助
 - (3) 設備整備補助 800 千円
内装、外装、給水湯設備等の整備に関する費用の補助

衛生費

事業名	医師会立看護専門学校等補助金					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 13 説明 01	地域医療推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	20,321				1,800	18,521
令和4年度	22,109				1,800	20,309
対前年度	△ 1,788				0	△ 1,788
特定財源の内訳	(その他)	土地貸付収入				1,800

【事業概要】

湘南東部医療圏（藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町）の医療機関において看護師を確保するために藤沢市医師会が設立した湘南看護専門学校に対し補助を実施する。

また、市民が安全安心な医療が受けられるよう、地域で働く看護師への支援や看護人材の確保に寄与する湘南ナース総合支援センターに対し補助を実施する。

1. 湘南看護専門学校に対する補助 13,321 千円
 補助対象事業者 公益社団法人藤沢市医師会

<学校概要>

名称 公益社団法人藤沢市医師会湘南看護専門学校（平成25年4月開校）
 所在地 藤沢市大庭5062番地3
 学科等 看護学科（3年課程）、定員120人（1学年定員40人）

- (拡) 2. 湘南ナース総合支援センターに対する補助 7,000 千円
 補助対象事業者 公益社団法人藤沢市医師会

衛生費

事業名	各種予防接種費					
予算科目	款 5 項 1 目 2 細目 01 説明 01			健康づくり課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,290,078		8,312			1,281,766
令和4年度	1,232,688		8,236			1,224,452
対前年度	57,390		76			57,314
特定財源の内訳	(県支出金)	予防接種健康被害救済費補助金				6,916
		風しん予防接種事業費補助金				817
		骨髄移植等予防接種再接種事業費補助金				579

【事業概要】

感染の恐れがある疾患の発生及びまん延の予防のため、予防接種法で定める定期の予防接種対象者に、指定医療機関において各種予防接種（四種混合、三種混合、二種混合、ポリオ、日本脳炎、麻しん・風しん、BCG、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎、ロタウイルス、HPV）を実施する。

HPVワクチンについては、従来の定期接種対象者に加えて、積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した方に対して接種機会を提供する。（キャッチアップ接種）

また、厚生労働大臣が予防接種を受けたことによる健康被害を認定した者に対して、障がい年金、障がい児養育年金等の給付を行う。

- | | |
|---|--------------|
| 1. 各種予防接種の実施 | 1,250,807 千円 |
| ・各種定期予防接種委託料 | 766,384 千円 |
| （うちHPVワクチンキャッチアップ接種委託料 139,592千円） | |
| ・緊急対策としての風しん予防接種委託料等 | 2,403 千円 |
| ・医薬材料費（ワクチン） | 466,492 千円 |
| ・各種定期予防接種実施に係る市民病院への負担金 | 2,284 千円 |
| ・里帰り出産等による定期予防接種費用の助成 | 10,999 千円 |
| ・骨髄移植等の医療行為により接種済みの定期予防接種の効果が期待できなくなった者に対する再接種費用の助成 | 1,159 千円 |
| ・HPVワクチンの定期接種の対象年齢を過ぎて自費で接種した費用の助成 | 1,086 千円 |
| 2. 予防接種健康被害給付金等の給付 | 9,322 千円 |
| ・障がい年金 | 4,660 千円 |
| ・障がい児養育年金 | 3,654 千円 |
| ・医療費、医療手当 | 908 千円 |
| ・健康被害見舞金 | 100 千円 |
| 3. 保健所・保健センター業務情報システム賃貸借 | 22,466 千円 |
| 4. その他事務経費 | 7,483 千円 |
| 報酬、消耗品費、印刷製本費等 | |

衛生費

事業名	火葬場整備事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 4 細目 02 説明 02			福祉総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	10,285	6,000		0		4,285
令和4年度	22,429	19,100		1,500		1,829
対前年度	△ 12,144	△ 13,100		△ 1,500		2,456
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特定防衛施設周辺整備調整交付金				6,000

【事業概要】

藤沢聖苑（火葬場）の安全・確実な運営を維持するため、火葬場整備事業を行う。

1. 藤沢聖苑火葬炉設備改修工事 10,285 千円
火葬炉定期保守点検に基づき風圧レギュレータ等の交換工事を行う。

事業名	(新) 保健所整備事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 5 細目 01 説明 03	地域保健課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	57,438			29,600		27,838
令和4年度	0			0		0
対前年度	57,438			29,600		27,838
特定財源の内訳	(地方債)	保健衛生施設整備事業債				29,600

【施策等を必要とする背景】

平成18年の開所から17年が経過し、経年劣化による施設の老朽化が進み、故障箇所が年々増加している。さらに、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症対応業務を保健所で行っているため、開所当初の想定人数を超えた職員が、時間内のみならず、休日夜間まで勤務するなど、施設の利用状況に変化が生じ、劣化の速度が加速している。

【提案に至るまでの経緯】

現在、施設・設備に不具合が生じた場合、その都度修繕対応をしているため、同じような修繕を毎年行うなど、無駄が生じている。また、設備の生産終了などの理由により、修繕ができないなどの不具合が生じているため、施設・設備の状態を確認した上で、修繕計画を作成し、効率的、効果的な修繕を実施していく必要がある。

【将来にわたる効果及び費用】

計画的に修繕を行うことで、施設・設備の長寿命化を図ることができる。

【事業概要】

計画的に改修や更新工事を実施するため、劣化度調査を行い、修繕計画を作成する。また、安全確保のため、劣化が著しいベランダの更新工事を実施する。

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1. 劣化度調査 | 17,809 千円 |
| 施設・設備等の劣化度調査を行い修繕計画を作成 | |
| 2. 手すり更新工事 | 39,629 千円 |
| ベランダの手すりの更新工事 | |

衛生費

事業名	感染症対策事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 5 細目 02 説明 01			保健予防課		
指針体系コード	1-3-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
区分	事業費	重点施策名	感染症対策の強化			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,878,163	406,475				1,471,688
令和4年度	528,296	405,322				122,974
対前年度	1,349,867	1,153				1,348,714
特定財源の内訳	(国庫支出金)	結核対策費負担金				3,846
		感染症予防事業費負担金				16,017
		感染症発生動向調査事業費負担金				229,064
		感染症患者入院医療費負担金				134,492
		結核対策費補助金				500
		特定感染症検査等事業費補助金				22,556

【事業概要】

市民の健康を守るため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の罹患予防やまん延防止に向けた検診（健診）や保健指導、情報の収集及び提供、普及啓発等の感染症対策事業を行う。

新型コロナウイルス感染症のまん延防止のために、医療提供体制を確立し、自宅療養者への対応や陽性患者の移送、専用の電話相談窓口の設置などを実施する。

また、近年の風しんの流行に伴う緊急対策として、抗体保有率の低い世代の成人男性を対象にした風しん抗体検査を引き続き実施する。

1. 新型コロナウイルス感染症対策事業 1,811,849 千円
 - ・新型コロナウイルス感染症入院医療費及び検査費用の公費負担
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性患者の移送
 - ・「地域療養の神奈川モデル」運營業務委託
 - ・藤沢コロナ受診相談センター及び一般電話相談設置に係る業務委託
 - ・集合検査時の民間検査機関への検査委託
 - ・新型コロナウイルス感染症自宅療養に係る負担金

※類型変更等があった際は、国の方針に則して事業を実施

2. 結核対策事業 14,966 千円

結核登録患者の家庭を訪問し、不安の軽減や療養支援等の指導相談及び感染者の早期発見のための接触者健康診断を行うとともに、結核医療費の助成を行う。
3. その他の感染症対策事業 51,348 千円
 - ・定点医療機関からの感染症発生動向調査による感染症情報の収集及び提供
 - ・感染症患者発生時の疫学調査及び必要に応じた検体検査の実施
 - ・新型インフルエンザ等感染症対策の推進
 - ・妊娠を希望する女性とパートナー等を対象にした風しん抗体検査の実施
 - ・抗体保有率の低い世代の成人男性を対象にした風しん抗体検査の実施

(この事業は令和4年度5月臨時会、6月、9月、12月補正で増額した事業)

衛生費

事業名	精神保健対策事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 5 細目 02 説明 04			保健予防課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	8,116	840	4,223			3,053
令和4年度	7,579	839	4,669			2,071
対前年度	537	1	△ 446			982
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				840
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				420
		地域自殺対策強化交付金事業費補助金				3,803

【事業概要】

地域における精神保健福祉の正しい理解、精神障がい者の自立と社会参加及び社会復帰を図るため、地域や関係機関との連携による普及啓発事業及び専門医や専門職による相談事業などの精神保健対策事業を行う。

また、庁内関係各課及び地域団体と連携して自殺対策、認知症疾患対策等の事業を実施する。

1. 精神保健福祉相談・訪問事業等 2,772 千円
 - (1) 嘱託医による「精神保健福祉相談」（3回／月）と専門職による相談及び家庭訪問
 - (2) 措置入院者等退院後支援事業
入院中から関係機関とケース会議を開催の上、退院後概ね6カ月間の支援計画を作成し、当事者及び家族の地域移行を支援
 - (3) 認知症疾患対策事業
嘱託医による「もの忘れ相談」（2回／月）、若年性認知症の方の交流会等を行う。

2. 自殺対策事業 3,789 千円
 - (1) 自殺未遂者緊急介入支援事業
自殺未遂で救急病院に搬送された方や家族等に専門相談員を派遣し支援を行う。
 - (2) 自殺未遂者・家族個別支援事業
「まごころホットライン」を設置し、専門相談員による電話相談・面接等を行う。
 - (3) 当事者、家族等への支援
うつ病の当事者、家族等への支援及び自死遺族支援「藤沢わかちあいの会」の開催
 - (4) 人材育成・普及啓発
 - ・ゲートキーパー養成講座の開催
 - ・携帯電話等を使用してうつの自己チェックを行う「こころの体温計」の運用及び自殺予防週間キャンペーン、講演会等の開催

3. 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム推進事業 1,555 千円
 - (1) 精神障がい者地域生活支援事業
精神障がい者の地域移行及び地域定着を推進するため、宿泊や居宅介護、日中活動等を体験する機会の提供
 - (2) 当事者、家族等への支援
 - ・精神障がい者の疾病教育や社会参加等を目的とした、「当事者セミナー」「家族教室」等の開催
 - ・精神障がい者、認知症の方の家族会及び断酒会等の活動の支援
 - (3) 人材育成・普及啓発
 - ・携帯電話等を使用して認知症のチェックを行う「認知症簡易チェック」の運用
 - ・精神疾患や生活障がいに関する知識を普及し、偏見のない地域づくりの推進を図ることを目的に、講演会や精神障がい者福祉事業所等のパネル展示等を行う。

また、関係団体等の職員を対象とした研修会を実施する。

衛生費

事業名	ごみ減量推進事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課・環境事業センター				
指針体系コード	5-1-5 1	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	340,578				332,394	8,184
令和4年度	293,820				285,639	8,181
対前年度	46,758				46,755	3
特定財源の内訳	(その他)	一般廃棄物処理手数料				314,590
		生ごみ処理容器売払収入				771
		環境基金繰入金				16,018
		広告料収入				1,015

【事業概要】

ごみの排出抑制や減量、再使用及び再生利用の推進を図るため、ごみ処理有料化制度の継続や生ごみ処理器及び家庭用電動生ごみ処理機の購入費助成、食品ロスやプラスチックごみの削減に向けた取組など、ごみの減量・資源化のための各種啓発事業等を行う。

- | | |
|--|------------|
| 1. 指定収集袋の流通システムの運営 | 315,988 千円 |
| 一般家庭等から排出される際に用いる指定収集袋の流通システムの運営を行う。 | |
| ・ バイオマスプラスチックを使用した指定収集袋の製造・保管及び配送業務委託料 | 227,977 千円 |
| ・ 指定収集袋流通管理等業務委託料 | 21,893 千円 |
| ・ 指定収集袋取扱手数料 | 64,720 千円 |
| ・ 免除対象者用引換券関係経費 | 1,398 千円 |
| 2. 生ごみ処理器及び家庭用電動生ごみ処理機の購入費助成 | 12,938 千円 |
| ・ 生ごみ処理器購入費助成事業関係費 | 4,938 千円 |
| ・ 家庭用電動生ごみ処理機購入費補助金 | 8,000 千円 |
| 3. ごみ減量・資源化啓発事業の実施 | 269 千円 |
| ・ 市内の小学校4年生及び保育園児・幼稚園児を対象としたごみ体験学習会の実施 | |
| | 84 千円 |
| ・ ごみ減量推進店の認定 | |
| | 50 千円 |
| ・ 啓発用動画の制作 | |
| | 135 千円 |
| 4. ごみNEWSの作成及び配布 | 1,762 千円 |
| (ごみNEWS(年1回)16万1千部を作成し、各世帯に配布) | |
| 5. ごみ検索システム・ごみ分別アプリの運営・管理 | 1,452 千円 |
| 6. 藤沢市廃棄物減量等推進審議会の運営 | 998 千円 |
| 7. プラスチック製容器包装再商品化経費 | 4,484 千円 |
| 8. プラスチックごみ削減及び食品ロス削減推進啓発事業 | 489 千円 |
| 9. ガラス等再商品化経費 | 1,258 千円 |
| (括) 10. ウォーターサーバーの設置 | 784 千円 |
| 11. ごみ減量推進事業事務経費 | 156 千円 |

(1の事業の一部は令和4年度9月補正で債務負担行為を設定)

衛生費

事業名	廃棄物等戸別収集事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 01 説明 01	環境事業センター				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,610,324				659,829	950,495
令和4年度	1,586,606				678,211	908,395
対前年度	23,718				△ 18,382	42,100
特定財源の内訳	(その他)	一般廃棄物処理手数料				448,589
		環境基金繰入金				176,240
		ペットボトル再商品化収入				35,000

<拡充事業> 廃棄物等収集システムを活用したごみ及び資源収集の効率化等

【施策等を必要とする背景】

1. 廃棄物等収集システム

現在の廃棄物収集ルートは、廃棄物排出量、地形、時間帯による交通状況その他の事案を、職員の経験及び知見を基に作成しているため、総合的な効率化という部分で課題がある。

また、市民から廃棄物の未回収や収集時間等の問い合わせがあるが、事務所職員では詳細な収集状況は分からず、対応に時間を要するほか、回収の要否に関する判断及び効率的な再回収の方法にも課題がある。これらの課題解決を図るため、データを基礎とした収集体制の整備及び収集時間並びに収集軌跡の可視化を実現する必要がある。

2. EV（電気自動車）トラック導入

地球温暖化対策として二酸化炭素の排出量削減が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

1. 廃棄物等収集システム

座間市が令和元年6月に小田急電鉄株式会社と循環型経済「サーキュラー・エコノミー」の推進についての協定を締結し、収集業務の映像や収集時間などのデータ収集などで、一定の成果を出した。本市においても同様のシステムを用いて収集等業務の効率化を図るべく、令和3年度から実証実験を行い、システムを導入する一定の有用性が確認できたことから導入する。

2. EV（電気自動車）トラック導入

環境に配慮した収集を実施する上で、EV車両の導入が不可欠であることから導入を検討するに至った。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

一般廃棄物処理基本計画、分別収集計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

- ・廃棄物等収集システムの導入により、収集及び事務作業の短縮を図り、本市家庭系一般廃棄物収集業者間での同一システム利用によるペーパーレス化を実施するとともに、収集状況を可視化することで、収集車両の軌跡及び時間をインターネット上でリアルタイムで確認できるようになり、回収時間を正確に把握し、排出遅滞を未然に防ぐことができる。
- ・EV（電気自動車）トラックの導入により、環境に配慮した収集業務が可能となる。

2. 将来にわたる費用

廃棄物等収集システム及びEV（電気自動車）トラックの維持管理に要する事業費が必要となる。

【事業概要】

市民生活の衛生保持のため、市内の一般家庭等から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源等を収集する事業を行う。

1. 可燃ごみ収集事業	594,779 千円
一般家庭等から排出される可燃ごみを戸別収集する。	
・可燃ごみ収集運搬業務委託料	486,285 千円
・その他収集運搬業務委託料	78,344 千円
(拡) ・廃棄物等収集システム賃借料	28,251 千円
・収集業務事務費	1,899 千円
2. 不燃ごみ収集事業	123,933 千円
一般家庭等から排出される不燃ごみを戸別収集する。	
・不燃ごみ収集運搬業務委託料	122,125 千円
・収集業務事務費	1,808 千円
3. 資源収集事業	828,022 千円
一般家庭等から排出される資源を戸別・集積所収集するとともに、大型商品プラスチック、羽毛布団・スプリングマット等及び剪定枝をコール制により各戸収集する。	
また、収集した資源の中間処理の一部において、障がい者雇用を促進する。	
・資源回収事業補助金	405,826 千円
・剪定枝資源化事業費	34,558 千円
・ビン搬送・ペットボトル等収集運搬業務委託料	90,259 千円
・プラスチック製容器包装収集運搬業務委託料	242,325 千円
・大型資源収集運搬業務委託料	31,704 千円
・羽毛布団・スプリングマット等資源収集運搬業務委託料	6,876 千円
・周知関係事務費（収集日程カレンダー等）	12,050 千円
・収集業務事務費	4,037 千円
(拡) ・E V（電気自動車）トラック賃借料等	387 千円
4. 江の島島内及び藤沢駅周辺区域廃棄物等収集運搬事業	51,672 千円
江の島島内及び藤沢駅周辺の廃棄物等収集運搬業務を委託する。	
5. 福祉大型ごみ収集運搬事業	11,918 千円
超高齢社会を迎える中、大型ごみを持ち出せない高齢者等への対応として福祉大型ごみ収集運搬業務を委託する。	

衛生費

事業名	石名坂環境事業所整備費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 02 説明 04			石名坂環境事業所		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	133,944	68,000		0	10,000	55,944
令和4年度	135,499	0		28,400	107,000	99
対前年度	△ 1,555	68,000		△ 28,400	△ 97,000	55,845
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特定防衛施設周辺整備調整交付金				68,000
	(その他)	環境基金繰入金				10,000

【事業概要】

本施設は設備の経年劣化が進んでいることから、処理能力を良好に保つため、焼却施設の整備工事を行う。

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 施設整備工事 | 133,859 千円 |
| (1) 3号破碎機ローター整備工事 | 51,996 千円 |
| (2) 3号焼却炉耐火物打替工事 | 55,689 千円 |
| (3) 1系不燃物エレベータレール更新工事 | 20,674 千円 |
| (4) ごみ搬出装置整備工事 | 5,500 千円 |
| 2. その他事務経費 | 85 千円 |
| 旅費、需用費 | |

衛生費

事業名	環境事業センター整備費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 02 説明 06			環境事業センター		
指針体系コード	4-1-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	29,117			0	0	29,117
令和4年度	1,859,626			1,260,000	420,028	179,598
対前年度	△ 1,830,509			△ 1,260,000	△ 420,028	△ 150,481

【事業概要】

令和3年度から2カ年継続で建設工事を行っていた環境事業センター整備事業について、改築後の家屋及び電波の事後調査並びに仮設事務所の解体後家屋調査を行う。

1. 事業費 29,117 千円
 - (1) 仮設事務所賃貸借（令和5年度までの債務負担行為を設定） 19,800 千円
 - (2) 施設建築及び仮設事務所解体に伴う事後調査費用 9,317 千円

2. 施設概要
 - (1) 構造等 鉄筋コンクリート造 地上3階建て
 - (2) 延床面積 2,629.61㎡(複合施設を含む)
 - (3) 複合施設 石川小学校区新設放課後児童クラブ

<スケジュール概略>

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
仮設事務所			← 建設工事 →	← 仮設事務所での業務 →	← 解体・復旧工事 →
新事務所		← 基本・実施設計 →		← 建設工事 →	← 供用開始 →

衛生費

事業名	最終処分場整備費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 03 説明 02	北部環境事業所				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	19,163				18,128	1,035
令和4年度	3,913				3,913	0
対前年度	15,250				14,215	1,035
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				18,128

<拡充事業> 廃止に向けた最終処分場施設管理等計画策定業務委託の実施

【施策等を必要とする背景】

市内には、5カ所の最終処分場（女坂・葛原・葛原第二・谷根・長後中分）があるが、その内、埋立ができるのは女坂最終処分場のみとなっており、代替施設はなく、今後も長期的な維持管理を行わなければならないため、施設の延命化を図る必要がある。

また、他の最終処分場についても、埋立は終了しているが、廃止手続きに至るまでの期間、適切な維持管理が求められており、施設の廃止に向けて、現状把握や課題の抽出、改善点の整理、適切な施設管理方法等に係る施設管理等計画の策定を行う必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

令和4年度においては、施設の延命化を図るため、女坂最終処分場及び汚泥処理施設を対象とした「女坂最終処分場他施設管理等計画策定業務委託」を実施している。

令和5年度においては、他の最終処分場（葛原・葛原第二・谷根・長後中分）を対象に、施設の廃止に向けて「施設管理等の計画策定業務」を実施していく。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

一般廃棄物処理基本計画基本方針2「廃棄物の適正処理システムの実現」において、最終処分場の延命化及び適正管理が施策として位置付けられている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、今後も安全で適切な維持管理及び運営を継続することができ、また、整備事業の平準化（予算の平準化）も図ることができる。

さらに、廃止手続きの早期実施により、維持管理期間の短縮が図られることで、その経費の削減が期待できる。

2. 将来にわたる費用

今後の事業費については、策定する施設管理等計画の内容によるため未定。

【事業概要】

各最終処分場の適正な維持管理及び運営を図るため、老朽化対策等の必要な整備事業の実施及び整備計画の策定等を行う。

(新) 1. 廃止に向けた最終処分場施設管理等計画策定業務委託 18,128 千円

葛原最終処分場他3カ所の埋立が終了した最終処分場は、浸出水の水質や場内からの発生ガス等が安定化するまで、長期間にわたり維持管理を継続する必要がある。

これらの最終処分場について、現状把握、課題点の抽出、改善点等を整理し、廃止に向けた施設管理方法の検討及び施設整備計画の策定を専門業者に委託する。

- ・対象施設：葛原最終処分場・葛原第二最終処分場
谷根最終処分場・長後中分最終処分場

(新) 2. 最終処分場アスベスト調査手数料 1,035 千円

大気汚染防止法の改正により、令和5年10月以降に解体工事等を実施する場合には、資格者による事前確認が義務付けられるため、修繕及び整備工事に向けて、事前調査を行う。

- ・対象施設：女坂最終処分場・葛原最終処分場・葛原第二最終処分場
谷根最終処分場・長後中分最終処分場

衛生費

事業名	一般廃棄物中間処理施設整備事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 06 説明 01			北部環境事業所		
指針体系コード	4-1-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	13,631	3,207		0	9,885	539
令和4年度	3,963,310	864,392		2,488,700	587,063	23,155
対前年度	△ 3,949,679	△ 861,185		△ 2,488,700	△ 577,178	△ 22,616
特定財源の内訳	(国庫支出金)	循環型社会形成推進交付金				3,207
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				9,885

【事業概要】

廃棄物を円滑に処理するため、石名坂環境事業所整備基本構想に基づく石名坂環境事業所の大規模整備を実施するため、必要な調査を行う。

また、湘南東ブロックし尿処理広域化検討報告書の結果を踏まえ、し尿処理施設の広域化に向けた施設の更新計画を推進するために必要な調査を行う。

1. 石名坂環境事業所生活環境影響調査業務委託【継続費】 13,092 千円
 焼却施設整備基本計画及び石名坂環境事業所整備基本構想に基づき、石名坂環境事業所の大規模整備を実施するにあたり、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により義務付けられている生活環境影響調査を実施する。
 2カ年継続事業の2年目。
 (令和4年度：19,633,900円 令和5年度：13,091,100円)

- (新) 2. 北部環境事業所し尿処理施設地歴調査手数料 457 千円
 北部環境事業所し尿処理施設の更新に向けて、土壌汚染のおそれの有無を把握するため、地歴調査を行う。

3. その他事務経費 82 千円
 旅費、需用費

労働費

事業名	就労支援事業費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 02 説明 02			産業労働課		
指針体系コード	3-3-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
区分	事業費	重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	29,009	1,044	0			27,965
令和4年度	29,008	0	1,043			27,965
対前年度	1	1,044	△ 1,043			0
特定財源の内訳	(国庫支出金)	地域就職氷河期世代支援加速化交付金				1,044

【事業概要】

就労支援事業として、働くことに不安や困難を抱える若者を対象とした「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」と、求職者や勤労者を対象とした就労支援及び資格取得講座を実施する。

また、地域の雇用状況の改善を図るため、広域連携により「湘南合同就職面接会」を実施する。

1. 若年者就労支援事業「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」 17,412 千円
 自立や就労に困難を抱える若者を対象に、専門スタッフによるきめ細かな相談、社会参加・就労体験等の各種プログラムを通じて自立・就職・定着に至るまでを支援する。
 また、その保護者を対象にセミナーや相談会を実施する。
 (1) 対象者
 市内に在住・在勤・在学の概ね15歳から44歳の若者とその家族
 (2) 支援内容
 - ・個別相談
 - ・就労準備応援
 - ・就労応援
 - ・就労後応援・家族応援

2. 就労支援・資格取得講座 11,305 千円
 就職氷河期世代、女性、障がい者などを対象とした就労支援セミナー及び資格取得講座、キャリアカウンセリングなど就労支援事業を実施する。

3. 湘南合同就職面接会 292 千円
 藤沢公共職業安定所管内の3市1町（藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町）で広域連携を図り、藤沢公共職業安定所、神奈川県、商工会議所、商工会と連携し、短時間で効率的な就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施する。

労働費

事業名	勤労者生活資金貸付金					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 03 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	280,000				280,000	
令和4年度	280,000				280,000	
対前年度	0				0	
特定財源の内訳	(その他)	勤労者生活資金貸付金元金収入				280,000

【事業概要】
 市内に在住又は在勤する勤労者の生活の安定と向上を図るため、中央労働金庫に貸付金を預託し、低利な生活資金の融資を行う。

1. 勤労者生活資金融資制度 280,000 千円

- ・ 融資限度額 300万円
 (在勤者については、他市町村の勤労者生活資金貸付制度との合計額)
- ・ 返済期間 10年以内(50万円以下は3年以内)
- ・ 取扱金融機関 中央労働金庫

労働費

事業名	勤労者住宅資金等利子補助金					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 03 説明 02			産業労働課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	17,523	1,383				16,140
令和4年度	23,010	1,827				21,183
対前年度	△ 5,487	△ 444				△ 5,043
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				1,383

【事業概要】
 勤労者の経済的負担の軽減を図るため、中央労働金庫から住宅資金又は教育資金を借入れた市内在住の勤労者に、住宅資金利子及び教育資金利子の一部を補助する。

1. 勤労者住宅資金利子補助金 15,371 千円
 勤労者が自己の居住用として、市内に住宅を購入又は建築するための資金を中央労働金庫から借入れたとき、借入金利子の一部を補助する。

- ・ 補助対象 借入れた額のうち600万円までの額に係る利子
- ・ 補助金額 年3%以内の別途定める額
- ・ 補助期間 4年間(48カ月)

2. 勤労者教育資金利子補助金 2,152 千円
 勤労者が子の教育資金を中央労働金庫から借入れたとき、借入金利子の一部を補助する。対象となる教育資金については、学校教育法に規定する高等学校、大学、高等専門学校、専修学校に在学又は入学する際に要するものとする。

- ・ 補助対象 1子につき借入れた額のうち200万円までの額に係る利子
- ・ 補助金額 支払利子総額の2分の1(上限2万円)
- ・ 補助期間 入学又は在学する教育機関の修業年限(4年以内)

労働費

事業名	技能振興関係費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 03 説明 04			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	9,859					9,859
令和4年度	8,847					8,847
対前年度	1,012					1,012

【事業概要】

技能の振興と存続を目的として、技能職団体等と連携し、各種事業を実施する。

1. 藤沢市マイスター事業 2,547 千円
優れた技能・技術を有し、後進の目標となる卓越した技能者等を藤沢マイスターとして認定し、その活動を通じて市民に技能等を幅広く周知し、技能等を尊重する風土の醸成を図る。
2. 技能者表彰事業 976 千円
長く同一の職に従事し、後進の育成、技能の練磨等、その職の向上発展に寄与した技能者を表彰し、その功績をたたえる。
3. 技能まつり事業 380 千円
2023ふじさわ産業フェスタに出展し、技能者の優れた技能を市民に広くPRする。
4. “ザ・職人”技能展事業 50 千円
技能の振興、発展のため、技能者の優れた技能を市民に広くPRする。
5. 職人版インターンシップ事業 150 千円
技能職の担い手確保のため、若年者を対象とした技能職職場体験を実施する。
6. 学校訪問事業 480 千円
技能者の仕事を身近に感じてもらうため、技能者が小中学校等を訪問し、技能の講演・実演・体験教室を実施する。
7. 技能職団体への助成 5,276 千円
技能者間の交流や技能文化の継承等により技能振興を図るため、藤沢市技能職団体連絡協議会に対して助成を行う。

労働費

事業名	障がい者就労関係費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 04 説明 01			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	581					581
令和4年度	582					582
対前年度	△ 1					△ 1

【事業概要】

障がい者の就労・雇用の促進を図るため、藤沢公共職業安定所及び神奈川県等の労働・福祉関係機関と連携を密にしながら、障がい者の就労・雇用に関する情報収集、情報提供、制度の啓発事業等を行う。

1. 障がい者雇用促進事業所訪問等啓発事業の実施 137 千円
 - (1) 障がい者雇用促進事業所訪問、見学会の実施
藤沢公共職業安定所と連携して市内事業所を訪問し、障がい者の雇用促進と定着に向けた要請や、本市で実施している障がい者就労の場「JOBチャレふじさわ」の見学受入れを通して啓発を図る。
 - (2) 障がい者雇用啓発講演会、企業向け障がい者雇用促進セミナーの実施
労働団体、支援機関等と連携し、市内事業者向けの障がい者雇用の理解促進につながる講演会やセミナーを開催して、市内事業者への啓発を図る。
2. 市内事業所への雇用モデルの提示 268 千円
「JOBチャレふじさわ」を運営し、蓄積した障がい者雇用のノウハウを、市内事業者へ提示することで啓発を図る。
3. 就労を希望する障がい者への就労体験の実施
社会的自立に向けた就労体験機会の提供を行うため、県内特別支援学校生徒等を対象に、職場実習を実施する。
4. 障がい者雇用優良事業所への感謝状贈呈 26 千円
藤沢公共職業安定所の推薦に基づき、障がい者雇用の促進に貢献のあった市内事業所等を対象に、感謝状の贈呈を行う。
5. 湘南地区障がい者卓球大会実施の支援 150 千円
親睦を深め友好の輪を広げるための卓球大会の実施を支援する。

農林水産業費

事業名	地産地消推進事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 2 細目 03 説明 01	農業水産課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	4,657					4,657
令和4年度	5,281					5,281
対前年度	△ 624					△ 624

【事業概要】

藤沢産農水産物等の市内流通・利用促進のため、市民を対象に地産地消を推進することにより市内農水産業の持続的な発展及び健康で豊かな市民生活の実現を図る。

1. 地産地消推進計画の実施管理等 860 千円
 地産地消推進計画に基づく取組内容や事業進捗の審議等のため、地産地消推進協議会を年3回開催する。また、市民の地産地消に対する意識や購買動向等を把握するため、アンケート調査を行う。
 - ・地産地消推進協議会委員報酬 500 千円
 - ・アンケート調査費用 360 千円
2. 地産地消講座の開催 349 千円
 藤沢産農水産物の利用を促進するとともに、市内農業への理解を深めるため、栽培収穫体験型講座（7月～12月、全7回）、収穫体験型講座（年9回）を開催する。
3. 「おいしい藤沢産」情報発信事業 967 千円
 地産地消の推進を図るため、ホームページやSNS等を活用して、藤沢産農水産物等や地産地消イベント・講座等の各種情報を市民へ提供する。
4. 地産地消推進事業 1,600 千円
 藤沢産農水産物等の普及促進と地産地消の意識高揚を図るため、「地産地消推進事業実行委員会」が主体となって、生産者、事業者と連携したPRイベント等を実施する。
5. 地産地消のPR 731 千円
 地産地消及び藤沢産農水産物等の普及促進を図るためのロゴマークシール及びリーフレットを作成し、地産地消をPRする。
6. 地産地消推進事業事務経費 150 千円

農林水産業費

事業名	水田保全事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 2 細目 03 説明 03			農業水産課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	26,500				25,000	1,500
令和4年度	26,500				25,000	1,500
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				25,000

【事業概要】

環境に配慮した減農薬等による水稻栽培に取り組む水田耕作者を対象として、水田の持つ生物多様性の確保や、水源のかん養、治水などの多様な機能の保全・拡大を図るため、水稻栽培面積に応じた奨励金を交付する。また、水田保全に必要な農業用施設の導入費用の補助を行う。

1. 水田保全事業奨励金 25,000 千円
 水稻生産を行う有機農業者及び神奈川県知事の認定を受けたエコファーマーに対して、1㎡当たり50円以内の奨励金を交付する。

2. 農業用施設導入支援事業 1,500 千円
 水稻の生産性を向上させ、担い手不足に加え、遊休化した水田の解消や発生抑制に寄与する農業用施設の導入に係る費用の補助を行う。
 - ・対象者 西俣野稲作組合
 - ・補助率 1/2以内（上限150万円）
 - ・導入施設 水稻乾燥調製施設

農林水産業費

事業名	担い手育成支援事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	5-3-71	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	30,848		26,250			4,598
令和4年度	21,813		17,250			4,563
対前年度	9,035		9,000			35
特定財源の内訳	(県支出金)	農業人材力強化総合支援事業補助金				26,250

【事業概要】

市内農業の新たな担い手や農業後継者、担い手不足の農業者を支援する市民ボランティアに対する支援を行う。

1. 景観形成事業 688 千円
 遊休農地を活用し、地域住民との交流や農業理解の促進を図るため、景観作物（コスモス等）を栽培し、摘み取りイベントを行う。
 委 託 先：さがみ農協藤沢市青少年藤友会
2. 援農ボランティア養成講座の開催 100 千円
 対 象 者：援農ボランティア活動を希望する市民等 40人程度
3. 新規就農者に対する支援 26,250 千円
 次世代を担う農業者となることについて強い意欲を有する新規就農者に対して、国が実施する農業人材力強化総合支援事業に基づき補助金を交付する。
 - ・農業次世代人材投資資金（年間最大150万円） 11,250 千円
 経営が不安定な就農初期段階（最長5年間）の新規就農者に対する資金
 - ・経営開始資金（年間最大150万円） 15,000 千円
 経営が不安定な就農初期段階（最長3年間）の新規就農者に対する資金
4. 農業研修受入支援事業 300 千円
 農業後継者の育成のため、新規就農希望者に対して農業技術及び経営に関する研修を行う者に対し補助金を交付する。
 対 象 者：藤沢市内の農業経営士、認定農業者
 支援内容：研修生1人当たり3万円の補助金を交付
5. 農業後継者支援事業 1,614 千円
 農業を継承していくために施設の整備等が必要な農業後継者に対し補助金を交付する。
6. 農福連携促進事業 1,260 千円
 福祉施設と受委託契約等を交わし、障がい者等の受入を行う農業者に対し委託料の一部を補助する。
 支援内容：農作業1日当たり3千円以内の補助金を交付
7. 技術習得支援事業 600 千円
 就農概ね10年目までの者が農業技術等の習得に必要とする費用について補助を行う。
 支援内容：視察や研修の受講等の費用の一部を補助する。
 （補助率1/2、上限3万円）
8. 担い手育成支援事業事務経費 36 千円

（3の事業の一部は令和4年度9月補正で実施した事業）

農林水産業費

事業名	産地競争力強化事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 04 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,976					2,976
令和4年度	2,615					2,615
対前年度	361					361

【事業概要】
 産地競争力の強化を図るため、生産工程の省力化や農産物の品質向上を図る機械、資材の導入を支援する。

- 誘引剤導入事業（補助率1／2以内） 467千円
 栽培施設内で害虫を駆除する誘引剤を導入する際に要する費用の一部を助成する。
- バッテリー式薬剤散布機導入事業（補助率1／2以内） 170千円
 果樹栽培における薬剤散布のバッテリー式背負動力噴霧器を導入する際に要する費用の一部を助成する。
- 遮光カーテン導入事業（補助率1／2以内） 2,339千円
 花卉生産におけるハウス内環境制御用遮光カーテンを導入する際に要する費用の一部を助成する。

農林水産業費

事業名	野菜生産出荷対策事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 4 細目 01 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	13,464					13,464
令和4年度	13,464					13,464
対前年度	0					0

【事業概要】
 地場産農産物のPRを図るとともに、市内産野菜の安定生産と安定出荷を図るため、市内の農協共販野菜及び市場出荷野菜の出荷資材であるダンボール箱や、テープ等のその他資材の購入に対して支援を行う。

- 出荷資材の購入に対する助成 13,464千円
 農協共販農家及び湘南野菜出荷推進協議会会員のうち、市内生産者を対象に出荷資材の購入に要する費用の一部を助成する。
 - 農協共販出荷用資材費補助（補助率25／100以内） 12,738千円
 - ダンボール購入費補助 11,628千円
 - その他資材購入費補助 1,110千円
 - 市場出荷用資材費補助（補助率25／100以内） 726千円
 - ダンボール購入費補助 111千円
 - その他資材購入費補助 615千円

農林水産業費

事業名	湘南野菜生産育成事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 4 細目 01 説明 02			農業水産課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	3,754					3,754
令和4年度	3,754					3,754
対前年度	0					0

【事業概要】
 湘南藤沢地方卸売市場への地場産農産物の出荷を推進するため、市場出荷用レンタルコンテナ利用料に対する助成及び生産者で組織される団体に対する活動費の助成を実施し、市場出荷量の維持確保及び地産地消の推進を図る。

- 湘南野菜レンタルコンテナ促進事業（補助率25/100以内） 1,960千円
 生産者の負担軽減及び量販店等の事業者ニーズに対応したレンタルコンテナ使用による出荷を推進するため、市場出荷野菜の生産者のうち、市内生産者を対象に利用料の一部を助成する。
- 出荷団体育成事業（補助率1/2以内） 1,794千円
 市場に出荷する生産者で組織される湘南野菜出荷推進協議会の活動費に対して助成を行う。

農林水産業費

事業名	学校給食用農水産物生産出荷対策費					
予算科目	款 7 項 1 目 4 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,906					1,906
令和4年度	756					756
対前年度	1,150					1,150

【事業概要】
 地産地消の推進と市内産農産物の利用促進による安定的な生産及び出荷を図るため、市内産の新米、大豆等を市内の小中学校や特別支援学校の給食食材として提供する際に生産者団体が行う配達等に要する費用を負担する。

- 市内小学校等の給食に対する市内産農産物の提供 1,906千円
 - 市内産新米の精米及び配達費用 1,150千円
 市内の小中学校や特別支援学校において使用する市内産米の精米及び配達に係る費用を負担する。
 - 市内産大豆の集荷、仕分け及び配達費用 714千円
 市内の小中学校や特別支援学校において使用する市内産大豆（津久井在来大豆）の集荷、仕分け及び配達に係る費用を負担する。
 - 市内産きな粉の配達費用 42千円
 市内の小中学校や特別支援学校において使用する市内産大豆（津久井在来大豆）きな粉の配達に係る費用を負担する。

農林水産業費

事業名	畜産振興対策事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 5 細目 02 説明 01			農業水産課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	11,359					11,359
令和4年度	11,392					11,392
対前年度	△ 33					△ 33

【事業概要】

畜産経営における防疫体制の強化と衛生環境の向上、家畜の資質改良及び後継乳牛の確保のため、畜産農家が行う家畜の伝染病予防の検査や投薬、注射、病虫害防除資材の購入、肉質・乳質に優れた家畜の繁殖及び後継となる乳牛の生産に対して助成を行う。

1. 家畜防疫対策事業 7,988 千円
 家畜の伝染病予防のための検査や投薬、注射の実施及び病虫害防除資材の購入に要する経費に対して助成を行う。
 - ・ 監視伝染病予防注射等推進事業（補助率 1 / 4 以内） 6,000 千円
 監視伝染病の発生を予察するために行う検査、投薬、注射等に要する経費の一部を助成する。
 - ・ 家畜衛生対策事業（補助率 1 / 3 以内） 1,988 千円
 畜舎における病虫害や臭気の発生防止のために使用する薬剤の購入に要する経費の一部を助成する。

2. 家畜改良増殖事業 2,546 千円
 繁殖性に優れた家畜の導入や品質に優れた家畜の繁殖に要する経費に対して助成を行う。
 - ・ 乳牛資質改良事業（補助率 1 / 3 以内） 400 千円
 酪農経営において、より多くの乳量を出す雌乳牛を生産するために行う受精卵移植等に要する経費の一部を助成する。
 - ・ 肉豚資質改良事業（補助率 1 / 3 以内） 2,146 千円
 養豚経営において、繁殖性に優れた母豚の導入や肉質に優れた豚の繁殖に要する経費の一部を助成する。

3. 後継乳牛生産支援事業（補助率 1 / 3 以内） 800 千円
 酪農経営において、生産基盤となる乳用種の生産に要する経費の一部を助成する。

4. 畜産振興対策事業事務経費 25 千円
 旅費、消耗品費

農林水産業費

事業名	畜産経営環境整備事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 5 細目 03 説明 01	農業水産課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	4,496					4,496
令和4年度	2,920					2,920
対前年度	1,576					1,576

【事業概要】

畜産業の活性化や生産性の向上、周辺環境衛生等に配慮した畜産農場にするため、畜産経営に必要な畜舎や設備機器、家畜排せつ物処理施設等の改修・導入・更新を行う畜産農家に対して助成を行う。

- 臭気調査費 486 千円
周辺環境への影響を把握するための臭気調査を年2回（各4地点）行う。
- 畜産緊急支援基金負担金 1,843 千円
市内農家及び市で造成する緊急の設備修復に対応した基金に対する負担金。
- 畜産経営環境整備事業（補助率1/2以内） 2,167 千円
畜産物の品質向上及び畜産経営により生じる悪臭等を防止するため、畜舎の付帯設備等の更新に要する経費の一部を助成する。
 - ・浄化槽スパローター更新 1,028 千円
 - ・浄化槽曝気機の更新
 - ・排水メーター更新 369 千円
養豚場から排水される下水量を計測するメーターの更新
 - ・深井戸用ポンプ工事 770 千円
牛舎で使用している井戸水のポンプ改修工事

農林水産業費

事業名	農業用水路等改修事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 6 細目 01 説明 02	農業水産課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	9,402					9,402
令和4年度	16,054					16,054
対前年度	△ 6,652					△ 6,652

【事業概要】

水田等への安定した用水を確保し農業生産の維持を図るため、水利組合等が実施している老朽化の著しい取水堰等の補修及び用水路の改修に対し助成を行う。

- 取水堰等の補修及び用水路等の改修に対する助成 9,402 千円
(単位:千円)

団体名	事業内容	対象事業費	補助金額	補助率
上高倉水利組合	農業用水路改修ほか	1,090	762	7/10以内
高倉水利組合	農業用水路改修	3,071	2,149	
藤沢市西俣野土地改良区	農業用水路改修	5,643	3,950	
長後堰水利組合	農業用水路改修	220	154	
石川堰水利組合	石川堰保守点検	330	231	
打戻左岸用水組合	農業用水路改修	3,080	2,156	

農林水産業費

事業名	農業基盤整備事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 6 細目 02 説明 01	農業水産課				
指針体系コード	4-3-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	地域経済循環を高める経済対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	59,418		11,761	28,600		19,057
令和4年度	57,239		28,374	15,900		12,965
対前年度	2,179		△ 16,613	12,700		6,092
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				11,761
	(地方債)	農業基盤整備事業債				28,600

<拡充事業> 城・稲荷地区の耕作条件改善の支援及び農道整備の実施

【施策等を必要とする背景】

城・稲荷地区は、昭和33年から昭和41年にかけて土地改良事業を行った優良農地区域であり、藤沢市都市マスタープランにおいても市街地を分節する緑空間として、また、農用地として維持・保全に努めることとしている。現在、城稲荷水利組合において用水の安定利用と水田の保全が行われているが、農業者の減少、高齢化、担い手不足が深刻であり、このままの状況では近い将来に農用地の維持が困難となり荒廃地となることが特に危惧されており対策が急務である。

そのため、少数の担い手においても効率よく作業できる圃場の区画拡大等を国の制度を活用し支援する必要がある。また、本地区の農道は狭隘で未舗装であるため、農機械の大型化に対応するため農道の拡幅整備を併せて行い生産基盤の保全を図るものである。

【提案に至るまでの経緯】

農業者の減少、高齢化、担い手不足に加え、稲作は米価格も以前と比べ安価であるため、担い手の確保も困難であり水田地区の耕作放棄が進行することが危惧されている。

令和4年3月30日付けで、城・稲荷地権者代表から藤沢市長に対し「城・稲荷地区における新たなまちづくりの検討について」の要望を受け、農用地区域の除外をし新たな土地利用の検討を行うよう要望があった。

令和4年5月17日付けで要望に対する回答を提出し、農用地区域の除外はできないとし、新たな担い手の確保や区画拡大による作業効率向上への提案を行い、今後も農地として保全に努めていくと回答した。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

城稲荷水利組合の役員会において、耕作条件改善の支援等（案）について説明し意見交換を行った。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢農業振興地域整備計画書において、水田と畑の調和のとれた土地利用を進めていくことを農用地等利用の方針とし、受託組織の活用などにより水田はできるかぎり水田として維持していく構想としている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、耕作放棄地の解消等に繋がる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

- ・令和5年度 15,257千円
- ・令和6年度 17,422千円
- ・令和7年度以降令和15年度まで 1,240,505千円

【事業概要】

農業生産活動を支援するため、農道の拡幅整備を行う。また、農地の耕作条件を改善するため圃場整備に向けた測量を行う。

- (新) 1. 城・稲荷地区の耕作条件の改善支援 15,257 千円
担い手の確保や作業を効率化し、維持・保全への取組を推進するため、集約した担い手の圃場の区画拡大など耕作条件の改善支援に向けた測量を行う。
・城・稲荷地区現況測量委託 23.5ha
2. 西俣野地区の農道整備 43,672 千円
車両通行の安全性の確保、農用地の高度利用並びに農業経営の高位安定を図るため、幅員が狭く転落事故の発生や車両のすれ違いができず農業生産活動に支障をきたしている農道の整備を行う。
・不動産鑑定料（用地取得費算定） 9筆 698 千円
・地積測量委託、補償再算定委託 1式 3,150 千円
・農道整備工事 84m 25,036 千円
・用地取得（道路拡幅用地） 220㎡ 1,210 千円
・ビニールハウス等補償 2棟 13,578 千円
3. 農業基盤整備事業事務経費 489 千円
旅費、消耗品費、印刷製本費、負担金

農林水産業費

事業名	漁港機能保全対策事業費					
予算科目	款 7 項 2 目 1 細目 02 説明 01			農業水産課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	24,740		12,336			12,404
令和4年度	88		0			88
対前年度	24,652		12,336			12,316
特定財源の内訳	(県支出金)	水産物供給基盤整備事業補助金				12,336

<拡充事業> 片瀬漁港施設定期点検調査委託・片瀬漁港荷さばき所機能保全計画策定委託

【施策等を必要とする背景】

片瀬漁港は平成20年4月に全面供用を開始し、今日まで漁業者の円滑な漁業活動を支え、市民の憩いの場として親しまれてきた。

漁港施設の機能を維持するため、老朽化対策として、平成29年度に片瀬漁港機能保全計画（以下「計画」という。）を策定し、施設の長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図ってきた。現在、機能低下が著しいと判定された航路においては、計画に基づき3年に1度の浚渫工事を行うことで漁船の安全な航行を確保してきた。計画策定から5年以上経過し、施設の老朽化が進行していることから、定期点検を実施し、計画の見直しが必要であるか判断する時期を迎えている。

また、計画の対象外であった荷さばき所について、令和2年度に水産庁がガイドラインを策定したことを受け、他の施設と同様に補修費や更新費等を含めたライフサイクルコストの最適化を図る必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

計画において、施設の定期点検を概ね5年に一度行うものと定めており、前回から5年以上が経過しているため、実施時期を迎えている。

また、荷さばき所は計画が未策定となっており、機械設備や電気設備の老朽化が著しく、補修費が増大していることも踏まえ、計画の策定が急務となっている。

平成29年 8月～平成30年1月 片瀬漁港機能保全計画策定委託

平成30年11月～平成31年3月 片瀬漁港航路浚渫工事

令和 3年10月～令和 4年3月 片瀬漁港航路浚渫工事

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、施設の要求性能を下回ることがないように予防的な対策を講じることができ、漁業活動に必要な水産基盤施設を健全な状態で維持することができる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

- ・令和5年度 片瀬漁港施設定期点検調査委託 11,088千円
- 片瀬漁港荷さばき所機能保全計画策定委託 13,585千円
- ・令和6年度 片瀬漁港航路浚渫工事 150,000千円

【事業概要】

効率的な漁業活動を維持するため、漁港管理者として良好な漁港施設の保全を行うとともに必要な機能向上に取り組む。

(新) 1. 片瀬漁港施設定期点検調査委託

11,088 千円

片瀬漁港機能保全計画上、施設の定期点検を概ね5年に一度行うことと定めており、前回から5年以上が経過したため実施する。



片瀬漁港 全景

(新) 2. 片瀬漁港荷さばき所機能保全計画策定委託

13,585 千円

荷さばき所の補修費や更新費等を含めたライフサイクルコストの最適化を図るため、機能保全計画の策定を行う。



片瀬漁港 荷さばき所

3. 漁港機能保全対策事業事務経費
旅費、消耗品費

67 千円

農林水産業費

事業名	つくり育てる漁業推進事業費					
予算科目	款 7 項 2 目 2 細目 01 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	4,384					4,384
令和4年度	4,290					4,290
対前年度	94					94

【事業概要】

魚介類の放流事業を中心としたつくり育てる漁業に取り組むことにより、水産業における生産性の向上や経営の安定化を図るとともに、市民を対象にした漁業体験学習イベントの開催や漁港を会場にしたイベントを開催することにより、多くの市民に対して市内水産業・水産物の普及啓発を図る。

1. 水産業PRイベント 749 千円
 - ・漁場体験イベント業務委託
市民を対象とした漁場体験イベントの業務委託 1回×200人
 - ・地引網漁業体験学習イベント業務委託
市民を対象とした地引網漁業体験学習イベントの業務委託 1回×150人
2. 食害生物駆除作業 372 千円
藻を食べてしまうアイゴなどの駆除
3. 魚介類放流事業補助金（補助率9／10以内） 2,843 千円
水産資源の保護・増殖、魚介類の持続的かつ安定化を図るため、市内にある2漁業協同組合が実施する放流事業に対し助成を行う。
 - ・サザエ稚貝放流 26,500個
 - ・ヒラメ、マダイ稚魚放流 各9,000尾
 - ・ハマグリ稚貝放流 702kg
4. 水産多面的機能発揮対策事業補助金（補助率15／100） 420 千円
国・県・活動団体と協働して、江の島周辺の藻場の保全、海底清掃などの環境保全活動に対する助成を行う。



魚介類放流事業

商工費

事業名	新産業創出事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 04 説明 01	産業労働課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	44,390					44,390
令和4年度	38,857					38,857
対前年度	5,533					5,533

【事業概要】

新しい産業を創出し、地域経済の活性化や雇用機会の創出を図るため、産学官連携のもとベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業進出を支援する。

1. 湘南新産業創出コンソーシアム事業 25,844 千円
 産学官で構成する「湘南新産業創出コンソーシアム」が中心となり、ベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業進出を支援するための各種事業を展開する。
 - ・湘南ビジネスコンテスト事業（2市1町連携事業）
 - ・都市拠点型起業家育成施設運営事業（湘南藤沢インキュベーションセンター）
 - ・創業機運醸成フォーラム事業（高校生に対する創業機運醸成事業）
 - ・スタートアップ支援フォーラム事業（大学生に対する創業機運醸成事業）
 - ・海外事業展開等支援事業（中小企業の販路拡大及び外国人人材の確保等）
 - ・ロボット産業に対する参入支援事業（藤沢ロボット産業研究会）
 - ・コミュニティビジネス支援事業（セミナー・事例発表会等） など

2. 大学連携型起業家育成施設支援事業 9,109 千円
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の運営のため、インキュベーションマネージャー及び補助員を派遣し、入居者に対する総合的支援を行う。

3. 大学連携型起業家育成施設入居支援事業 2,730 千円
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の入居者に対し、賃料の一部を補助する。（補助単価は1,000円/m²）

4. コミュニティビジネス支援事業（創業補助） 1,150 千円
 コミュニティビジネスの創業時に要する経費（賃借料及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の40%以内、女性や55歳以上の事業者の賃借料は45%以内）

5. ポストインキュベーション支援事業 4,500 千円
 市内公的インキュベーション施設を退去後、市内に新たに事業所等を開設する際に要する経費（敷金相当額及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の50%以内）

6. ロボット産業推進事業 1,057 千円
 市内中小企業者によるロボット産業への参入及びロボットに対する研究開発の促進を図るため、生活支援ロボット等の試作開発に要する経費に対し補助する。

商工費

事業名	企業立地等促進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 06 説明 01			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	3,280					3,280
令和4年度	4,252					4,252
対前年度	△ 972					△ 972

【事業概要】

産業の活性化と雇用機会の拡大を図り、本市の経済発展と市民生活の向上に寄与するため、本市の産業振興を図る上で重要と認められる地域において、企業立地のための優遇措置を講じることなどにより、企業誘致の促進と既存企業の再投資の誘発を図る。

1. 税制上の支援措置等の実施 126 千円

「藤沢市企業立地等の促進のための支援措置に関する条例」に基づく事業計画の認定及び税制上の支援措置（固定資産税・都市計画税の軽減措置）の決定をする。

神奈川県企業誘致促進協議会のホームページや同協議会が作成するパンフレット及び各種展示会等を通じて、本市の優遇制度を効果的に周知する。

- ・企業誘致パンフレット印刷製本費 35 千円
- ・神奈川県企業誘致促進協議会負担金 91 千円

2. 企業立地促進融資利子補給金 426 千円

神奈川県の企業立地促進に関する融資を利用し、市内進出や市内再投資を行った企業に対して、利子支払額に対する利子補給金を支給する。

- ・補助対象企業数 2社

(新) 3. 市内空き工場・事業用地調査等業務委託 2,728 千円

工業系用途地域における物件調査を行い、使用されていない可能性が高い工場や事業用地を抽出するとともに、物件所有者とのヒアリング等を通じて実態の把握を行う。

- ・調査対象地域 市内の工業専用地域・工業地域・準工業地域の一部
- ・調査対象面積 約150ヘクタール

商工費

事業名	地域密着型商業まちづくり推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 01			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	18,315					18,315
令和4年度	17,415					17,415
対前年度	900					900

【事業概要】

多様化する消費者ニーズに対応した商業集積を進めるため、商店街団体が商店街の活性化を目的に行う特色づくり等への支援のほか、「ふじさわ元気バザール」事業及び「まちゼミ」事業の実施に対し支援する。

1. 商店街にぎわいまちづくり支援事業 10,595 千円
 商店街ににぎわいや直接の消費をもたらすため、商店街が実施する特色づくりの取組や販売促進イベントによるにぎわいづくり等の事業に対し事業費の一部を助成する。
2. ふじさわ元気バザール事業 6,720 千円
 地域経済の活性化に向け、にぎわいの創出、市内での経済循環などを図るため、市民が主役の地域活性化の取組である「ふじさわ元気バザール」事業に対し事業費の一部を助成する。
3. まちゼミ事業 1,000 千円
 商店街を中心とする地域商業の活性化に向け、地域住民とのコミュニケーションの場から、地域コミュニティの核となる商店街の構築と集客力向上を図るため、一般社団法人藤沢市商店会連合会が実施する「まちゼミ」事業に対し事業費の一部を助成する。

商工費

事業名	商店街経営基盤支援事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 02	産業労働課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	34,114					34,114
令和4年度	28,850					28,850
対前年度	5,264					5,264

【事業概要】

地域コミュニティの核として市民生活を支える商店街を維持するため、商店街団体の共同施設の運営や維持管理、新設及び修繕など基盤整備事業等に対する助成を行い、商店街経営基盤の安定を図る。

1. 商店街駐車場運営事業補助金 9,636 千円
 消費者の利便性の向上と快適な買物空間の創出及び違法駐車の減少を図るため、一般社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置した顧客用駐車場の運営費の一部を助成する。
 - ・提携駐車場に対する助成 9,132 千円
 18カ所 遊行通り4丁目商店街振興組合 ほか13商店街
 - ・借上駐車場に対する助成 504 千円
 1カ所 片瀬竜の口商店街振興組合

2. 商店街街路灯電灯料補助金 13,756 千円
 商店街の活性化及び安全・安心なまちづくりを推進するため、一般社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置及び管理する街路灯の電灯料に対し、補助対象電灯料を全額助成する。
 - ・街路灯 2,732灯 本町白旗商店街振興組合 ほか33商店街

3. 商店街共同施設設置事業補助金 10,722 千円
 商店街の環境を改善し、活性化を図るため、共同施設の設置又は改修、修繕を実施する商店街団体に対し、その設置費用又は改修、修繕費用の一部を助成する。
 - ・街路灯修繕等 10,322 千円
 プチモールひがし海岸協同組合 ほか4商店街
 - ・防犯カメラ緊急修繕 400 千円

商工費

事業名	拠点駅等周辺商業活性化事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 03	産業労働課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	4,400					4,400
令和4年度	4,460					4,460
対前年度	△ 60					△ 60

【事業概要】

本市の主要な都市拠点として藤沢の顔・玄関口の性格を有する藤沢駅をはじめとする拠点駅周辺の商業振興を図るため、点在する歴史的資源等の地域資源を活用したまちづくりや拠点駅周辺商店街の回遊性を向上させる取組に対し支援する。

1. 遊行の盆事業補助金 3,500 千円
 藤沢の新しい創作踊り等を中心とした市民参加型イベントとして開催する藤沢宿・遊行の盆事業に対し、その事業費の一部を助成する。



遊行ばやしコンテスト



遊行寺境内での盆踊り

2. 街なみ継承地区魅力向上店舗集積事業補助金 900 千円
 藤沢駅北口から遊行寺を中心とした街なみ継承地区（旧東海道藤沢宿周辺地区）において、藤沢宿のレトロでモダンなイメージを取り入れた店舗を開業した事業者に対し、事業実施に係る経費の一部を助成する。



補助金活用事業者：c o t t o n t a i l（コットンテイル）

商工費

事業名	藤沢ものづくりブランド応援事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 04 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,615					2,615
令和4年度	1,546					1,546
対前年度	1,069					1,069

【事業概要】
 中小企業の新製品、新技術等の販路拡大を図り、本市の「ものづくりのまち」としてのブランド価値を高めるため、藤沢商工会議所が実施する市内中小企業を対象とした展示会等への共同出展支援事業に対し、経費の一部を補助する。

1. 藤沢ものづくりブランド応援事業補助金 2,615 千円
 ・補助対象経費

出展料	出展料の最大3分の2以内	1,936 千円
装飾費用	共同出展にかかる展示装飾費用全額	566 千円
事務経費	藤沢商工会議所の事務経費の2分の1	113 千円

商工費

事業名	店舗・事業所等リニューアル補助金					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 05 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	20,095					20,095
令和4年度	20,163					20,163
対前年度	△ 68					△ 68

【事業概要】
 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、低迷している市内経済の活性化を図るため、市内事業者を利用して、店舗・事業所のリニューアル工事を実施した市内中小企業者、住宅リニューアル工事を実施した市民に対し、その費用の一部を助成する。

1. 店舗・事業所リニューアル補助金（100件） 15,000 千円
 2. 住宅リニューアル補助金（100件） 5,000 千円
 3. 消耗品費、印刷製本費（案内パンフレット作成） 95 千円

区分	対象者	助成対象工事額	対象要件	補助金額
店舗・事業所 リニューアル工事	法人・個人 (市内中小企業者)	30万円以上	市内施工事業者へ発注する者等	15万円
住宅リニューアル工事	個人 (市民)	20万円以上		5万円

商工費

事業名	中小企業融資制度関係事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 3 細目 01 説明 01			産業労働課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	721,427				646,000	75,427
令和4年度	764,165				671,000	93,165
対前年度	△ 42,738				△ 25,000	△ 17,738
特定財源の内訳	(その他)	雇用安定対策特別資金貸付金元金収入				2,000
		中小企業支援資金貸付金元金収入				371,000
		小規模企業緊急資金貸付金元金収入				93,000
		景気対策特別資金貸付金元金収入				109,000
		創業支援資金貸付金元金収入				71,000

【事業概要】

市内中小企業の振興と経営の安定を図るため、中小企業融資制度を円滑に運営する。

1. 預託先金融機関への貸付金 646,000 千円
 - ・雇用安定対策特別資金貸付金 2,000 千円
 - ・中小企業支援資金貸付金 371,000 千円
 - ・小規模企業緊急資金貸付金 93,000 千円
 - ・景気対策特別資金貸付金 109,000 千円
 - ・創業支援資金貸付金 71,000 千円

2. 融資制度利用者等への補助金 59,510 千円
 - ・中小企業融資制度利子補助金 34,412 千円
 - ・信用保証料補助金 24,778 千円
 - ・中小企業信用保険補助金 320 千円

3. パンフレット、融資申込書の作成 249 千円
 - ・藤沢市中小企業金融のしおり 5,000 部
 - ・中小企業融資申込書 1,000 部
 - ・創業支援資金「キュンとするスタートアップ」パンフレット兼要件確認書 3,000 部

4. 中小企業融資制度業務委託料 15,668 千円
 - ・藤沢市中小企業融資制度の相談受付、審査等の窓口業務
 - ・中小企業融資制度利子補助及び信用保証料補助の受付・審査業務
 - ・中小企業信用保険法に基づく認定事務 など

商工費

事業名	誘客宣伝事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 01			観光課		
指針体系コード	4-3-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	地域経済循環を高める経済対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	75,548		3,224		34,004	38,320
令和4年度	50,096		10,277		37,607	2,212
対前年度	25,452		△ 7,053		△ 3,603	36,108
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				3,224
	(その他)	江の島岩屋使用料				19,851
		江の島サムエル・コッキング苑使用料				9,663
		片瀬東浜駐車場使用料				4,490

<拡充事業> 観光宣伝事業委託（観光プロモーション事業、旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業等）、藤沢市観光振興計画改定業務委託

【施策等を必要とする背景】

コロナ禍で市内経済は大きな影響を受け、特に観光事業者においては、観光客数の激減により疲弊している状況であるため、積極的な誘客宣伝事業による観光客数の回復、市内経済の活性化が急務である。

令和5年度を「藤沢市観光経済再活性化プラン」のフルスロットル期にさしかかる年度とみなし、本事業においてはリニューアル整備をした江の島サムエル・コッキング苑を中心とする本市の魅力を、国内外に向け、デジタル広告やマスメディアを駆使し、経済効果を高めるターゲットに適切に伝達するなど、継続的な取組が不可欠である。

また、総合的に観光施策を推進するため、令和4年度までの計画期間である観光振興計画を改定する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

国内外向けの事業とともに、（公社）藤沢市観光協会と社会情勢を踏まえた誘客宣伝事業について検討し、事業を構成した。

観光振興計画は令和2年度に見直しの時期を迎えたが、令和3年度の策定が1年間延期された上位計画の神奈川県観光振興計画との整合性を図り、長引く感染症拡大の影響を見極めた上での視点が不可欠であるため、令和5年度に実施することとした。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

多摩大学との連携により観光調査事業を実施する。

【市の策定する計画や条例との整合性】

「藤沢市市政運営の総合指針2024」の理念や施策の方向性との整合性を図るとともに、神奈川県観光振興計画の改定に合わせて見直すこととした上で8年間の計画とする。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

人口減少・生産年齢人口割合の低下から国内観光需要の落ち込みが推測される状況において、長期的な誘客につなげるため、世代別の調査を実施するとともに、消費単価の高いインバウンドの誘客をすることで経済効果を維持・増幅させる。

また、国内外の観光客に係るビッグデータ及びマーケティングの調査・分析による、データに基づく戦略的な政策立案（EBPM）を継続することで、「選ばれ続ける観光地」の実現が期待される。

2. 将来にわたる費用

国内外の観光客に係るビッグデータ及びマーケティング調査・分析経費のほか、より効果的な誘客宣伝に要する経費が必要となる。

【事業概要】

ウィズコロナ・アフターコロナにおける国内外の観光状況や分析等を踏まえた観光誘客を図るため、ビッグデータ及びマーケティングの調査・分析を行うとともに、国内観光客を対象としたプロモーション事業や回復基調にあるインバウンド事業に係るマーケティングや情報発信を実施し、市内観光経済の再活性化を図る。

さらに、高い経済効果が見込まれる事業や歴史資源を活用したイベント等に対し、側面的支援を行うことで、観光振興を図る。

1. 観光宣伝事業委託	57,251 千円
<主な事業>	
(拡) 観光プロモーション事業	14,474 千円
・観光ホームページによる宣伝事業	1,859 千円
・松本市交流事業	200 千円
(拡) 北部観光振興事業	374 千円
(拡) 旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業	14,897 千円
(拡) 外国人観光客誘致対策事業	14,174 千円
・宝探し事業	9,517 千円
・観光親善大使関連事業	601 千円
(拡) 2. 観光振興計画改定業務委託	11,614 千円
観光施策を総合的かつ計画的に推進するための計画の改定には、民間事業者が有する専門的な知見を踏まえた調査・分析が必要であるため業務委託する。	
3. 海と山との市民交歓会事業委託	1,091 千円
姉妹都市・松本市との市民交流事業の実施	
4. 観光客動態調査等負担金	4,184 千円
a uスマートフォン使用者のGPS情報及びSuica利用による動態調査等	
5. 地域観光振興事業補助金	500 千円
8月に開催される遊行寺薪能事業への助成	
6. 新春藤沢・江の島歴史散歩事業補助金	530 千円
1月に藤沢七福神各神社・寺院で開催される新春藤沢・江の島七福神スタンプラリーへの助成	
7. 全日本ライフセービング選手権大会補助金	300 千円
10月に片瀬海岸西浜で開催される全日本ライフセービング選手権大会への助成	
8. 誘客宣伝事業事務経費	78 千円



旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業



宝探し事業

商工費

事業名	湘南江の島フェスティバル事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 03	観光課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	14,909					14,909
令和4年度	12,633					12,633
対前年度	2,276					2,276

<拡充事業> ふじさわ江の島花火大会事業負担金、湘南藤沢活性化コンソーシアム事業負担金

【施策等を必要とする背景】

本市ではさまざまな観光誘客事業を開催することにより、地域経済の活性化に取り組んでおり、各種事業の開催においては本市も参画し、組織される実行委員会等において、事業の計画や運営がなされている。

今後、さらなる観光誘客の促進を図るためには、各実行委員会等において、事業の見直しや精査を図り、より事業の効果を上げていく必要があるため、本事業費の負担を継続、拡充することにより、目標とする年間2,000万人の観光客数をめざす。

【提案に至るまでの経緯】

本市では藤沢市観光振興計画を策定しており、年間観光客数2,000万人をめざしているが、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光客数が大幅に減少した。

この減少した観光客数を復調させるためには、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた観光地間競争を勝ち抜く必要があり、開催する各事業においても、前年と同様の内容だけではなく、常に観光客を飽きさせない事業コンテンツの磨き上げをすることとした。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

各種実行委員会等においては、地域団体や鉄道事業者、観光事業者等が参画しており、地域一体となった観光誘客の取組がなされている。

【市の策定する計画や条例との整合性】

本市では藤沢市観光振興計画を策定し、観光施策の展開を図っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により社会情勢が大きく変化したことを受け、コロナ禍における観光施策の方向性を示す藤沢市観光経済再活性化プランを策定した。

同プランにおいては、コロナ禍におけるフェーズを設定しており、令和5年度においては、フルスロットル期にさしかかる年度とみなし、観光誘客の強化を図るフェーズとして設定している。

【将来にわたる効果及び費用】

事業の磨き上げを行い、継続的に事業を実施することにより、事業の認知度や満足度が向上することで、口コミやSNS等でさらなる拡散が図られ、観光誘客の相乗効果が期待される。

また、観光客の増加に伴う経済効果の上昇も期待されるため、地域経済活性化につながる。



湘南の宝石



ふじさわ江の島花火大会

【事業概要】

四季を通じた通年型観光地づくりをめざし新たな観光資源の発掘、既存の観光資源有効活用について、地元観光事業者等と連携し一体となった事業展開により、さらなる観光誘客を図るため、各種事業の一部を負担する。

1. 龍の口竹灯籠事業負担金 500 千円

片瀬地区の観光拠点である龍口寺境内において、ロウソクを灯した竹灯籠を並べ、揺らめく光が幻想的な秋の夜を演出することで、市内外からの観光誘客を図るため、開催に要する費用の一部を負担する。

- ・実施場所 龍口寺
- ・実施時期 10月下旬

(拡) 2. ふじさわ江の島花火大会事業負担金 6,263 千円

事業開催時の人の密集による安全面が課題であったことから、従来方式の事業開催を見直し、来場者の分散化並びに平準化を図り実施することで、混雑による事故防止と観光誘客を両立するため、開催に要する費用の一部を負担する。

- ・実施場所 江の島片瀬海岸西浜
- ・実施時期 秋季予定

(拡) 3. 湘南藤沢活性化コンソーシアム事業負担金 5,000 千円

全国イルミネーションアワードプロフェッショナルパフォーマンス部門で1位を受賞した「湘南の宝石」や年々来場者数が増加している「湘南キャンドル」など、一定の認知度が得られてきた事業をブラッシュアップすることで、限られた施設や環境の中で来場する観光客に飽きさせない事業展開を図るとともに、通年での観光誘客を促進するため、新たな事業を実施し、観光経済の再活性化に向け、コンソーシアム事業に要する費用の一部を負担する。

- ・実施場所 江の島サムエル・コッキング苑ほか
- ・実施時期 通年

4. 湘南江の島春まつり事業負担金 1,946 千円

これまでの事業内容を見直し、藤沢・江の島の歴史や伝統に触れる事業を中心とした事業プログラムとし、これまで別途開催していた江の島流鏝馬・武者行列と一体となった事業展開を図ることで、新しい観光客層の観光誘客はもとより、江の島及び片瀬海岸周辺地域の回遊性の向上を図るため、開催に要する費用の一部を負担する。

- ・実施場所 江の島ほか
- ・実施時期 3月中旬

5. ふじさわ将棋頂上決戦事業負担金 1,200 千円

女流棋士による将棋対局をメインに、遊行寺境内や藤嶺学園体育館を利用し、プロや観光親善大使による大盤解説や自由対局などのプログラムを織り交ぜて開催し、新たな客層の誘客並びに地域の賑わい創出を図るため、開催に要する費用の一部を負担する。

- ・実施場所 遊行寺ほか
- ・実施時期 5月下旬

商工費

事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 04			観光課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	27,655		177			27,478
令和4年度	18,451		0			18,451
対前年度	9,204		177			9,027
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				177

【事業概要】

湘南藤沢フィルム・コミッション事務局である（公社）藤沢市観光協会を通じ、本市を舞台とする国内外の映画・ドラマ・CM等のロケーション撮影や映像作品の誘致及び市内全域における撮影環境の調整を行い、メディアを通じて観光地藤沢としての情報を発信するほか、撮影隊の本市への訪問による直接的・間接的な経済効果を波及させる。

1. 湘南藤沢フィルム・コミッションの事業負担金 26,885 千円
 - ・ロケハン（ロケ地探し）への協力（ロケ地情報の提供・写真提供など）
 - ・撮影許可申請の案内
 - ・ロケの立ち合い
 - ・食事や宿泊施設の紹介及び調整
 - ・市民エキストラ、支援施設の募集及び手配
 - ・市民向けフォーラムの開催
 - ・制作宣伝部とのPR企画・実施協力
 - ・ロケ地マップ作成

- (新) 2. デジタルスタンプラリー事業の実施 770 千円
- 湘南藤沢フィルム・コミッションが映像制作を支援した作品の制作会社とのコラボレーションイベントとして、デジタルスタンプラリーを実施することで、消費単価が高いといわれる、いわゆる「ロケ地スト」による聖地巡礼により、誘客を促進するとともに、高い経済効果を生み出す。

商工費

事業名	海水浴場対策費					
予算科目	款 8 項 2 目 3 細目 01 説明 01			観光課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	40,706		387			40,319
令和4年度	39,292		557			38,735
対前年度	1,414		△ 170			1,584
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				387

【事業概要】

海水浴場の安全性及び快適性を守り発展させるため、各海水浴場組合へ救護警備費用の一部を助成するとともに、藤沢市夏期海岸対策協議会の行う危険防止施設設置等の事業に対し費用を助成することにより、海水浴場開設期間中、安全で快適な海水浴場を維持し、海水浴客の利便性を図る。

1. 藤沢市夏期海岸対策協議会補助金 28,455 千円
 <主な事業>
 - ・「藤沢市海水浴場ルール」に基づくマナーアップ事業 2,196 千円
 - ・ライフセーバー監視事業 6,410 千円
 - ・海水浴場防護柵、サーファーフェンス設置撤去管理事業 7,477 千円
 - ・仮設トイレ設置及び撤去・清掃等事業 6,709 千円

2. 海水浴場救護警備補助金 12,251 千円
 海水浴場の安全性及び快適性を確保するために、設置者である海水浴場組合が整備する救護警備に要する費用の一部を助成する。

商工費

事業名	観光施設整備費					
予算科目	款 8 項 2 目 4 細目 01 説明 02			観光課		
指針体系コード	4-3-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	地域経済循環を高める経済対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	20,020		0	0	0	20,020
令和4年度	114,090		13,666	72,200	18,670	9,554
対前年度	△ 94,070		△ 13,666	△ 72,200	△ 18,670	10,466

<拡充事業> 江の島サムエル・コッキング苑アクセスルート整備事業負担金

【施策等を必要とする背景】

指定管理施設である江の島サムエル・コッキング苑の裏門につながるアクセスルートについては、施設管理運営や誘客事業における業務車両の頻繁な往来等による経年的なルートの損傷も激しく、またルート幅も狭隘であるため、有事の際の消防車両通行にも影響を及ぼしかねないことから早急に必要な安全対策を講じる必要があるため、当該ルートの整備工事を実施する。

【提案に至るまでの経緯】

令和3年度から2カ年にわたる江の島サムエル・コッキング苑リニューアル整備工事や、各種イベントの設営における工事車両の往来等により、当該ルートに一定の損傷が生じたため、原状回復するとともに、ルート幅も狭隘であるため有事の際の消防車両通行にも支障をきたす可能性があることから併せて対策を講じることとした。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【将来にわたる効果及び費用】

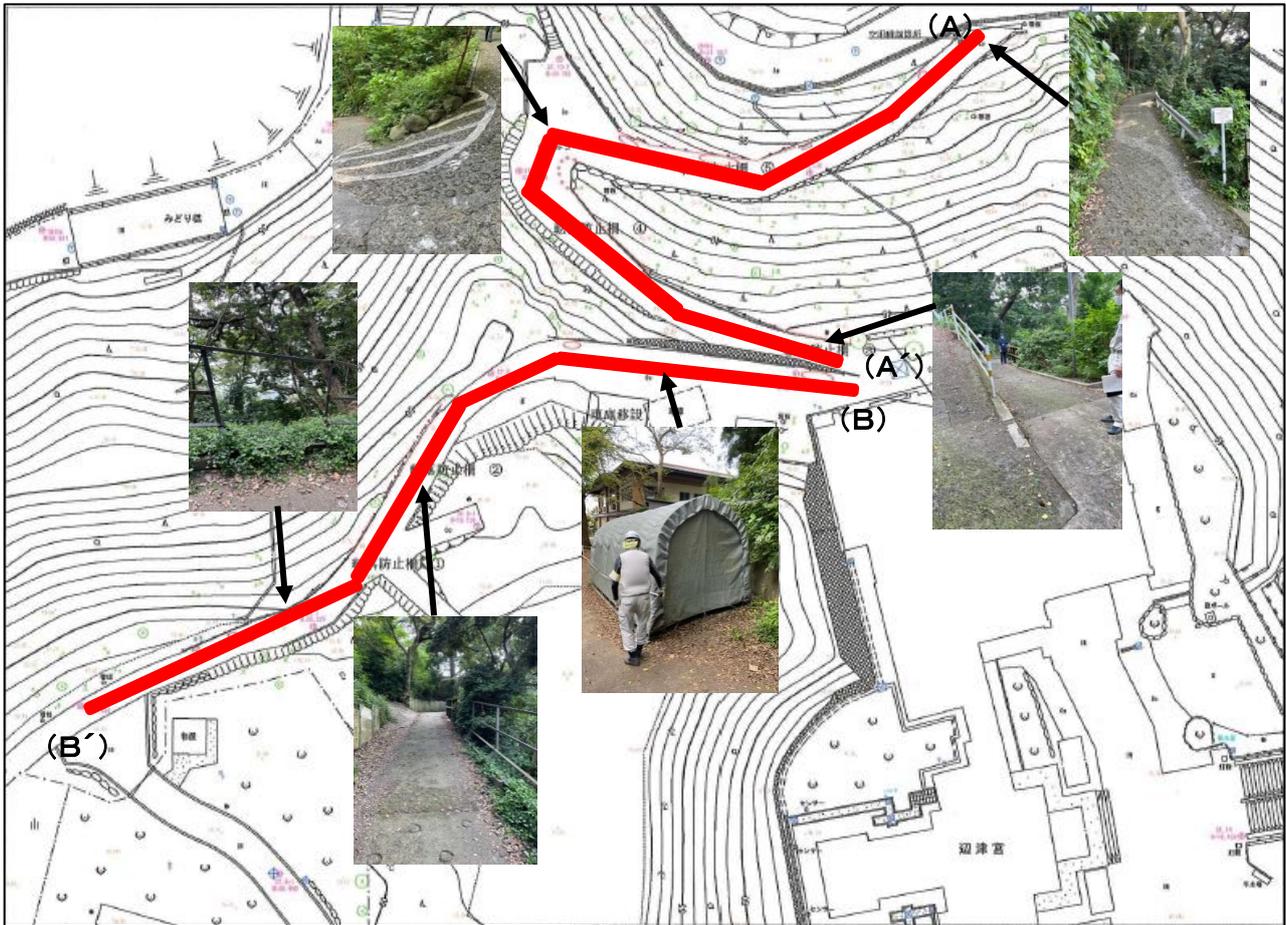
当該整備工事を実施し、安全対策を講じることで、江の島サムエル・コッキング苑利用者や地域住民を含めた江の島地域の一体的な安全環境整備を図ることができる。これによって、より魅力的な観光地として、さらに多くの観光客の来訪促進につながり、さらなる観光経済活性化が期待できる。

【事業概要】

指定管理施設である江の島サムエル・コッキング苑の裏門につながるアクセスルートについて、経年的に損傷した当該ルートの原状回復と合わせて、必要な安全対策を講じる整備工事を行う。

事業実施にあたっては、コスト縮減及び工期短縮の観点から、当該ルートを管理運営業務で使用する江の島サムエル・コッキング苑の指定管理者である江ノ島電鉄（株）及びルートの地権者と、通行や費用負担等を定めた協定を締結した上で、同社が一体的な工事を行い、市が応分の費用を負担する。

- (新) 1. 江の島サムエル・コッキング苑アクセスルート整備事業負担金 20,020 千円
江の島サムエル・コッキング苑アクセスルートにおける必要な安全対策のため、ルートの補修及び滑り止め舗装、転落防護柵の改修及び一部新設、ルート中にある通行車両の支障物件移設等の整備工事費用の一部を負担する。



工事概要平面図

土木費

事業名	建築物等防災対策事業費					
予算科目	款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 03	建築指導課				
指針体系コード	1-1-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	46,694	21,514	10,530			14,650
令和4年度	54,101	20,884	12,067			21,150
対前年度	△ 7,407	630	△ 1,537			△ 6,500
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				8,059
		地域防災拠点建築物整備緊急促進事業費補助金				13,455
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				4,217
		沿道建築物耐震化支援事業費補助金				6,313

<拡充事業> 緊急輸送道路沿道建築物耐震診断補助制度の新設

【施策等を必要とする背景】

平成28年度に改定した「藤沢市耐震改修促進計画」において、神奈川県が耐震診断義務化路線に指定していた国道1号からの輸送網を市内の物資輸送の最重要路線として、県道43号藤沢厚木や国道467号（国道1号以南）等の緊急輸送道路を本市が定める耐震診断義務化路線とした。その後、隣接市町が本市と繋がるすべての第1次緊急輸送道路に、耐震診断等補助制度を新設したことから、本市においても、さらなる緊急輸送道路ネットワークの拡大に向けて、沿道建築物（※）所有者等への耐震化促進の直接的なアプローチを可能とする、新しい補助制度を設け、大地震発生後の円滑な物資輸送についてより一層の充実を図る。

（※）地震により前面道路の過半を閉塞する可能性がある一定の高さ以上の旧耐震建築物

【提案に至るまでの経緯】

神奈川県が指定した第1次緊急輸送道路は本市に7路線あり、そのうち2路線及び1路線の一部については、神奈川県（平成27年）と本市（平成28年）で耐震診断義務化路線に指定している。耐震診断義務化路線を除く本市の第1次緊急輸送道路の沿道建築物に対しては、耐震診断の補助制度を設けていないことから、所有者等に対し、耐震化を促進するアプローチができていない状況である。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・藤沢市耐震改修促進計画において、建築物の耐震化を促進するための施策として位置付けている。
- ・藤沢市国土強靱化地域計画における「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）の対応策」において、緊急輸送道路の耐震化とともに、沿道建築物の耐震化が求められている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、沿道建築物の耐震診断が実施され、耐震性のない建築物の耐震補強や除却が促されることから、耐震化が進み、結果として、隣接市町とともに第1次緊急輸送道路沿道建築物の耐震化が進み、これにより、地震による建物崩壊を防ぎ、地震発生後の円滑な物資の輸送が可能となる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

- ・令和5年度 2,000千円
- ・令和6年度 2,000千円
- ・令和7年度以降 20,000千円（残り10件程度を想定）

【事業概要】

地震時における街の安全性を高めるため、昭和56年に施行された新耐震基準より前に建築された建築物の所有者等を対象に、耐震診断及び耐震改修工事等に対して補助を行う。

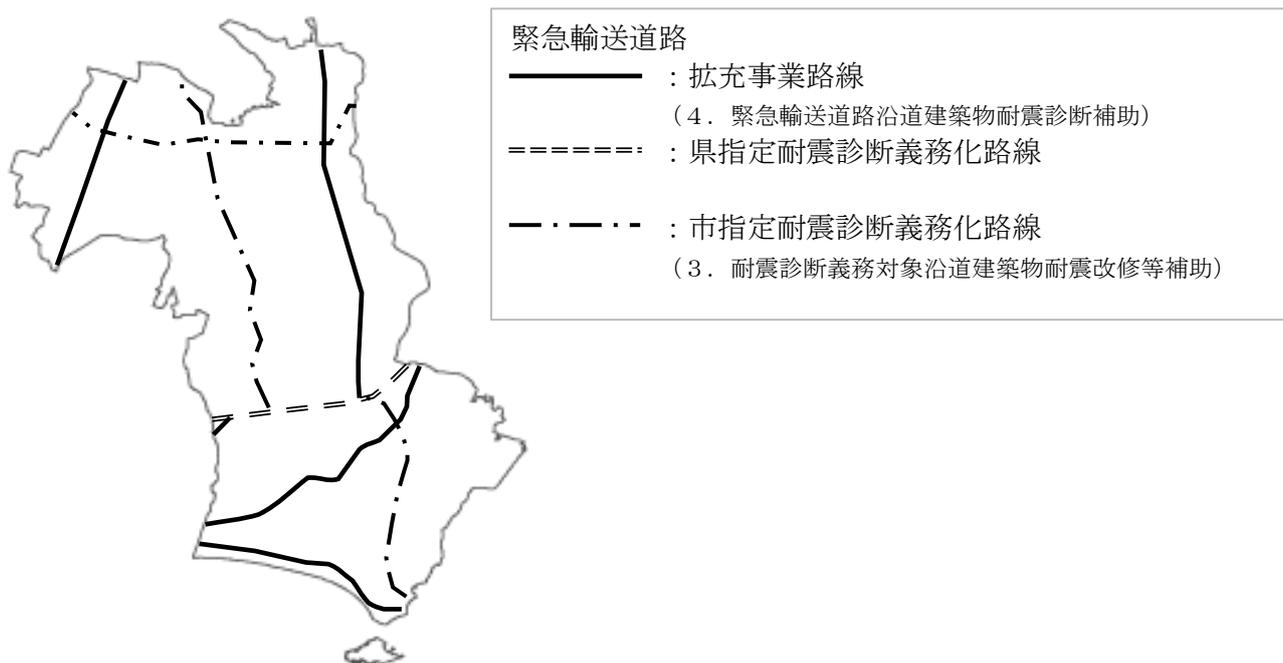
- | | |
|--------------------------------------|-----------|
| 1. 木造住宅耐震診断・改修工事等補助 | 17,120 千円 |
| 木造戸建て住宅の所有者を対象に、耐震診断及び耐震改修工事等の補助を行う。 | |
| ・木造住宅耐震診断補助 | 1,860 千円 |
| ・木造住宅耐震改修工事補助 | 15,060 千円 |
| ・木造住宅耐震シェルター・耐震ベッド設置補助 | 200 千円 |

- | | |
|------------------------------|----------|
| 2. 分譲マンション耐震診断補助 | 1,730 千円 |
| 分譲マンションの管理組合を対象に、耐震診断の補助を行う。 | |
| ・分譲マンション耐震診断（予備診断）補助 | 150 千円 |
| ・分譲マンション耐震診断（本診断）補助 | 1,500 千円 |
| ・報償費（耐震アドバイザー講師謝礼派遣） | 80 千円 |

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| 3. 耐震診断義務対象沿道建築物耐震改修等補助 | 25,577 千円 |
| 耐震診断義務対象沿道建築物の所有者等を対象に、耐震改修工事等の補助を行う。 | |
| ・耐震診断義務対象沿道建築物耐震改修等（改修）補助 | 22,000 千円 |
| ・耐震診断義務対象沿道建築物耐震改修等（除却）補助 | 3,577 千円 |

- | | |
|---|--|
| (括) 4. 緊急輸送道路沿道建築物耐震診断補助 | 2,000 千円 |
| 第一次緊急輸送道路沿道建築物のうち、一定の高さ以上の建築物所有者等を対象に、耐震診断の補助を行う。 | |
| ・実施予定 | 令和5年4月から |
| ・対象者 | 第一次緊急輸送道路沿道建築物の所有者等 16件程度（拡充事業分） |
| ・対象路線 | 国道467号（国道1号以北）・国道134号・県道45号
県道30号・県道44号 |

- | | |
|-------------------|--------|
| 5. 建築物等防災対策事業事務経費 | 267 千円 |
|-------------------|--------|



緊急輸送道路の補助制度路線図

事業名	(新) 道路窓口業務システム整備事業費					
予算科目	款 9 項 2 目 1 細目 09 説明 01			道路管理課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	57,334					57,334
令和4年度	0					0
対前年度	57,334					57,334

【施策等を必要とする背景】

道路管理課では、道路に関するさまざまな問い合わせがあり、窓口へ多くの市民及び事業者が来庁されるが、問い合わせ内容によって担当窓口が変わるため、よりスムーズな窓口案内を行う必要がある。

また、来庁者に閲覧していただく資料は紙資料が多く、該当する資料を閲覧するための地図での検索から資料閲覧までの時間を要している。そのため、タッチパネル等で容易に検索及び閲覧できるシステムの構築並びに資料のデジタル化が必要である。

窓口業務については、現金払いで窓口手数料を収納するため、リスクが潜在しており、業務の効率面からも交付及び収納業務を自動化する必要がある。

このようなことから、道路窓口業務システムを導入し、業務の効率化を図るとともに、市民サービス及び利便性の向上を図る。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- D X推進計画（令和4年4月）
- スマートシティ基本方針（令和4年4月）

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

道路窓口業務システムの構築によって、来庁者が迷わずに来庁目的を達成することができるなど、市民サービスの向上につながる。

また、道路管理課保有資料のデジタル化及び境界確定図交付事務の自動化によって、該当資料の検索が速くなるため、来庁者の利便性の向上及び滞在時間の短縮化を図ることができる。さらに、業務の効率化及び職員の負担軽減にもつながる。

将来的には、今回構築するシステムを基盤としてデジタル化した資料をインターネットで公開することにより、来庁しなくても道路管理に関する各種資料を閲覧及び印刷することを可能とする。

2. 将来にわたる費用

(単位：千円)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
57,334	43,000	32,000	2,000

【事業概要】

来庁者にスムーズに窓口案内を行い、適切かつ迅速に来庁目的を達成していただくため、窓口案内システムの整備、道路台帳GISを活用した窓口閲覧・交付システムの充実を図るとともに、地籍調査における官民境界等先行調査実施結果のデータ整理を行う。

1. 窓口案内システムの整備 642 千円
来庁者がタッチパネルを操作して目的業務を選択し、発券機で整理券を取得するとともに、業務担当者へ合図して知らせる窓口案内システムを整備する。
2. 道路台帳GISを活用した窓口閲覧・交付システムの充実 47,025 千円
道路管理課の窓口に着用している各種データの地図情報や閲覧用資料について、来庁者が容易に窓口用端末（タッチパネル）を使って検索及び閲覧することを可能にするとともに、境界確定図の自動交付を行うため、道路台帳GIS（個別業務支援システム）へのデータ搭載及びシステム改修を行う。
 - (1) 窓口閲覧システムで閲覧・交付できる道路関連情報
(既存データ)
 - ・市道認定路線網図
 - ・道路台帳平面図
 - ・公共基準点網図(新たに追加するデータ)
 - ・道路境界確定図
 - ・掘削規制箇所図
 - ・道路舗装構成図
 - ・地籍調査図
 - (2) 道路境界確定図交付事務の自動化
来庁者が窓口閲覧・交付システムを利用して境界確定図を検索及び閲覧し、該当の境界確定図を印刷する時は課金機に手数料を投入して交付される。
3. 地籍調査における官民境界等先行調査の成果データ整備 9,667 千円
官民境界等先行調査を実施した区域における境界点成果簿を図郭毎に関連するページにとりまとめて整理し、道路台帳GISに搭載するデータを作成する。



道路窓口業務システム設置イメージ

土木費

事業名	道路改修舗装費					
予算科目	款 9 項 2 目 2 細目 03 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,011,823	108,900		422,500		480,423
令和4年度	977,631	112,600		459,300		405,731
対前年度	34,192	△ 3,700		△ 36,800		74,692
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				108,900
	(地方債)	道路整備事業債				422,500

【事業概要】

車両の円滑な通行と市民生活の安全を確保するため、藤沢市道路舗装修繕計画等に基づき、舗装の老朽化が著しい道路について舗装打換等を行う。

1. 施設修繕費 261,343 千円
老朽化が著しい生活道路等の小規模修繕を行う。
2. 委託料 6,000 千円
舗装打換予定路線における既設舗装各層の健全度を把握する調査を行うとともに、工事に伴う境界復元測量を行う。
 - ・ FWD 調査委託 10 路線 延長 L = 4,000 m
 - ・ 道路境界復元測量委託
3. 工事請負費 743,920 千円
1・2級道路及び主要な生活道路等については藤沢市道路舗装修繕計画に基づく舗装打換、その他の生活道路については市民要望が強く修繕対応では困難な場所の舗装打換を行う。
 - ・ 国庫補助対象事業 8 路線
延長 L = 1,690 m 面積 A = 10,185 m²
 - ・ 国庫補助対象以外の事業 25 路線
延長 L = 4,210 m 面積 A = 22,745 m²
4. 道路改修舗装事務経費 560 千円
 - ・ 旅費、消耗品費、印刷製本費



桐原町石川線（ひび割れ）



鵜沼330号線（ひび割れ）

(1の事業は令和4年度12月補正で増額した事業)
(3の事業の一部は令和4年度12月補正で債務負担行為を設定)

土木費

事業名	道路施設改修事業費					
予算科目	款 9 項 2 目 2 細目 04 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	160,732	11,600		70,800		78,332
令和4年度	272,789	10,940		153,300		108,549
対前年度	△ 112,057	660		△ 82,500		△ 30,217
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				4,000
		道路メンテナンス事業費補助金				7,600
	(地方債)	道路整備事業債				70,800

【事業概要】

老朽化が進む道路施設について、利用者の安全を確保するため、専門業者による定期的な調査の実施とともに、点検結果に基づき道路施設の改修工事等を行う。

1. 委託料

道路施設の安全確保のため、調査等を実施 73,799 千円

- ・路面性状調査委託
- ・道路トンネル定期点検委託
- ・路面下空洞調査委託
- ・生活道路の路面評価等委託
- ・大型カルバート詳細設計委託
- ・藤沢駅地下公共施設設備基本設計委託

2. 工事請負費

道路施設の安全確保のため、調査、点検結果等に基づき、改修・更新工事等を実施 70,059 千円

- ・藤沢市内道路照明灯更新工事
- ・藤沢駅南口デッキ軒天材他改修工事
- ・六会日大前駅遠隔監視システム更新工事【継続費】

3. 施設修繕費

道路施設の調査、点検結果等に基づき、小規模修繕を実施 16,200 千円

4. 道路施設改修事務経費

・旅費、印刷製本費、使用料 674 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

	5年度	6年度	合計
六会日大前駅遠隔監視システム更新工事	0	20,042	20,042

土木費

事業名	市道新設改良費					
予算科目	款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	1-2-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
指針体系コード	4-1-91	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	564,221	40,740		400,300		123,181
令和4年度	604,994	96,720		425,700		82,574
対前年度	△ 40,773	△ 55,980		△ 25,400		40,607
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				32,590
		都市構造再編集集中支援事業費補助金				8,150
	(地方債)	道路整備事業債				400,300

【事業概要】

安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保のため、道路の新設改良、バリアフリー化、自転車走行空間の整備を行う。

1. 道路の新設改良事業 433,537 千円
 - ・ 藤沢駅辻堂駅線（工事、補償）
 - ・ 藤沢652号線（設計、建物等調査、工事、補償）
 - ・ 六会554号線（補償）
 - ・ 宮原百石線（建物等調査、埋蔵文化財調査、工事、用地取得、補償）
 - ・ 藤沢5号線（工事、補償）

2. バリアフリー化事業（善行駅周辺地区） 77,693 千円
 - ・ 善行25号線（工事）

3. 自転車走行空間整備事業 30,965 千円
 - ・ 鵜沼29・31号線（測量）
 - ・ 辻堂駅周辺（工事）

4. 市道新設改良事務経費 22,026 千円
 - ・ 旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金



善行駅周辺地区バリアフリー化事業
(善行25号線)



自転車走行空間整備事業
(矢羽根設置イメージ)

(この事業は令和4年度6月及び9月補正で増額した事業)

土木費

事業名	道路安全対策費					
予算科目	款 9 項 2 目 4 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	1-2-51	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	141,185			67,700	29,886	43,599
令和4年度	118,360			41,000	14,418	62,942
対前年度	22,825			26,700	15,468	△ 19,343
特定財源の内訳	(地方債)	道路整備事業債				67,700
	(その他)	交通安全対策基金繰入金				29,886

【事業概要】

交通事故の防止及び道路環境の安全対策を図るため、老朽化や破損した安全施設の補修等を行うとともに、不明瞭な路面標示の補修や保育所等周辺にキッズ・ゾーンの路面標示を設置する。

また、安全施設の必要な交差点に対する車止め設置や信号機のない横断歩道に歩行者横断点減機をモデル事業として設置するなどの安全対策を進める。

1. 工事請負費

141,185 千円

- ・ 道路交通安全施設設置工事 道路反射鏡等の新設・建替 計34基
- ・ 道路区画線標示補修等工事 道路区画線の標示 約22,030m
(キッズ・ゾーン路面標示を含む)
- ・ 車止め設置工事 車止め設置 (長後・片瀬・湘南大庭・湘南台各地区)
- ・ 道路横断施設設置工事 歩行者横断点減機 1カ所



道路区画線標示施工例



道路横断施設施工例

(1の事業の一部は令和4年度12月補正で債務負担行為を設定)

土木費

事業名	橋りょう改修費					
予算科目	款 9 項 2 目 5 細目 01 説明 02			道路維持課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	714,392	217,404		433,700		63,288
令和4年度	617,713	248,490		318,100		51,123
対前年度	96,679	△ 31,086		115,600		12,165
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				124,410
		道路メンテナンス事業費補助金				92,994
	(地方債)	橋りょう整備事業債				433,700

【事業概要】

地震発生時の避難路を確保するため、弁天橋の耐震化工事を令和4年度に引き続き進めるとともに、市民生活に欠かすことのできない橋りょうを、長期的に維持するために、第二期長寿命化修繕計画に基づいた補修工事等を実施する。

1. 委託料 70,246 千円
 - ・ 橋りょう耐震化設計委託
 - ・ 長寿命化修繕計画に活用する橋りょう調査委託

2. 工事請負費 547,766 千円
 - ・ 橋りょう耐震化工事（弁天橋その1、その2）【継続費】
 - ・ 橋りょう長寿命化修繕計画に基づく塗装塗替、高欄交換等補修工事（大庭大橋、上山本橋、大正堂歩道橋、用田1号水路1号橋等）
 - ・ 橋りょう改修工事（遊行寺橋、湘南台地区跨道橋、鵜沼歩専道跨道橋、御幸橋）

3. 負担金補助及び交付金 96,380 千円
 - ・ 長寿命化修繕計画に基づく新藤沢跨線橋跨線部塗装負担金



弁天橋（境川）



大庭大橋（引地川）



御幸橋（江の島）



上山本橋（境川）

（2の事業の一部は令和4年度12月補正で債務負担行為を設定）

土木費

事業名	橋りょう架替事業費					
予算科目	款 9 項 2 目 6 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	17,285					17,285
令和4年度	33,118					33,118
対前年度	△ 15,833					△ 15,833

【事業概要】
 神奈川県が実施する河川改修事業に併せて、引地川に架かる六会橋架替の事業費の費用負担を行う。

1. 負担金補助及び交付金 17,285 千円
 ・六会橋架替事業負担金（仮設工事費等）

※六会橋架替事業は、河川改修事業の一環として神奈川県が施工を行う事業であり、道路管理者分の負担金を支払う

土木費

事業名	自転車対策費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 01			道路河川総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	196,083				118,985	77,098
令和4年度	168,030				119,018	49,012
対前年度	28,053				△ 33	28,086
特定財源の内訳	(その他)	放置自転車等移動・保管手数料				4,326
		自転車等駐車場指定管理者納付金収入				113,454
		撤去自転車売却収入				1,205

【事業概要】
 歩行者の安全かつ円滑な通行の確保を図るため、放置自転車等の移動・保管を行うとともに、市営自転車等駐車場・保管所の維持管理を行う。

1. 委託料 101,012 千円
 ・駅前及び自転車等駐車場整理業務委託
 （街頭指導、放置自転車等の移動・保管、市営自転車等駐車場の滞留自転車等の移動）
 ・移動自転車等保管所消防用設備保守点検業務委託（保管所の消防設備法定点検）

2. 使用料及び賃借料 86,864 千円
 (1) 使用料 849 千円
 ・土地使用料（藤沢本町駅第2自転車駐車場）
 (2) 賃借料（土地・建物以外） 50,334 千円
 ・管理設備賃借料（藤沢駅南口路上自転車駐車場ほか15カ所）
 (3) 土地・建物賃借料 35,681 千円
 ・土地賃借料（藤沢駅北口第2自転車等駐車場ほか5カ所）
 ・管理棟賃借料（江ノ島駅自転車等駐車場管理棟ほか1カ所）

3. 自転車対策事務経費 8,207 千円
 ・旅費、需用費、役務費、負担金

土木費

事業名	自転車駐車場整備費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 02	道路河川総務課				
指針体系コード	1-2-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	15,721			0		15,721
令和4年度	78,993			32,100		46,893
対前年度	△ 63,272			△ 32,100		△ 31,172

【事業概要】

歩行者の安全かつ円滑な通行の確保や、自転車等の利用者の利便性の向上を図るため、ふじさわサイクルプラン実施計画に基づき、既存有人駐輪施設の機械化を進めるとともに、藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業により廃止となる自転車等駐車場の代替施設の整備を行う。

- 1. 使用料及び賃借料 12,162 千円
 - (1) 賃借料（土地・建物以外）
 - ・ 藤沢駅北口自転車等駐車場管理システム賃貸借 2,581 千円
 - ・ 六会日大前駅東口自転車駐車場管理システム賃貸借 1,421 千円
 - ・ 湘南台駅東口地下自転車駐車場管理システム賃貸借 711 千円
 - ・ 藤沢駅南口第2ミニバイク駐車場及び藤沢駅南口路上第2自転車駐車場の代替自転車等駐車場管理システム賃貸借 2,169 千円
 - (2) 土地・建物賃借料
 - ・ 藤沢駅南口第2ミニバイク駐車場及び藤沢駅南口路上第2自転車駐車場の代替用地賃借料 5,280 千円
- 2. 工事請負費 2,500 千円
 - ・ 藤沢駅南口第2ミニバイク駐車場及び藤沢駅南口路上第2自転車駐車場の代替自転車等駐車場整備費
- 3. 自転車駐車場整備事務経費 1,059 千円
 - ・ 旅費、需用費



事業位置図

土木費

事業名	河川水路修繕費					
予算科目	款 9 項 3 目 1 細目 02 説明 02			河川水路課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	50,469			0		50,469
令和4年度	100,522			34,900		65,622
対前年度	△ 50,053			△ 34,900		△ 15,153

【事業概要】

老朽化が進む河川管理施設の維持管理・更新等を適切に行うため、令和4年度までに策定した長寿命化計画に基づき施設修繕を行うとともに、滝川、滝川分水路については、河川管理施設の点検及び滝川護岸の詳細調査を行う。

また、用田1号水路については、浸水被害の軽減を図るため予備設計を行う。

1. 河川管理施設点検委託 11,484 千円
適切な維持管理を行うため、滝川・滝川分水路において、河川管理施設の点検を行う。
(対象施設) 滝川 延長L = 1,925 m、滝川分水路 延長L = 978 m

2. 滝川護岸詳細調査委託 2,156 千円
老朽化が進む滝川の最下流部の護岸について、健全度の詳細調査を行う。
(対象施設) 滝川 延長L = 140 m

(拡) 3. 用田1号水路予備設計委託 26,829 千円
浸水被害の軽減を図るため、令和4年度に実施した現況測量及び流出解析を基に予備設計を行う。
(対象施設) 用田1号水路 延長L = 1,983 m

4. 施設修繕費 10,000 千円



用田1号水路（大雨時の状況）

土木費

事業名	一色川改修費					
予算科目	款 9 項 3 目 2 細目 01 説明 01			河川水路課		
指針体系コード	1-1-61	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	125,853	9,000		95,800		21,053
令和4年度	111,607	10,000		88,700		12,907
対前年度	14,246	△ 1,000		7,100		8,146
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				9,000
	(地方債)	河川改修事業債				95,800

【事業概要】

一色川流域の浸水被害の軽減のため、準用河川一色川整備基本計画に基づき、引き続き護岸の改修を行う。

1. 工事請負費 110,000 千円
- ・一色川護岸改修工事（その2）【継続費】
 - ・一色川護岸改修工事（その3）【継続費】

<継続費年割額>

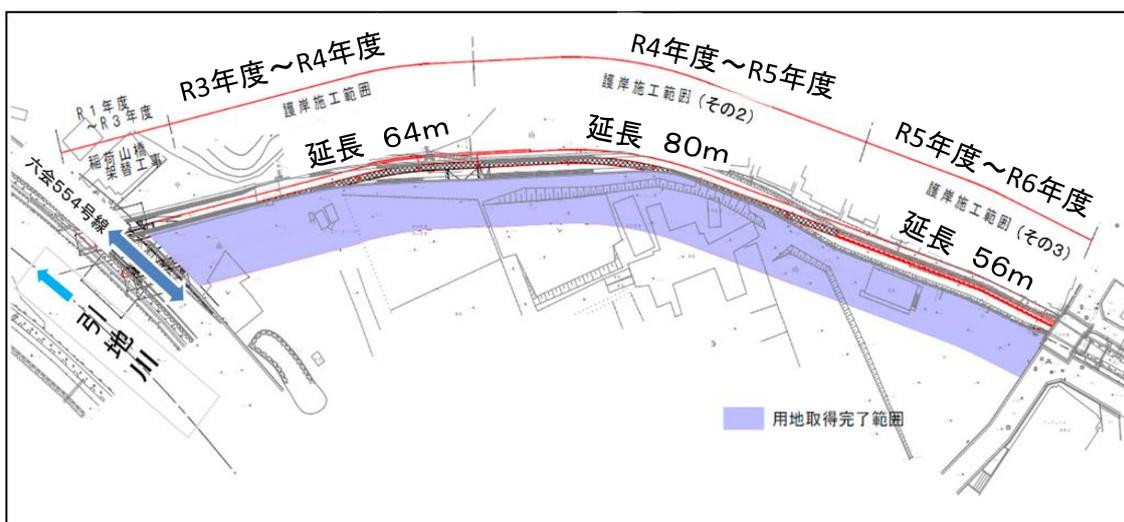
(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
一色川護岸改修工事(その2)	50,000	60,000	110,000

(単位：千円)

	5年度	6年度	合計
一色川護岸改修工事(その3)	50,000	67,000	117,000

2. 委託料 11,066 千円
- ・奥山田橋予備設計委託
 - ・建物事前調査委託
3. その他事務経費 4,787 千円
- ・旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料



一色川護岸改修工事平面図

土木費

事業名	総合交通体系推進業務費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 03 説明 01			都市計画課		
指針体系コード	4-2-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	43,262	2,800				40,462
令和4年度	44,686	2,700				41,986
対前年度	△ 1,424	100				△ 1,524
特定財源の内訳	(国庫支出金)	街路交通調査費補助金				2,800

【事業概要】

都市基盤や公共交通の充実に向けた総合交通体系の整備を推進するとともに、誰もが利用しやすく、地域に根差した公共交通網の整備を進める。

令和5年度は、東京都市圏パーソントリップ調査の解析結果を基に、交通実態の変容など、新たな課題への対応を加味した藤沢市交通マスタープラン、藤沢市交通アクションプラン及びふじさわサイクルプラン（藤沢市自転車活用推進計画）の見直し等を実施する。

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| 1. 委託料 | 37,433 千円 |
| ・ 総合交通体系に係る計画改定業務委託 | 18,722 千円 |
| ・ 公共交通利用転換事業に関する二酸化炭素削減効果測定業務委託 | 6,820 千円 |
| ・ いずみ野線延伸関連検討業務委託 | 6,523 千円 |
| ・ 藤沢市地域公共交通検討業務委託 | 5,368 千円 |
| 2. 負担金補助及び交付金 | 2,726 千円 |
| ・ 地域提案型交通システム導入支援補助（善行地区・六会地区） | 2,534 千円 |
| ・ 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会負担金 | 180 千円 |
| ・ 総合都市交通計画研修負担金 | 12 千円 |
| 3. 総合交通体系推進業務事務経費 | 3,103 千円 |

土木費

事業名	景観資源推進費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 05 説明 02			街なみ景観課		
指針体系コード	5-4-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	15,677			0		15,677
令和4年度	259,236			230,700		28,536
対前年度	△ 243,559			△ 230,700		△ 12,859

【事業概要】

旧東海道藤沢宿街なみ継承地区の歴史・文化の継承及び地域の活力やにぎわいの創出を図るため、旧桔梗屋を保全し、魅力ある活用を図る。

また、歴史や文化を大切にしたい良質な街なみの形成を推進するため、地区内における歴史的建築物の保全や街なみの修景に関する経費の一部を補助する。

さらに、地域の景観資源を市民共有の財産として継承していくため、都市景観に関する意識啓発を行う。

- 旧東海道藤沢宿街なみ継承地区歴史的建築物維持活用事業の実施 14,139 千円
 旧桔梗屋を保全・活用するため、歴史的建築物及び庭園部等を適正に維持管理し、地域活性化に資する催しを開催するとともに、魅力ある活用に向けて、試行的な活用である「トライアル・サウンディング」及び民間事業者等へのサウンディングを実施し、事業手法や活用条件の検討等、活用事業者の選定に向けた取組を進める。
 - ・歴史的建築物及び庭園部等の維持管理 4,033 千円
 - ・歴史的建築物活用事業者選定アドバイザー業務委託【継続費】 9,986 千円
 - ・選定委員会委員謝礼 120 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

	5年度	6年度	合計
歴史的建築物活用事業者選定 アドバイザー業務委託	9,986	3,215	13,201

- 旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助 503 千円
 旧東海道藤沢宿街なみ継承地区街なみ継承ガイドラインに基づく、歴史的建築物の外観の保全工事に係る経費の1/2以内の額を補助する。
- 景観資源推進事務経費 1,035 千円



桔梗屋蚤の市

土木費

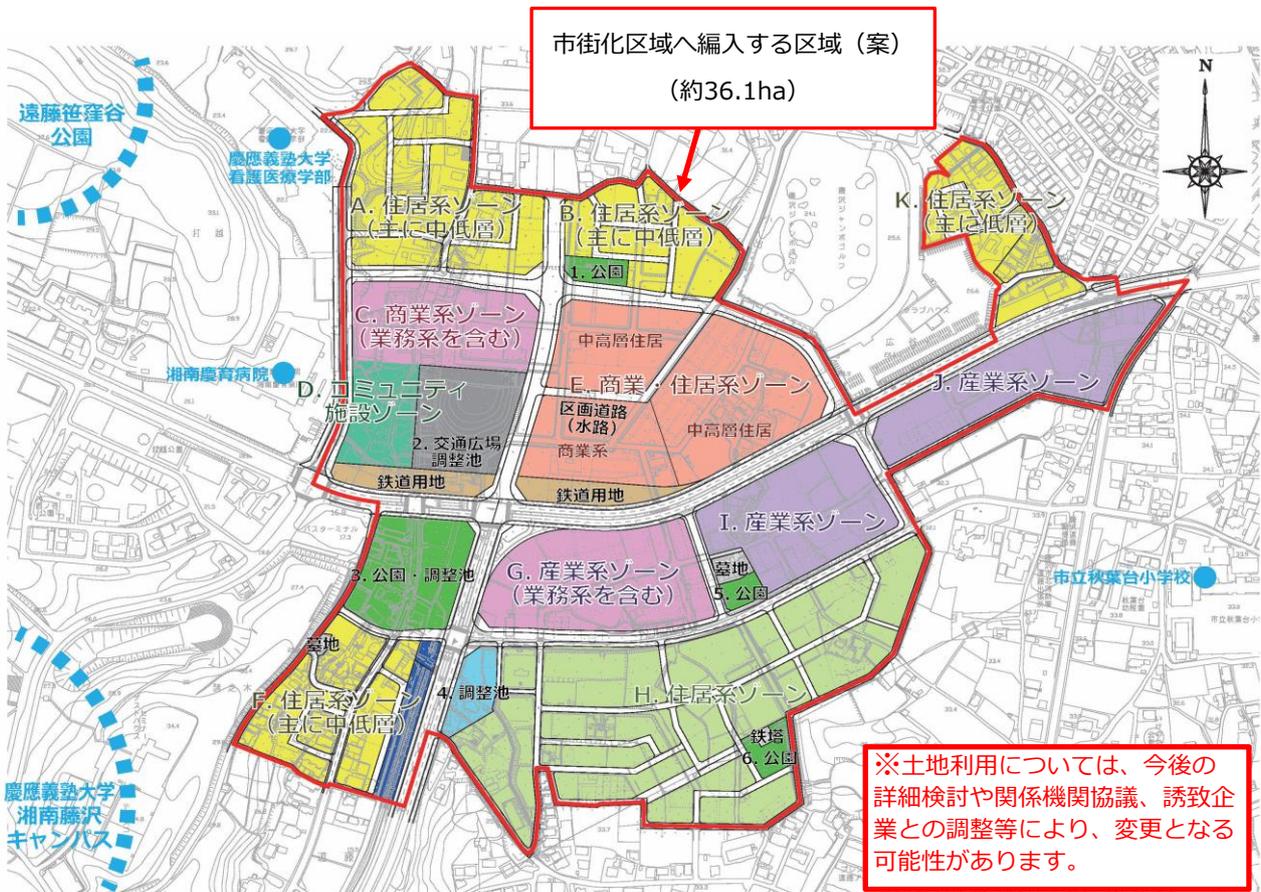
事業名	健康と文化の森整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 01	西北部総合整備事務所				
指針体系コード	4-1-81	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	45,243	0				45,243
令和4年度	77,022	7,000				70,022
対前年度	△ 31,779	△ 7,000				△ 24,779

【事業概要】

本市の都市拠点の一つである健康と文化の森地区では、いずみ野線延伸の計画において新駅の設置が想定されており、現在、鉄道延伸の計画を見据えながら、地権者組織である「藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理準備会」などとともに、市街化区域への編入及び土地区画整理事業の認可に向けた取組を進めている。引き続き、本市の新たな活力創造の場となる都市拠点の形成をめざし、まちづくりを推進する。

また、台風や大雨時に慢性的に発生している道路冠水の解消を目的として、「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づき地区内の浸水対策を行う。

- 健康と文化の森地区まちづくり 35,673 千円
 - 健康と文化の森地区まちづくり事業推進業務委託
- 健康と文化の森地区浸水対策 9,570 千円
 - 仮設調整池維持管理修繕、作業



健康と文化の森地区 土地利用計画図 (案)

土木費

事業名	新産業の森整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 02	西北部総合整備事務所				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	24,684					24,684
令和4年度	8,338					8,338
対前年度	16,346					16,346

<拡充事業> 新産業の森その他地区まちづくりの検討

【施策等を必要とする背景】

新産業の森地区は、約110ヘクタールを有する地区であり、綾瀬スマートインターチェンジ等の広域交通機能を活かし、本市の活力維持・創出につながる新たな工業系市街地の創出に向け、約30ヘクタールの区域で段階的な市街地整備を進めている。

地域経済の活力を維持し、雇用を確保するため、市内企業の移転や事業所の拡大、市外企業の誘致に対応できるよう、残り約80ヘクタールの区域内で引き続き産業適地の創出に取り組む必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

新産業の森地区は、神奈川県線の線引き見直しの機会を捉え保留フレームを設定し、段階的に市街化区域に編入しており、現在、新産業の森第二地区において、令和5年度末の市街化区域編入に向け取組を進めている。また、神奈川県において、第8回線引き見直しに向けた検討が開始され、今後、関係市町ヒアリングが行われる予定であり、新市街地ゾーンの設定にあたっては、計画的な市街地整備の区域や合理的な土地利用の実現に向けた検討、地権者の同意に向けた取組等を進める必要がある。

- 平成17年6月 西北部地域総合整備マスタープラン策定
- 平成21年9月 第6回線引き見直し 新市街地ゾーンに設定（新産業の森北部地区）
- 平成25年2月 新産業の森北部地区第1期市街化区域編入
- 平成27年3月 新産業の森北部地区第2期市街化区域編入
- 平成28年11月 第7回線引き見直し 新市街地ゾーンに設定（新産業の森第二地区）
- 令和5年度末（予定）新産業の森第二地区市街化区域編入
- 令和5年度～ 新産業の森その他地区新市街地ゾーンの設定に向けた取組
第8回線引き見直し 新市街地ゾーンに設定（新産業の森その他地区）

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

新産業の森北部地区及び第二地区では、地権者組織との協働により取組を進めており、その他地区における今後のまちづくりにおいても、同様の取組を行う予定。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・都市マスタープランにおいて主要プロジェクトとして位置付け
- ・西北部地域総合整備マスタープランにおいて重点プロジェクトとして位置付け
- ・産業振興計画において基本戦略として位置付け

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、新たな産業系土地利用を計画的に誘導することで、雇用の確保や、将来にわたる税収の安定化が図られ、地域経済の好循環を生み出すことができる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

- ・令和5年度 20,273千円
- ・令和6年度 22,500千円
- ・令和7年度以降 452,500千円

【事業概要】

新産業の森地区では、地域経済の活性化及び雇用の創出を図るため、都市マスタープラン及び西北部地域総合整備マスタープランに基づき、産業系土地利用を計画的に誘導し、新たな産業拠点の創出に向け基盤整備を進めている。

既に市街化区域に編入している新産業の森北部地区に引き続き、隣接する第二地区において、企業ニーズを取り入れながら、市街化区域への編入及び土地区画整理事業の実施に向けた関係機関との協議や都市計画手続を進め、事業の促進を図る。

また、第二地区に引き続き、新産業の森地区内において、地域経済の動向を注視するとともに、広域交通機能の利便性を活かした、さらなる産業拠点の創出をめざし、まちづくりの具体化に向けた検討を行う。

1. 新産業の森第二地区まちづくり 4,411 千円

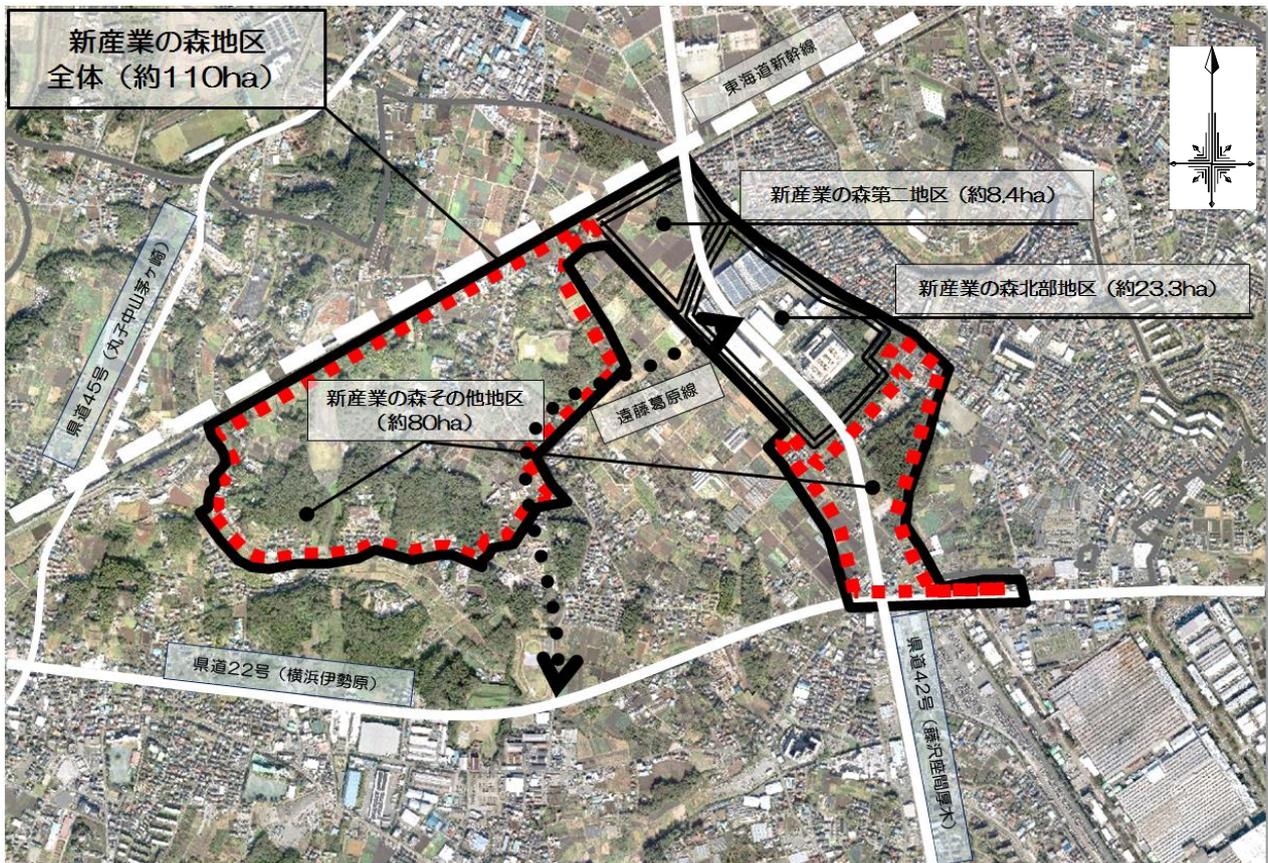
令和5年度末の都市計画決定に向けた手続支援を行う。

- ・新産業の森第二地区まちづくり支援業務委託

- (拡) 2. 新産業の森その他地区まちづくり 20,273 千円

新たな産業拠点形成に資する地区のまちづくり検討、第8回線引き見直しに伴う基礎資料作成及びまちづくり検討会等の運営支援を行う。

- ・新産業の森その他地区まちづくり支援業務委託



新産業の森地区位置図

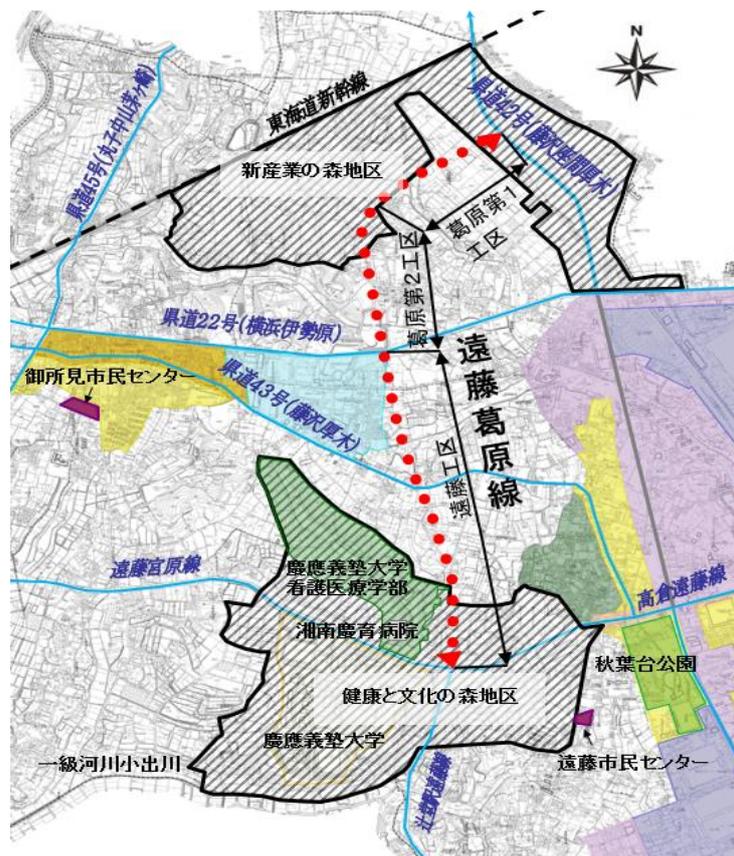
土木費

事業名	遠藤葛原線新設事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 04	西北部総合整備事務所				
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	19,307			8,700		10,607
令和4年度	13,811			12,200		1,611
対前年度	5,496			△ 3,500		8,996
特定財源の内訳	(地方債)	遠藤葛原線新設事業債				8,700

【事業概要】

遠藤葛原線は、本市西北部地域に位置する「新産業の森地区」の土地利用転換を進める都市基盤として、また、「新産業の森地区」と「健康と文化の森地区」を連絡し、将来のいずみ野線新駅へのアクセス道路となる等、交通ネットワークの発展に寄与する都市内幹線道路として必要性が高い路線である。葛原第1工区の令和7年度供用開始に向け、道路整備を進めるとともに、葛原第2工区、遠藤工区の線形等について検討を進めていく。

1. 葛原第1工区道路整備に伴う経費 9,819 千円
 - ・負担金補助及び交付金
 - 電柱、NTT柱、共架線、水道移設
2. 事業用地管理に伴う経費 325 千円
 - ・道路用地維持管理修繕
3. 葛原第2工区、遠藤工区に伴う経費 9,163 千円
 - ・遠藤葛原線道路概略修正設計等委託



遠藤葛原線位置図

(この事業は令和4年度9月補正で増額した事業)

土木費

事業名	藤沢駅周辺地区再整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 07 説明 01			藤沢駅周辺地区整備担当		
指針体系コード	4-1-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	686,935	181,500		171,300		334,135
令和4年度	312,531	70,000		84,700		157,831
対前年度	374,404	111,500		86,600		176,304
特定財源の内訳	(国庫支出金)	都市構造再編集中支援事業費補助金				181,500
	(地方債)	藤沢駅周辺地区再整備事業債				171,300

【事業概要】

藤沢都心部の再活性化に向け、藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業の第1期整備として、小田急側の工事（5カ年継続事業）及びJR側自由通路接続部の詳細設計・工事を実施するとともに、本事業に伴う支障物の移設及び鉄道事業者への損失補償算定等を行う。

また、藤沢駅前街区エリアデザイン会議により、駅前街区のデザインコンセプト及び藤沢駅南北自由通路のデザインについて検討し、藤沢駅南北自由通路拡幅整備工事に反映させる。

さらに、サンパール広場、サンパレット広場及び北口地下広場の3つの広場で指定管理者制度を活用し、にぎわい創出事業等を実施するほか、各プロジェクトの推進を図る。

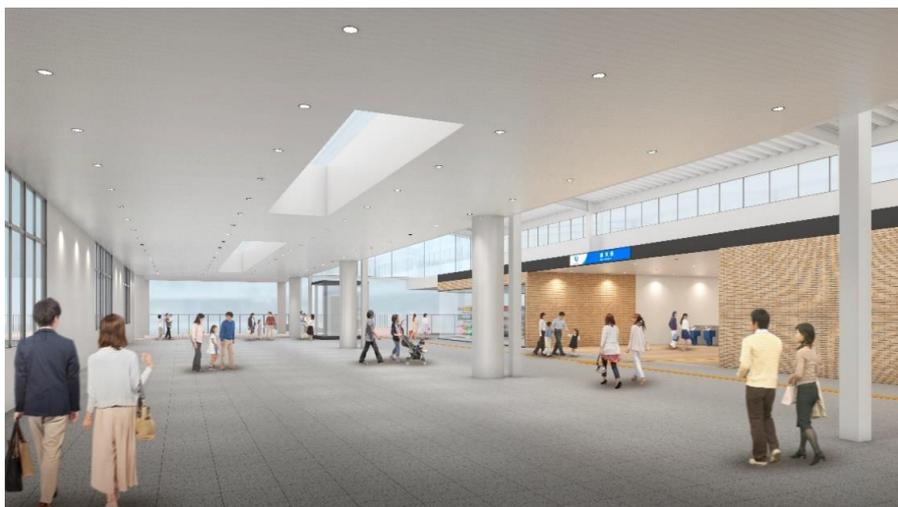
1. 委託料 61,517 千円
 - ・ 藤沢駅前街区エリアデザイン検討業務委託
 - ・ 藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業に伴う損失補償算定委託
 - ・ 藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業に伴う建物等調査委託
 - ・ 藤沢駅前広場指定管理料

2. 負担金補助及び交付金 622,200 千円
 - ・ 藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業に伴う負担金（小田急）【継続費】
 - ・ 藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業に伴う負担金（JR）【債務負担行為の設定】
(150,000 千円)
 - ・ 藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業に伴う支障物移設負担金

3. 藤沢駅周辺地区再整備事業事務経費 3,218 千円

<継続費年割額> (単位：千円)

	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
工事負担金(小田急)	607,200	1,376,790	1,932,900	1,790,360	2,009,720	7,716,970



(参考) 第1期整備自由通路拡幅整備イメージ (基本設計時)

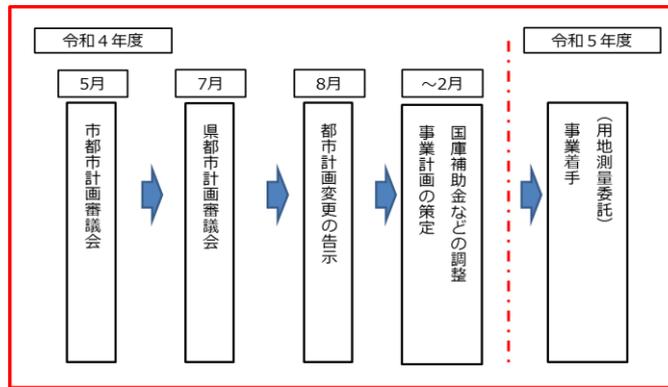
土木費

事業名	長後地区整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 08 説明 02	都市整備課長後地区整備事務所				
指針体系コード	4-1-5 1	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	31,379	4,900		15,800		10,679
令和4年度	40,356	1,000		33,000		6,356
対前年度	△ 8,977	3,900		△ 17,200		4,323
特定財源の内訳	(国庫支出金)	踏切道改良計画事業補助金				4,900
	(地方債)	道路整備事業債				15,800

【事業概要】

市道147号線(高倉下長後線)の道路用地の取得に向けた用地測量を行う。また、長後725号線歩道整備事業は、前年度に歩道を整備した区間の確定測量のほか、未整備箇所の不陸整正や砂利流失防止の修繕等を行う。

1. 市道147号線道路新設改良事業 21,593 千円
 委託料(市道147号線用地測量)



市道147号線事業進捗のフロー

2. 長後725号線歩道整備事業 9,635 千円
 需用費(修繕費) 3,110 千円
 役務費(不動産鑑定、分筆登記) 4,578 千円
 委託料(確定測量) 1,947 千円
3. その他事務経費(旅費、消耗品費、印刷製本費) 151 千円



事業箇所図

土木費

事業名	村岡地区都市拠点総合整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 2 細目 02 説明 01	都市整備課				
指針体系コード	4-1-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	647,839	139,150		65,900	268,002	174,787
令和4年度	90,163	36,500		0	11,635	42,028
対前年度	557,676	102,650		65,900	256,367	132,759
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				139,150
	(地方債)	村岡新駅周辺地区整備事業債				65,900
	(その他)	村岡新駅周辺整備事業費他団体負担金				268,002

【事業概要】

村岡新駅周辺に新たな都市拠点を創出するとともに「かながわ都市マスタープラン」に位置付けられた村岡・深沢地区における都市圏域の自立を支える新たな地域の拠点の整備に神奈川県、鎌倉市と広域連携を図りながら取り組む。

1. 新駅設置及び自由通路整備関連の実施 494,590 千円
 令和4年6月に締結した、村岡新駅設置に伴う詳細設計協定及び自由通路整備に伴う詳細設計協定に基づく詳細設計を実施する。
 - ・村岡新駅(仮称)詳細設計負担金【継続費】 422,153 千円
 - ・自由通路詳細設計負担金 52,437 千円
 - ・村岡新駅(仮称)詳細設計監理業務委託 20,000 千円

2. 村岡新駅南口通り線整備事業 136,942 千円
 道路及び電線共同溝の詳細設計を実施する。また、用地補償の合意が得られた権利者に対し補償費を支払う。
 沿道街路整備事業の事業認可に向けた必要資料の作成を行う。
 - ・村岡新駅南口通り線詳細設計等委託 14,575 千円
 - ・村岡新駅南口通り線沿道整備街路事業認可図書作成委託 38,797 千円
 - ・村岡新駅南口通り線用地費及び補償費 83,570 千円

3. まちづくり計画関連事業 14,377 千円
 新駅整備に伴う交通施策の検討等について令和4年度の現況分析に引き続き、交通課題の解決に向けた将来イメージを市民等に伝えるための調査を実施する。
 - ・村岡新駅周辺の交通のあり方検討業務委託

4. その他事務経費 1,930 千円
 - ・報償費、旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料

<継続費の年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
村岡新駅(仮称)詳細設計負担金	24,990	422,153	447,143

土木費

事業名	善行長後線街路新設事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 3 細目 02 説明 03			道路整備課		
指針体系コード	4-1-101	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	164,225	14,300		122,700		27,225
令和4年度	158,450	14,300		93,900		50,250
対前年度	5,775	0		28,800		△ 23,025
特定財源の内訳	(国庫支出金)	道路交通安全施設等整備事業費補助金				14,300
	(地方債)	都市計画街路事業債				122,700

【事業概要】

地域交通の円滑な処理及び歩行者の安全性向上のため、未整備区間開通に向け、街路築造及び交差点改良を行う。また、工事に伴う家屋調査、電柱移設を行う。

1. 委託料 4,884 千円
 - ・建物等事前調査委託
2. 工事請負費 148,841 千円
 - ・街路築造及び交差点改良工事
3. 善行長後線街路新設事業事務経費 10,500 千円
 - ・需用費、役務費、補償補填及び賠償金



進捗状況写真（六会側から湘南台方面を望む）

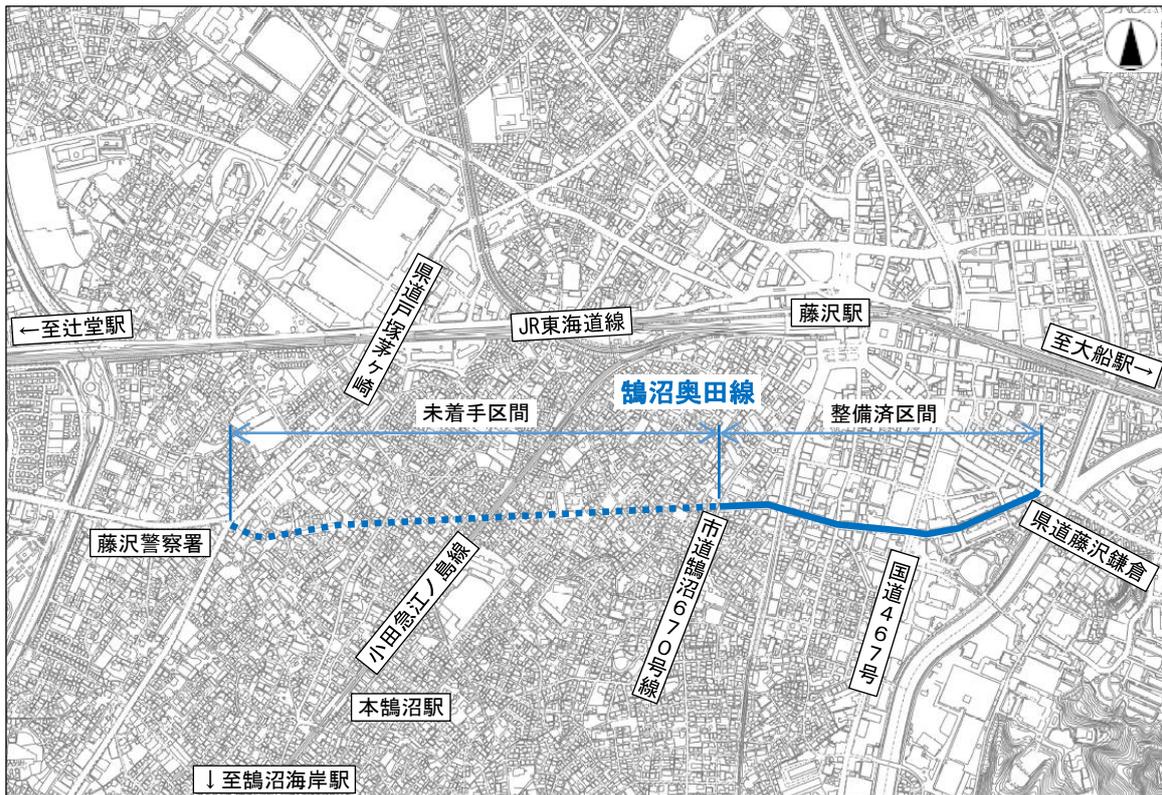
土木費

事業名	鵜沼奥田線街路新設事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 3 細目 02 説明 04	道路整備課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	7,744					7,744
令和4年度	0					0
対前年度	7,744					7,744

【事業概要】

J R 東海道線以南の地域における東西方向を結ぶ幹線道路として、地域交通の円滑な処理及び歩行者の安全性向上を図るため、未着手区間である県道戸塚茅ヶ崎（藤沢警察署前交差点）から市道鵜沼670号線（橘通り）までの延長1,100m区間の道路予備修正設計を行う。

1. 委託料 7,744 千円
 ・ 鵜沼奥田線道路予備修正設計委託



事業位置図

土木費

事業名	藤沢石川線街路新設事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 3 細目 02 説明 05			道路整備課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,816					2,816
令和4年度	0					0
対前年度	2,816					2,816

【事業概要】

市道藤沢駅辻堂駅線と県道43号（藤沢厚木）を結ぶ補助幹線道路として、区域内に発生集中する交通を効率的に集散させ、地域交通の円滑な処理及び歩行者の安全性向上を図るため、未着手区間である本藤沢六丁目から「市立茅山公園前」交差点のある善行坂一丁目までの延長約280m区間の現地測量を行う。

1. 委託料

2,816 千円

- ・藤沢石川線（善行南工区）現地測量委託



事業位置図

土木費

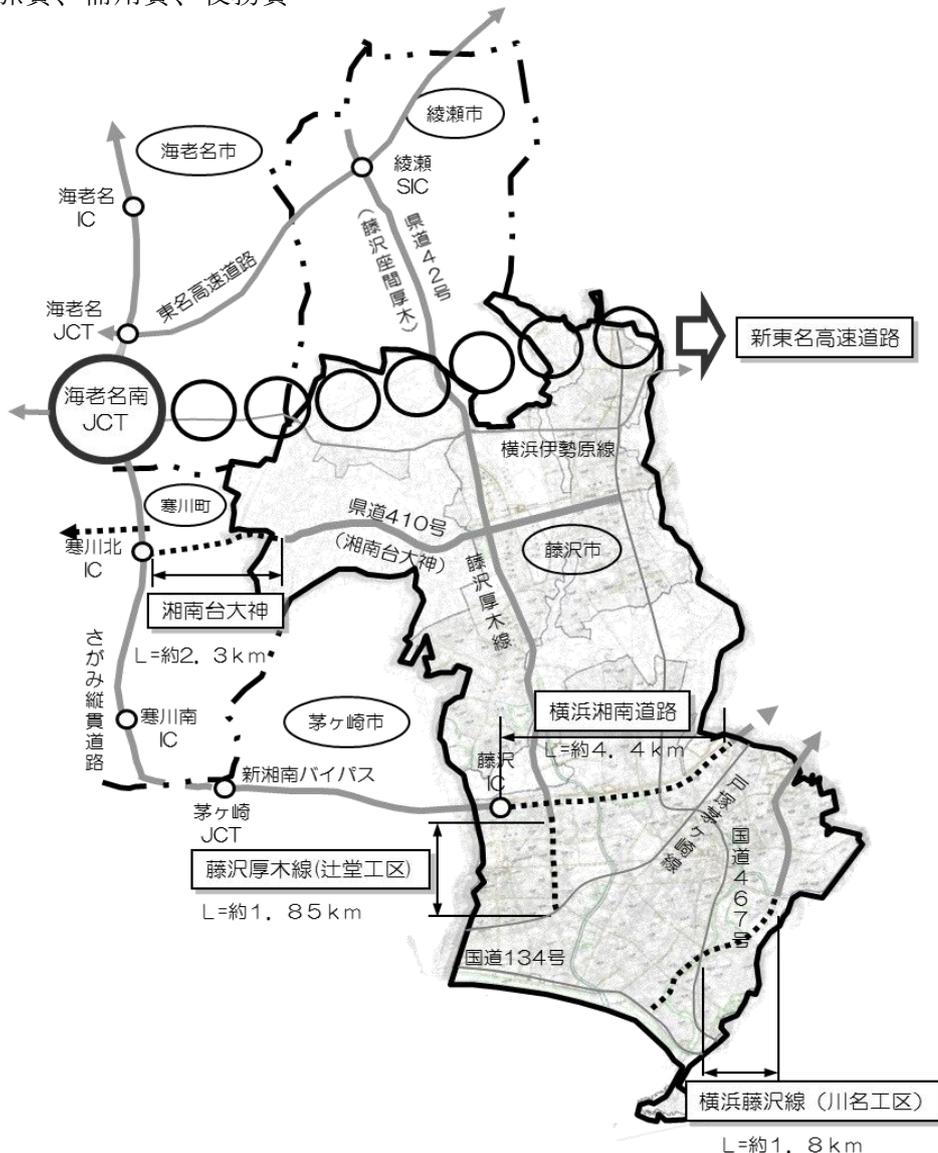
事業名	主要幹線道路対策費					
予算科目	款 9 項 4 目 3 細目 03 説明 01			道路河川総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	789					789
令和4年度	866					866
対前年度	△ 77					△ 77

【事業概要】

都市の骨格を形成する主要幹線道路網の整備により、首都圏及び全国各圏域との交流を容易にし、市民・企業等の交流・連携をささえ、都市の活力を創造するため、国道（横浜湘南道路、新東名高速道路）及び県道（横浜藤沢線、藤沢厚木線、湘南台大神）の事業調整、促進及び要望活動を行う。

1. 負担金補助及び交付金 165 千円
 - ・ 首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会他負担金

2. 主要幹線道路対策事務経費 624 千円
 - ・ 旅費、需用費、役務費



土木費

事業名	公園改修費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 03			公園課		
指針体系コード	1-1-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	472,127	16,000		388,900	4,860	62,367
令和4年度	429,108	6,000		219,400	157,604	46,104
対前年度	43,019	10,000		169,500	△ 152,744	16,263
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				16,000
	(地方債)	公園建設事業債				138,300
		土砂災害防止対策事業債				250,600
	(その他)	公園使用料				4,860

【事業概要】

公園利用者が安全・安心に利用できる環境をつくるため、遊具等の公園施設の改修や専門業者による保守点検を実施し、適切な維持管理と老朽化等への対応を図る。

また、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定された公園・緑地の法面について、周辺住民及び施設利用者等の安全確保のため、対策実施に向けた委託及び工事を行う。

1. 需用費 16,825 千円
劣化が進む遊具等の公園施設について、延命化を図るための塗装や小規模修繕を行う。
2. 役務費 10,239 千円
老朽化した施設の撤去や樹木の剪定等を行う。また、市の花「フジ」の剪定を実施し、保護及び育成を図る。
3. 委託料 54,376 千円
 - ・都市公園遊具点検業務委託
 - ・藤沢市公園施設長寿命化計画策定業務委託
 - ・御所ヶ谷公園法枠調査委託
 - ・御所ヶ谷公園法面詳細設計委託
4. 工事請負費 390,687 千円
 - ・御所ヶ谷緑地法面对策工事【継続費】
 - ・片瀬山公園法面对策工事

<継続費年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
御所ヶ谷緑地法面对策工事	132,473	243,122	375,595

土木費

事業名	近隣・街区公園新設事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 03 説明 01			公園課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	226,525			197,400		29,125
令和4年度	74,356			56,400		17,956
対前年度	152,169			141,000		11,169
特定財源の内訳	(地方債)	公園建設事業債				197,400

【事業概要】

地域コミュニティ形成の場及び災害時の一時避難場所として、並びに市民に憩いと安らぎを与える身近なオープンスペースを確保するため、公園・緑地の整備を行う。

- (括) 1. 吉野町公園 164,638 千円
 隣接するFプレイスと本町一丁目憩いの森との一体的な利活用に向けた整備を行う。
 - ・吉野町公園整備工事
 - ・水道利用加入金
 - ・審査、検査手数料（給水装置工事）
- 2. 折戸公園 31,039 千円
 公園北側の出入口において、バリアフリー化の整備を行う。
 - ・折戸公園北側通路整備工事
 - ・折戸公園北側通路整備工事に伴う借地料
- 3. 秋葉台公園 15,928 千円
 北部第二（三地区）土地区画整理事業の進捗に伴い、駐車場の拡張整備を行う。
 - ・秋葉台公園駐車場整備工事
- 4. 引地川緑地 11,385 千円
 用地取得を行った大庭大橋上流右岸の整備を行う。
 - ・引地川緑地整備工事（大庭大橋上流右岸）
- 5. 需用費 3,535 千円
 公園緑地予定地のフェンス等の修繕を行う。
 - ・公園緑地予定地フェンス等修繕



吉野町公園計画平面図（案）

土木費

事業名	住宅政策推進費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 03 説明 01			住宅政策課		
指針体系コード	4-2-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	8,632	132				8,500
令和4年度	951	132				819
対前年度	7,681	0				7,681
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				132

【事業概要】

少子超高齢社会、本格的な人口減少社会を迎える中で、長期的な視野に立ち、総合的な住宅政策を推進する。

1. 藤沢市住宅マスタープランの進行管理 7,249 千円
「藤沢市住宅マスタープラン」の策定からの経過や、国・県の上位計画の見直し状況を踏まえ、これまでの施策の進行管理を行うとともに、本市を取り巻く住宅・住環境の動向等を調査する。
 - ・住宅マスタープラン基礎調査業務委託

2. 高齢者住まい探し相談会の実施 395 千円
本市の民間賃貸住宅への入居に困窮している高齢者等に対し、相談会を実施するなど、居住の安定を図るための入居支援事業を行う。
 - ・高齢者円滑入居支援事業業務委託 295 千円
 - ・公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会年会費 100 千円

3. 藤沢市居住支援協議会の開催・運営 150 千円
居住支援協議会の会員や不動産事業者及び不動産オーナー向けにセミナーを開催し、住宅確保要配慮者に対する理解の促進、支援体制の構築を図る。
 - ・セミナー講師謝礼 60 千円
 - ・居住支援協議会リーフレット印刷製本費 90 千円

4. 湘南大庭の未来を考える会議の開催・運営 455 千円
団地再生の取組として、湘南ライフタウンをモデル地区に、行政、地域住民、事業者等で構成する「湘南大庭の未来を考える会議」において、地域の将来、再活性化について議論し、将来プランの策定に向けて検討を進める。
 - ・湘南大庭の未来を考える会議委員等謝礼 425 千円
 - ・セミナー講師謝礼 30 千円

5. 住宅政策推進事務経費 383 千円

土木費

事業名	空家対策関係費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 03 説明 02	住宅政策課				
指針体系コード	4-2-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	7,625	500			1,000	6,125
令和4年度	9,281	500			1,000	7,781
対前年度	△ 1,656	0			0	△ 1,656
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				500
	(その他)	財産管理人申立予納金還付金				1,000

【事業概要】

「藤沢市空家等対策計画」に基づき、空家の発生抑制の啓発、空家の適正管理の促進、特定空家の認定と措置及び空家の利活用の推進などの空家対策を行う。

1. 空家の発生抑制・適正管理の促進 4,888 千円
 広報やホームページ等を活用し、空家の発生抑制及び適正管理に関する意識啓発を行う。また、空家の損壊状況や周囲への衛生上の影響を現地にて調査し、空家所有者等に対して、実態に即した助言・指導を行うほか、所有者が所在不明の空家や相続人不存在の空家については、財産管理人制度を活用する。
 - ・ 財産管理人申立予納金等 1,005 千円
 - ・ 管理不全等空家追跡調査業務委託 3,883 千円

2. 特定空家の認定等 285 千円
 放置すれば著しく保安上危険、衛生上有害な空家等を特定空家として認定し、所有者等に対し法に基づく助言・指導等を行い是正を促す。
 - ・ 特定空家審査部会委員報酬

3. 空家の利活用の推進 1,457 千円
 藤沢市空家利活用マッチング制度、藤沢市空家利活用事業補助金制度の実施により、空家の利活用の推進を図る。
 - ・ 空家利活用事業審査部会委員報酬 127 千円
 - ・ 空家利活用セミナー及び移動相談会講師等謝礼 330 千円
 - ・ 空家利活用事業補助金 1,000 千円

4. 藤沢市空家等対策協議会の開催 711 千円
 「藤沢市空家等対策計画」に基づき、これまでの施策の見直しや新たな施策の検討を行う。
 - ・ 空家等対策協議会委員報酬

5. 空家対策関係事務経費 284 千円

土木費

事業名	住宅環境整備事業費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 01			住宅政策課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	196,597	41,353		125,600		29,644
令和4年度	474,859	99,595		303,500		71,764
対前年度	△ 278,262	△ 58,242		△ 177,900		△ 42,120
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				41,353
	(地方債)	市営住宅改修事業債				125,600

【事業概要】

市営住宅の良好な居住環境の整備・改善を図るため、「藤沢市市営住宅等長寿命化計画」に基づき改修工事を実施し、市営住宅ストックの長寿命化を進められるよう住宅環境の整備を行う。

1. 工事請負費 196,570 千円
 - ・市営長後住宅4、5号棟・集会棟及び倉庫外壁等改修工事

2. 住宅環境整備事業事務経費 27 千円



工事予定箇所（市営長後住宅）

事業名	(新) 査察指導デジタル推進事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 1 細目 03 説明 07			査察指導課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	13,345					13,345
令和4年度	0					0
対前年度	13,345					13,345

【施策等を必要とする背景】

近年、デジタルガバメントの実現や新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、書面主義、対面主義の見直しが喫緊の課題であるが、火災予防分野における各種申請・届出は、そのほとんどが書面による提出となっている。

今後、全庁的に行政手続きのオンライン化による電子化が急速に進むことが想定され、市民の利便性向上と内部事務効率化が求められていることから、早急な対策が必要である。

【提案に至るまでの経緯】

- 令和2年9月 予防査察業務の電子化に向けた検討・情報収集開始
- 令和2年12月 消防関係法令に基づく書面規制、押印、対面規制の見直し及び手続のオンライン化について（消防庁次長通知）
- 令和3年12月 火災予防関係手続における電子申請等の導入に関する留意事項について（消防庁次長通知）
- 令和4年7月 火災予防分野における各種手続の電子申請等の導入に関する状況調査の結果について（消防庁予防課長通知）

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

本事業は、届出を行う市民が対象。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・消防局総合基本指針（将来を見据えた持続可能な消防体制の構築）
- ・DX推進計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果
市民からの電子申請プロセスの確立と消防内業務のデジタル化を両立することで、市民サービスの向上や内部事務の効率化が図られ、予防業務のさらなる強化につながる。
2. 将来にわたる費用
令和6年度以降の予算額は、今後の進捗状況、国の動向等により増減する可能性がある。

【事業概要】

市民サービスの向上と内部事務の効率化を図るため、「紙」中心から「デジタル」中心にシフトするとともに、将来的なEnd to Endのデジタル化に向けて、既存システムへのデータ入力を一部自動化する。

1. 査察指導デジタル推進事業の実施 13,345 千円
「市民サービスの向上」及び「行政の効率化」を両立するDXを実現する。
 - ・デジタルライゼーション（査察指導課、南消防署の防火対象物図面） 9,717 千円
 - ・業務自動化（査察指導課の消防OAを一部自動化） 2,882 千円
 - ・モバイル査察（査察指導課、南消防署の一部） 746 千円

事業名	(新) 警防デジタル推進事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 1 細目 03 説明 08			警防課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,524					2,524
令和4年度	0					0
対前年度	2,524					2,524

【施策等を必要とする背景】

119番通報等により、災害情報を受信してからの初動対応は、災害による被害軽減に大きな影響を及ぼすことから、正確な情報収集・伝達による部隊運用が求められている。

本市における119番通報の大半は音声のみであることに加え、非常備消防である消防団への出動指令はメールによる文字情報となっているため、デジタル機器を活用した効果的な情報収集システム及び円滑な出動指令体制の構築が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

- 令和3年5月 映像通報システムに関する県内消防本部等に導入状況や利用状況の情報収集
- 令和4年1月 消防団事務の効率化を目的にAI-OCRによるトライアル実施
- 令和4年2月 消防団事務等の効率化に向けた他市消防本部からの情報収集
- 令和4年10月 映像通報システムの実証研究開始
- 令和4年11月 消防団出動指令及び動態管理システムの実証研究開始

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

映像通報システムは、119番通報・災害現場等で応急手当を行う市民が対象。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・消防局総合基本指針（将来を見据えた持続可能な消防体制の構築及び地域と消防の共創推進）
- ・DX推進計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業は、音声や文字情報に加えてスマートフォン等の映像・動画による効果的な情報収集が可能となり、救命処置効果の向上や通報者の負担軽減に繋げることができる。

また、現場活動部隊への情報共有、必要な部隊増強や消防団の出動状況を把握し、効率的な部隊運用が可能となる。

2. 将来にわたる費用（システム利用料）

- 事業費合計 2,524千円/年
- ・映像通報システム 528千円/年
 - ・消防団出動指令及び動態管理システム 1,996千円/年

【事業概要】

映像通報システムを導入し、119番通報時に音声のみでなく、映像で確認することにより現場の状況や傷病者の状態、火災等の災害状況を早期に情報収集し、把握する。

また、消防団出動指令及び動態管理システムの導入により、災害活動時等において緊急かつ重要な情報を瞬時にかつ正確に受伝達し、消防団の効率的・効果的な部隊運用を行い、災害の拡大防止及び被害を軽減する。

1. 映像通報システムの導入 528 千円
指令員が映像通報システムの使用を有効と判断した場合、通報者のスマートフォンにシステム接続用のURLが記載されたSMSを送信、映像通話による聴取を行う。

2. 消防団出動指令及び動態管理システムの導入 1,996 千円
スマートフォン等を活用し、文字情報に加えて地図情報による出動指令が可能となり、円滑な部隊運用を行うことができる。
また、各種報告書の作成・提供が可能になり、消防団員の負担軽減及び事務の効率化が図られる。

事業名	(新) 救急救命デジタル推進事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 1 細目 04 説明 05			救急救命課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	17,433					17,433
令和4年度	0					0
対前年度	17,433					17,433

【施策等を必要とする背景】

近年、高齢化の進展等に伴い救急出動件数は増加傾向となっているほか、救急業務の高度化や救急事案の多様化により、救急活動時間の延伸も懸念されている。

また、救急件数の増加に伴い、活動報告書作成等の事務も煩雑になり、救急隊員の負担が増加しているため、新たなデジタル技術（ICT等）の導入により、これらの課題を早急に解消する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

- 令和4年3月 他市消防本部等から情報収集開始
- 令和4年4月 システム導入済みの他市消防本部への視察を実施
- 令和4年12月 システム導入に向けた実証研究実施

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

本事業は、救急車を利用する市民が対象。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・ 消防局総合基本指針（国内屈指の充実した救急体制の構築）
- ・ DX推進計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、救急業務が抱える諸課題を解消し、これまで以上に質の高い救急業務を実施することにより、救命効果の低下を防ぎ、市民サービスのさらなる向上を図ることができるほか、救急隊員の労務負担の軽減を図る。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり。

- ・ 令和5年度 17,433千円
- ・ 令和6年度以降 40,677千円

【事業概要】

ICT等を救急業務に活用し、救急業務が抱える課題を解決することで、救急業務の質の向上を図る。

1. 救急救命DXの実施 17,433 千円

収容依頼や報告書作成に、クラウドを用いて管理する傷病者情報のデータを活用する取組や、OCRの導入、通話可能な映像伝送システムによる医療機関との情報共有等により、救急業務を支援する。

消防費

事業名	大規模震災等対策強化事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 3 細目 01 説明 04				警防課	
指針体系コード	1-1-71	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	8,011			4,400		3,611
令和4年度	3,545			0		3,545
対前年度	4,466			4,400		66
特定財源の内訳	(地方債)	消防施設整備事業債				4,400

【事業概要】

大規模災害では、広範囲においてさまざまな災害が多発的に発生することが予想されるため、ドローン等を活用した映像伝送システムを拡充し、正確な情報を迅速かつ確実に収集することで指揮本部機能強化とともに効果的な部隊運用を図る。

また、昨今多発する大型台風・集中豪雨及び大規模地震から市民の安全・安心を確保するため、災害対応資機材等を整備するとともに、特殊災害への対策として現有資機材の校正点検等を行う。

- | | |
|---|----------|
| 1. 映像伝送システムの拡充 | 2,870 千円 |
| ドローンを増機し、北消防署管内の指揮本部機能強化を行う。 | |
| ・ドローンやウェアラブルカメラ等 | 1,082 千円 |
| ・通信料及び映像伝送システム利用料等 | 1,788 千円 |
| 2. 耐震性防火水槽設置工事に伴う地質調査（事前） | 4,449 千円 |
| 震災時消防水利施設等整備指針に基づき、耐震性防火水槽の設置に向けた地質調査を実施する。 | |
| ・設置に向けた地質調査（御幣下公園） | |
| 3. 土砂災害等対応資機材の整備 | 97 千円 |
| 土砂災害等対応資機材を整備することで、消防力の強化を図る。 | |
| ・胴付き長靴 20着 | |
| 4. 特殊災害対応資機材の整備 | 595 千円 |
| 特殊災害対応資機材を整備することで、消防力の強化を図る。 | |
| ・放射線測定器校正点検 | 351 千円 |
| ・化学防護服 | 244 千円 |

消防費

事業名	本町出張所改築整備事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 3 細目 01 説明 06	消防総務課				
指針体系コード	1-1-81	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	52,125			13,600	28,182	10,343
令和4年度	7,725			0	7,725	0
対前年度	44,400			13,600	20,457	10,343
特定財源の内訳	(地方債)	消防施設整備事業債				13,600
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				28,182

<拡充事業> 南消防署本町出張所（第9分団）設計委託及び仮設庁舎建設等

【施策等を必要とする背景】

南消防署本町出張所（第9分団）は、1968年（昭和43年）2月1日に開所し、55年が経過している本市で最も古い消防庁舎である。

現庁舎は、旧耐震基準で設計されており、大規模震災時における安定した消防力の確保が喫緊の課題となっている。

【提案に至るまでの経緯】

- 平成26年11月 第3次公共施設再整備プラン（短期プラン）に計上
- 令和元年9月 住民説明会実施
- 令和2年3月 総務常任委員会報告
- 令和4年5月 「旧藤沢公民館跡地」埋蔵文化財試掘調査を実施

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

「旧藤沢公民館跡地」への仮設庁舎建設にあたり、「藤沢地区郷土づくり推進会議」及び近隣住民に対して住民説明会を実施した。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・藤沢市市政運営の総合指針2024
- ・第3次公共施設再整備プラン（短期プラン）実施事業
- ・消防局総合基本指針（大規模災害等に対応できる先進消防）

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、消防庁舎の機能が向上し、大規模地震等による災害が発生した場合にも安定した消防力が発揮できる。

また、庁舎の安全・衛生管理面が向上することで、24時間365日勤務する職員及び第9分団員の労務環境が改善し、消防サービスの向上及び市民の安全・安心の向上につながる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり。

- ・令和5年度 52,125 千円
- ・令和6年度 172,893 千円
- ・令和7年度以降 917,863 千円

【事業概要】

市民の安全・安心を守る消防庁舎の機能向上のため、南消防署本町出張所を現庁舎敷地に建替えを実施する。建設工事中は「旧藤沢公民館跡地」に仮設庁舎を建設し一時的に移転する。

- (拡) 1. 南消防署本町出張所改築整備 40,436 千円
 改築を行うにあたり、所要の地質を調査し、基本設計、実施設計及び現庁舎の解体設計を実施する。
- ・産業廃棄物処理 821 千円
 - ・電波障害調査 231 千円
 - ・地質調査委託、家屋事前調査委託 17,732 千円
 - ・設計業務委託【継続費】 21,652 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

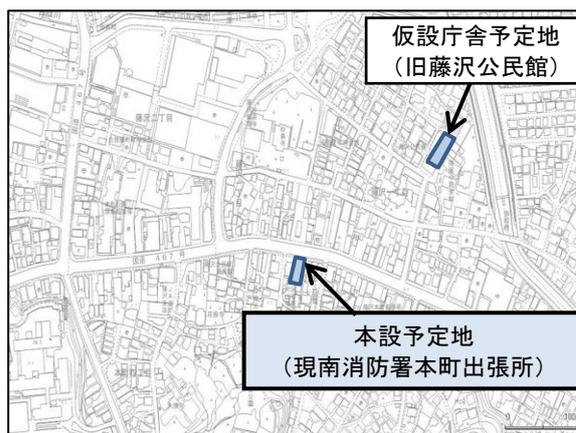
	5年度	6年度	合計
設計業務委託	21,652	50,520	72,172

※R5で基本・解体設計、R6で実施設計を行う。

- (拡) 2. 仮設庁舎建設 11,689 千円
 南消防署本町出張所建設工事の間、仮設庁舎をリース契約で建設し、約3年6カ月間運用する。(契約期間は4年8カ月)
- ・仮設庁舎賃貸借費用(1/5年) 2,167 千円
 - ・移転に伴う諸費用(通信指令システム移転費用等) 9,522 千円



南消防署本町出張所(第9分団)



現庁舎と仮設庁舎予定地の位置関係

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
本町出張所(第9分団)再整備	設計委託	解体工事	埋蔵文化財調査	新築工事	開所
仮設庁舎整備	建設工事	仮設庁舎で運用			解体工事

本町出張所改築整備事業スケジュール(予定)

教育費

事業名	奨学金給付事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 10			教育総務課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	14,518				14,280	238
令和4年度	12,858				12,600	258
対前年度	1,660				1,680	△ 20
特定財源の内訳	(その他)	教育応援基金繰入金				14,280
<p>【事業概要】 意欲と能力のある高校生等が、経済的な理由により進学を断念することなく、大学等での修学の機会が得られるよう、給付型の奨学金事業を実施する。</p> <p>1. 奨学金の給付 14,280 千円 これまでに選考した奨学生に対し、学費奨学資金を給付するとともに、面談等により入学後のアフターフォローを行う。 また、新たな奨学生を募集し、入学準備奨学資金を給付する。 ・一般（大学、短大、専門学校等） 13,260 千円 ・白石敬子奨学金（医学部・歯学部） 1,020 千円</p> <p>2. 奨学金給付審査委員会委員報酬 111 千円 奨学生の選考等に関する審査を行う奨学金給付審査委員会委員に対して、日額報酬を支払う。</p> <p>3. 奨学金関係事務経費 127 千円 奨学金給付事業に必要な事務用品等</p>						

教育費

事業名	学校適正規模・適正配置関係事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 12			教育総務課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	467					467
令和4年度	324					324
対前年度	143					143
<p>【事業概要】 市立小学校35校・中学校19校・特別支援学校1校を検討対象に、将来を見据えた学校の適正規模・適正配置に向けた取組を進めるため、藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会を運営する。令和5年度は、学校の過大規模解消等に対応するため、具体的な手法や学校名を明記した「藤沢市立学校適正規模・適正配置実施計画」の策定に向けて、地域説明会を実施する。</p> <p>1. 藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会委員謝礼（年5回） 314 千円</p> <p>2. 地域説明会資料印刷用消耗品 153 千円</p>						

教育費

事業名	人権環境平和教育関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 02	教育指導課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	474					474
令和4年度	474					474
対前年度	0					0

【事業概要】

児童生徒を対象に、人権・環境・平和についての知識の習得や理念の啓発を行う。また、児童生徒に対する人権教育・環境教育・平和教育の有効性を高めるため、教職員を対象にした研修を実施する。

- 児童生徒及び教職員を対象とした、人権・環境・平和教育に関する講演会等の実施 95 千円
 - 人権教育移動教室講師謝礼 80 千円
 - 人権・環境・平和教育担当者会講師謝礼 15 千円
- 小・中・特別支援学校への人権・環境・平和教育に関する参考図書等の配布及び各種リーフレットの作成・配布 379 千円
 - 参考図書等の配布
 - 児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）リーフレットの作成・配布
 - 対象 小学校1・4年生及び中学校1年生
 - セクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットの作成・配布
 - 対象 小学校4年生及び中学校1年生

中|学|生|の|み|な|さん|へ

ともに学び ともに育ち ともに生きるために

『子どもの権利条約』を改めて

世界には、およそ23億人の子どもが暮らしています。その中には・・・
 戦争で親を失った子ども 自ら兵士となって戦いに出る子ども
 食べるものも住む場所もない子ども 学校にも行けず働かなければならない子ども
 病気で苦しんでいる子ども 家族と離れて生活しなければならない子ども
 暴力をうけたり、社会から無視されている子ども ...
 さまざまな困難に遭遇している子どもたちがいます。

このような子どもたちの生命や生活を守り、世界のすべての子どもたちの幸せを保障するために、1989年11月、国連で「児童の権利に関する条約」（子どもの権利条約）が制定されました。日本政府はこの条約を1994年に批准し、世界で158番目の条約締結国となりました。

条約は、54条から成り、**世界中のすべての子どもたちが健康で、幸せに生きていくことをめざすもの**となっています。

日本は世界の中では豊かな国の一つです。
 しかし、子どもたちの状況はどうでしょうか・・・
 いじめやからかいによって傷つき、悩んでいる、
 学校に来られなくなったりする友だちはいませんか。
 周りと違うということで差別を受け、悲しんでいる友だちはいませんか。
 他の人からの暴力におびえている友だちはいませんか。

条約には、差別の禁止や教育への権利、思想・良心・宗教の自由など、皆さんにも関係のある条文がたくさんあります。子どもの権利条約を理解し、自分のまわりのことだけでなく、世界のことや、さらには自分の生活方を考えたいという願いから、条約の内容をわかりやすく紹介してみました。興味のある人は権利条約の本文を、読んでみましょう。（ユニセフのホームページで読むことができます。）

**世界中のすべての子どもたちが
 幸せになれるにはどうしたらよいだろう？
 友だちや家族と一緒に考えてみよう。**

ふじきゅん♡ **藤沢市教育委員会**

子どもの権利条約リーフレット
（中学校1年生用）

だの **楽しい学校生活を送るために** **おく**
 しょうがくせい **小学生のみなさんへ**

こんなことを言われたり、されたりしたことはありませんか？

- ・友達や先生から親や体のことなどについて、聞つくことを書かれた。
- ・「〇〇さんが好きなんだ」とうわさをたてられた。
- ・体をさわられたり、だきつかれたりして、とてもいやだった。
- ・体罰の制裁、脅がえをしているところをぞかれた。
- ・いやらしい言葉でからかわれたり、じゃぶを言われた。
- ・「罵のくせに」「笑のくせに」と書かれて、いやな思いをした。

↓

**おこなっている人に悪気がなくても受けた人がいやな気持ちを
 感じたら、それは「セクハラ」です。**

↓

**いやなことをされたり、言われたりしたときには、がまんしないで
 「いやだ！」と勇気を出して自分の気持ちを言いましょ。**

↓

言えないときは心配しないで相談しましょ！

- セクハラをする人は「悪の人に言っちゃいけない。」など口止めるかも知れませんが、そのままがまんしていると、「セクハラ」がますますひどくなることもあります。
- できるだけ早く親や担任の先生、保健室の先生や校医先生、教員先生、スクールカウンセラーさんなど、信頼できるおとなの人に勇気を出して相談してみましょう。
- あなたのひみつは守られます。安心して相談しましょ。

セクシュアル・ハラスメント等
防止リーフレット（小学校4年生用）

教育費

事業名	国際教育推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 03			教育指導課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	87,498		1,843			85,655
令和4年度	84,132		1,658			82,474
対前年度	3,366		185			3,181
特定財源の内訳	(県支出金)	帰国・外国人児童生徒等教育推進事業費補助金				1,843

【事業概要】

学校における国際教育を推進するため、外国語指導講師等を学校に派遣し、授業を行うことによる国際教育の実施と、外国につながるのある児童生徒に対し、学校教育への適応に向けた支援を行う。

1. 外国語指導業務委託（F L T） 69,116 千円
英語を第一言語とする外国語指導講師を派遣し、小学校3～4年生の外国語活動や小学校5～6年生及び中学校1～3年生の外国語（英語）の授業をティーム・ティーチング（T・T）で行う。
2. 国際理解協力員派遣事業 1,490 千円
異文化やコミュニケーションに対する興味、関心及び共生への理解を高めるため、国際理解協力員と学級担任がティーム・ティーチング（T・T）で授業を実施する。
・小学校1～2年生 年間1学級2時間
・特別支援学校 年間1学年1時間
3. 日本語指導員の派遣事業 16,456 千円
日本語指導を必要とする外国につながるのある児童生徒に対し、10カ国語に対応して日本語指導員を派遣し、日本語指導と学校生活へ適応するための支援を行う。
・支援を必要としている児童生徒数 約250人
4. 国際教育教材費等経費 316 千円
指導教材費、傷害保険料及び損害保険料、外国語指導業務事業者選定審査委員会委員報酬
5. 研修会の実施 120 千円
教員の指導力向上のため、外国語及び外国語指導に関する研修会を行う。

教育費

事業名	教育情報機器関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 04	教育総務課				
指針体系コード	3-1-1-1	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	516,524					516,524
令和4年度	537,431					537,431
対前年度	△ 20,907					△ 20,907

【事業概要】

GIGAスクール構想等により導入された1人1台端末の活用を推進するとともに、緊急時においてもICTの活用により子どもたちの学びを保障できる環境整備を実施する。

1. 学校におけるICT環境整備事業 407,896 千円
 学習で使用するためのICT機器環境等の整備を行う。
 - ・ネットワーク管理費 13,544 千円
 - ・授業支援ソフト利用料 36,262 千円
 - ・授業目的公衆送信補償金 5,217 千円
 - ・学習用ICT機器等整備費 352,873 千円

- (拡) 2. ICT機器活用サポート業務委託 80,806 千円
 ICT機器の活用をサポートするICT支援員や情報モラル学習講師の派遣、機器の故障等へ対応するための窓口を担うヘルプデスク業務等を行う。

3. ICT周辺機器等整備事業 27,822 千円
 モバイルWi-Fiルーター等の整備を行うとともに、既存機器等の修理対応を行う。



1人1台端末を活用した授業の様子

(3の事業の一部は令和4年度9月補正で増額した事業)

教育費

事業名	学校安全対策関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 05			教育指導課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	7,525	2,322				5,203
令和4年度	21,992	2,322				19,670
対前年度	△ 14,467	0				△ 14,467
特定財源の内訳	(国庫支出金)	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金				2,322

【事業概要】

児童生徒が、生涯を通じて安全な生活を送ることができるよう、防災や事故防止に対する意識の向上を図るとともに、学校の安全管理に関する取組を推進する。

1. ジュニアライフセービング教室の実施 418 千円
小・中学校で海の安全に関する意識を高めるための講演や体験教室を実施する。
2. スクールガード・リーダーの配置（10地域・35小学校区） 7,017 千円
「六会」、「御所見・遠藤」、「長後・湘南台」、「湘南大庭」、「善行」、「村岡」、「明治」、「藤沢」、「片瀬・鶴沼」、「辻堂」地域に配置する。
・スクールガード・リーダー謝礼、被服費及び損害保険料
3. 学校防災アドバイザーによる研修会 90 千円
各学校の実情に応じた児童生徒の防災意識を高めるための授業や指導方法等についての教職員向け研修会を実施する。

教育費

事業名	学校教育相談センター関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 06	教育指導課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	6,817					6,817
令和4年度	6,832					6,832
対前年度	△ 15					△ 15

【事業概要】

さまざまな困難を抱える児童生徒及び保護者を支援するための相談活動や不登校児童生徒を対象とした相談支援教室の運営を行う。

1. 小・中・特別支援学校に在籍する児童生徒及び保護者等への支援 876 千円
 - (1) スクールカウンセラーの配置
小・中・特別支援学校にスクールカウンセラーを配置し、学校生活において、さまざまな困難を抱える児童生徒及びその保護者・教職員を対象に相談活動を行う。
 - (2) スクールソーシャルワーカーの派遣
福祉的な支援が必要な家庭に対し、学校や関係機関と連携した支援を行う。
 - (3) 就学相談の実施
市内の幼稚園、保育所、児童発達支援センター等に対して、事業の周知を図り、次年度就学予定児童の就学及び就学後の教育的支援に関する相談活動を行う。
 - (4) 相談支援教室の運営
さまざまな課題を抱える児童生徒に対し、善行分室内の教室での個別学習や体験活動、カウンセリング等、学校生活や社会生活への適応に向けた支援を行う。
 - (5) 学校教育相談センターにおける教育相談活動
電話及び来所による教育相談を行う。
(受付時間)
・平日 午前9時～午後5時
・土曜日 午前9時～正午

2. 研修・講演会事業 820 千円
 - ・特別支援に関する校内研修や事例研究会への開催支援
 - ・特別支援学級及び白浜養護学校への特別支援教育スーパーバイザーの派遣
 - ・教員を対象とした個別指導計画作成及びスクールカウンセラー等の専門性向上のための研修会の実施

3. 学校教育相談センター善行分室の施設維持管理及びその他事務経費 5,121 千円

教育費

事業名	いじめ暴力防止対策費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 09			教育指導課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	3,867					3,867
令和4年度	4,077					4,077
対前年度	△ 210					△ 210

【事業概要】

いじめ防止対策推進法、「藤沢市子どもをいじめから守る条例」の基本理念に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応のための対策を学校、保護者、警察、各種関係団体と連携し、総合的かつ効果的に推進する。また、児童生徒に対し、いじめ防止に関する各種リーフレットを作成し、法令の趣旨をはじめ、いじめ相談ホットラインなどの周知を継続的に実施するとともに、体罰についても、その根絶に向けて取り組む。

1. 藤沢市いじめ問題対策連絡協議会の運営 283 千円
いじめ防止対策推進法第14条に基づき、いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携を図るため、「藤沢市いじめ問題対策連絡協議会」を運営する。
2. 藤沢市いじめ問題調査委員会の運営 2,808 千円
いじめ防止対策推進法第28条に基づき、小・中・特別支援学校におけるいじめ問題で、重大事態が発生した際に調査することを目的として「藤沢市いじめ問題調査委員会」を開催する。
3. いじめ防止対策担当スクールカウンセラー及びスクールロイヤー旅費等 162 千円
いじめの早期発見・早期対応のために配置しているスクールカウンセラーの旅費及び教職員だけでは困難な事案に対応するため配置しているスクールロイヤーの旅費等。
 - ・学校からの緊急要請への対応
 - ・学校訪問による児童生徒のカウンセリング、教職員の相談対応
 - ・教職員、保護者向けの研修会の実施
 - ・法的観点に立った、学校への指導・助言
4. いじめ相談の充実及びいじめ暴力防止事業の実施 214 千円
 - ・中学生いじめ防止対策報告会「Stopいじめ！中学生の集い in ふじさわ」の開催
 - ・いじめ相談ホットラインの運営
 - ・いじめ相談機関紹介カード、いじめ防止リーフレット、「藤沢市子どもをいじめから守る条例」趣旨紹介リーフレット等の作成・配布
 - ・いじめ相談メール及び藤沢市子ども相談フォームの運営
 - ・体罰調査アンケートの実施
5. いじめ防止講演会の開催 20 千円
小・中・特別支援学校の教職員等を対象とした講演会の実施
6. いじめ防止教室の実施 360 千円
7. 児童生徒指導支援に関する会議の開催 20 千円
学校、保護者、警察、各種関係団体の連携協力を深め、児童生徒指導上の情報交換や対応について、検討協議を行う。

教育費

事業名	教育情報化推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 10	教育総務課				
指針体系コード	3-1-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	153,648					153,648
令和4年度	151,816					151,816
対前年度	1,832					1,832

【事業概要】

令和元年度に再構築した学校ICT基盤を活用することで、文部科学省が公表している「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に則した情報セキュリティ対策を行いながら、学校ICT機器を円滑に利用できるICT環境の実現を図る。

また、学校グループウェアや採点ソフトを活用し、校内外の連絡の円滑化や採点業務の効率化を図ることで、教職員の働き方改革を推進する。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 学校ICT基盤の運用 | 113,685 千円 |
| 2. 学校回線使用料 | 22,869 千円 |
| 3. セキュリティ対策ソフト使用料 | 3,163 千円 |
| 4. 採点ソフトの運用 | 1,881 千円 |
| 5. 学校グループウェアの運用 | 7,315 千円 |
| 6. 学校ホームページの運用 | 4,726 千円 |
| 7. 先進ICT整備研究旅費 | 9 千円 |

教育費

事業名	児童生徒学習支援関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 11	教育指導課				
指針体系コード	3-3-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	10,992		5,606			5,386
令和4年度	4,554		0			4,554
対前年度	6,438		5,606			832
特定財源の内訳	(県支出金)	地域学校協働活動推進事業費補助金				5,606

<拡充事業> 中学校学習支援事業における不登校生徒対応分の拡充

【施策等を必要とする背景】

本市の不登校児童生徒数は増加傾向であり、不登校の要因もさまざまである中、学校に来ることはできても教室に入ることができない子どもも一定数いる。こうした子ども達も安心して教育を受けられるよう、居場所づくりや教育環境の整備を進めていく必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

平成28年12月公布の「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」では、「不登校児童生徒が安心して教育を十分に受けられるよう、学校における環境の整備が図られるようにすること」と定められている。また、令和4年6月に文部科学省より通知された「不登校に関する調査研究協力者会議報告書」では、不登校児童生徒の支援の在り方の一つとして、校内の別室を活用した支援策について言及されている。これまでも、学校では不登校児童生徒に対し、教員の空き時間等を活用して別室における指導を実施してきたが、教育機会確保のさらなる推進を図るため、既に補習における学習支援事業が定着している中学校から、不登校生徒の別室指導対応として、学習指導員の派遣を拡充する。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・第3期教育振興基本計画<令和2年度～令和6年度>
教育振興基本計画において、「一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の推進」事業の一つとして、「不登校児童生徒対策支援事業」を位置付けている。

【将来にわたる効果】

不登校児童生徒に対し、個々の状況に応じたきめ細かな支援・指導を行い、子どもたちの社会的自立への基礎を培うとともに、教育環境を整備し「心の居場所」としての学校づくりを進め、インクルーシブ教育の充実を図ることができる。

【事業概要】

教育を受ける権利を保障し、市民及びすべての児童生徒が社会において自立的に生きる基礎を培うことができるよう、学校教育におけるさまざまな学びの場を確保する。

- (拡) 1. 中学校夜間学級事業の実施 2,580 千円
相模原市立大野南中学校分校夜間学級に在籍する本市在住者の人数等に応じ、負担金を支出する。
・中学校夜間学級負担金（3人分）
- (拡) 2. 学習支援事業の実施 8,412 千円
小・中学校等へ学習指導員を派遣し、補習指導を行うことにより、児童生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図る。また、中学校において不登校生徒に対し、別室における学習指導等を行う。
・小学校学習指導員謝礼（試行実施） 1,926 千円
・中学校学習指導員謝礼（補習指導） 3,210 千円
・中学校学習指導員謝礼（不登校対応） 3,166 千円
・損害保険料 110 千円

教育費

事業名	特別支援教育運営費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 02 説明 01			教育総務課・教育指導課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	78,135	597			772	76,766
令和4年度	78,878	466			647	77,765
対前年度	△ 743	131			125	△ 999
特定財源の内訳	(国庫支出金)	教育支援体制整備事業費補助金				597
	(その他)	茅ヶ崎市教育事務受託料				772

【事業概要】

小・中・特別支援学校に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、教育の充実や適切な支援を行う。

1. 特別支援教育協議会の運営 221 千円
本市の特別支援教育充実のための方策について協議を行う。

2. 特別支援学級、通級指導教室の運営 6,735 千円
 - ・研究会・研修会の開催等 854 千円
 - ・特別支援学級教材購入 786 千円
 - ・「のびゆく子ら作品展」委託 181 千円
 - ・「みんなの学習会」講師派遣、消耗品費 131 千円
 - ・聴力検査器保守点検 106 千円
 - ・消耗品費、物品修繕費等 4,677 千円

3. 介助員派遣事業 69,779 千円
特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活や宿泊行事における介助や支援を行う。また、担任と協力して困難な問題を抱える児童生徒への対応や学習支援等を行う。
 - ・介助員謝礼 66,033 千円
 - ・損害保険料 280 千円
 - ・宿泊介助員派遣負担金 3,466 千円

4. 医療的ケアを必要とする児童生徒への支援 1,400 千円
小・中・特別支援学校において、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行うために、学校看護師を該当児童生徒の在籍する学校へ配置する。

教育費

事業名	特別支援教育整備事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 02 説明 04			教育指導課		
指針体系コード	3-1-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	11,434					11,434
令和4年度	6,959					6,959
対前年度	4,475					4,475

【事業概要】
 特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育を推進するため、教育環境の整備を行う。

- 大越小学校・羽鳥小学校特別支援学級開設の準備 9,172 千円
 令和6年4月より大越小学校及び羽鳥小学校に特別支援学級を開級するため、教室等の整備を行う。
- 既存特別支援教室の整備 2,262 千円
 特別支援学級の適切な教育環境維持のため、既存教室等の整備・修繕を行う。

・特別支援学級設置数（令和5年度学級開設予定を含む。）
 小学校 21校
 中学校 15校

教育費

事業名	八ヶ岳野外体験教室整備事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 04 説明 02			教育総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	47,073			33,100		13,973
令和4年度	54,973			51,400		3,573
対前年度	△ 7,900			△ 18,300		10,400
特定財源の内訳	(地方債)	大規模改造事業債				33,100

【事業概要】
 建築から30年以上が経過し、施設の老朽化が進む八ヶ岳野外体験教室について、利用者の安全を確保するため、整備を行う。

- 非常用発電機更新設計委託 2,739 千円
 経年劣化による非常用発電機について、計画的に工事を行うため、設計委託を行う。
- エレベーター設備改修工事【継続費】 14,802 千円
 老朽化したエレベーター設備について、改修工事を行う。
- 温水発生機改修工事 29,359 千円
 老朽化した温水発生機について、改修工事を行う。
- 整備事業費事務経費 173 千円

<継続費年割額> (単位：千円)

	5年度	6年度	合計
八ヶ岳野外体験教室エレベーター設備改修工事	14,802	22,202	37,004

教育費

事業名	要保護準要保護児童援助費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 2 細目 02 説明 01			学務保健課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	114,790	295	171			114,324
令和4年度	116,379	347	372			115,660
対前年度	△ 1,589	△ 52	△ 201			△ 1,336
特定財源の内訳	(国庫支出金)	要保護児童援助費補助金				295
	(県支出金)	被災児童就学支援事業費補助金				171

【事業概要】

保護者の経済的負担の軽減や義務教育の円滑な実施を図るため、経済的理由により就学困難と認められる小学校に通う児童の保護者に対し、児童が学校生活を送る上で必要な費用を援助する。

また、令和6年度小学校・中学校入学予定者の保護者に対し、入学準備金を支給する。

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 扶助費 | 114,116 千円 |
| ・学用品費等 | 38,380 千円 |
| ・修学旅行費、社会見学費等 | 18,196 千円 |
| ・めがね購入費等 | 2,337 千円 |
| ・卒業アルバム購入費 | 3,843 千円 |
| ・小学校入学準備金（令和6年度入学予定者） | 21,786 千円 |
| ・中学校入学準備金（令和6年度入学予定者） | 29,574 千円 |
| 2. 事務経費 | 674 千円 |
| ・消耗品費、印刷製本費 | |

教育費

事業名	諸整備事業費（小学校）					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 02 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	230,001			52,400		177,601
令和4年度	123,070			0		123,070
対前年度	106,931			52,400		54,531
特定財源の内訳	(地方債)	大規模改造事業債				52,400

【事業概要】

小学校の施設維持管理及び教育環境の整備を図るため、諸整備事業を行う。

- | | |
|---|------------|
| 1. 諸整備工事 | 110,033 千円 |
| ・羽鳥小学校給水設備改修工事【継続費】 | 30,294 千円 |
| ・鵜洋小学校教室転用工事 | 40,128 千円 |
| ・天神小学校体育倉庫新築工事 | 39,611 千円 |
| 2. 施設修繕費・手数料 | 55,787 千円 |
| 3. 校内放送設備の賃借 7校 | 2,547 千円 |
| (大庭小学校、新林小学校、滝の沢小学校、富士見台小学校、湘南台小学校、大道小学校、大清水小学校) | |
| 4. 児童数増に対応するための仮設校舎の賃借 11校 | 59,213 千円 |
| (鵜洋小学校、六会小学校、辻堂小学校、天神小学校、片瀬小学校、八松小学校、明治小学校、長後小学校、大鋸小学校、高谷小学校、羽鳥小学校) | |
| (新) 5. 外部プール活用に係る委託料 | 2,358 千円 |
| 6. 諸整備事業費事務経費
印刷製本費 | 63 千円 |

<継続費年割額>

(単位：千円)

	5年度	6年度	合計
羽鳥小学校給水設備改修工事	30,294	45,441	75,735

(1の事業の一部は令和4年度12月補正で債務負担行為を設定)

教育費

事業名	鵜南小学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 03 説明 01	学校施設課				
指針体系コード	3-1-61	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,335,223	170,486		955,900	208,008	829
令和4年度	382,517	78,967		151,800	143,110	8,640
対前年度	952,706	91,519		804,100	64,898	△ 7,811
特定財源の内訳	(国庫支出金)	学校施設環境改善交付金				170,486
	(地方債)	大規模改造事業債				955,900
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				208,008

【事業概要】

老朽化が著しい鵜南小学校を全面改築し、施設の安全性確保と教育環境の向上を図る。
令和4年度から令和6年度で、校舎棟建設工事を実施する。

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| 1. 工事費 | 1,140,480 千円 |
| ・鵜南小学校改築工事（第二期工事）【継続費】
校舎棟建設工事 | |
| 2. 委託料 | 31,988 千円 |
| ・鵜南小学校改築工事（第二期工事）に伴う工事監理委託【継続費】 | |
| 3. 仮設校舎賃借料 | 161,926 千円 |
| 4. プール送迎バス使用料 | 829 千円 |

<継続費年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	6年度	合計
鵜南小学校改築工事（第二期工事）	142,450	1,140,480	1,514,370	2,797,300
鵜南小学校改築工事（第二期工事）に伴う工事監理委託	3,993	31,988	42,504	78,485

事業名	(新) 辻堂小学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 03 説明 02	学校施設課				
指針体系コード	3-1-63	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	83,955				83,955	
令和4年度	0				0	
対前年度	83,955				83,955	
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				83,955

【施策等を必要とする背景】

辻堂小学校は、最も古い校舎が昭和43年に、屋内運動場が昭和40年に建設され、建築後50年以上が経過し、老朽化が進行している状況である。また、文部科学省が定める学校施設に必要な面積及び近年の教育環境に見合った機能についても不足している状況である。これらの施設状況について、抜本的な対策を講じ、安全性の確保及び教育環境の機能向上を図る必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

- ・平成26年度「藤沢市立学校施設再整備基本方針」を策定
 - ・平成27年度「藤沢市立学校施設再整備第1期実施計画」を策定
 - ・令和2年度「藤沢市立学校施設再整備基本方針」を改訂
 - ・令和3年度「藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画」を策定
- 建物の状態及び老朽化の度合い等を考慮し検討した結果、事業実施について2番目に高い優先度とした。
- ・令和4年6月 「学校施設整備指針」の改訂（文部科学省）

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

事業の進捗に伴い、保護者、地域住民等への説明会を随時開催する。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画において優先度2に位置付け
- ・公共施設再整備プランにおいて、第3期短期プラン実施事業に位置付け

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、学校施設の老朽化が解消され、子どもたちの教育環境の機能向上が図られる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

- ・令和5年度 83,955 千円
- ・令和6年度 119,793 千円
- ・令和7年度 154,020 千円
- ・令和8年度以降 5,554,277 千円

【事業概要】

学校施設の老朽化の解消及び教育環境の機能向上を図るため、辻堂小学校の校舎及び屋内運動場の改築並びに長寿命化工事を実施する。令和5年度は校舎改築等に伴う基本・実施設計委託及び地質調査委託、敷地測量業務委託を行う。

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. 辻堂小学校校舎改築等に伴う基本・実施設計委託【継続費】 | 68,453 千円 |
| 2. 地質調査委託 | 12,199 千円 |
| 3. 敷地測量業務委託 | 3,303 千円 |

<継続費年割額>

(単位：千円)

	5年度	6年度	7年度	合計
辻堂小学校校舎改築等に伴う基本・実施設計委託	68,453	119,793	154,020	342,266

教育費

事業名	要保護準要保護生徒援助費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 2 細目 02 説明 01			学務保健課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	125,318	1,290	67			123,961
令和4年度	123,969	918	88			122,963
対前年度	1,349	372	△ 21			998
特定財源の内訳	(国庫支出金)	要保護生徒援助費補助金				1,290
	(県支出金)	被災生徒就学支援事業費補助金				67

【事業概要】

保護者の経済的負担の軽減や義務教育の円滑な実施を図るため、経済的理由により就学困難と認められる中学校に通う生徒の保護者に対し、生徒が学校生活を送る上で必要な費用を援助する。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 扶助費 | 125,318 千円 |
| ・学用品費等 | 41,497 千円 |
| ・修学旅行費、社会見学費等 | 41,705 千円 |
| ・学校給食費 | 35,997 千円 |
| ・めがね購入費等 | 3,061 千円 |
| ・卒業アルバム購入費 | 3,058 千円 |

教育費

事業名	教育指導活動費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 2 細目 03 説明 01			教育指導課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	8,592		1,352			7,240
令和4年度	5,613		0			5,613
対前年度	2,979		1,352			1,627
特定財源の内訳	(県支出金)	部活動地域移行体制整備補助金				1,352

< 拡充事業 > 部活動地域移行事業

【施策等を必要とする背景】

令和5年度以降段階的に部活動を地域へ移行することが国により示され、持続的な部活動と教員の負担軽減の両方を実現できる制度を構築する必要がある。

< 国が示す移行スケジュール >

令和4年6月「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」及び8月「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言」より一部抜粋

- 令和4年度 アンケート調査、協議会の設置、兼職兼業の運用整理、大会の在り方の整理
- 令和5年度 休日の部活動から段階的に地域移行を実施（スポーツ団体・文化芸術団体等が生徒の受け入れ等を開始）、教員が兼職兼業の許可を得て地域で指導できる運用を開始、参加資格緩和等を講じた大会開催
- 令和6年度以降 整備充実の本格化、生徒にふさわしい活動を着実に拡大

【提案に至るまでの経緯】

1. 国における経緯

これまで部活動は学校が設置する形で運営確保されてきたが、少子化や学校の働き方改革が進む中で、現行の学校単位で活動し、指導は教員が担う形態での部活動の継続は困難であることから、地域における新たな環境を構築する必要があることが国から示された。

- 令和2年9月 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について
- 令和3年4月以降 全国拠点校において実践研究の開始
- 令和4年6月 運動部活動の地域移行に関する検討会議の提言
- 令和4年8月 文化部活動の地域移行に関する検討会議の提言
- 令和4年12月 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」の策定

2. 本市の経緯

教員により構成され、これまで部活動の在り方やガイドライン等を協議してきた部活動検討委員会に、令和4年度は本市関係部局の職員も参加し、情報共有を図った。また、11月には地域のスポーツ団体や文化団体等の代表者も委員として参画する部活動準備連絡会を立ち上げ、課題やめざす姿について協議した。

- 令和4年 6月～8月 部活動検討委員会（年2回）
- 11月～令和5年3月 部活動準備連絡会（年4回）

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

藤沢市立中学校教員のほか、在籍生徒及びその保護者の意向を把握するためのアンケート調査を実施。準備連絡会・協議会において、地域団体代表や保護者代表を委員として委嘱。

【市の策定する計画や条例との整合性】

スポーツ推進計画2029<令和4年度～令和11年度>

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、地域において学校部活動にはない種目も含め、運動や文化に親しめる機会を確保することで、生徒が学校を卒業した後も、生涯にわたって継続した運動・文化活動を行うことができる。また、部活動の指導を望まない教員の負担軽減を図ることができる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は、国や県の動向が大きく影響することから、現時点では未定。

【事業概要】

部活動の充実のため、指導者を派遣するとともに、持続的な部活動制度を構築するため、地域と連携し、今後の部活動の在り方について協議・検討する。また、併せて制度構築のための実証研究を行う。

- (拡) 1. 部活動外部指導者謝礼 4,121 千円
部活動がより活発かつ効果的に展開されるよう各学校の必要に応じて、専門的資質を有し、顧問教員の補助を行う外部指導者を派遣する。
- ・部活動外部指導者謝礼 4,000 千円
 - ・損害保険料 121 千円
2. 部活動指導員（会計年度任用職員）旅費等 90 千円
専門的資質を有し顧問教員の代わりとなる部活動指導員を配置することで、部活動指導体制の充実と担当教員の支援を図る。
- (拡) 3. 藤沢市部活動地域連絡協議会委員報酬及び分科会謝礼 884 千円
部活動地域移行を推進するため、関係機関と連携し、新たな部活動制度の構築について協議する。
- (新) 4. 地域部活動推進事業 3,497 千円
将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化に親しめる環境を整備するため、部活動の段階的な地域移行に向けてモデル事業を実施し、成果の検証と普及を図る。
- ・地域部活動推進業務委託（3件）

（3の事業の一部は令和4年度9月補正で実施した事業）

教育費

事業名	鵜沼中学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	3-1-62	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	82,724			38,700	44,024	
令和4年度	106,148			0	106,148	
対前年度	△ 23,424			38,700	△ 62,124	
特定財源の内訳	(地方債)	大規模改造事業債				38,700
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				44,024

【事業概要】
 学校施設の老朽化の解消及び教育環境の機能向上を図るため、鵜沼中学校の校舎改築等を実施する。令和5年度は校舎改築等に伴う基本・実施設計委託を行う。

1. 鵜沼中学校校舎改築等に伴う基本・実施設計委託【継続費】 82,724 千円

<継続費年割額> (単位：千円)

	4年度	5年度	6年度	合計
鵜沼中学校校舎改築等に伴う基本・実施設計委託	95,456	82,724	132,621	310,801

教育費

事業名	諸整備事業費（特別支援学校）					
予算科目	款 1 1 項 4 目 2 細目 01 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	3-1-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	264,014	21,268		199,400		43,346
令和4年度	155,150	9,110		107,700		38,340
対前年度	108,864	12,158		91,700		5,006
特定財源の内訳	(国庫支出金)	学校施設環境改善交付金				21,268
	(地方債)	大規模改造事業債				199,400

【事業概要】
 白浜養護学校の施設維持管理及び教育環境の整備を図るため、諸整備事業を行う。

1. 白浜養護学校空調設備更新等工事【継続費】 234,080 千円

2. 施設修繕費 1,300 千円

3. 児童生徒数増に対応するための仮設校舎の賃借 28,634 千円

<継続費年割額> (単位：千円)

	4年度	5年度	合計
白浜養護学校空調設備更新等工事	100,320	234,080	334,400

教育費

事業名	生涯学習推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 03 説明 01			生涯学習総務課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	4,709					4,709
令和4年度	4,747					4,747
対前年度	△ 38					△ 38

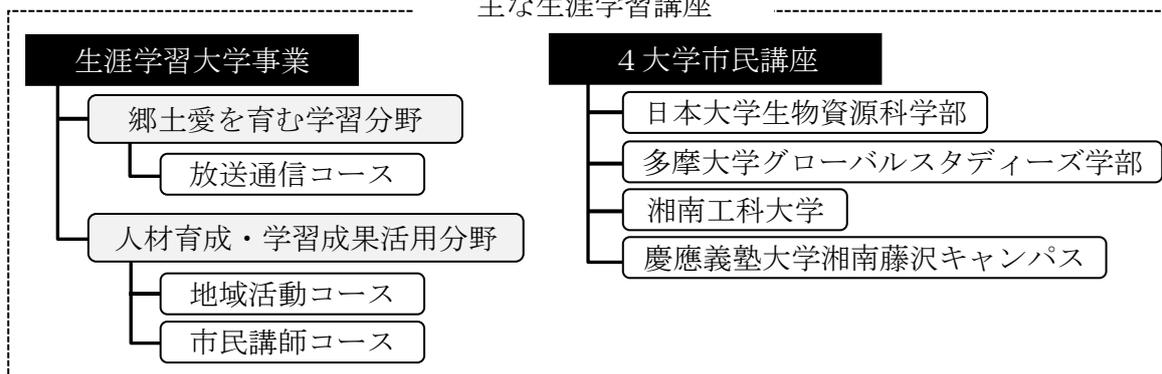
【事業概要】

市民の主体的な学習を推進し、その成果を生かすことができる生涯学習社会を構築するため、全市的な生涯学習活動拠点である生涯学習活動推進室を管理・運営し、各種事業を実施する。

- 生涯学習活動推進室の管理・運営 197 千円
 生涯学習活動を行う個人・団体や市民講師が、自由に集い、交流し、学習できる全市的な拠点として、生涯学習活動推進室の管理・運営を行う。
 - 運営委員会出席謝礼 63 千円
 - 消耗品費 20 千円
 - 通信運搬費電信電話料 108 千円
 - 手数料 6 千円

- 生涯学習講座の実施 4,468 千円
 各種団体・機関や庁内各課と連携し、市民の主体的な学習の推進及び地域コミュニティの活性化を目的として、生涯学習大学をはじめとした生涯学習講座を座学やオンラインなどさまざまな手法を用い、実施する。
 - 講師謝礼等 935 千円
 - 消耗品費 32 千円
 - 委託料 3,501 千円

主な生涯学習講座



- 生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」の運営 38 千円
 登録している市民講師が持つさまざまな知識や技術、豊かな体験や経験を地域へ還元することで、市民の学習のきっかけづくりを支援する。
 - 消耗品費

- 生涯学習出張講座「こんにちは！藤沢塾です」の運営 6 千円
 市民の要望に応じて、市職員が行政の取組や情報・専門知識を直接届けることで、市民への学習機会の提供、自主的な学習活動の支援を行う。
 - 消耗品費

教育費

事業名	学校運営協議会推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 04 説明 02			教育総務課		
指針体系コード	3-1-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	1,396				4	1,392
令和4年度	1,185				0	1,185
対前年度	211				4	207
特定財源の内訳	(その他)	茅ヶ崎市教育事務受託料				4

【事業概要】

これからの社会を創り出していく子どもたちの「生きる力」を育むため、社会に開かれた教育課程の実現と、地域とともにある学校への転換をめざして、保護者や地域住民が学校運営に参画することができる学校運営協議会を小・中・特別支援学校に段階的に設置する。

- (括) 1. 学校運営協議会委員報酬 1,300 千円
 当該校の学校運営や子どもたちを取り巻く課題について協議する学校運営協議会委員に対して、日額報酬を支払う。
 ・令和5年度学校運営協議会設置校 26校 (小学校13校、中学校13校)
 ※うち新規設置校 11校 (小学校4校、中学校7校)
2. 学校運営協議会関係者への研修 60 千円
 学校運営協議会を効果的に運用していくために、学校や地域等に対して研修会を実施し、意識啓発を図る。
3. その他事務経費 36 千円
 ・辞令用紙印影入り印刷



学校運営協議会の様子 (秋葉台小学校)

教育費

事業名	文化財保護費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 05 説明 01			郷土歴史課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	26,917	5,457	1,455			20,005
令和4年度	24,175	4,384	1,169			18,622
対前年度	2,742	1,073	286			1,383
特定財源の内訳	(国庫支出金)	埋蔵文化財確認調査費補助金				5,457
	(県支出金)	指定文化財等保存修理等補助金				1,455

【事業概要】

文化財保護推進のため、文化財の調査・研究、保存・管理の指導及び補助、普及・活用事業の実施、開発に伴う埋蔵文化財の調査・資料整理などを実施する。

1. 調査・研究 1,155 千円
 文化財保護委員会の開催、市内に存在する各種別の文化財について調査を実施する。
 - ・文化財保護委員会委員報酬 281 千円
 - ・調査、文化財保護推進員謝礼 640 千円
 - ・その他経費（消耗品費、印刷製本費、旅費） 234 千円

2. 保存・管理の指導及び補助 2,518 千円
 市指定文化財の修理・復旧等事業について補助申請があった所有者に対し、費用の3分の1以内を補助する。また、所有者の維持管理と活用、及び後継者育成の一助となるよう保存管理奨励交付金を交付する。
 - ・市指定重要文化財等修理等補助金 551 千円
 - ・市指定重要文化財等保存管理奨励交付金 1,967 千円

3. 普及・活用事業 1,933 千円
 市民の郷土に対する理解と関心を深めるため、刊行物の発行、リーフレットの作成、展示や講座などの各種普及・啓発事業を実施する。また、文化財説明板等の設置・修繕を行う。
 - ・執筆、講演等謝礼 720 千円
 - ・消耗品費、説明板修繕費、印刷製本費 949 千円
 - ・説明板設置等役務費 128 千円
 - ・委託料、賃借料 136 千円

4. 開発に伴う埋蔵文化財の調査・資料整理 21,311 千円
 健康と文化の森整備事業やその他諸開発に伴い、埋蔵文化財の確認調査及び記録保存のための発掘調査の指導を行う。また、南鍛冶山遺跡発掘調査の資料整理を実施する。
 - ・消耗品費、印刷製本費、旅費 1,298 千円
 - ・委託料（埋蔵文化財確認調査、資料整理等） 20,013 千円

教育費

事業名	埋蔵文化財包蔵地資料整備費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 05 説明 02			郷土歴史課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,071					2,071
令和4年度	840					840
対前年度	1,231					1,231

<拡充事業> 周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）地図のインターネット閲覧システムの構築

【施策等を必要とする背景】

文化財保護法により、周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）（以下「包蔵地」という。）で開発行為を行う場合は届出が必要であり、包蔵地の該当有無について、窓口や電話等で回答しているが、問い合わせ件数の増加による業務負担の増に加え、開発業者等からインターネット上の公開について、多くの要望を受けている状況である。

【提案に至るまでの経緯】

窓口対応による業務負担の軽減、開発業者等の利便性向上の観点から、インターネットを活用した仕組みづくりの検討を進めてきた。

検討にあたっては、令和3年度に県内市町村のシステム導入状況の調査、導入済み市町村の仕様・運用方法の聞き取りを実施するとともに、DXの推進に関する予算として提案。令和4年5月の第1回DX推進委員会において、本事業の実施効果が明確で優先的に取り組むべき重点案件と承認されたことから、業務プロセスの見直しと導入システムの仕様の両面について整理を行った。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

市が策定しているDX推進計画にある5つの基本的な考え方をベースに検討しており、定性的効果・人的効果・財的效果のバランスを考え、進めている。

【将来にわたる効果及び費用】

誰もが包蔵地地図にアクセスしやすくすることにより、市民サービスの向上が大いに図られる。

また、問い合わせ件数が大幅に減少することが見込まれ、業務負担の軽減につながる。

【事業概要】

包蔵地及び出土遺物等に関する資料を収集、整理しデータ化することで、公的資料として公開可能なものとする。

また、包蔵地地図のインターネット閲覧システムを、本市が運用する既存のGISシステムを活用し、構築する。

1. 包蔵地出土遺物等資料の整理 850 千円

包蔵地における発掘調査で確認された出土遺物や検出遺構に関する資料整理を行う。

・埋蔵文化財包蔵地資料整理業務委託 200 件

(拡) 2. 包蔵地地図のインターネット閲覧システムの構築 1,221 千円

包蔵地地図のインターネット閲覧システムを、本市が運用する既存のGISシステムを活用し、構築する。

・埋蔵文化財包蔵地地図閲覧システム構築業務

教育費

事業名	藤澤浮世絵館運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 06 説明 02			郷土歴史課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	11,890				3,848	8,042
令和4年度	11,989				4,112	7,877
対前年度	△ 99				△ 264	165
特定財源の内訳	(その他)	文化振興基金繰入金				2,554
		広告料収入				4
		浮世絵館関連グッズ売上収入				1,290

【事業概要】

浮世絵をはじめとする市所蔵の郷土歴史及び文化に関する資料を展示公開することにより、市民の郷土への愛着を育み、文化の向上に寄与するため、藤澤浮世絵館の運営管理を行う。

1. 展示等事業 10,075 千円
 - ・年6回の展示（「FUJISAWA LEGACY ENOSHIMA UKIYO-E 江の島浮世絵と富士山伝説の宝庫～藤沢・江の島～」ほか）
 - ・展示に伴う講座、みどころ解説、ワークショップなどの実施
 - ・藤澤浮世絵館グッズの作成
 - ・アートスペースと連携したアウトリーチ事業の実施
 - ・藤澤浮世絵館運営委員会の開催
2. 施設管理、運営費 1,815 千円
 - ・電信電話料、光熱水費、清掃委託料、PC賃借料、ビジネスホン賃借料等



展示の様子



学芸員によるみどころ解説



浮世絵すり体験



こども浮世絵しんぶん

教育費

事業名	文化財収蔵庫整備事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 08 説明 03			郷土歴史課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	4,342			0	0	4,342
令和4年度	221,978			175,400	30,906	15,672
対前年度	△ 217,636			△ 175,400	△ 30,906	△ 11,330

【事業概要】

収集した文化財を確実に後世へと継承し活用していくため、市内各所に分散し、かつ老朽化している収蔵施設を集約し、文化財を適正に整理・保管できる施設整備を行う。

令和5年度は、仮収蔵施設（旧村岡保育園・旧南市民図書館）にて収蔵品を保管し、整理を進めるとともに、仮収蔵施設の維持管理を行う。

なお、新収蔵庫については、第3次公共施設再整備プランの実施事業として位置付け、令和4年度に解体を終えた第1収蔵庫及び隣接する旧あずま保育園の跡地への整備を予定していたが、物価高騰等の影響により建設費の大幅増が見込まれることが明らかになった。このことを受け、収蔵品の効率的な整理及び適正な保管だけでなく、より多くの市民が文化財に触れる機会を提供することにより、郷土愛の醸成が図られるよう、改めてその機能や建設予定地も含めて見直しの検討を行う。

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1. 仮収蔵施設の維持管理 | 3,064 千円 |
| ・ 光熱水費 | 2,480 千円 |
| ・ 手数料（樹木剪定・消防設備点検） | 409 千円 |
| ・ 警備委託料 | 175 千円 |
| 2. 収蔵品の整理 | 1,278 千円 |
| ・ 報償費（外部の専門家による調査、アドバイス） | 600 千円 |
| ・ 消耗品費 | 370 千円 |
| ・ 手数料（収蔵品の移動・廃棄） | 308 千円 |

教育費

事業名	公民館事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 2 細目 02 説明 01	生涯学習総務課・13公民館				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	28,970				30	28,940
令和4年度	29,045				30	29,015
対前年度	△75				0	△75
特定財源の内訳	(その他)	公民館陶芸窯燃料代収入				30

【事業概要】

市民の学習活動の支援・促進を図るため、市内13公民館において、社会教育事業の企画実施等、公民館運営を行い、さまざまな分野の学習機会や自主的な活動の場等を提供する。

1. 公民館事業に係る事務経費等（生涯学習総務課） 4,530千円
事業用旅費、消耗品、海洋科学教室業務委託、公民館事業用バスの使用、公民館事業用著作権の使用
2. 公民館事業に係る経費等（13公民館） 24,440千円
講師等謝礼、消耗品、印刷製本、ピアノ調律、公民館まつり等業務委託、印刷機、DVD等賃貸借

公民館別予算額

公民館名	金額	公民館名	金額
藤沢	1,486千円	遠藤	2,086千円
鶴沼	1,946千円	長後	1,914千円
御所見	1,950千円	明治	1,938千円
片瀬	1,834千円	善行	1,906千円
村岡	1,512千円	湘南大庭	1,828千円
六会	1,953千円	湘南台	2,065千円
辻堂	2,022千円	合計	24,440千円



公民館事業の様子（片瀬公民館 わくわく教室）

教育費

事業名	村岡公民館改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 2 細目 03 説明 01			村岡公民館		
指針体系コード	2-3-171	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	154,849	25,960		121,800	6,183	906
令和4年度	880,553	328,000		463,300	88,979	274
対前年度	△ 725,704	△ 302,040		△ 341,500	△ 82,796	632
特定財源の内訳	(国庫支出金)	都市構造再編集中支援事業費補助金				25,960
	(地方債)	社会教育施設等整備事業債				121,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				6,183

【事業概要】

老朽化とバリアフリー環境の改善を図るため、公共施設再整備基本方針に基づき複合施設として移転し、再整備を行う。

令和4年度に完了した実施設計に基づき、令和5年度から3カ年度で進める工事に着手し、公民館及び消防第6分団器具置場の建設を行う。

1. 事業費	154,575 千円
(1) 改築工事費【継続費】	134,970 千円
(2) 委託料	15,712 千円
①事前家屋調査委託	13,420 千円
②工事監理委託【継続費】	2,292 千円
(3) 手数料	3,761 千円
①既存アスベスト調査（資料調査）	545 千円
既存アスベスト調査（分析調査）	2,287 千円
②事前電波障害調査	429 千円
③建設現場草刈り作業	500 千円
(4) 工事負担金	
水道利用加入金	132 千円

2. 事務経費	274 千円
①消耗品費（地域住民等への情報提供等）	
・事業進捗状況を掲載したリーフレット「村岡公民館の再整備について」を地区内全戸配布を行う。	198 千円
・会議資料及びチラシ用紙類他消耗品等一式	67 千円
②報償費	
・会議対応保育ボランティア謝礼	9 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

	5年度	6年度	7年度	合計
村岡公民館改築工事費	134,970	1,322,827	2,110,053	3,567,850
工事監理委託費	2,292	22,487	35,864	60,643

3. スケジュール概略

2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
基本設計（13カ月）		実施設計（12カ月）			
		予算調整、工事発注、議会承認等		建築工事（予定）	
			供用開始（予定）		

教育費

事業名	図書館情報ネットワーク事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 3 細目 01 説明 05			総合市民図書館		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	41,573	0			1,000	40,573
令和4年度	56,424	17,072			798	38,554
対前年度	△ 14,851	△ 17,072			202	2,019
特定財源の内訳	(その他)	文化振興基金繰入金				1,000

【事業概要】

効率的かつ効果的な4市民図書館・11市民図書室の運営及びサービスの充実を図るため、4市民図書館・11市民図書室に設置されている藤沢市図書館情報システムの整備及びデータベース検索等の環境整備並びに県内公立図書館及び市内4大学との協力体制を推進する。
また、電子図書サービスの充実を図るための環境整備を行う。

- 図書館情報システム保守管理 36,280 千円
図書館サービスの強化とセキュリティ確保のため、藤沢市図書館情報システムの保守管理を行う。
 - ・消耗品費、物品修繕費 1,513 千円
 - ・市民図書館、市民図書室設置端末賃貸借料 34,767 千円
- データベース記事検索用環境整備 805 千円
総合市民図書館の新聞・雑誌等のデータベース記事検索の環境を整備する。
- 利用者、職員のインターネット検索用環境整備 1,085 千円
利用者及び職員による情報収集を目的としたインターネット検索の環境を整備し、セキュリティの強化を図る。
- 電子図書サービス保守管理等 3,403 千円
電子図書サービス充実を図るため、コンテンツの追加購入と電子図書サービスの保守管理を行う。
 - ・電子図書コンテンツの追加購入 1,687 千円
 - ・電子図書サービス クラウド利用料 1,716 千円

教育費

事業名	総合市民図書館市民運営費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 3 細目 01 説明 06			総合市民図書館		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	255,865					255,865
令和4年度	255,866					255,866
対前年度	△ 1					△ 1

【事業概要】

効率的かつ効果的な図書館の運営及びサービスの充実を図るため、南市民図書館、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営業務を委託する。

- 図書館運営業務委託料 255,865 千円
南市民図書館、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館について、地域の特色を生かした運営業務を、委託により実施する。

教育費

事業名	子ども読書活動推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 3 細目 05 説明 01			総合市民図書館		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	3,175					3,175
令和4年度	3,278					3,278
対前年度	△ 103					△ 103

【事業概要】

「藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの豊かな心と健やかな成長を育むため、子ども（おおむね18歳以下）及び子どもの読書活動推進に関わる人を対象に、子どもが本に出会い、楽しみ、親しめる機会を提供し、子どもと本に関わる豊かな環境の整備を進めるための事業を実施する。

1. 幼児と保護者を対象としたブックスタート事業の実施 3,055 千円
 ボランティアの協力により、1歳6カ月児健診時に幼児とその保護者に対して、絵本の読み聞かせを行うとともに、絵本1冊と子育て支援に関する資料を入れたブックスタートパックを手渡す。
 ・南、北保健センターにて年48回実施、対象者約3,550人
2. 子どもの読書活動に関わるボランティアの交流会・研修会等の実施 60 千円
 ・図書館、図書室おはなし会ボランティア連絡会、研修会 年5回実施
 ・ブックスタートボランティア交流会、研修会 年2回実施
3. 子どもの読書活動推進のための市民向け啓発講座、講演会の開催 60 千円
 ・年3回実施



ブックスタート事業の様子

教育費

事業名	アートスペース運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 03			文化芸術課		
指針体系コード	5-4-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	16,079				8,186	7,893
令和4年度	15,171				5,980	9,191
対前年度	908				2,206	△ 1,298
特定財源の内訳	(その他)	アートスペース使用料				552
		文化振興基金繰入金				6,489
		市政有償刊行物頒布実費収入				50
		アートスペース関連グッズ売上収入				675
		アートスペース有料展覧会観覧料				420

【事業概要】

藤沢市アートスペースの運営管理を行い、若手芸術家等の美術作品の創作や展示・発表を支援するとともに、市民に身近な場所で美術の魅力に触れる機会及び美術学習の場を提供し、美術の振興を図る。

1. 事業運営費 12,885 千円

- ・若手芸術家の創作活動及び展示・発表等の支援
藤沢ゆかりの若手芸術家の展覧会、全国からの公募により選出した若手芸術家による公開制作及び制作作品の展示を行う。
- ・身近な美術鑑賞の機会の提供
本市所蔵の招き猫亭コレクションと若手芸術家の企画展を開催する。
- ・美術作品の展示・発表の場の提供
展示ルームを貸し出し、地域で活動する作家の個展やグループの作品発表の場を提供する。
- ・美術学習の場の提供
子ども向けを中心としたワークショップやさまざまな世代が楽しめる美術講座等を開催し、市民に体験的、学問的な美術学習の場を提供する。
- ・公民館等との連携事業
公民館との共催事業として、市内に設置されたパブリックアートを巡るイベントや、本市所蔵作品数点を公民館にて紹介する「移動美術館」、浮世絵館と連携したアウトリーチ事業を実施する。
- ・パブリックアートの保全
パブリックアートを綺麗に磨き上げる「まちの彫刻ピカピカプロジェクト」の実施及び修繕を行う。

2. 施設管理、運営費 3,194 千円

光熱水費、清掃委託、機器賃借料、電話料等

教育費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 02 説明 01			文化芸術課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	121,426					121,426
令和4年度	131,535					131,535
対前年度	△ 10,109					△ 10,109

【事業概要】

文化芸術創造の活性化及び市民文化活動の支援・育成を図るため、公益財団法人藤沢市みらい創造財団に対し補助を行う。

1. (公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化振興事業補助金 121,426 千円
 ゆとりと潤いの実感できるこころ豊かな市民生活の実現とともに、次世代の育成を図るため、芸術鑑賞事業や体験、発表事業等を実施する。
 - ・音楽、演劇等を鑑賞する機会の提供
藤沢市民オペラ、落語公演、ジャズ公演等
 - ・芸術文化の創造の機会の提供
学校訪問事業、ワークショップ等
 - ・芸術文化の普及
ロビーコンサート、ワンコインコンサート等
 - ・地域における芸術文化及び伝統文化の継承
藤沢市展 日程：6月20日～7月9日
会場：藤沢市民ギャラリー
ふじさわ合唱祭、市民川柳大会等



藤沢市民オペラ 「ラ・ボエーム」

教育費

事業名	ビーチバレー大会開催関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 04			スポーツ推進課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	9,500				3,000	6,500
令和4年度	9,500				3,000	6,500
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	スポーツ拠点づくり推進事業助成金				3,000

【事業概要】

広く市民を対象として、「観るスポーツ」の機会を提供するため、ビーチバレー発祥の地である鵜沼海岸ビーチバレーコートにおいて「第37回ビーチバレージャパン」を開催する。

また、湘南の地域特性を生かした生涯スポーツ活動の推進及びビーチバレー競技人口の底辺拡大を図るとともに、中学生の夢や希望を育むためのビーチバレー県大会と、その上位チームに加え全国の予選を勝ち抜いた中学生を対象とした全国大会を同会場にて開催する。

- 第37回ビーチバレージャパン（開催負担金） 4,800 千円
開催月：8月（3日間）（予定）
主 管：ビーチバレージャパン実行委員会
- 第17回神奈川県中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 900 千円
開催月：7月（1日間）（予定）
主 管：神奈川県中学生ビーチバレー大会実行委員会
- 第14回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 3,800 千円
開催月：8月（2日間）（予定）
主 管：湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会実行委員会



ビーチバレージャパン



湘南藤沢カップ
全国中学生ビーチバレー大会

教育費

事業名	スポーツ都市宣言推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 03 説明 01			スポーツ推進課		
指針体系コード	5-5-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	市民参加型東京2020大会のレガシー創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	51,519		2,803			48,716
令和4年度	3,802		0			3,802
対前年度	47,717		2,803			44,914
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				2,803

<拡充事業> プロスポーツチーム地域交流事業

【施策等を必要とする背景】

生涯に渡って健康で豊かなスポーツライフを実現するため、「健康寿命日本一の推進」「スポーツ活動の充実」「共生社会の推進」「まちのにぎわい創出」を目標とするスポーツ都市宣言の理念のもと、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」スポーツを楽しめる環境づくりをするため、スポーツ推進計画に位置付けた各施策を推進する。

【提案に至るまでの経緯】

スポーツ都市宣言及び「スポーツ推進計画2029」に基づく事業を実現するため、これまで個別事業費で実施していた（公財）藤沢市みらい創造財団への委託事業をはじめとする各種事業を一体的に実施できるよう、事業費の統合を行った。

また、本市を拠点とするプロスポーツチームを支援することにより、藤沢市内に定着化させるとともに、市民から愛されるチームとなるよう、市民との交流事業を積極的に行う必要がある。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

実施する事業については、その多くが広く市民を参加対象とするものであり、気軽に参加できる体験型や、継続的に参加する教室型など、多岐にわたる事業を実施していく。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・スポーツ都市宣言（令和3年10月1日制定）
- ・スポーツ推進計画2029（令和4年4月1日策定）

【将来にわたる効果及び費用】

「スポーツ推進計画2029」に基づく事業を展開していくことで、将来的に「まちのにぎわいの創出」により経済の活性化、地域交流の促進等を生み出すことができる。

また、プロスポーツチームと市民との地域交流事業を実施することで、地元チームとしての定着化と地元愛が醸成され、相乗的にスポーツ活動を通じた市民満足度の充実が図られる。

【事業概要】

スポーツ都市宣言の理念に基づき、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境を整備するとともに、「する」「観る」「支える」スポーツをさらに推進し、将来にわたり、まちなぎわい創出、経済の活性化、地域交流の促進に繋げることができるよう各種事業を実施する。

1. スポーツ事業の実施 51,519 千円

スポーツを楽しむ市民であふれ、生き生きとしたにぎわい豊かなまちとなるための「する」「観る」「支える」スポーツに関する各種事業を実施する。

- ・スポーツ事業業務委託 42,431 千円
(前年度の「(公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費」と統合)
- ・市民総合体育大会継承大会開催業務委託 1,398 千円
(前年度の「各種大会・選手派遣事業費」から統合)
- ・スポーツまつりふじさわ2023開催業務委託 1,309 千円
(前年度の「各種大会・選手派遣事業費」から統合)
- (拡) ・プロスポーツチーム地域交流事業業務委託 3,006 千円
プロスポーツチーム(湘南ベルマーレ、神奈川フューチャードリームス、湘南ユナイテッドBC)による地域交流事業(体験型形式の教室の実施)を行うことで、さらなるファンの拡大と、一人でも多くの市民がスポーツに親しむきっかけづくりとする。
- ・都市宣言総合推進事業業務委託 2,500 千円
- ・「スポーツシンポジウム」開催業務委託 500 千円
- ・インクルーシブスポーツ推進事業業務委託 375 千円



都市宣言総合推進事業
(FUJISAWA SPORTS PARK)



おはよう！キュンとするまち。藤沢
ラジオ体操2022
～めざそう健康寿命日本一～

教育費

事業名	スポーツ施設整備費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 2 細目 01 説明 01			スポーツ推進課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	197,428	21,000		0	40,293	136,135
令和4年度	72,978	10,900		25,700	1,661	34,717
対前年度	124,450	10,100		△ 25,700	38,632	101,418
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特定防衛施設周辺整備調整交付金				21,000
	(その他)	八部公園野球場防護マット改修事業寄附金				3,000
		スポーツ振興基金繰入金				37,293

<拡充事業> スポーツ施設再整備検討に係る基礎調査業務委託の実施

【施策等を必要とする背景】

本市のスポーツ施設は、いずれも建設から25年以上を経過し施設の老朽化が進んでおり、この間スポーツ施設を取り巻く環境や、新たなアーバンスポーツの台頭など、市民のスポーツ施設へのニーズも変化してきている。

スポーツ施設を取り巻く現状や市民ニーズ等を把握し、今後の市内スポーツ施設全体のあり方について検討するため、スポーツ施設再整備検討に係る基礎調査を実施する。

【提案に至るまでの経緯】

時代に即したスポーツ施設のあり方を本市全体のまちづくりの動向や市民の意見・関係団体からの要望などを踏まえ検討するための基礎調査と、緊急性・安全性など総合的な観点から、中・長期的なスポーツ施設整備計画を策定するための劣化度調査を実施する必要がある。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

基礎調査の中で市民アンケートを実施し、スポーツ施設に対する市民ニーズを把握することで、今後のスポーツ施設のあり方を検討する際の参考とする。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・北部第二（三地区）土地区画整理事業に基づく秋葉台公園整備計画（平成11年度）

【将来にわたる効果及び費用】

スポーツ施設再整備検討に係る基礎調査及び劣化度調査を実施することで、スポーツ都市宣言の理念に基づく安全・安心なスポーツ環境の充実とスポーツ施設の利用促進が図られる。

【事業概要】

スポーツ都市宣言の基本理念のもと、市民が安心して利用できるスポーツ施設を維持していくために、施設の整備・改修及び施設修繕等を実施する。

また、市内スポーツ施設全体の今後のあり方について検討を行うための基礎調査と、スポーツ施設の中・長期的な整備計画を策定するための劣化度調査を行う。

1. 市内スポーツ施設の維持、修繕に係る経費	10,132 千円
(1) 維持・補修用修繕費、手数料	6,400 千円
・ 緊急用施設修繕費	5,400 千円
・ 緊急用補修手数料	1,000 千円
(2) 八部公園野球場コートローラー賃借料（再リース）	63 千円
(3) 葛原スポーツ広場土地賃借料	3,669 千円
2. 大規模維持補修工事や備品購入等の経費	109,197 千円
(1) 維持補修工事、関連経費	69,628 千円
・ 秋葉台文化体育館 1 階ロビー正面窓改修工事	47,696 千円
・ 八部公園野球場防護マット等改修工事	21,890 千円
・ 工事設計図書印刷製本費	42 千円
(2) 備品購入費	39,569 千円
・ 屋内用移動式電光掲示板（2 枚）	20,233 千円
・ 秋葉台公園球技場固定式電光掲示板	15,840 千円
・ バレーボール用支柱、ネット（4 セット）	1,802 千円
・ 卓球台（5 台）	1,694 千円
3. 八部公園野球場防護マット等改修工事に伴うクラウドファンディング実施に伴う経費	1,350 千円
(拡) 4. スポーツ施設再整備に係る調査費用	76,749 千円
・ スポーツ施設再整備検討に係る基礎調査業務委託	18,922 千円
・ 秋葉台公園施設劣化度調査業務委託	57,827 千円

北部第二（三地区）土地区画整理事業費

事業名	北部第二（三地区）土地区画整理事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	北部区画整理事務所
指針体系コード				まちづくりテーマ		
				重点施策名		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	2,863,081	202,356	59,201	608,500	1,687,824	305,200
令和4年度	2,732,390	203,500	67,500	549,400	1,516,940	395,050
対前年度	130,691	△ 1,144	△ 8,299	59,100	170,884	△ 89,850
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				202,356
	(県支出金)	都市計画事業費補助金				59,201
	(地方債)	都市計画事業債				608,500
	(その他)	一般会計繰入金				1,687,824

【事業概要】

地区内住民の快適で良好な生活環境を確保するとともに産業の集積を進めるため、住宅と産業が共存できる土地利用を図り、都市計画道路等の整備による交通体系の確立、公園・下水道等の都市基盤の整備による健全な市街地を形成する。

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------------|------------|
| 1. 業務委託費 | | 598,222 千円 |
| 測量管理委託、建物等調査委託、埋蔵文化財確認調査委託等 | | |
| 2. 工事費 | | 475,035 千円 |
| 街路築造工事 | 1,810 m | |
| 宅盤造成工事 | 19,349 m ² | |
| 3. 補償費 | | 875,700 千円 |
| 建物移転 | 16戸 20棟 | |
| 用地補償 | 15.5 ha | |
| 4. 工事負担金 | | 209,200 千円 |
| 給水管移設 | φ100/L=1,191 m
φ150/L=415 m | |
| 東電柱等移設 | 電柱移設等 N=14本 | |
| 下水道事業受益者負担金 | 下水道を使用開始している宅地に対する受益者負担金 | |
| 5. 補修費 | | 42,180 千円 |
| 舗装修繕、道路構造物修繕等 | | |
| 6. 事務費 | | 220,615 千円 |
| 給与費、審議会運営費、一般事務費 | | |
| 7. 公債費 | | 442,029 千円 |
| 公債費内訳 | 元金 | 425,886 千円 |
| | 利子 | 14,863 千円 |
| | 一時借入金利子 | 1,280 千円 |
| 8. 予備費 | | 100 千円 |

墓園事業費

事業名	墓園事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	福祉総務課
指針体系コード	4	1	1	1	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める
					重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	528,477				113,831	414,646
令和4年度	600,117				167,425	432,692
対前年度	△ 71,640				△ 53,594	△ 18,046
特定財源の内訳	(その他)	墓園基金繰入金				100,752
		カロート実費収入				12,303
		利子及び配当金				276
		墓地使用許可証再交付等手数料				500

【事業概要】

緑豊かで快適に利用できる公園墓地として大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理を行うとともに、墓地の貸付業務等を行い、墓地需要への対応を図る。

1. 墓園管理費 363,587 千円
 公園墓地としての大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理に要する経費
 (主な経費)
 - 墓園墓所管理等業務委託 43,916 千円
 - 園内清掃等業務委託 53,905 千円
 - 機械警備業務委託 198 千円
 - 自家用電気工作物保安管理業務委託 459 千円
 - 管理業務委託 (A区、B区、C区、D区) 195,316 千円
 - 墓地管理料納入通知書封入封緘業務委託 836 千円
 - 普通墓地測量業務委託 3,050 千円
 - 光熱水費 (電気・上下水道代) 8,754 千円

2. 墓園事業費 123,506 千円
 - (1) 貸付事務費 10,451 千円
 墓所使用者募集及び貸付事務、電算機器の賃借料等に要する経費
 大庭台墓園管理システム機器賃借料等

 - (2) 工事費 113,055 千円
 大庭台墓園の環境整備を図るための経費
 - 外周フェンス改修工事 6,812 千円
 - 芝生墓地カロート設置工事 12,303 千円
 - 管理事務所屋根防水等改修工事 60,676 千円
 - 立体墓地再整備設計委託 33,264 千円

3. 基金積立金 38,034 千円
 大庭台墓園基金条例第2条及び第4条に基づく基金積立金及び積立金利子

4. 諸支出金 2,850 千円
 墓地永代使用料等還付金

5. 予備費 500 千円

国民健康保険事業費

事業名	国民健康保険事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	保険年金課・健康づくり課
指針体系コード				まちづくりテーマ		
				重点施策名		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	39,351,346	1,000	26,352,768		3,641,095	9,356,483
令和4年度	38,663,961	1,000	26,463,203		3,357,773	8,841,985
対前年度	687,385	0	△ 110,435		283,322	514,498
特定財源の内訳	(国庫支出金)	災害臨時特例補助金				1,000
	(県支出金)	保険給付費等交付金				26,352,768
	(その他)	利子及び配当金				300
		一般会計繰入金				3,364,580
		国民健康保険事業運営基金繰入金				276,215

【事業概要】

国民健康保険法に基づき、藤沢市国民健康保険加入者を対象に、健康の保持増進と生活の安定を図るため、療養の給付や療養費・高額療養費・出産育児一時金・葬祭費等の保険給付事業や特定健康診査、特定保健指導等の保健事業等を行う。

1. 被保険者数 79,000人 (27,800人)
 (1) 一般被保険者 79,000人 (27,800人)
 (2) 退職被保険者 0人 (0人)
 ※ () 内は介護保険第2号被保険者数

2. 加入世帯数 53,800世帯 (24,000世帯)
 (1) 一般被保険者 53,800世帯 (24,000世帯)
 (2) 退職被保険者 0世帯 (0世帯)
 ※ () 内は介護保険第2号被保険者の属する世帯数

3. 保険料賦課現年度内訳 (※後期分＝後期高齢者支援金分)

一般被保険者分		(千円)					
	所得割	均等割	平等割	軽減見込額	調定見込額	収納率	予算計上額
医療分	3,811,741	2,110,071	884,868	695,805	6,110,875	90.0%	5,499,787
介護分	605,392	335,128	140,538	96,312	984,746	90.0%	886,271
後期分	1,592,632	881,636	369,718	289,489	2,554,497	90.0%	2,299,047

被保険者1人当たり現年度調定見込額 医療分 77,353円
 介護分 35,423円
 後期分 32,335円

介護保険事業費

事業名	介護保険事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	介護保険課 ほか3課
指針体系コード	2-1-61	まちづくりテーマ	重点施策名	健康で豊かな長寿社会をつくる		
				地域共生社会の実現に向けた取組の推進		
	2-2-31	まちづくりテーマ	重点施策名	健康で豊かな長寿社会をつくる		
				健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	33,417,283	7,004,874	4,606,803		14,689,989	7,115,617
令和4年度	31,816,763	6,830,702	4,444,192		13,331,058	7,210,811
対前年度	1,600,520	174,172	162,611		1,358,931	△ 95,194
主な特定財源の内訳	(国庫支出金)	介護給付費負担金				5,636,769
	(県支出金)	介護給付費負担金				4,409,737
	(その他)	介護給付費交付金				8,346,330
		一般会計繰入金				5,206,389

【事業概要】

介護保険法に基づき、介護保険事業の円滑な運営を図るため、被保険者の資格管理及び保険料の賦課徴収並びに介護認定の審査を実施し、要介護（要支援）認定を受けた人に対して、介護（予防）サービスを提供する。また、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組として、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）をはじめとする地域支援事業を実施し、介護予防を進めるとともに、高齢者が地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援の充実を図る。

さらに、市民サービスの維持・向上を図ることを目的に、介護保険課業務の一部を窓口業務等協働事業として実施する。

1. 被保険者数

区分	人数
第1号被保険者	112,171人
第2号被保険者	159,436人
合計	271,607人

※いきいき長寿プランふじさわ2023計画値

2. 要介護・要支援認定者数

要介護者等は、第1号被保険者のうち65歳以上で介護や支援が必要な人及び第2号被保険者のうち40歳以上65歳未満で特定疾病により、介護や支援が必要な人

区分	人数	うち要介護者	うち要支援者
第1号被保険者	21,584人	13,517人	8,067人
第2号被保険者	485人	353人	132人
合計	22,069人	13,870人	8,199人

※いきいき長寿プランふじさわ2023計画値

3. 第1号被保険者保険料賦課総額 7,105,343 千円
 保険料基準額（年額） 66,000円（5,500円×12月）

4. 保険給付費の総額 30,928,700 千円

- (1) 居宅介護サービス給付費 15,829,200 千円
- (2) 地域密着型介護サービス給付費 5,040,700 千円
- (3) 施設介護サービス給付費 7,699,400 千円
- (4) 介護予防サービス給付費 868,100 千円
- (5) 地域密着型介護予防サービス給付費 46,100 千円
- (6) 特定入所者介護サービス費 420,600 千円
- (7) 高額介護サービス費 990,700 千円
- (8) 審査支払手数料 33,900 千円

5. 地域支援事業費の総額	1,530,744 千円
(1) 介護予防・日常生活支援総合事業	1,467,410 千円
要支援認定を受けた人及び基本チェックリストにより事業対象者に該当した人に対し、介護予防・生活支援サービス事業を実施するとともに、すべての第1号被保険者等を対象に一般介護予防事業を行う。	
ア 訪問型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）	372,140 千円
イ 通所型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）	917,153 千円
ウ 介護予防ケアマネジメント費（介護予防・生活支援サービス事業）	152,077 千円
エ 高額介護予防サービス費等相当事業費	6,041 千円
オ 一般介護予防事業費	15,729 千円
カ 審査支払手数料	4,270 千円
(2) 包括的支援事業	16,817 千円
ア 認知症総合支援事業費	2,550 千円
認知症の人及びその家族に対する早期支援等、認知症施策を推進する。	
イ 在宅医療・介護連携推進事業費	11,038 千円
在宅医療推進会議の開催、多職種研修会や在宅医療拠点運営事業を行う。	
ウ 地域ケア会議運営事業費	3,229 千円
多職種協働による事例検討や地域課題を共有するため、地域ケア会議を開催する。	
(3) 任意事業	46,517 千円
ア 介護給付費等適正化事業費	10,224 千円
介護保険サービス利用者への介護給付費の通知のほか、ケアマネジメントの質の向上を図るため、ケアマネジャー等に対する支援及びケアプラン点検を実施するとともに、リハビリテーション専門職による住宅改修及び福祉用具貸与点検を実施する。	
イ 介護サービス相談員派遣事業費	4,974 千円
介護保険サービス利用者の日々の生活での不安や疑問等に対応するため、介護保険施設等に介護サービス相談員を派遣する。	
ウ 成年後見制度利用支援事業費	28,353 千円
判断能力が十分でない認知症高齢者等の権利を守るため、成年後見制度利用のための相談支援や市長申立てによる審判請求、制度の普及啓発事業を行う。	
エ 家族介護者教室事業費	2,145 千円
高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場として、家族介護者教室を開催する。	
オ 住宅改修支援事業費	144 千円
住宅改修制度の円滑な利用を図るため、ケアプラン作成実績がない人の住宅改修に係る理由書を作成したケアマネジャー等に対し、作成手数料を支払う。	
カ 認知症サポーター養成事業費	677 千円
認知症を正しく理解し、偏見を持たず、地域において認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成する。	
6. 窓口業務等協働事業業務委託	178,372 千円
各種申請受付事務、当該申請に係るシステム入力などの補助的業務及び窓口・電話対応、運営管理マニュアル、業務フロー及びマニュアルの更新、月次及び年次報告書の作成、モニタリング指標の測定、内部監査を協働事業として実施する。	
7. 一般会計への繰出金	132,497 千円
重層的支援体制整備事業の実施に伴い、一般会計に移行する事業に係る保険料負担相当額の繰出しを行う。	

後期高齢者医療事業費

事業名	後期高齢者医療事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	保険年金課
指針体系コード				まちづくりテーマ		
				重点施策名		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	7,079,683				7,079,683	
令和4年度	7,014,271				7,014,271	
対前年度	65,412				65,412	
特定財源の内訳	(その他)	後期高齢者医療保険料・延滞金				6,172,577
		保険基盤安定繰入金				814,073
		運営費繰入金				72,633
		保険料還付金・還付加算金				20,400

【事業概要】

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、75歳以上の者及び65歳から74歳までの一定の障がいのある後期高齢者医療制度加入者を対象に、医療給付事業等を行う。事業主体は神奈川県後期高齢者医療広域連合となり、市町村事務として各種申請受付及び保険料の徴収を行う。

1. 総務費 70,633 千円
 (内訳) 給与費 36,663 千円
 一般管理運営費 13,895 千円
 徴収費 20,075 千円
2. 後期高齢者医療広域連合納付金 6,986,650 千円
 徴収した保険料及び保険基盤安定制度拠出金を神奈川県後期高齢者医療広域連合へ納付する。
3. 諸支出金 20,400 千円
 過年度に徴収した保険料が過誤納になった場合に返還する。
4. 予備費 2,000 千円
5. 被保険者数 61,970人

下水道事業費

事業名	下水道事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	下水道総務課 ほか3課
指針体系コード	5	1	8	1	まちづくりテーマ 重点施策名	未来を見据えてみんなではじめる 豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	22,958,424	1,621,210		3,451,400	4,615,072	13,270,742
令和4年度	19,857,442	709,510		2,487,800	4,458,107	12,202,025
対前年度	3,100,982	911,700		963,600	156,965	1,068,717
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				1,621,210
	(地方債)	公共下水道債				3,442,000
		流域下水道債				9,400
	(その他)	一般会計負担金				4,490,178
一般会計出資金				124,894		

【事業概要】

市民が健康で安全かつ快適な生活を送れるよう、雨水の排除による浸水の防除、生活環境の改善及び公共用水域の水質の保全を図るため、下水道の整備及び維持管理を行う。

また、アセットマネジメント手法に基づき、「ふじさわ下水道中期経営計画」における事業計画を着実に実施し、独立採算制を原則とする健全経営を図る。

1. 収益的支出の主な事業 13,125,617 千円

(1) 管渠維持管理事業 1,359,509 千円

下水道管路の点検・調査（延長300km）及び浚渫清掃等業務委託、管渠・取付管及びマンホール蓋の修繕、ストックマネジメント計画実施に基づく計画的な管路調査・診断委託、包括的民間委託ほか

(2) ポンプ場・浄化センター維持管理事業 4,875,975 千円

ポンプ場及び浄化センターの維持管理に係る業務委託、予防保全等の修繕工事、ストックマネジメント計画実施に基づく計画的な点検・調査、包括的民間委託ほか

(3) 水洗便所普及促進事業 24,269 千円

下水道フェアなどの下水道PR活動、水洗化促進

(4) 減価償却費、支払利息等 6,865,864 千円

2. 資本的支出の主な事業 9,832,807 千円

(1) 南部及び東部管渠建設事業 1,286,273 千円

辻堂南部放流管築造工事（その4）（令和3年度～令和5年度）

合流管路（新設）延長136m

辻堂南部放流管流入管渠築造工事（令和4年度～令和5年度）

合流管路（新設）延長46mほか

マンホール浮上防止対策検討委託ほか

(2) ポンプ場建設事業 297,300 千円

藤が谷ポンプ場車路上屋改築工事、今田ポンプ場他耐震診断委託ほか

(3) 浄化センター建設事業 4,039,958 千円

辻堂浄化センター雨水滞水池建設工事委託、辻堂浄化センター雨水滞水池機械電気等工事委託、大清水浄化センター電気計装設備改築工事ほか

(4) 新市街地下下水道建設事業 288,981 千円

土地区画整理事業施行区域における汚水及び雨水管渠築造工事

北部第二（三地区） 汚水管路（新設）延長 890m

雨水管路（新設）延長 1,072m

(5) 相模川流域下水道建設事業 158,070 千円
 用田地内污水管渠築造工事 污水管路（新設）延長 220 m ほか

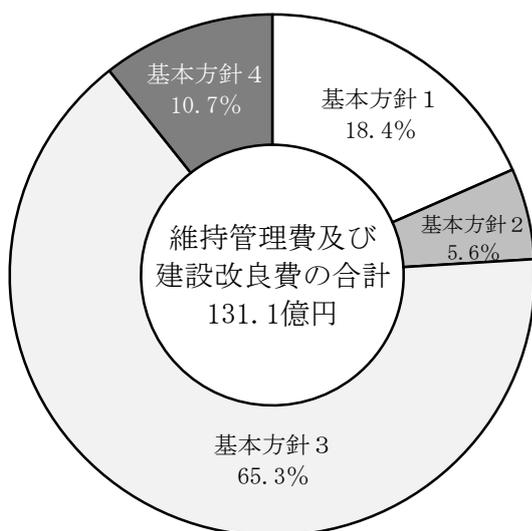
(6) 企業債償還金等 3,762,225 千円

3. ふじさわ下水道中期経営計画における経営計画目標

経営計画目標	令和5年度目標値
流動比率を100%に近づけます	77.4 %
経費回収率を100%以上とします	102.0 %
一般会計繰入金は負担区分に基づく適正額を維持します	47.1 億円
企業債残高対事業規模比率を350%以内に抑制します	275.6 %

4. ふじさわ下水道中期経営計画の基本方針別事業費割合（維持管理費及び建設改良費）

収益的支出のうち 維持管理費	69.6億円
資本的支出のうち 建設改良費	61.5億円
合計	131.1億円



基本方針1	元気な下水道を次の世代へ
【施策1】	効果的・効率的なストックマネジメント運用体制の構築
【施策2】	ストックマネジメント実施方針の着実な推進
【施策3】	将来を見据えた下水道施設の最適化
基本方針2	自然災害にまけないまちづくり
【施策4】	効率的な浸水対策施設整備の推進
【施策5】	浸水被害最小化に向けたソフト対策及び自助・共助による取組
【施策6】	下水道施設の計画的な地震・津波対策の推進（ハード対策）
【施策7】	大規模地震に備えた事前予防対策の導入と推進（ソフト対策）
基本方針3	美しく豊かな環境づくり
【施策8】	放流水質の適正維持
【施策9】	雨天時リスク対策の推進
【施策10】	新エネルギー等の導入・活用の検討・推進
【施策11】	循環型社会に向けた資源の再利用
【施策12】	市街化調整区域などにおける汚水処理の促進
基本方針4	未来へつづく下水道サービス
【施策13】	健全経営に向けた財政基盤の強化
【施策14】	持続可能な運営体制・組織基盤の強化
【施策15】	くらしを支える下水道の「見える化」の推進



辻堂浄化センター施設見学会



辻堂南部放流管築造工事（その4）施工状況

市民病院事業

事業名	市民病院事業					
予算科目	款	項	目	細目	説明	病院総務課
指針体系コード				まちづくりテーマ		
				重点施策名		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和5年度	24,593,609	14,572	83,021	609,200	1,777,006	22,109,810
令和4年度	24,084,899	14,572	83,125	249,900	1,764,147	21,973,155
対前年度	508,710	0	△104	359,300	12,859	136,655
特定財源の内訳	(国庫支出金)	臨床研修費等補助金				14,572
	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金事業費補助金 (小児救急医療拠点病院運営事業)				46,227
		地域医療介護総合確保基金事業費補助金 (産科医師等分娩手当補助事業)				1,800
		地域医療介護総合確保基金事業費補助金 (新人看護職員職場内研修事業費補助事業)				1,282
		がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金				5,527
		感染症指定医療機関運営費補助金				8,196
		周産期救急医療事業費補助金				19,989
		医療器械購入事業債				609,200
	(地方債)	医療器械購入事業債				609,200
	(その他)	一般会計負担金				1,685,146
一般会計補助金				91,860		

【事業概要】

高度急性期・急性期医療を担う地域の基幹病院として、患者が安心して受けられる医療を提供し、次の役割を果たしながら医療の質を高め、地域全体で治し支える地域完結型の医療をめざす。

- ・湘南東部二次保健医療圏の地域医療支援病院として、地域医療機関との機能分担・連携を推進し、地域医療の向上に積極的に取り組む。
- ・救命救急センターとして、重症及び重篤な患者の受け入れをはじめ、24時間にわたり高度な救急医療を提供する。
- ・小児救急医療拠点病院として、小児科二次救急及び夜間等空白時間帯の初期診療など24時間にわたり小児救急医療を提供する。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療を提供するとともに、地域医療機関と連携して質の高い医療体制を確保する。
- ・周産期救急医療中核病院として、ハイリスクな出産に対する医療を提供するとともに、より安心した出産ができるよう施設環境の整備に取り組む。
- ・新型コロナウイルス感染症に対して、「神奈川モデル」の高度医療機関及び重点医療機関協力病院等として、感染状況のフェーズに応じた病床を確保し、重症・中等症の患者を中心に治療を行う。

1. 収益的支出の事業 22,732,263 千円

(1) 病院運営事業 22,570,251 千円

入院診療では主に急性期患者を対象とした診療、外来診療では地域医療機関からの紹介予約制に基づく専門外来での診療及び救急外来における24時間体制での診療による病院運営を行う。

(2) 特別損失 162,012 千円
過年度損益修正損

2. 資本的支出の事業 1,861,346 千円

(1) 医療総合情報システム整備事業 167,725 千円
勤怠管理システムの導入のほか、臨床検査部門における検体管理システム及び関連システムのハード更新等を行う。

(2) 医療器械等購入事業 962,193 千円
診断や治療機能の維持向上を図り、質の高い医療サービスを提供するため、MR I (磁気共鳴画像診断) 装置やX線CT組合せ型SPECT装置をはじめとした医療器械・備品の導入及び更新を行う。

(3) 企業債償還金等 731,428 千円
建設改良事業の財源に充てるために借り入れた企業債の償還等を行う。